参考資料2

富田林市
運動とスポーツに関するアンケート調査
報　告　書

令和7(2025)年3月

富田林市教育委員会

目 次

第1章 調査の概要 1

1 調査の目的 1
2 調査の設計 1
(1)調査対象 1
(2)調査期間 1
(3)調査方法 1
3 回収状況 2
4 報告書の見方 2

第2章 運動とスポーツに関するアンケート調査結果 3

1 調査結果(基本分析) 3
(1)回答者の属性 3
(2)運動やスポーツの実施状況について 12
(3)スポーツ施設について 45
(4)スポーツ観戦等について 51
(5)スポーツの指導や支援活動について 61
(6)スポーツの価値について 66
(7)パラスポーツについて 68
(8)スポーツ推進委員について 72
(9)富田林市におけるスポーツ推進について 76
(10)自由回答 83
2 調査結果(追加分析) 91
(1)主観的健康感別にみる運動やスポーツの状況 91
(2)運動やスポーツを実施することが好きか別にみる運動やスポーツの状況 93
(3)体力に自信があるか別にみる運動やスポーツの状況 97
(4)運動習慣者別にみる運動やスポーツの状況 98
(5)職業別にみる運動やスポーツの状況 100
(6)居住地域別にみる運動やスポーツの状況 102

第3章 中学生の運動とスポーツに関するアンケート調査結果 103

1 調査結果(基本分析) 103
(1)回答者の属性 103
(2)運動やスポーツの実施状況について 109
(3)パラスポーツについて 132
(4)スポーツの観戦等について 134
(5)自由回答 140

２ 調査結果（追加分析）.....144
（1）運動やスポーツをすることが好きか別にみる運動やスポーツの状況.....144
（2）体力に自信があるか別にみる運動やスポーツの状況.....147
第4章 スポーツ関係団体の調査結果..... 150
１ 回答団体について.....150
（1）登録会員数.....150
（2）運営者及び指導者の年代別割合.....150
２ 活動状況について.....151
（1）団体の対象者.....151
（2）活動頻度.....152
（3）活動時間帯.....153
（4）活動場所.....154
（5）市内のスポーツ施設を利用する際の条件.....156
（6）市内のスポーツ施設に望むこと.....157
３ 現在の課題について.....159
（1）運営・活動に関する課題.....159
４ 今後の活動について.....161
（1）今後の展望.....161
（2）今後の活動のために行政へ求める支援.....163
５ 中学校部活動の地域移行について.....165
（1）部活動の地域移行の認知状況.....165
（2）部活動の地域移行への協力意向.....166
（3）部活動の地域移行へ協力する際の課題.....167
（4）部活動の地域移行への協力ができない理由.....168
６ 富田林市が推進すべきと思う施策について.....169
（1）富田林市が推進すべき施策.....169
（2）自由回答.....171

第1章　調査の概要

1　調査の目的

「富田林市スポーツ推進計画」策定の基礎資料として、市民やスポーツ関係団体の状況やニーズ等を把握し、計画に反映することを目的としています。

2　調査の設計

(1)調査対象

図表1-2-1　調査対象

調査の種類	対象者数
①　運動とスポーツに関するアンケート調査	令和6(2024)年 11 月1日現在、富田林市に在住する18 歳以上の方から 1,500 人を無作為抽出
②　中学生の運動とスポーツに関するアンケート調査	令和6(2024)年4月1日現在、富田林市内中学校に在籍している中学2年生 982 人 (市立中学校 795 人、府立中学校 120 人、私立中学校 67 人)
③　運動とスポーツに関する関係団体アンケート調査	市内の各種スポーツ団体 191 団体

(2)調査期間

令和6(2024)年1月10日(金)から令和7(2025)年2月28日(金)まで

(3)調査方法

図表1-2-2　調査方法

調査の種類	調査方法
①　運動とスポーツに関するアンケート調査	郵送による調査票の配布及び返信用封筒による回収またはインターネットによる回答
②　中学生の運動とスポーツに関するアンケート調査	インターネットによる回答
③　運動とスポーツに関する関係団体アンケート調査	郵送による調査票の配布及び返信用封筒による回収またはインターネットによる回答

3 回収状況

図表1-3-1 回収状況

調査の種類	配布数	回答数	有効回答率
① 運動とスポーツに関するアンケート調査	1,500 件	590 件 （うちインターネットによる回答 144 件）	39.3%
② 中学生の運動とスポーツに関するアンケート調査	982 件	765 件	77.9%
③ 運動とスポーツに関する関係団体アンケート調査	191 件	105 件 （うちインターネットによる回答 42 件）	55.0%

4 報告書の見方

○調査結果の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
○「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
○集計は、回答者数（該当質問においては該当者数）を 100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記します。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。また、複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
○図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
○本文や図表中の選択肢等の標記は、語句を短縮・省略可している場合があります。
○回答者数が少ないものについては、グラフの掲載やコメントを控えている場合があります。
○第2章で比較している「令和5（2023）年度国調査」とは、スポーツ庁が令和5（2024）年度に実施した「スポーツの実施状況等に関する世論調査（令和 5 年 11 月調査）」を示しています。

第2章　運動とスポーツに関するアンケート調査結果

1　調査結果(基本分析)

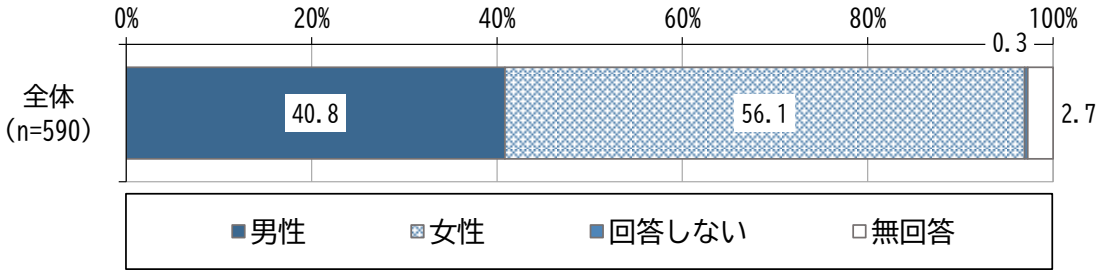
(1)回答者の属性

①　性別

問1	あなたの性別についてお答えください。(○は1つ)

性別については、「男性」が 40.8%、「女性」が 56.1%、「回答しない」が 0.3%となっています。

図表 2-1-1　性別

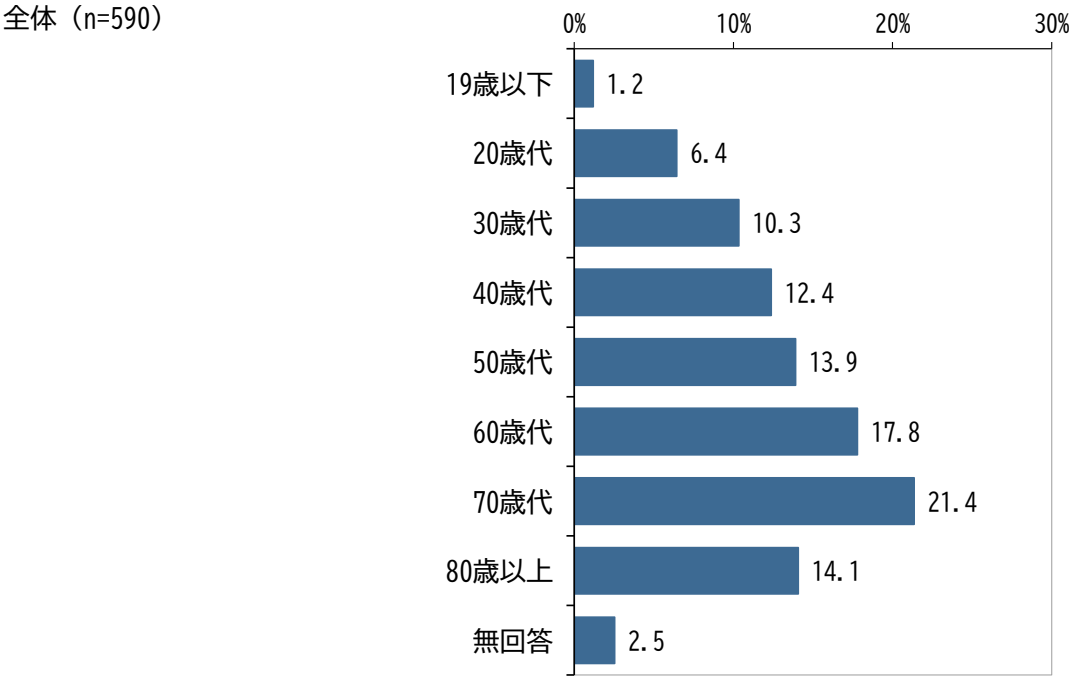


②　年齢

問2	あなたの年齢についてお答えください。(○は1つ)

年齢については、「70 歳代」が 21.4%で最も高く、次いで「60 歳代」が 17.8%、「80 歳以上」が 14.1%と続いています。

図表 2-1-2　年齢

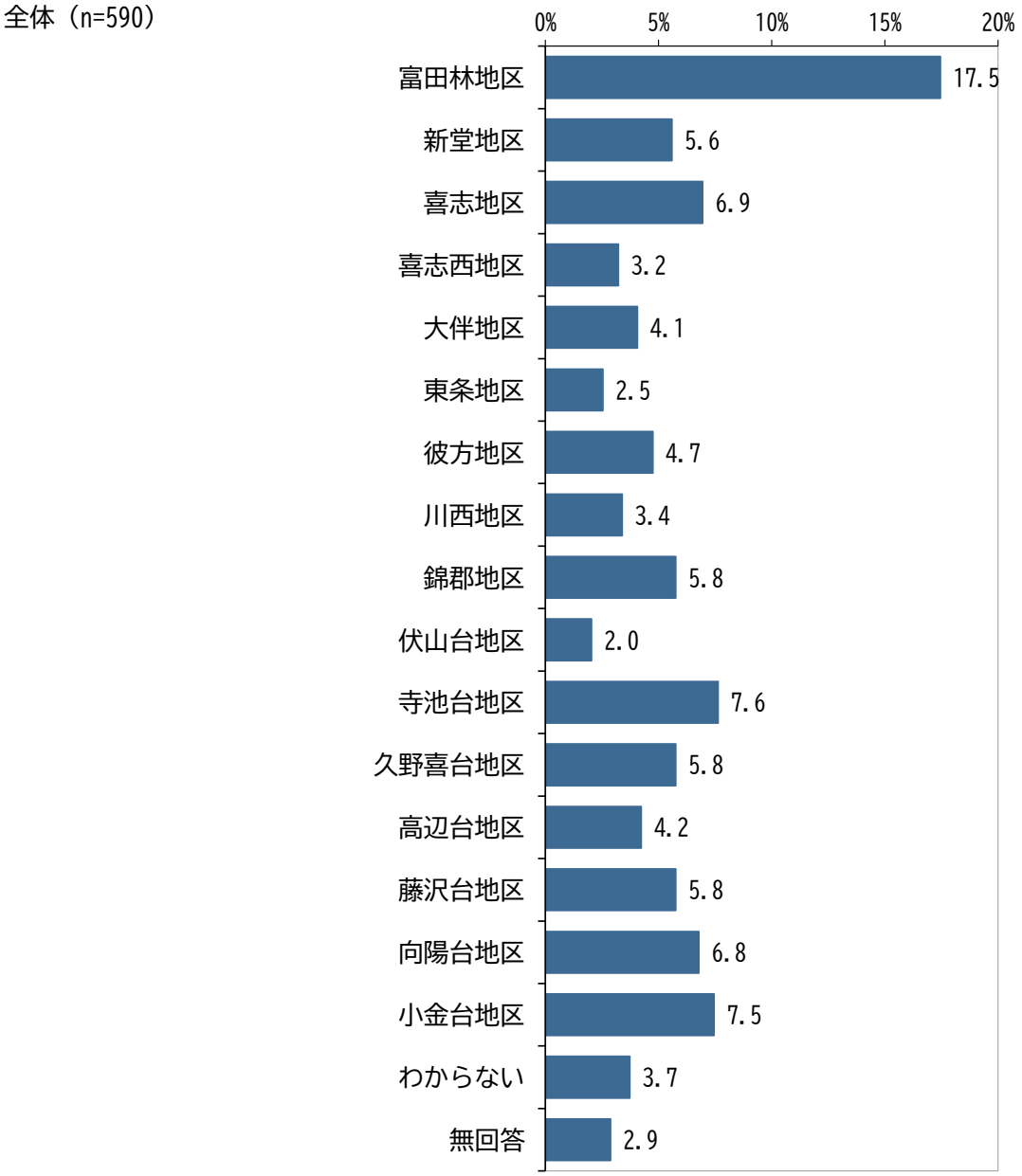


③ 居住地域

問3	あなたのお住いの地区(小学校区)についてお答えください。(○は1つ)

居住地域については、「富田林地区」が 17.5%で最も高く、次いで「寺池台地区」が 7.6%、「小金台地区」が 7.5%と続いています。

図表 2-1-3 居住地域

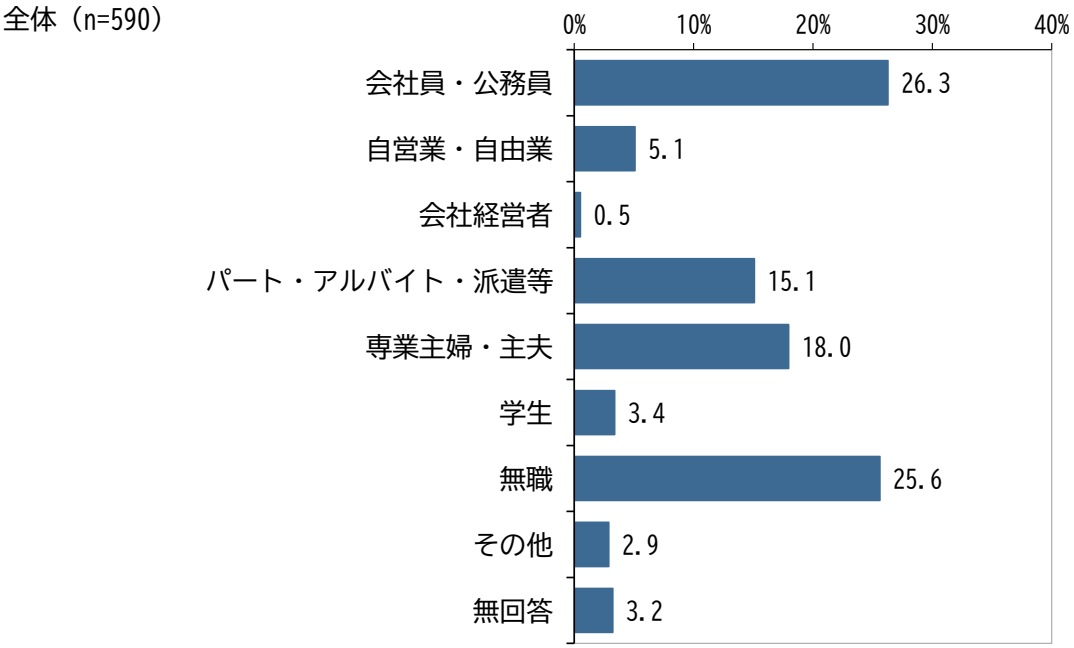


④ 職業

問4	あなたの主な職業を教えてください。(○は1つ)

職業については、「会社員・公務員」が 26.3%で最も高く、次いで「無職」が 25.6%、「専業主婦・主夫」が 18.0%と続いています。

図表 2-1-4 職業



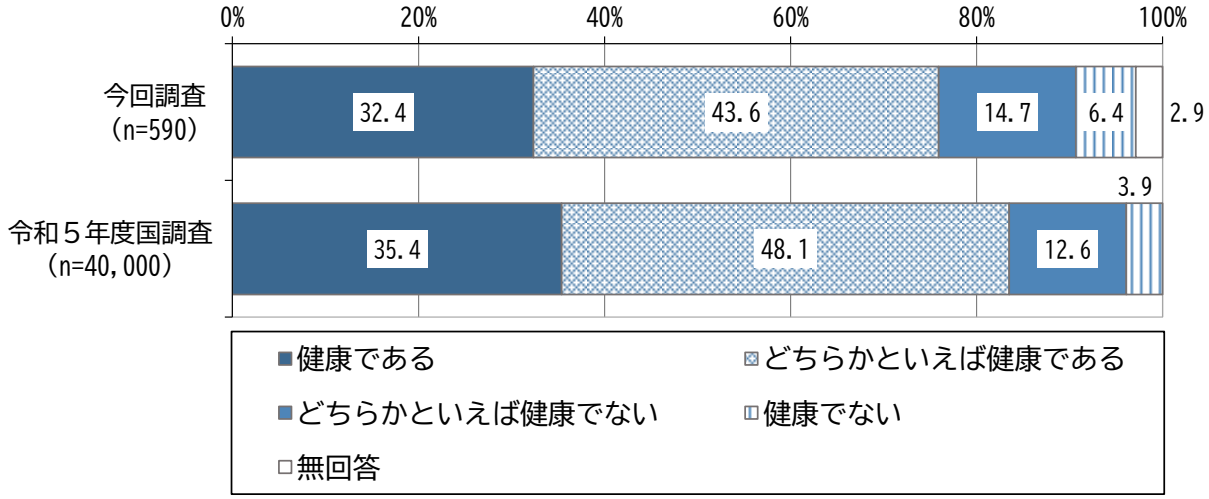
⑤ 主観的健康感

問5	あなたは、このところ健康だと思いますか。(○は1つ)

主観的健康感については、「どちらかといえば健康である」が 43.6%で最も高く、次いで「健康である」が 32.4%、「どちらかといえば健康でない」が 14.7%と続いています。

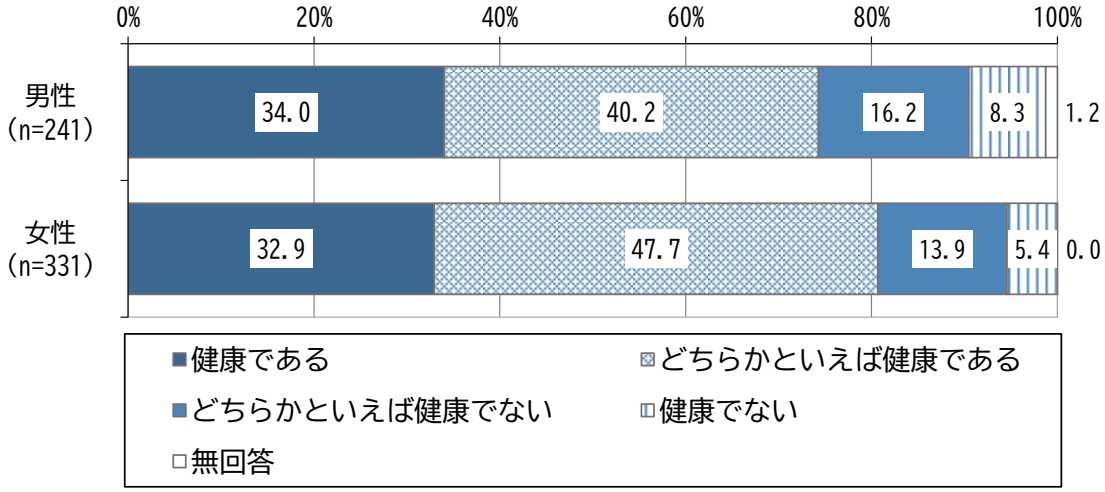
令和5(2023)年度国調査と比較すると、『健康である』(「健康である」と「どちらかといえば健康である」の合計)(76.0%)では、令和5(2023)年度国調査(83.5%)より 7.5 ポイント低くなっています。

図表 2-1-5 主観的健康感



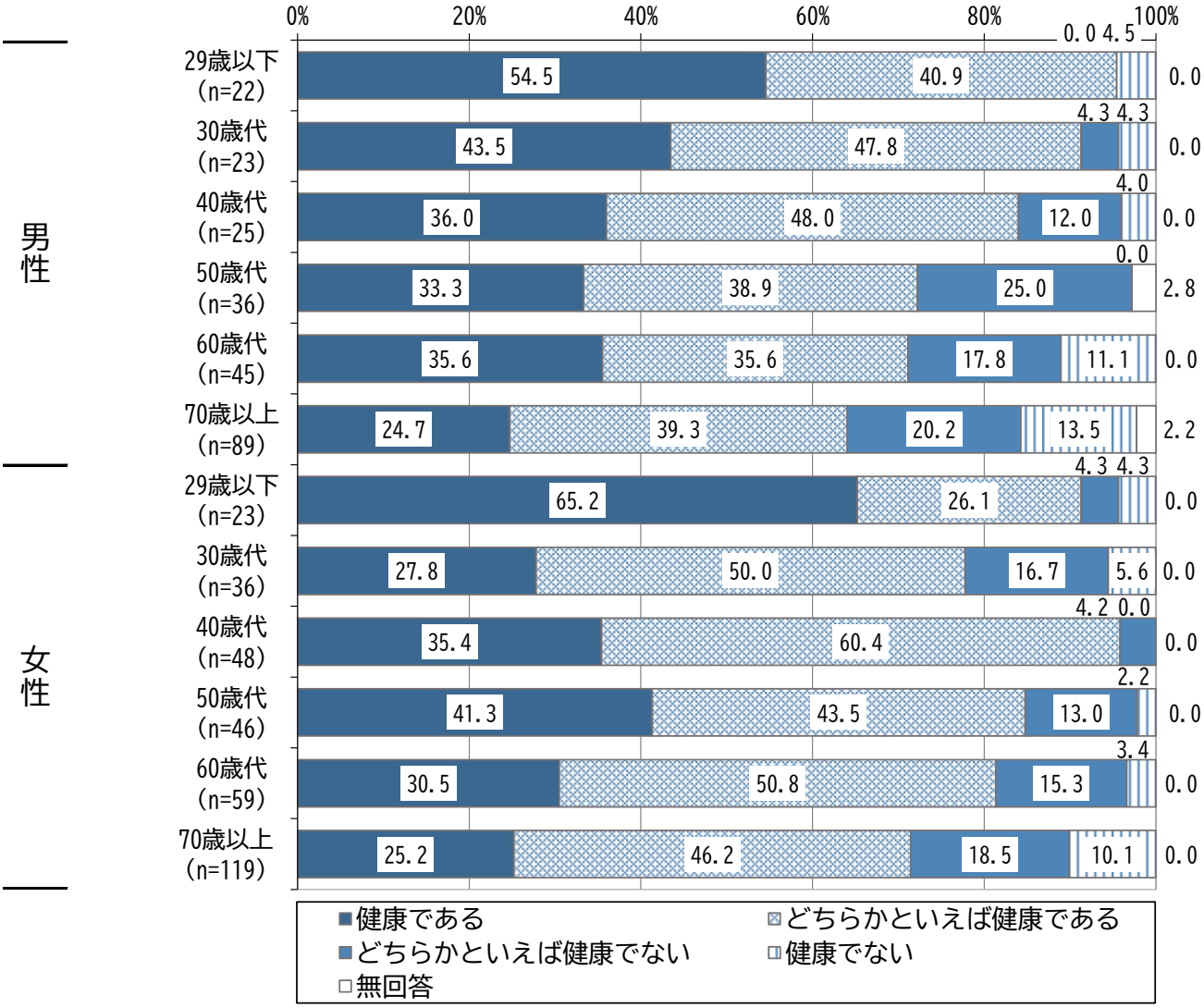
性別でみると、『健康である』では、男性が 74.2%、女性が 80.6%となっています。

図表 2-1-6 主観的健康感 性別



性別・年齢階級別でみると、『健康である』では、女性・40 歳代が 95.8%で最も高く、『健康でない』(「どちらかといえば健康でない」と「健康でない」の合計)では、男性・70 歳以上が 33.7%で最も高くなっています。

図表 2-1-7 主観的健康感 性別・年齢階級別



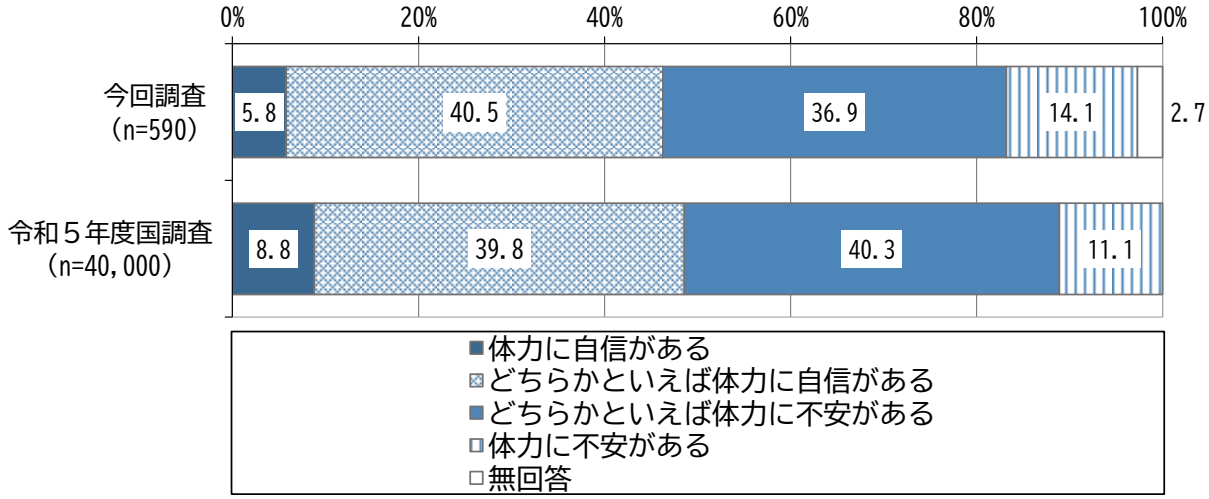
⑥ 体力に自信があるか

問6	あなたは、ご自分の体力についてどのように感じていますか。(○は1つ)

体力に自信があるかについては、「どちらかといえば体力に自信がある」が 40.5%で最も高く、次いで「どちらかといえば体力に不安がある」が 36.9%、「体力に不安がある」が 14.1%と続いています。

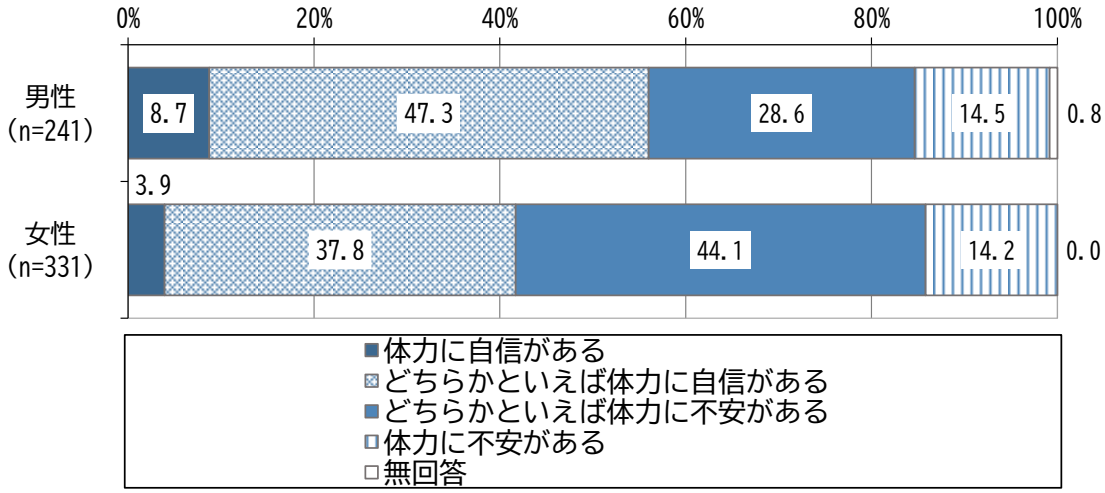
令和5(2023)年度国調査と比較すると、「体力に自信がある」(5.8%)では、令和5(2023)年度国調査(8.8%)より 3.0 ポイント低くなっています。

図表 2-1-8 体力に自信があるか



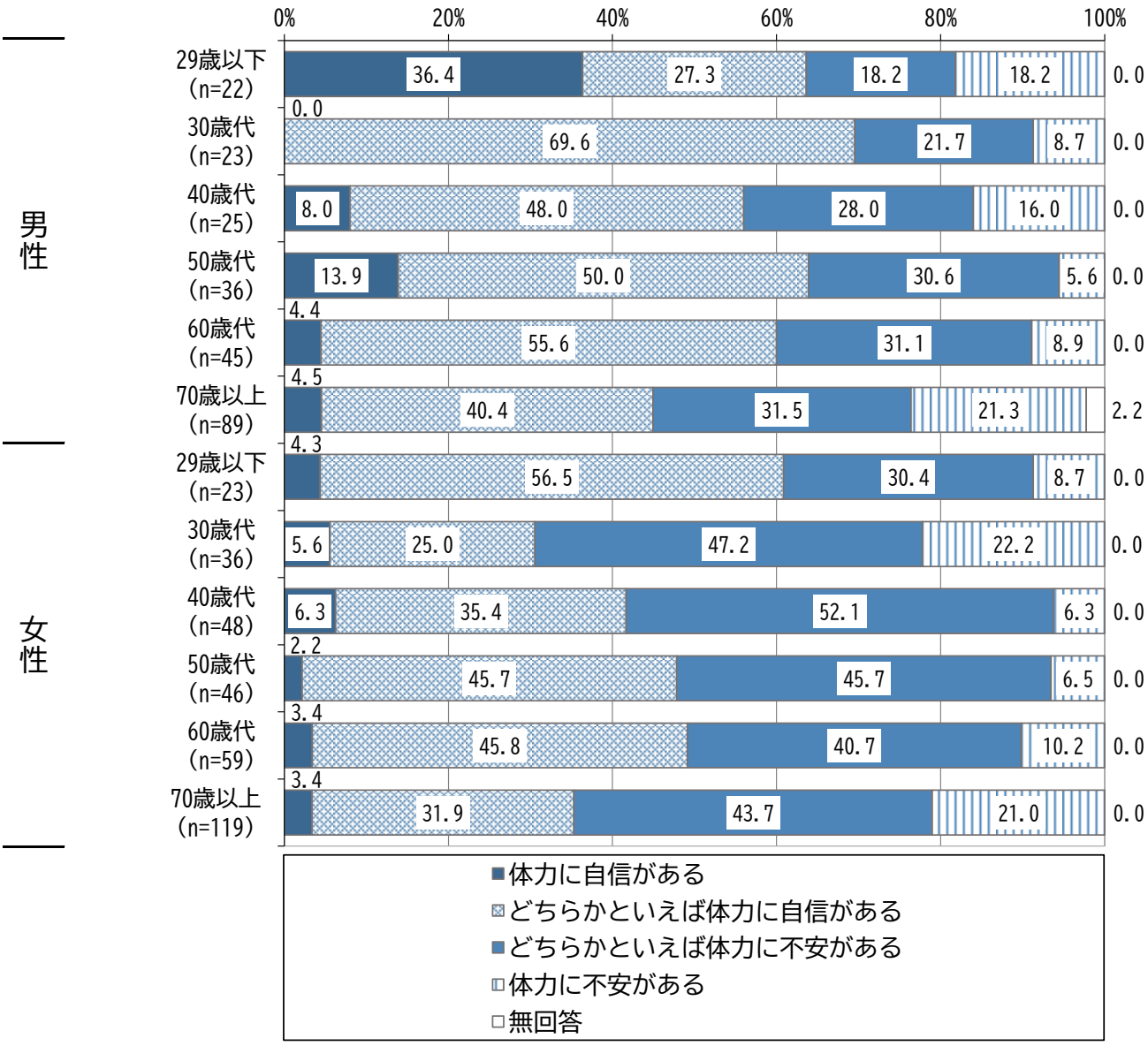
性別でみると、『体力に自信がある』(「体力に自信がある」と「どちらかといえば体力に自信がある」の合計)では、男性が 56.0%、女性が 41.7%となっています。

図表 2-1-9 体力に自信があるか 性別



性別・年齢階級別でみると、『体力に自信がある』では、男性・30 歳代が 69.6%で最も高く、『体力に不安がある』(「どちらかといえば体力に不安がある」と「体力に不安がある」の合計)では、女性・30 歳代が 69.4%で最も高くなっています。

図表 2-1-10 体力に自信があるか 性別・年齢階級別



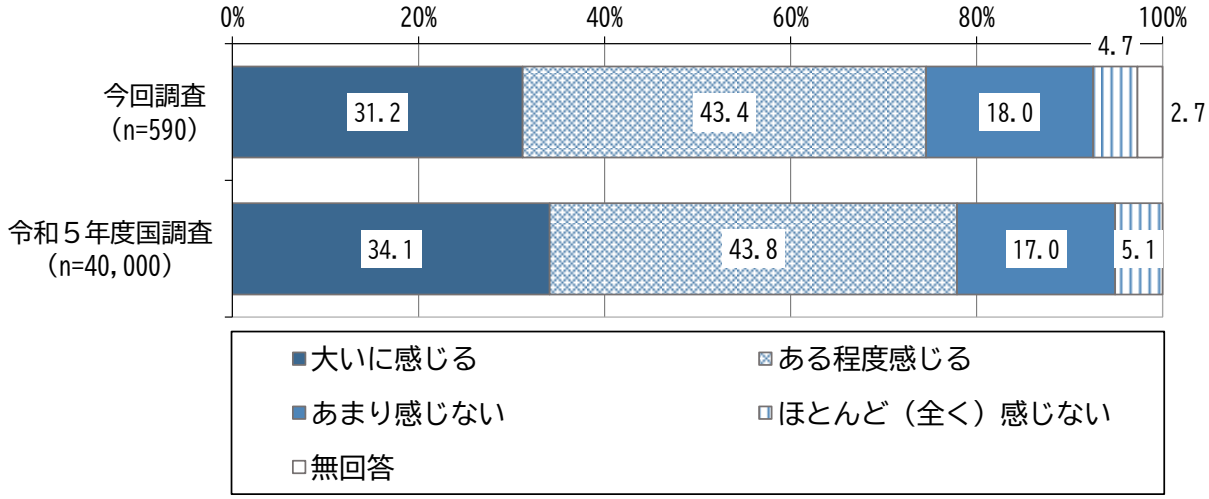
⑦ 運動不足を感じるか

問7	あなたは、普段、運動不足を感じますか。(○は1つ)

運動不足を感じるかについては、「ある程度感じる」が 43.4％で最も高く、次いで「大いに感じる」が31.2％、「あまり感じない」が 18.0％と続いています。

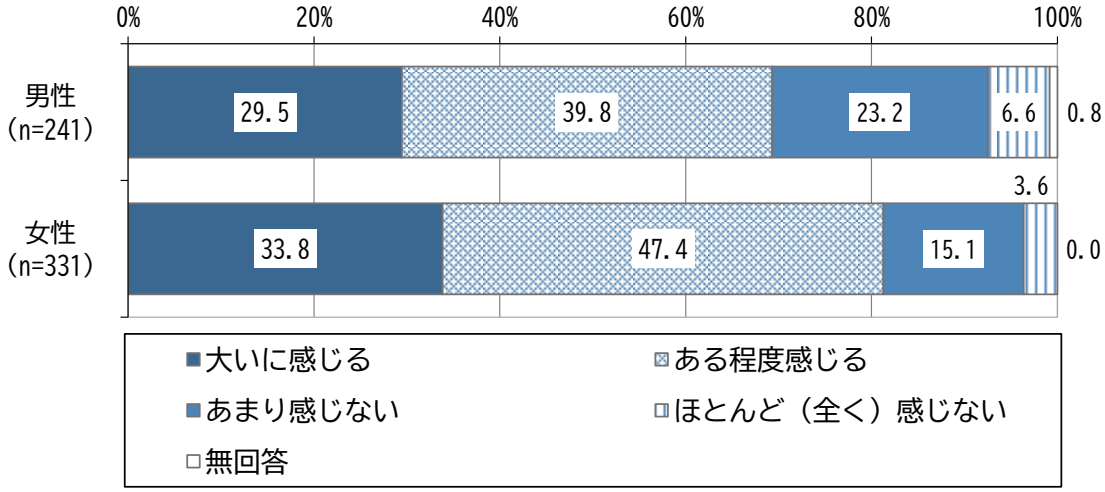
令和5(2023)年度国調査と比較すると、『感じる』(「大いに感じる」と「ある程度感じる」の合計)(74.6％)では、令和5(2023)年度国調査(77.9％)より 3.3 ポイント低くなっています。

図表 2-1-11 運動不足を感じるか



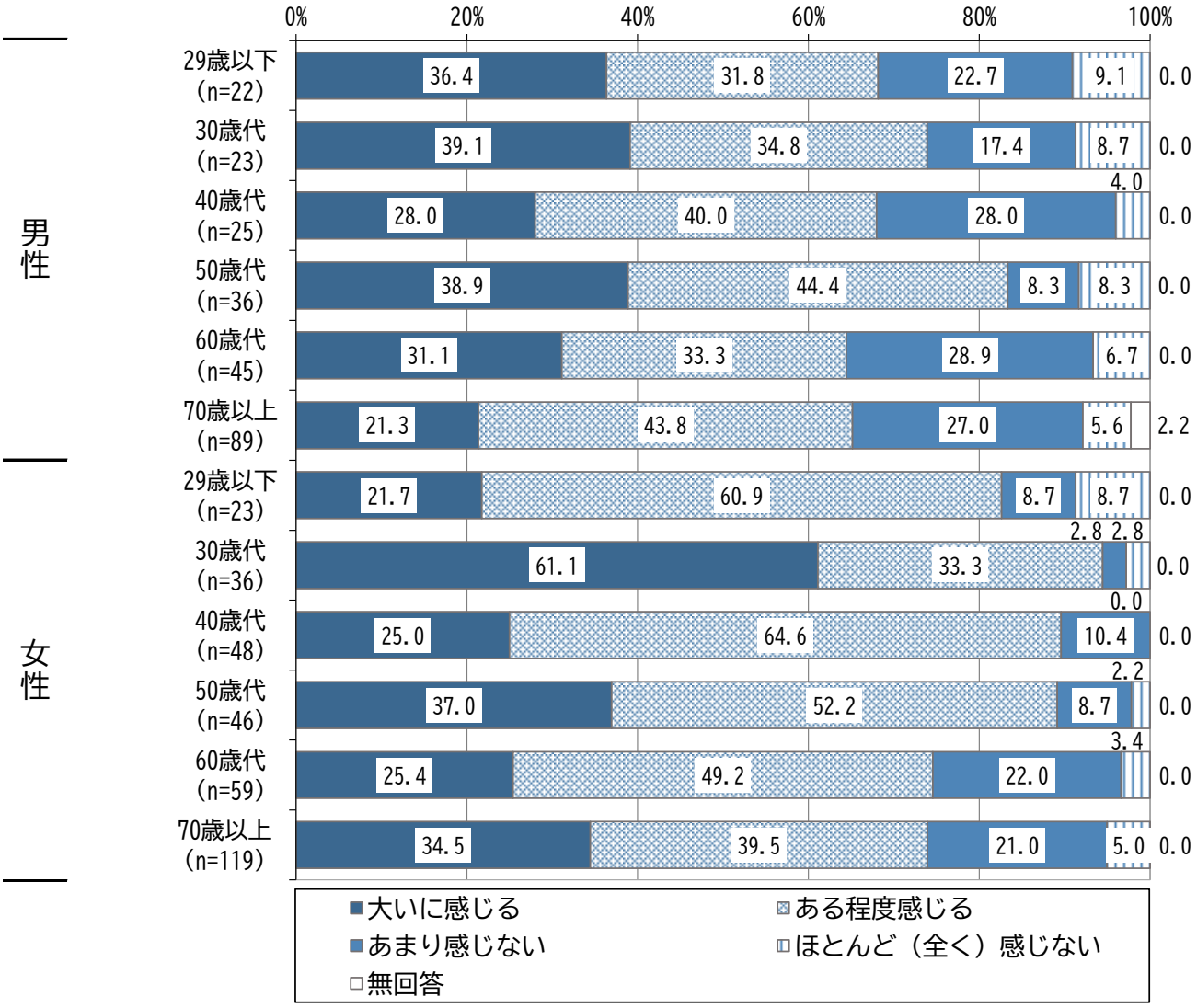
性別でみると、『感じる』では、男性が 69.3％、女性が 81.2％となっています。

図表 2-1-12 運動不足を感じるか 性別



性別・年齢階級別でみると、『感じる』では、女性・30 歳代が 94.4%で最も高く、『感じない』(「あまり感じない」と「ほとんど(全く)感じない」の合計)では、男性・60 歳代が 35.6%で最も高くなっています。

図表 2-1-13　運動不足を感じるか　性別・年齢階級別



(2)運動やスポーツの実施状況について

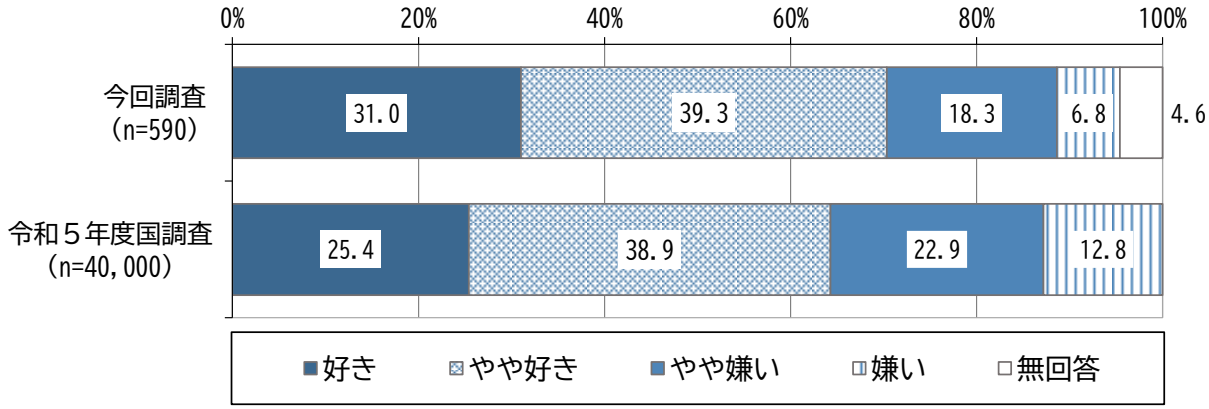
① 運動やスポーツを実施することが好きか

問8	あなたは運動やスポーツを実施することが好きですか。(○は1つ)

運動やスポーツを実施することが好きかについては、「やや好き」が 39.3%で最も高く、次いで「好き」が 31.0%、「やや嫌い」が 18.3%と続いています。

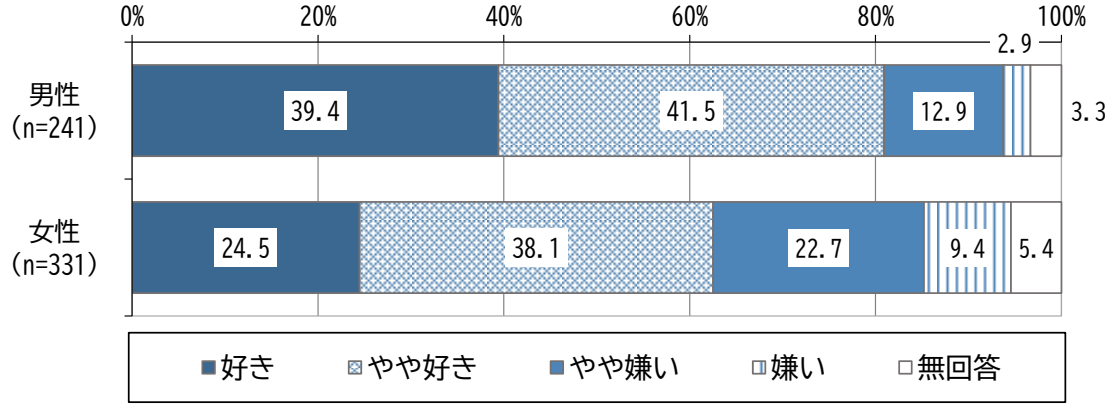
令和5(2023)年度国調査と比較すると、『好き』(「好き」と「やや好き」の合計)(70.3%)では、令和5(2023)年度国調査(64.3%)より 6.0 ポイント高くなっています。

図表 2-1-14 運動やスポーツを実施することが好きか



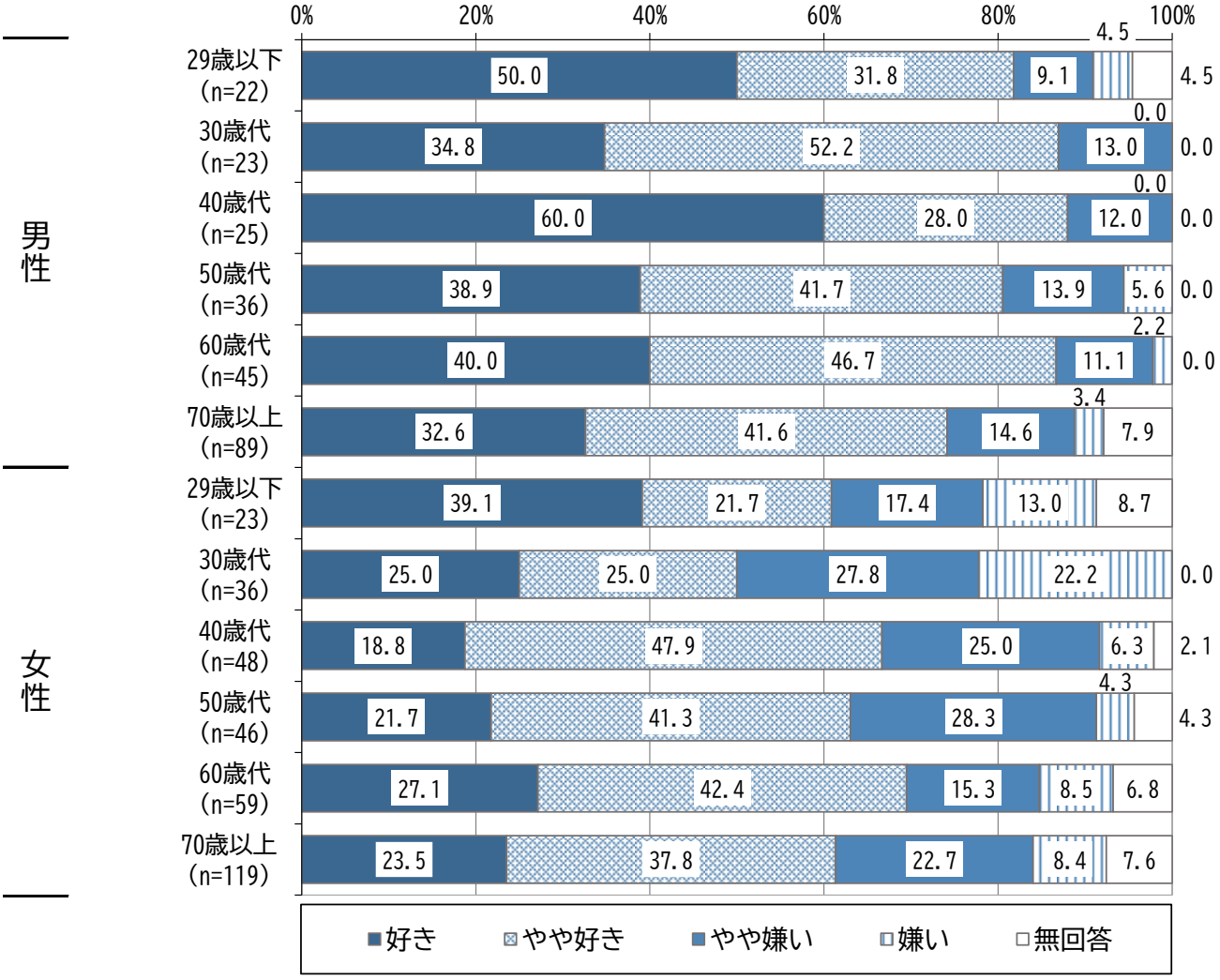
性別でみると、『好き』では、男性が 80.9%、女性が 62.6%となっています。

図表 2-1-15 運動やスポーツを実施することが好きか 性別



性別・年齢階級別でみると、『好き』では、男性・40 歳代が 88.0%で最も高く、『嫌い』(「やや嫌い」と「嫌い」の合計)では、女性・30 歳代が 50.0%で最も高くなっています。

図表 2-1-16　運動やスポーツを実施することが好きか　性別・年齢階級別



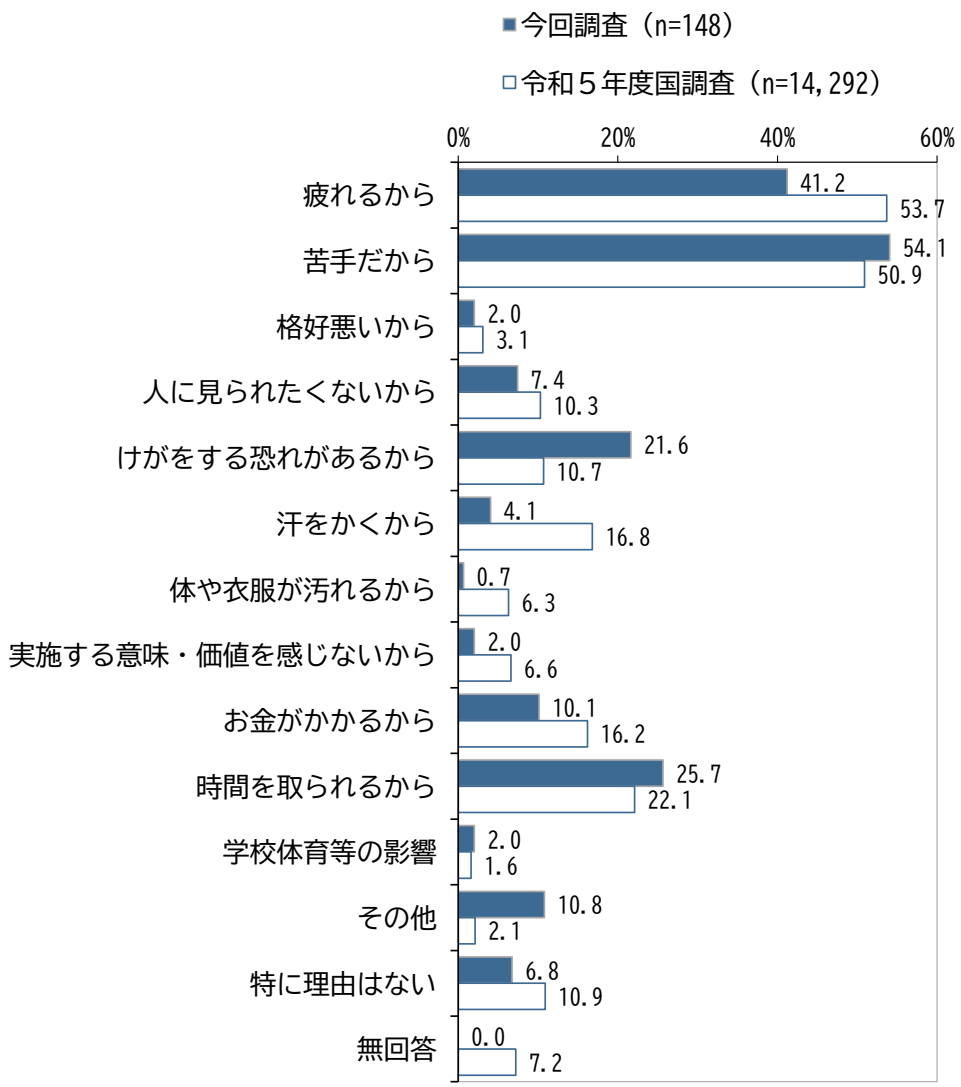
② 運動やスポーツを実施することが嫌いな理由

問8－1	**問8で「3」または「4」を回答された方にお聞きします。** あなたが運動やスポーツが嫌いな理由はなんですか。（○はいくつでも）

運動やスポーツを実施することが嫌いな理由については、「苦手だから」が 54.1%で最も高く、次いで「疲れるから」が 41.2%、「時間を取られるから」が 25.7%と続いています。

令和5（2023）年度国調査と比較すると、「けがをする恐れがあるから」（21.6%）では、令和5（2023）年度国調査（10.7%）より 10.9 ポイント高くなっています。

図表 2-1-17 運動やスポーツを実施することが嫌いな理由



※ 今回調査の「学校体育等の影響」について、国調査は「青少年期に所属した運動部活動・民間クラブの影響」、
今回調査の「無回答」について、国調査は「わからない」

性別でみると、男性では「疲れるから」が 50.0%で最も高く、女性では「苦手だから」が 59.4%で最も高くなっています。

図表 2-1-18 運動やスポーツを実施することが嫌いな理由 性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	疲れるから	苦手だから	格好悪いから	人に見られたくないから	けがをする恐れがあるから	汗をかくから	体や衣服が汚れるから	実施する意味・価値を感じないから	お金がかかるから	時間を取られるから
全体		148	41.2	54.1	2.0	7.4	21.6	4.1	0.7	2.0	10.1	25.7
性別	男性	38	50.0	39.5	5.3	13.2	34.2	7.9	2.6	0.0	13.2	28.9
	女性	106	37.7	59.4	0.9	5.7	17.0	2.8	0.0	2.8	9.4	25.5

		合計	学校体育等の影響	その他	特に理由はない	無回答
全体		148	2.0	10.8	6.8	0.0
性別	男性	38	2.6	7.9	2.6	0.0
	女性	106	1.9	11.3	8.5	0.0

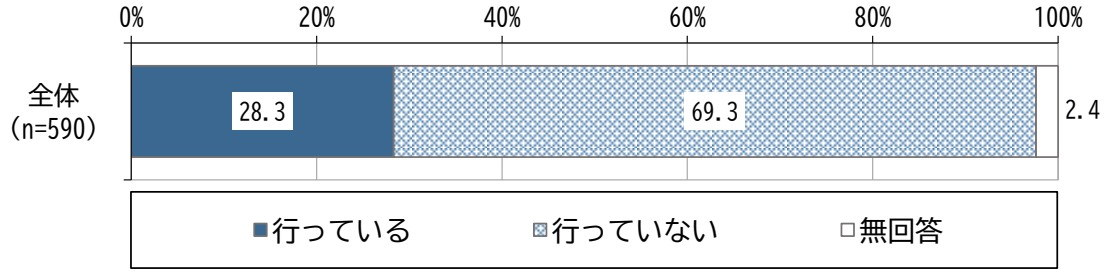
※網掛け■は最も割合が高いもの

③ 1日 30 分以上の軽く汗をかく運動やスポーツを行っているか

問9	あなたは現在、「1日 30 分以上」の軽く汗をかく運動やスポーツを行っていますか。 （○は1つ）

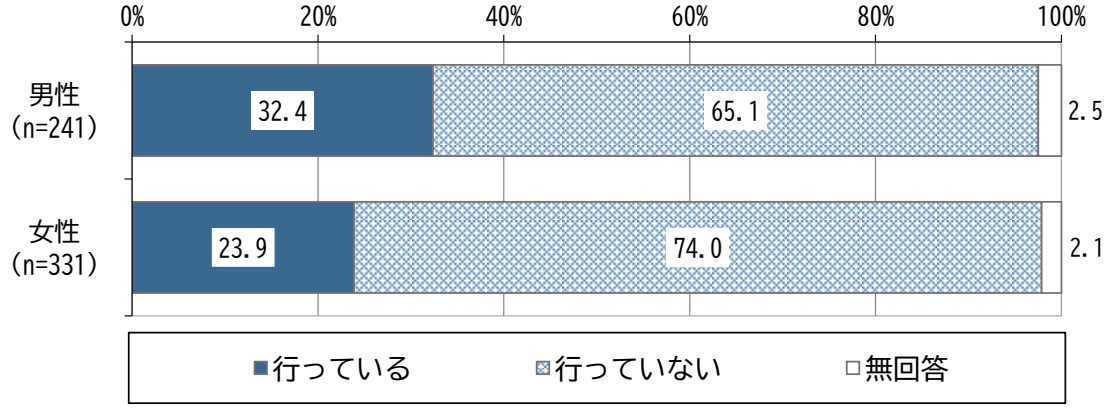
1日 30 分以上の軽く汗をかく運動やスポーツを行っているかについては、「行っている」が 28.3%、「行っていない」が 69.3%となっています。

図表 2-1-19 1日 30 分以上の軽く汗をかく運動やスポーツを行っているか



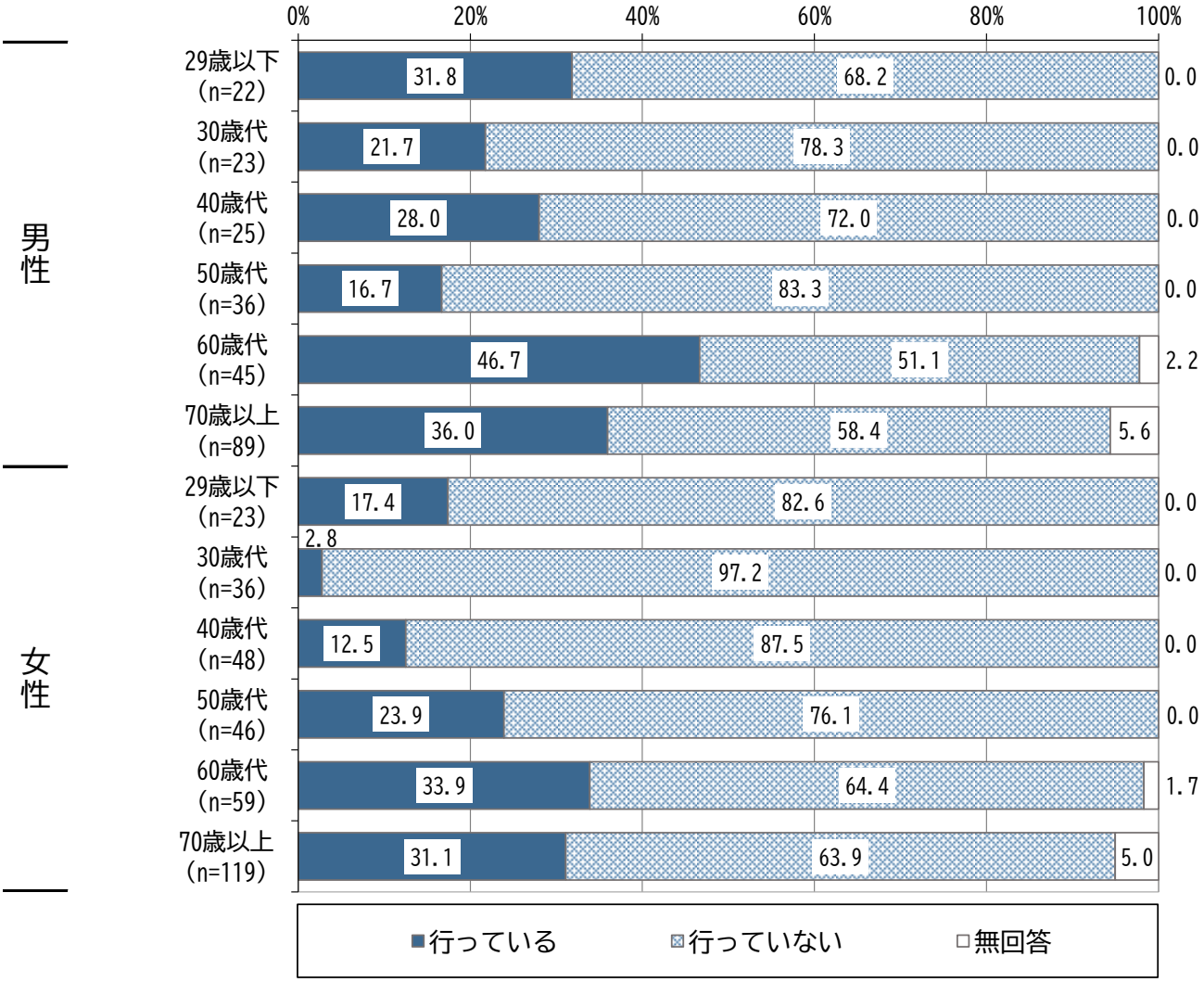
性別でみると、「行っている」では、男性が 32.4%、女性が 23.9%となっています。

図表 2-1-20 1日 30 分以上の軽く汗をかく運動やスポーツを行っているか 性別



性別・年齢階級別でみると、「行っている」では、男性・女性いずれも 60 歳代の割合が最も高くなっています。

図表 2-1-21 1日 30 分以上の軽く汗をかく運動やスポーツを行っているか 性別・年齢階級別

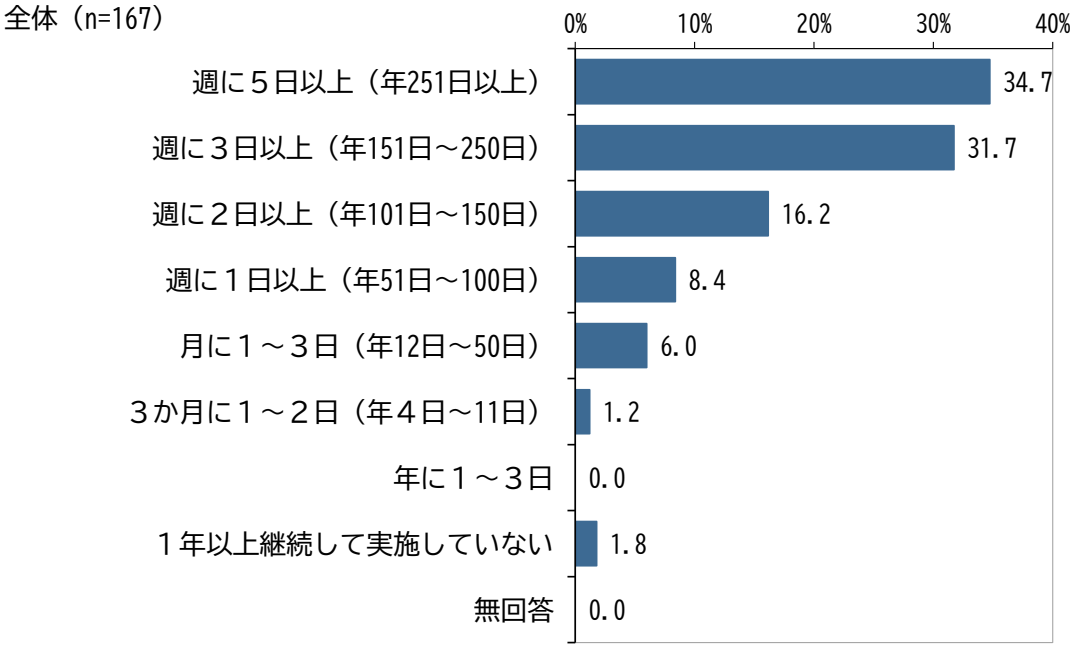


④ 1日 30 分以上の軽く汗をかく運動やスポーツの実施頻度

問9－1	**問9で「1. 行っている」を回答された方にお聞きします。** 現在行っている「1日 30 分以上」の軽く汗をかく運動やスポーツは、1年以上継続しているものですか。継続している場合は、その日数（1年あたりの平均日数）は、何日くらいになりますか。（○は1つ）

1日 30 分以上の軽く汗をかく運動やスポーツの実施頻度については、「週に5日以上（年 251 日以上）」が 34.7%で最も高く、次いで「週に3日以上（年 151 日～250 日）」が 31.7%、「週に2日以上（年 101 日～150 日）」が 16.2%と続いています。

図表 2-1-22 1日 30 分以上の軽く汗をかく運動やスポーツの実施頻度



性別でみると、男性では「週に5日以上（年 251 日以上）」が 39.7%で最も高く、女性では「週に3日以上（年 151 日～250 日）」が 34.2%で最も高くなっています。

図表 2-1-23 1日 30 分以上の軽く汗をかく運動やスポーツの実施頻度 性別

単位：実数（人）、構成比（%）

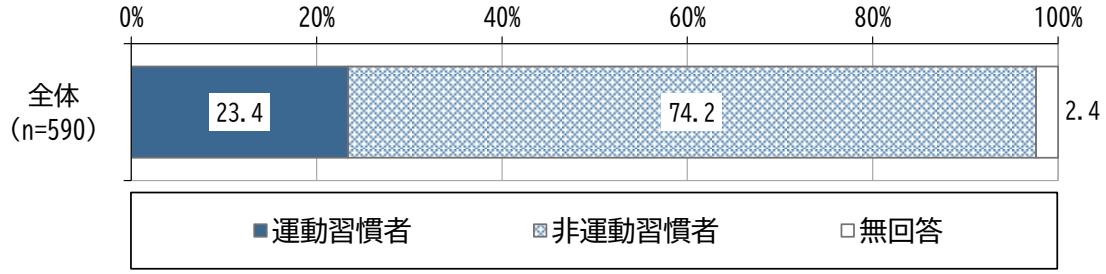
		合計	週に5日以上（年251日以上）	週に3日以上（年151日～250日）	週に2日以上（年101日～150日）	週に1日以上（年51日～100日）	月に1～3日（年12日～50日）	3か月に1～2日（年4日～11日）	年に1～3日	1年以上継続して実施していない	無回答
全体		167	34.7	31.7	16.2	8.4	6.0	1.2	0.0	1.8	0.0
性別	男性	78	39.7	29.5	17.9	2.6	9.0	0.0	0.0	1.3	0.0
	女性	79	31.6	34.2	16.5	12.7	1.3	1.3	0.0	2.5	0.0

※網掛け■は最も割合が高いもの

■1日 30 分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上実施し、1年以上継続している運動習慣者の割合

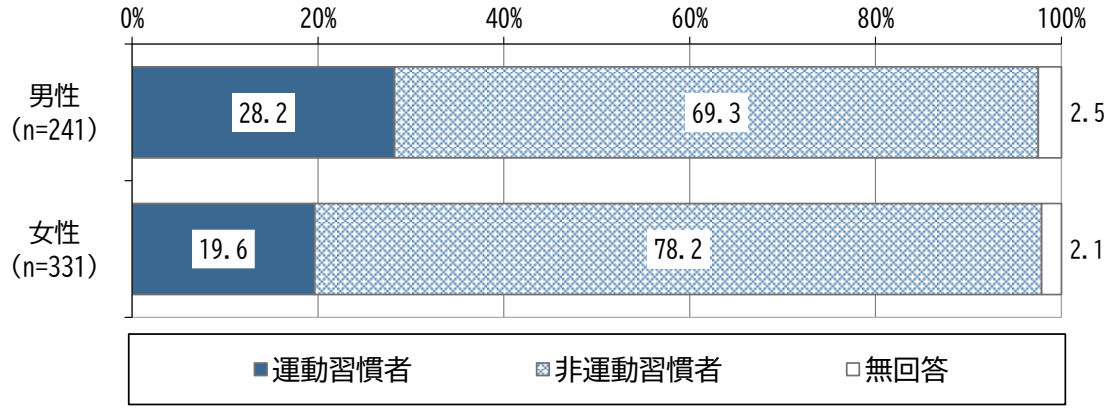
運動習慣者（1日 30 分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上実施し、1年以上継続している人）（問9で「1. 行っている」を回答し、問 9-1で「1. 週に5日以上（年 251 日以上）」、「2. 週に3日以上（年 151 日～250 日）」、「3. 週に2日以上（年 101 日～150 日）」のいずれかを回答した人）の割合については、全体で 23.4%となっています。

図表 2-1-24 運動習慣者の割合



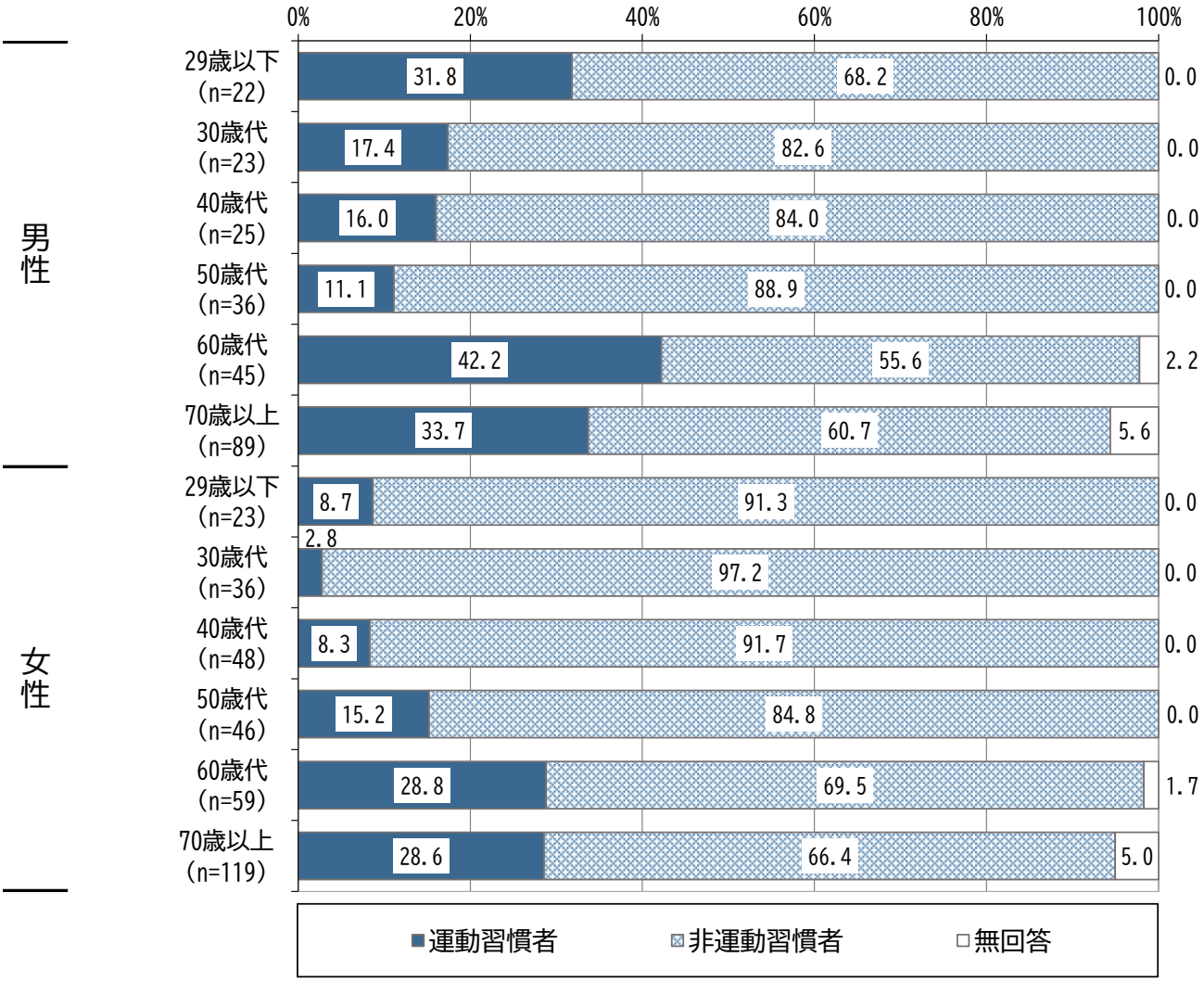
運動習慣者の割合を性別でみると、男性が 28.2%、女性が 19.6%となっています。

図表 2-1-25 運動習慣者の割合 性別



運動習慣者の割合を性別・年齢階級別でみると、男性・女性いずれも 60 歳代の割合が最も高くなっています。

図表 2-1-26　運動習慣者の割合　性別・年齢階級別

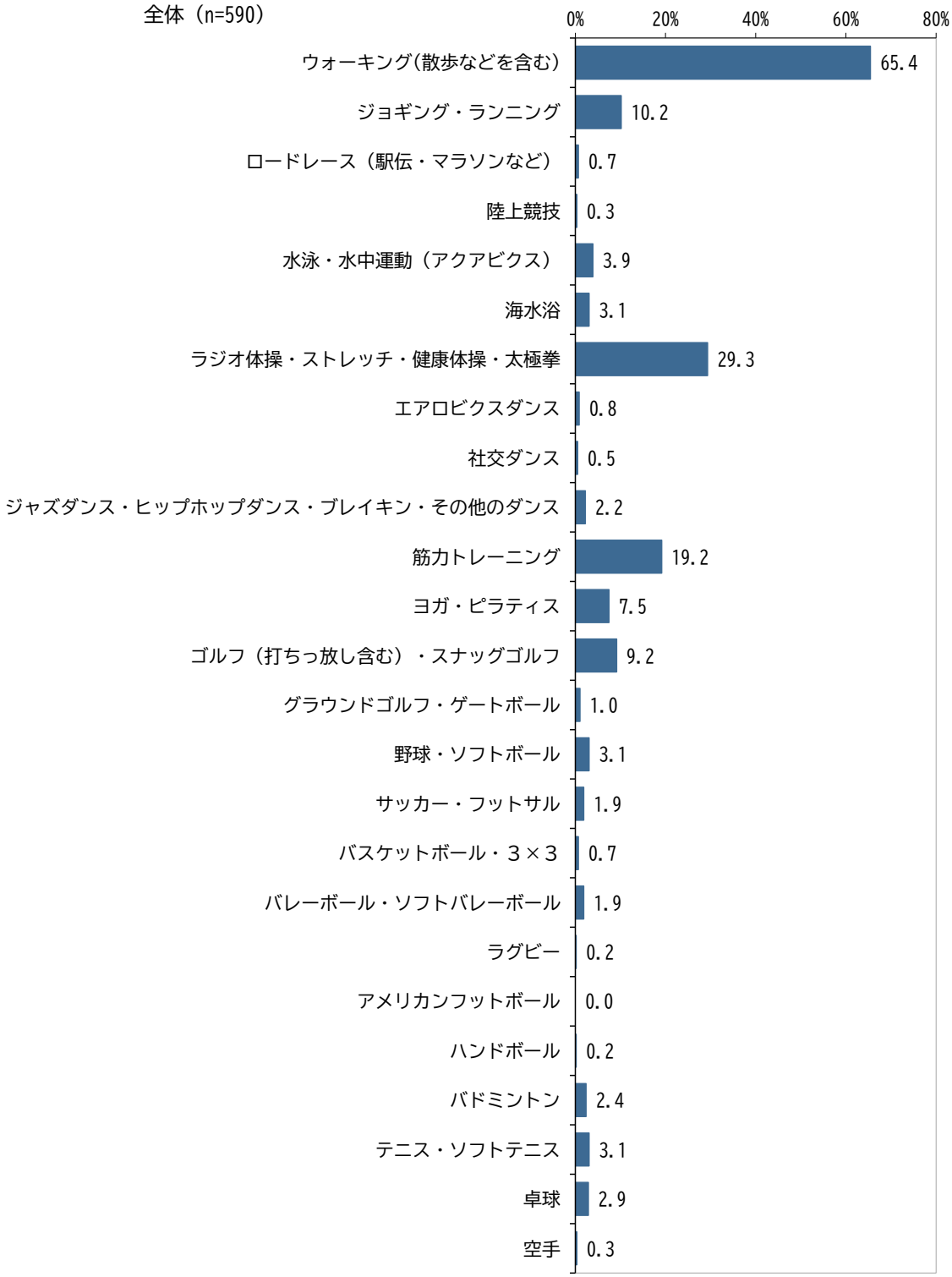


⑤ 過去1年間に実施した運動やスポーツ

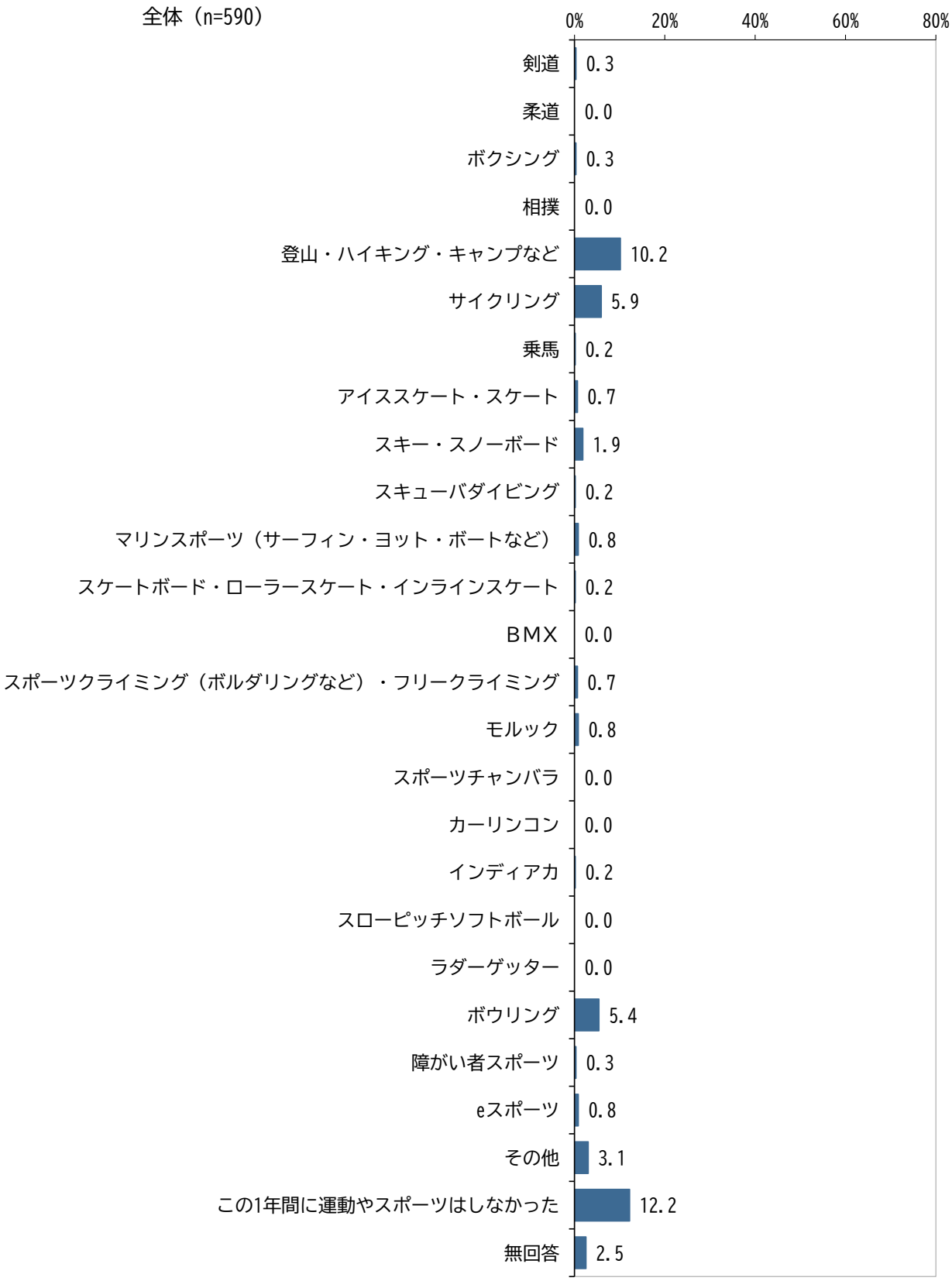
問 10	この中にあなたがこの1年間に行った運動やスポーツがあれば全部あげてください。 （学校の体育の授業として行ったものや、職業として行ったものは除きます）（自宅でオンラインやTVを介して実施したものも含まれます）（○はいくつでも）

過去1年間に実施した運動やスポーツについては、「ウォーキング（散歩などを含む）」が 65.4％で最も高く、次いで「ラジオ体操・ストレッチ・健康体操・太極拳」が29.3％、「筋力トレーニング」が19.2％と続いています。

図表 2-1-27 過去1年間に実施した運動やスポーツ①



図表 2-1-28 過去1年間に実施した運動やスポーツ②



性別でみると、男性・女性いずれも「ウォーキング（散歩などを含む）」の割合が最も高くなっています。

性別・年齢階級別でみると、すべての性別・年齢階級別で「ウォーキング（散歩などを含む）」の割合が最も高く、特に男性・30 歳代、女性 29 歳以下がいずれも 78.3%で最も高くなっています。

図表 2-1-29 過去1年間に実施した運動やスポーツ 属性別①

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	ウォーキング（散歩などを含む）	ジョギング・ランニング	ロードレース（駅伝・マラソンなど）	陸上競技	水泳・水中運動（アクアビクス）	海水浴	ラジオ体操・ストレッチ・健康体操・太極拳	エアロビクスダンス	社交ダンス	ジャズダンス・ヒップホップダンス・ブレイキン・その他のダンス
全体		590	65.4	10.2	0.7	0.3	3.9	3.1	29.3	0.8	0.5	2.2
性別	男性	241	63.5	16.2	1.7	0.4	3.7	2.1	21.2	0.0	0.0	0.0
	女性	331	67.4	6.0	0.0	0.3	4.2	3.6	34.4	1.5	0.9	3.9
男性	29歳以下	22	50.0	27.3	4.5	0.0	0.0	4.5	13.6	0.0	0.0	0.0
	30歳代	23	78.3	43.5	0.0	4.3	13.0	0.0	13.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代	25	60.0	28.0	0.0	0.0	4.0	12.0	16.0	0.0	0.0	0.0
	50歳代	36	52.8	16.7	8.3	0.0	8.3	2.8	19.4	0.0	0.0	0.0
	60歳代	45	62.2	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	24.4	0.0	0.0	0.0
	70歳以上	89	68.5	4.5	0.0	0.0	2.2	0.0	25.8	0.0	0.0	0.0
女性	29歳以下	23	78.3	17.4	0.0	0.0	4.3	4.3	17.4	0.0	0.0	13.0
	30歳代	36	69.4	5.6	0.0	0.0	2.8	2.8	27.8	0.0	0.0	0.0
	40歳代	48	75.0	12.5	0.0	2.1	6.3	16.7	39.6	2.1	0.0	6.3
	50歳代	46	63.0	6.5	0.0	0.0	2.2	0.0	45.7	0.0	0.0	0.0
	60歳代	59	62.7	3.4	0.0	0.0	1.7	1.7	30.5	5.1	0.0	6.8
	70歳以上	119	65.5	2.5	0.0	0.0	5.9	0.8	35.3	0.8	2.5	2.5

		合計	筋力トレーニング	ヨガ・ピラティス	ゴルフ（打ちっ放し含む）・スナッグゴルフ	グラウンドゴルフ・ゲートボール	野球・ソフトボール	サッカー・フットサル	バスケットボール・3×3	バレーボール・ソフトバレーボール	ラグビー	アメリカンフットボール
全体		590	19.2	7.5	9.2	1.0	3.1	1.9	0.7	1.9	0.2	0.0
性別	男性	241	24.1	1.2	17.8	0.8	6.2	3.3	1.2	0.4	0.4	0.0
	女性	331	15.4	12.4	3.3	1.2	0.9	0.9	0.3	3.0	0.0	0.0
男性	29歳以下	22	45.5	4.5	18.2	0.0	27.3	9.1	4.5	0.0	0.0	0.0
	30歳代	23	17.4	0.0	4.3	0.0	8.7	4.3	0.0	4.3	0.0	0.0
	40歳代	25	40.0	4.0	28.0	0.0	12.0	16.0	8.0	0.0	4.0	0.0
	50歳代	36	22.2	2.8	19.4	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60歳代	45	22.2	0.0	22.2	0.0	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳以上	89	16.9	0.0	15.7	2.2	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性	29歳以下	23	30.4	13.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	36	11.1	16.7	2.8	0.0	2.8	5.6	0.0	8.3	0.0	0.0
	40歳代	48	27.1	25.0	2.1	0.0	4.2	2.1	2.1	6.3	0.0	0.0
	50歳代	46	15.2	15.2	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0
	60歳代	59	23.7	8.5	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	5.1	0.0	0.0
	70歳以上	119	5.0	6.7	2.5	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛け■は最も割合が高いもの

図表 2-1-30 過去1年間に実施した運動やスポーツ 属性別②

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	ハンドボール	バドミントン	テニス・ソフトテニス	卓球	空手	剣道	柔道	ボクシング	相撲	登山・ハイキング・キャンプなど
全体		590	0.2	2.4	3.1	2.9	0.3	0.3	0.0	0.3	0.0	10.2
性別	男性	241	0.0	1.7	2.1	3.3	0.4	0.4	0.0	0.8	0.0	11.6
	女性	331	0.3	3.0	3.3	2.7	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	9.7
男性	29歳以下	22	0.0	0.0	4.5	4.5	4.5	0.0	0.0	4.5	0.0	9.1
	30歳代	23	0.0	4.3	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7
	40歳代	25	0.0	4.0	4.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0
	50歳代	36	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3
	60歳代	45	0.0	0.0	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.4
	70歳以上	89	0.0	2.2	2.2	3.4	0.0	1.1	0.0	1.1	0.0	6.7
女性	29歳以下	23	0.0	4.3	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7
	30歳代	36	0.0	2.8	5.6	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6
	40歳代	48	2.1	10.4	10.4	2.1	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
	50歳代	46	0.0	2.2	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0
	60歳代	59	0.0	3.4	3.4	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.3
	70歳以上	119	0.0	0.0	1.7	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2

		合計	サイクリング	乗馬	アイススケート・スケート	スキー・スノーボード	スキューバダイビング	マリンスポーツ（サーフィン・ヨット・ボートなど）	スケートボード・ローラースケート・インライン	BMX	スポーツクライミング（ボルダリングなど）・フリークライミング	モルック
全体		590	5.9	0.2	0.7	1.9	0.2	0.8	0.2	0.0	0.7	0.8
性別	男性	241	10.4	0.0	1.2	1.7	0.0	1.7	0.4	0.0	1.2	0.8
	女性	331	3.0	0.3	0.3	2.1	0.3	0.3	0.0	0.0	0.3	0.9
男性	29歳以下	22	9.1	0.0	4.5	4.5	0.0	0.0	4.5	0.0	4.5	0.0
	30歳代	23	17.4	0.0	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代	25	12.0	0.0	4.0	8.0	0.0	4.0	0.0	0.0	4.0	8.0
	50歳代	36	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	60歳代	45	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0
	70歳以上	89	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性	29歳以下	23	4.3	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	36	5.6	0.0	2.8	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0
	40歳代	48	4.2	0.0	0.0	8.3	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2
	50歳代	46	8.7	0.0	0.0	2.2	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	2.2
	60歳代	59	1.7	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳以上	119	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛け■は最も割合が高いもの

図表 2-1-31 過去1年間に実施した運動やスポーツ 属性別③

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	スポーツチャンバラ	カーリンコン	インディアカ	スローピッチソフトボール	ラダーゲッター	ボウリング	障がい者スポーツ	eスポーツ	その他	この1年間に運動やスポーツはしなかった	無回答
全体		590	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	5.4	0.3	0.8	3.1	12.2	2.5
性別	男性	241	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	1.7	3.3	12.9	3.3
	女性	331	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	4.2	0.6	0.3	2.7	11.8	1.5
男性	29歳以下	22	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.6	0.0	13.6	0.0	13.6	0.0
	30歳代	23	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	4.3	0.0	4.3	0.0
	40歳代	25	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.0	0.0	0.0	12.0	12.0	0.0
	50歳代	36	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	19.4	0.0
	60歳代	45	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.9	0.0	0.0	2.2	11.1	4.4
	70歳以上	89	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	4.5	13.5	6.7
女性	29歳以下	23	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	4.3	0.0	13.0	8.7	0.0
	30歳代	36	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	2.8	11.1	0.0
	40歳代	48	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.4	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0
	50歳代	46	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	2.2	0.0	13.0	0.0
	60歳代	59	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	1.7	13.6	1.7
	70歳以上	119	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.8	0.8	0.0	3.4	14.3	3.4

※網掛け■は最も割合が高いもの

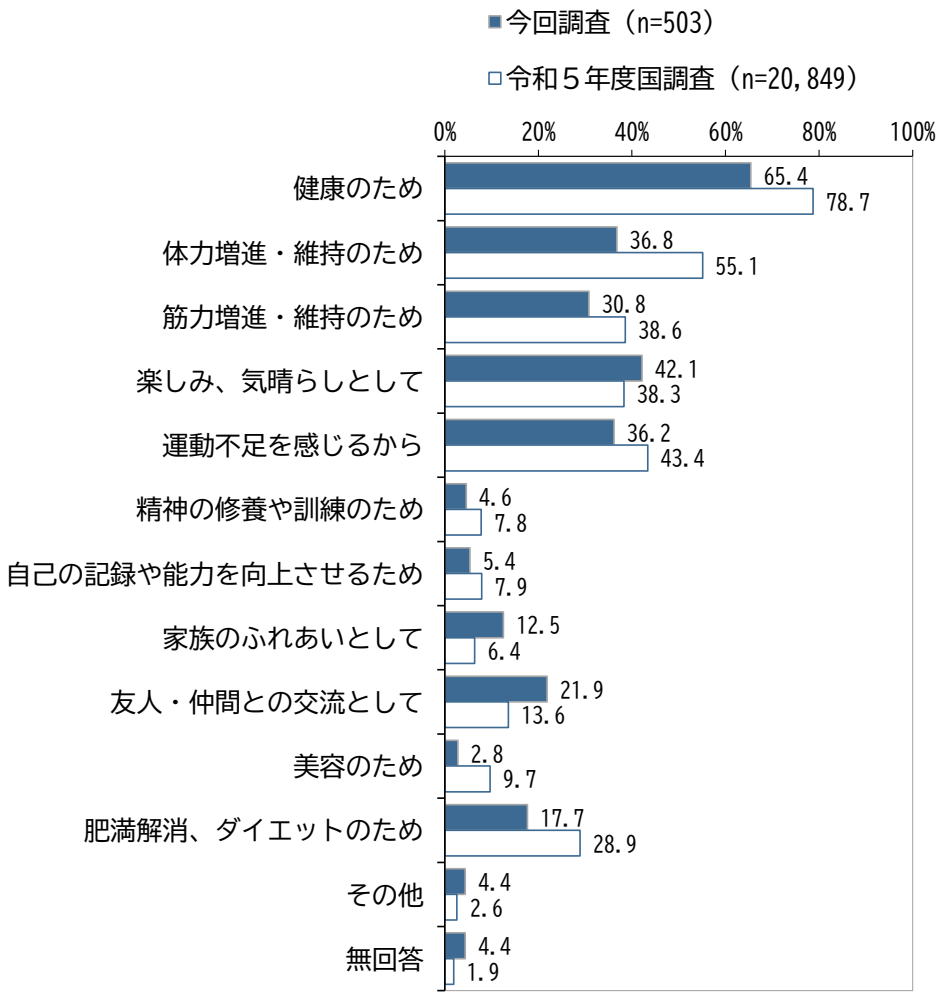
⑥ 運動やスポーツを実施した理由

問10－1	**問10で「1」から「49」を回答された方（この1年間に運動やスポーツを実施した方）にお聞きします。** この１年間で運動やスポーツを実施した理由はなんですか。（○はいくつでも）

運動やスポーツを実施した理由については、「健康のため」が 65.4％で最も高く、次いで「楽しみ、気晴らしとして」が 42.1％、「体力増進・維持のため」が 36.8％と続いています。

令和5（2023）年度国調査と比較すると、「友人・仲間との交流として」（21.9％）では、令和5（2023）年度国調査（13.6％）より 8.3 ポイント高くなっています。

図表 2-1-32　運動やスポーツを実施した理由



※ 国調査「この１年間で運動やスポーツを週に１日以上（年 51 日～100 日）実施した理由」の数値で比較、
今回調査の「無回答」について、国調査は「わからない」

性別でみると、男性・女性いずれも「健康のため」の割合が最も高くなっています。

性別・年齢階級別でみると、「健康のため」では、男性は 50 歳代が 86.2%で最も高く、女性は 60 歳代が 74.0%で最も高くなっています。

図表 2-1-33 運動やスポーツを実施した理由 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	健康のため	体力増進・維持のため	筋力増進・維持のため	楽しみ、気晴らしとして	運動不足を感じるから	精神の修養や訓練のため	自己の記録や能力を向上させるため	家族のふれあいとして	友人・仲間との交流として	美容のため
全体		503	65.4	36.8	30.8	42.1	36.2	4.6	5.4	12.5	21.9	2.8
性別	男性	202	72.8	40.1	34.2	45.0	35.1	4.5	7.4	10.9	25.2	0.5
	女性	287	60.3	34.8	27.5	40.8	37.6	4.5	3.5	13.9	19.5	4.5
男性	29歳以下	19	52.6	31.6	42.1	73.7	36.8	10.5	10.5	15.8	42.1	5.3
	30歳代	22	68.2	50.0	22.7	50.0	31.8	0.0	4.5	13.6	13.6	0.0
	40歳代	22	45.5	36.4	27.3	63.6	31.8	9.1	13.6	40.9	36.4	0.0
	50歳代	29	86.2	44.8	34.5	44.8	37.9	10.3	13.8	10.3	37.9	0.0
	60歳代	38	73.7	47.4	47.4	39.5	31.6	2.6	5.3	5.3	23.7	0.0
	70歳以上	71	83.1	35.2	31.0	32.4	38.0	1.4	4.2	2.8	15.5	0.0
女性	29歳以下	21	28.6	14.3	9.5	38.1	19.0	0.0	4.8	19.0	14.3	14.3
	30歳代	32	34.4	18.8	9.4	28.1	28.1	3.1	0.0	40.6	12.5	6.3
	40歳代	46	69.6	50.0	30.4	54.3	43.5	8.7	4.3	26.1	15.2	8.7
	50歳代	40	50.0	40.0	27.5	45.0	42.5	7.5	2.5	10.0	20.0	5.0
	60歳代	50	74.0	40.0	44.0	40.0	48.0	6.0	2.0	8.0	20.0	0.0
	70歳以上	98	68.4	32.7	27.6	37.8	34.7	2.0	5.1	3.1	24.5	2.0

		合計	肥満解消、ダイエットのため	その他	無回答
全体		503	17.7	4.4	4.4
性別	男性	202	14.9	2.5	4.5
	女性	287	20.2	5.6	3.8
男性	29歳以下	19	5.3	0.0	0.0
	30歳代	22	18.2	0.0	0.0
	40歳代	22	13.6	4.5	4.5
	50歳代	29	20.7	3.4	3.4
	60歳代	38	18.4	2.6	7.9
	70歳以上	71	12.7	2.8	5.6
女性	29歳以下	21	33.3	14.3	0.0
	30歳代	32	25.0	9.4	0.0
	40歳代	46	34.8	0.0	2.2
	50歳代	40	35.0	5.0	7.5
	60歳代	50	16.0	2.0	2.0
	70歳以上	98	5.1	7.1	6.1

※網掛け■は最も割合が高いもの

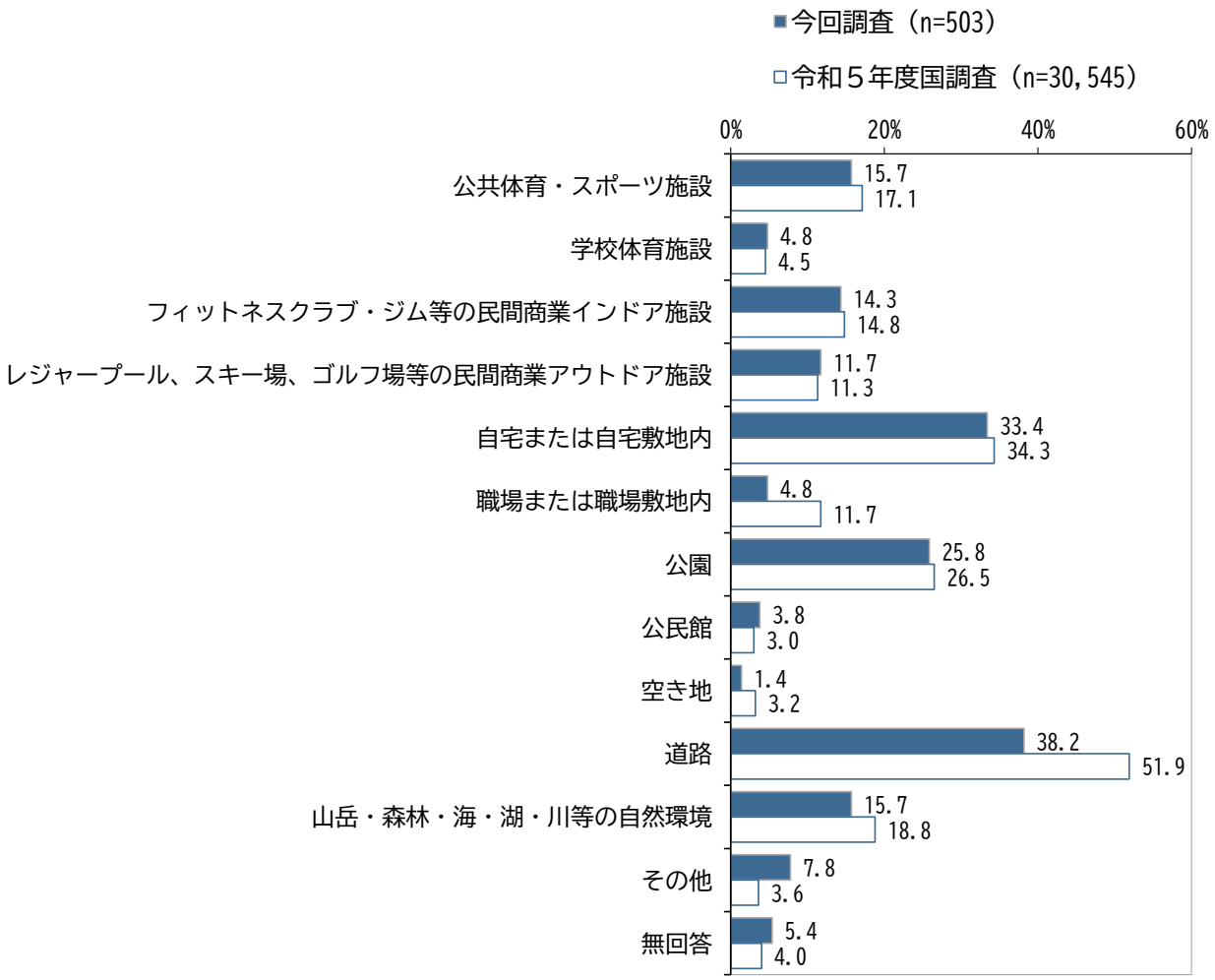
⑦ 運動やスポーツを実施した場所

問10－2	**問10で「1」から「49」を回答された方（この1年間に運動やスポーツを実施した方）にお聞きします。** この1年間に、運動やスポーツをどこで実施しましたか。（○はいくつでも）

運動やスポーツを実施した場所については、「道路」が 38.2%で最も高く、次いで「自宅または自宅敷地内」が 33.4%、「公園」が 25.8%と続いています。

令和5（2023）年度国調査と比較すると、「道路」（38.2%）では、令和5（2023）年度国調査（51.9%）より 13.7 ポイント低くなっています。

図表 2-1-34 運動やスポーツを実施した場所



※ 今回調査の「無回答」について、国調査は「わからない」

性別でみると、男性では「道路」が 43.1%で最も高く、女性では「自宅または自宅敷地内」が 36.9%で最も高くなっています。

性別・年齢階級別でみると、「道路」では、男性・50 歳代が 55.2%で最も高く、「自宅または自宅敷地内」では、女性・30 歳代が 46.9%で最も高くなっています。

図表 2-1-35 運動やスポーツを実施した場所 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	公共体育・スポーツ施設	学校体育施設	フィットネスクラブ・ジム等の民間商業インドア施設	レジャープール、スキー場、ゴルフ場等の民間商業アウトドア施設	自宅または自宅敷地内	職場または職場敷地内	公園	公民館	空き地	道路
全体		503	15.7	4.8	14.3	11.7	33.4	4.8	25.8	3.8	1.4	38.2
性別	男性	202	17.8	5.4	12.4	20.3	29.2	6.9	29.2	1.0	2.0	43.1
	女性	287	13.9	3.8	15.3	6.3	36.9	3.5	22.6	5.9	0.7	35.5
男性	29歳以下	19	42.1	26.3	21.1	26.3	21.1	5.3	31.6	5.3	5.3	26.3
	30歳代	22	4.5	4.5	18.2	13.6	18.2	13.6	18.2	0.0	0.0	45.5
	40歳代	22	31.8	9.1	9.1	40.9	27.3	9.1	31.8	0.0	0.0	36.4
	50歳代	29	10.3	0.0	6.9	24.1	24.1	6.9	27.6	0.0	0.0	55.2
	60歳代	38	15.8	2.6	18.4	21.1	31.6	7.9	23.7	0.0	0.0	44.7
	70歳以上	71	15.5	2.8	8.5	12.7	36.6	4.2	35.2	1.4	4.2	43.7
女性	29歳以下	21	0.0	19.0	9.5	9.5	28.6	4.8	19.0	4.8	0.0	42.9
	30歳代	32	15.6	0.0	9.4	3.1	46.9	6.3	43.8	0.0	0.0	37.5
	40歳代	46	17.4	4.3	15.2	17.4	41.3	2.2	15.2	4.3	0.0	41.3
	50歳代	40	10.0	2.5	22.5	7.5	40.0	10.0	27.5	7.5	0.0	42.5
	60歳代	50	20.0	4.0	24.0	2.0	34.0	0.0	18.0	8.0	0.0	30.0
	70歳以上	98	13.3	2.0	11.2	3.1	33.7	2.0	20.4	7.1	2.0	30.6

		合計	山岳・森林・海・湖・川等の自然環境	その他	無回答
全体		503	15.7	7.8	5.4
性別	男性	202	15.8	6.9	4.0
	女性	287	16.0	8.4	5.9
男性	29歳以下	19	15.8	5.3	0.0
	30歳代	22	13.6	9.1	0.0
	40歳代	22	27.3	0.0	4.5
	50歳代	29	27.6	3.4	0.0
	60歳代	38	21.1	5.3	7.9
	70歳以上	71	4.2	11.3	5.6
女性	29歳以下	21	14.3	4.8	4.8
	30歳代	32	9.4	3.1	0.0
	40歳代	46	34.8	4.3	4.3
	50歳代	40	17.5	5.0	7.5
	60歳代	50	22.0	8.0	2.0
	70歳以上	98	6.1	14.3	10.2

※網掛け■は最も割合が高いもの

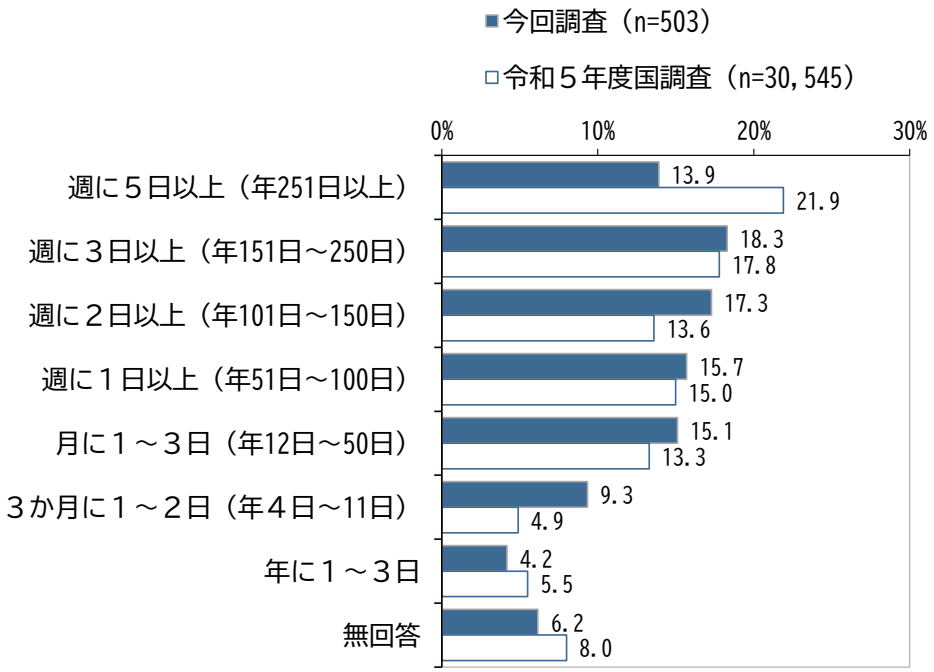
⑧ 運動やスポーツを実施した日数

問10－3	**問10で「1」から「49」を回答された方（この1年間に運動やスポーツを実施した方）にお聞きします。** この 1 年間に運動やスポーツを実施した日数を全部合わせると、何日くらいになりますか。（○は1つ）

運動やスポーツを実施した日数については、「週に3日以上（年 151 日～250 日）」が 18.3%で最も高く、次いで「週に2日以上（年 101 日～150 日）」が 17.3%、「週に1日以上（年 51 日～100 日）」が 15.7%と続いています。

令和5（2023）年度国調査と比較すると、「週に5日以上（年 251 日以上）」（13.9%）では、令和5（2023）年度国調査（21.9%）より 8.0 ポイント低くなっています。

図表 2-1-36 運動やスポーツを実施した日数



※ 今回調査の「無回答」について、国調査は「わからない」

性別でみると、男性では「週に2日以上(年 101 日～150 日)」が 19.8%で最も高く、女性では「週に3日以上(年 151 日～250 日)」が 19.2%で最も高くなっています。

性別・年齢階級別でみると、『週に1日以上』(「週に5日以上(年 251 日以上)」と「週に3日以上(年 151 日～250 日)」、「週に2日以上(年 101 日～150 日)」、「週に1日以上(年 51 日～100 日)」の合計)は、男性では 70 歳以上が 80.4%で最も高く、女性では 60 歳代が 70.0%で最も高くなっています。

図表 2-1-37 運動やスポーツを実施した日数 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

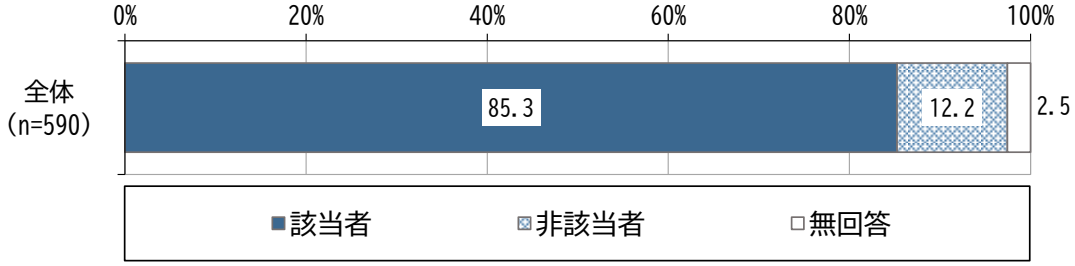
		合計	週に5日以上(年251日以上)	週に3日以上(年151日～250日)	週に2日以上(年101日～150日)	週に1日以上(年51日～100日)	月に1～3日(年12日～50日)	3か月に1～2日(年4日～11日)	年に1～3日	無回答
全体		503	13.9	18.3	17.3	15.7	15.1	9.3	4.2	6.2
性別	男性	202	17.8	17.3	19.8	14.4	15.8	7.9	3.0	4.0
	女性	287	11.1	19.2	16.4	16.4	14.3	10.5	5.2	7.0
男性	29歳以下	19	5.3	21.1	31.6	21.1	15.8	5.3	0.0	0.0
	30歳代	22	18.2	0.0	18.2	22.7	13.6	18.2	9.1	0.0
	40歳代	22	4.5	4.5	18.2	18.2	27.3	18.2	4.5	4.5
	50歳代	29	6.9	10.3	13.8	27.6	24.1	10.3	6.9	0.0
	60歳代	38	23.7	15.8	28.9	5.3	13.2	5.3	0.0	7.9
	70歳以上	71	26.8	29.6	15.5	8.5	9.9	2.8	1.4	5.6
女性	29歳以下	21	4.8	19.0	14.3	14.3	23.8	9.5	9.5	4.8
	30歳代	32	3.1	12.5	9.4	21.9	25.0	18.8	9.4	0.0
	40歳代	46	2.2	17.4	19.6	17.4	19.6	8.7	10.9	4.3
	50歳代	40	22.5	5.0	10.0	30.0	5.0	12.5	5.0	10.0
	60歳代	50	14.0	18.0	18.0	20.0	10.0	14.0	4.0	2.0
	70歳以上	98	13.3	28.6	19.4	7.1	12.2	6.1	1.0	12.2

※網掛け■は最も割合が高いもの

■年１日以上の運動やスポーツの実施者の割合

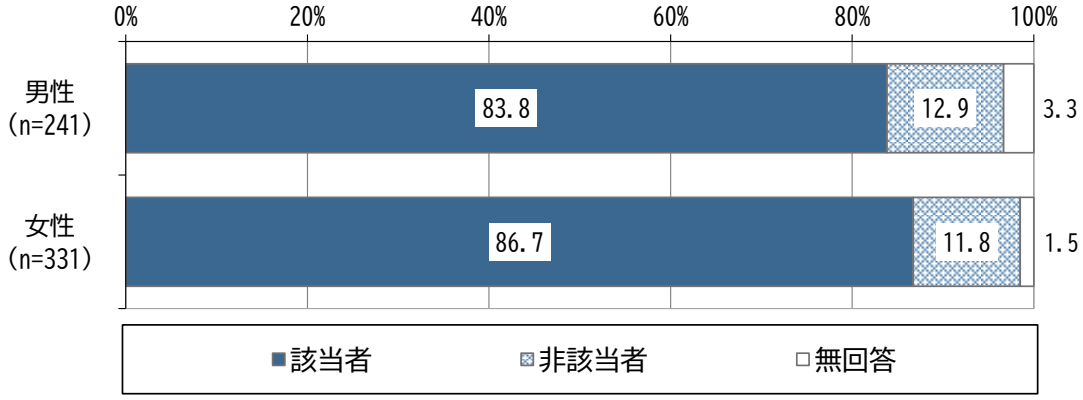
年１日以上の運動やスポーツの実施者（問10で「1. ウォーキング（散歩などを含む）」から「49. その他」のいずれかを回答した人）の割合については、全体で 85.3%となっています。

図表 2-1-38　年１日以上の運動やスポーツの実施者の割合



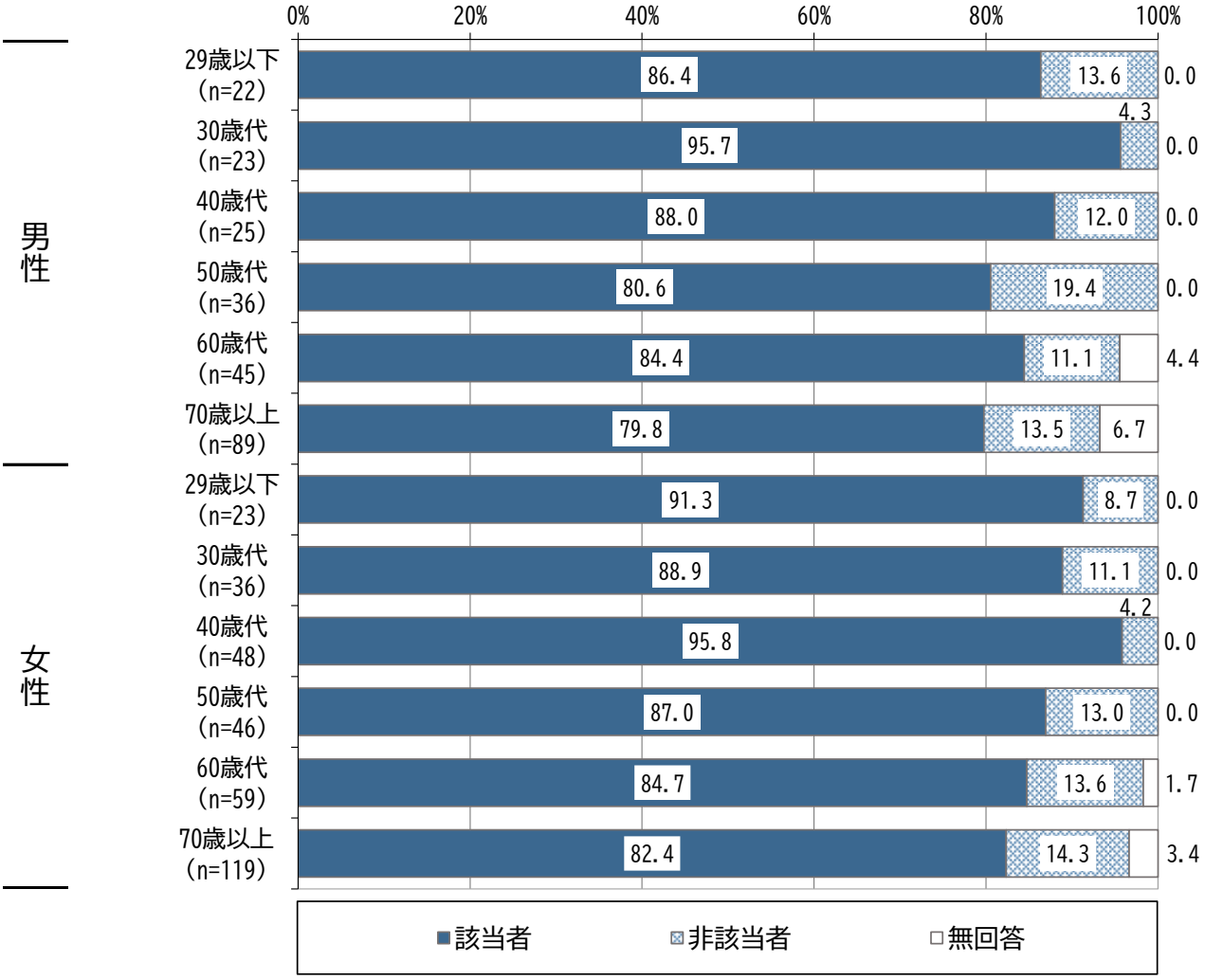
年１日以上の運動やスポーツの実施者の割合を性別でみると、男性が 83.8%、女性が 86.7%となっています。

図表 2-1-39　年１日以上の運動やスポーツの実施者の割合　性別



年 1 日以上の運動やスポーツの実施者の割合を性別・年齢階級別でみると、男性では 30 歳代が 95.7%で最も高く、女性では 40 歳代が 95.8%で最も高くなっています。

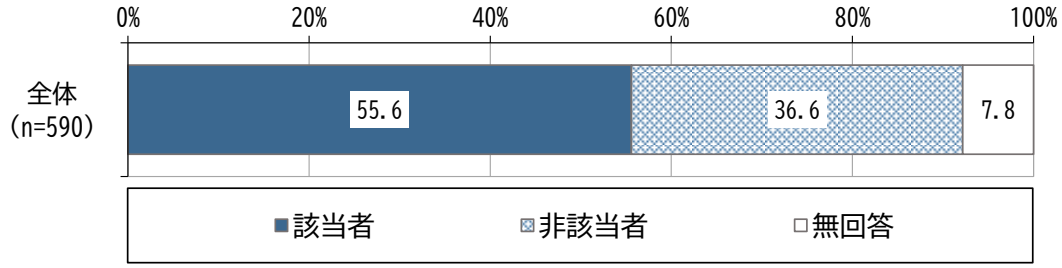
図表 2-1-40　年 1 日以上の運動やスポーツの実施者の割合　性別・年齢階級別



■週１日以上の運動やスポーツの実施者の割合

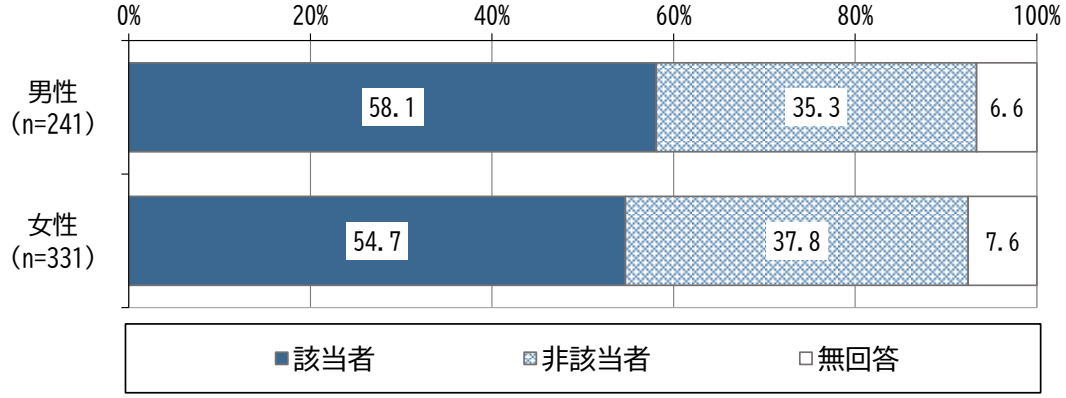
週 1 日以上の運動やスポーツの実施者（問10で「1. ウォーキング（散歩などを含む）」から「49. その他」のいずれかを回答し、問 10-3で「1. 週に5日以上（年 251 日以上）」、「2. 週に3日以上（年 151 日～250 日）」、「3. 週に2日以上（年 101 日～150 日）」、「4. 週に1日以上（年 51 日～100 日）」のいずれかを回答した人）の割合については、全体で 55.6％となっています。

図表 2-1-41 週１日以上の運動やスポーツの実施者の割合



週 1 日以上の運動やスポーツの実施者の割合を性別でみると、男性が 58.1%、女性が 54.7％となっています。

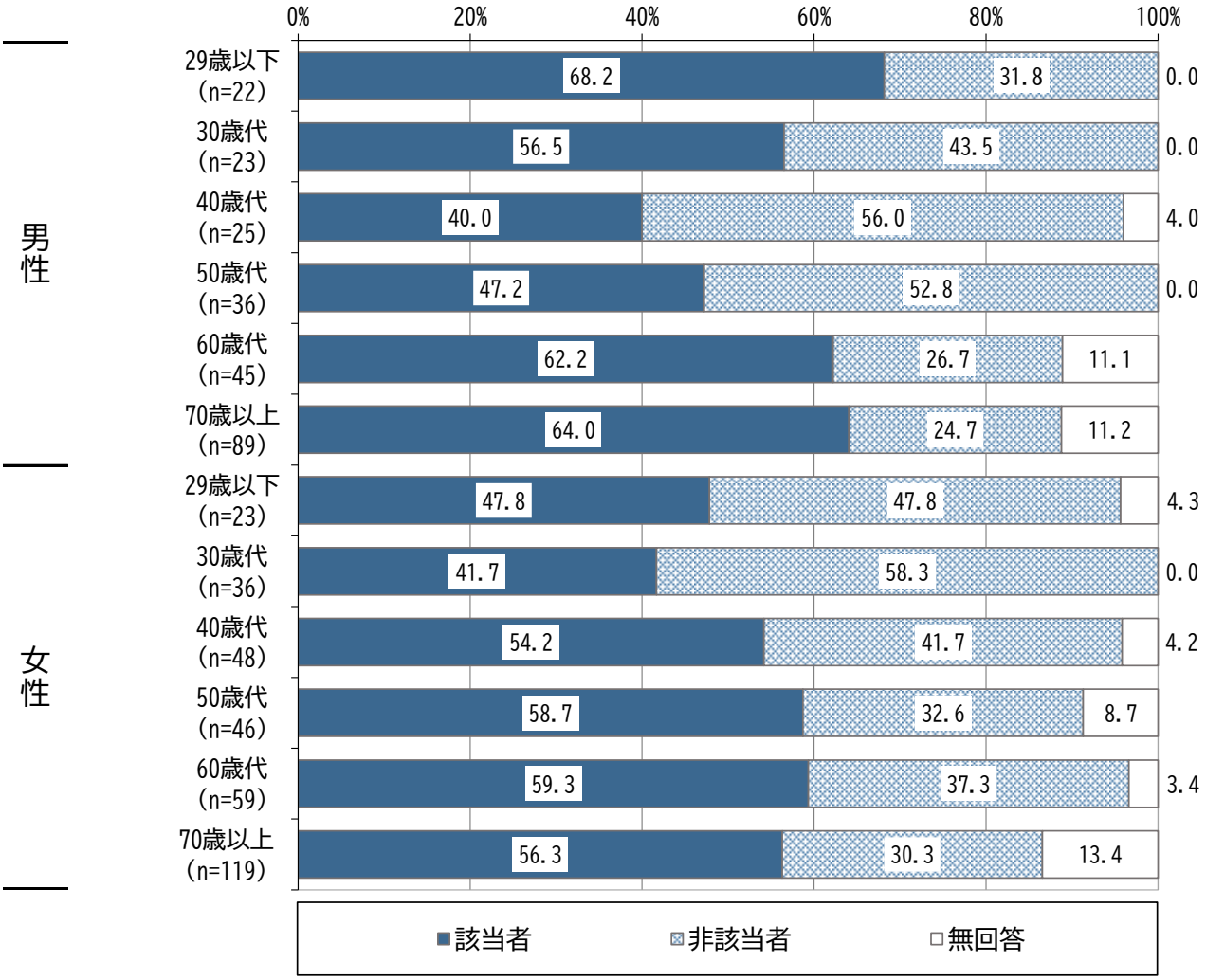
図表 2-1-42 週１日以上の運動やスポーツの実施者の割合 性別



週 1 日以上の運動やスポーツの実施者の割合を性別・年齢階級別でみると、男性では 29 歳以下が 68.2%で最も高く、女性では 60 歳代が 59.3%で最も高くなっています。

また、男性では 40 歳代が 40.0%で最も低く、女性では 30 歳代が 41.7%で最も低くなっています。

図表 2-1-43 週 1 日以上の運動やスポーツの実施者の割合 性別・年齢階級別



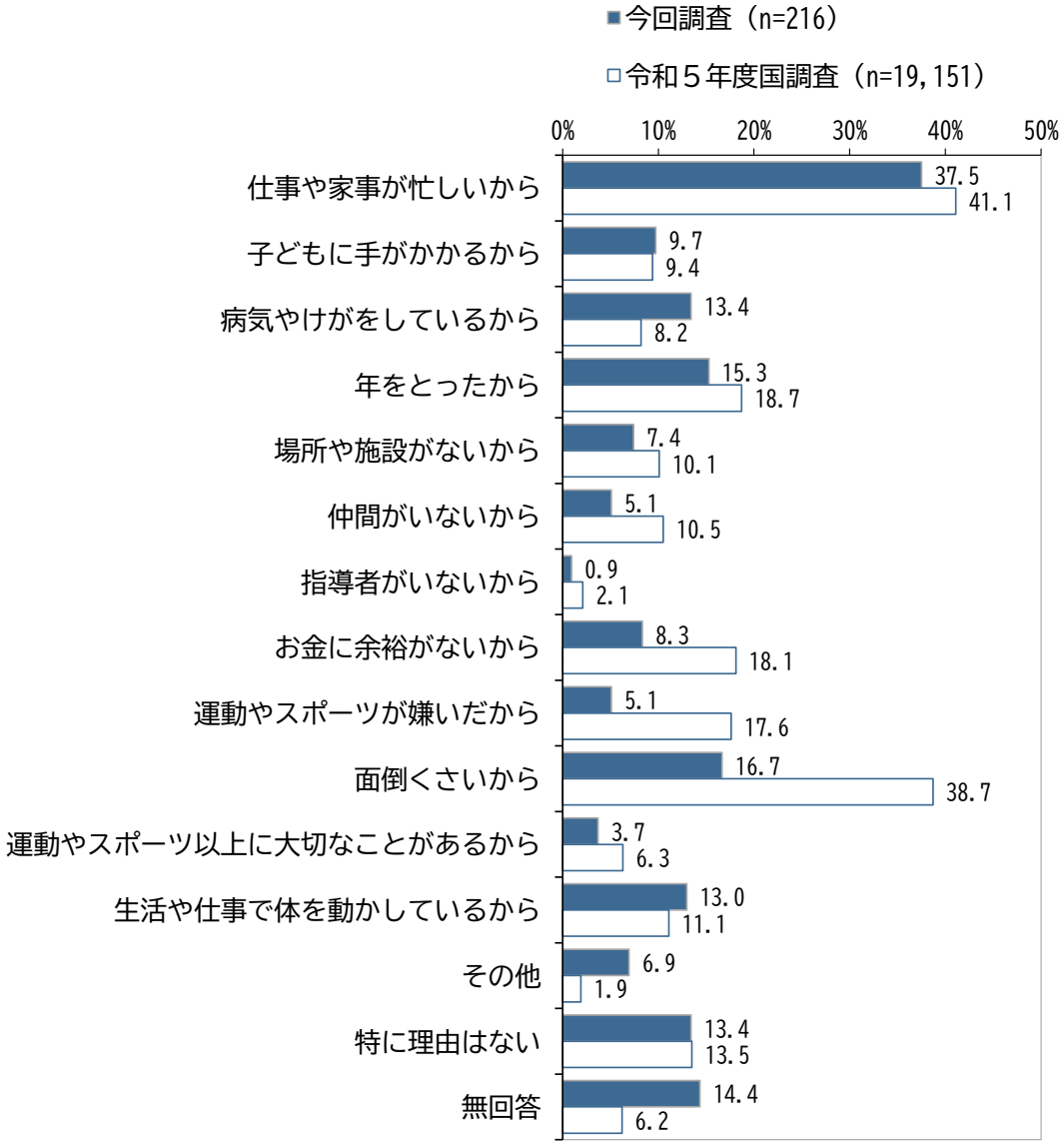
⑨ 運動やスポーツを週1日以上実施できなかった理由

問10－4	**問10で「50. この 1 年間に運動やスポーツはしなかった」を回答された方及び問 10-3で「5」～「7」を回答された方にお聞きします。** この 1 年間で運動やスポーツを週1日以上(年 51 日～100 日以上)実施できなかった理由はなんですか。(○はいくつでも)

運動やスポーツを週1日以上実施できなかった理由については、「仕事や家事が忙しいから」が 37.5%で最も高く、次いで「面倒くさいから」が 16.7%、「年をとったから」が 15.3%と続いています。

令和5(2023)年度国調査と比較すると、「面倒くさいから」(16.7%)では、令和5(2023)年度国調査(38.7%)より 22.0 ポイント低くなっています。

図表 2-1-44 運動やスポーツを週1日以上実施できなかった理由



※ 今回調査の「無回答」について、国調査は「わからない」

性別でみると、男性・女性いずれも「仕事や家事が忙しいから」の割合が最も高くなっています。

性別・年齢階級別でみると、「仕事や家事が忙しいから」は、男性では 30 歳代が 60.0%で最も高く、女性では 40 歳代が 60.0%で最も高くなっています。

図表 2-1-45 運動やスポーツを週1日以上実施できなかった理由 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	仕事や家事が忙しいから	子どもに手がかかるから	病気やけがをしているから	年をとったから	場所や施設がないから	仲間がいないから	指導者がいないから	お金に余裕がないから	運動やスポーツが嫌いだから	面倒くさいから
全体		216	37.5	9.7	13.4	15.3	7.4	5.1	0.9	8.3	5.1	16.7
性別	男性	85	41.2	5.9	15.3	20.0	7.1	3.5	0.0	10.6	4.7	15.3
	女性	125	36.0	12.0	12.0	12.8	7.2	6.4	1.6	5.6	5.6	17.6
男性	29歳以下	7	42.9	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	28.6	28.6	14.3
	30歳代	10	60.0	20.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0	10.0	0.0	10.0
	40歳代	14	42.9	7.1	7.1	7.1	14.3	7.1	0.0	14.3	0.0	14.3
	50歳代	19	57.9	5.3	21.1	0.0	5.3	0.0	0.0	10.5	5.3	15.8
	60歳代	12	50.0	0.0	25.0	41.7	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	16.7
	70歳以上	22	13.6	0.0	18.2	50.0	4.5	0.0	0.0	4.5	4.5	18.2
女性	29歳以下	11	36.4	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	18.2
	30歳代	21	52.4	38.1	9.5	0.0	9.5	4.8	0.0	9.5	4.8	23.8
	40歳代	20	60.0	30.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	25.0
	50歳代	15	53.3	0.0	6.7	13.3	20.0	26.7	0.0	20.0	6.7	26.7
	60歳代	22	22.7	0.0	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	4.5	9.1	13.6
	70歳以上	36	13.9	0.0	25.0	30.6	5.6	2.8	0.0	0.0	5.6	8.3

		合計	運動やスポーツ以上に大切なことがあるから	生活や仕事で体を動かしているから	その他	特に理由はない	無回答
全体		216	3.7	13.0	6.9	13.4	14.4
性別	男性	85	1.2	14.1	7.1	9.4	11.8
	女性	125	5.6	12.0	6.4	15.2	16.8
男性	29歳以下	7	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
	30歳代	10	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0
	40歳代	14	7.1	7.1	0.0	21.4	21.4
	50歳代	19	0.0	5.3	5.3	5.3	15.8
	60歳代	12	0.0	50.0	8.3	8.3	0.0
	70歳以上	22	0.0	18.2	13.6	4.5	13.6
女性	29歳以下	11	18.2	0.0	0.0	18.2	27.3
	30歳代	21	4.8	4.8	4.8	0.0	28.6
	40歳代	20	10.0	25.0	10.0	10.0	30.0
	50歳代	15	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0
	60歳代	22	4.5	18.2	4.5	22.7	13.6
	70歳以上	36	2.8	13.9	11.1	25.0	8.3

※網掛け■は最も割合が高いもの

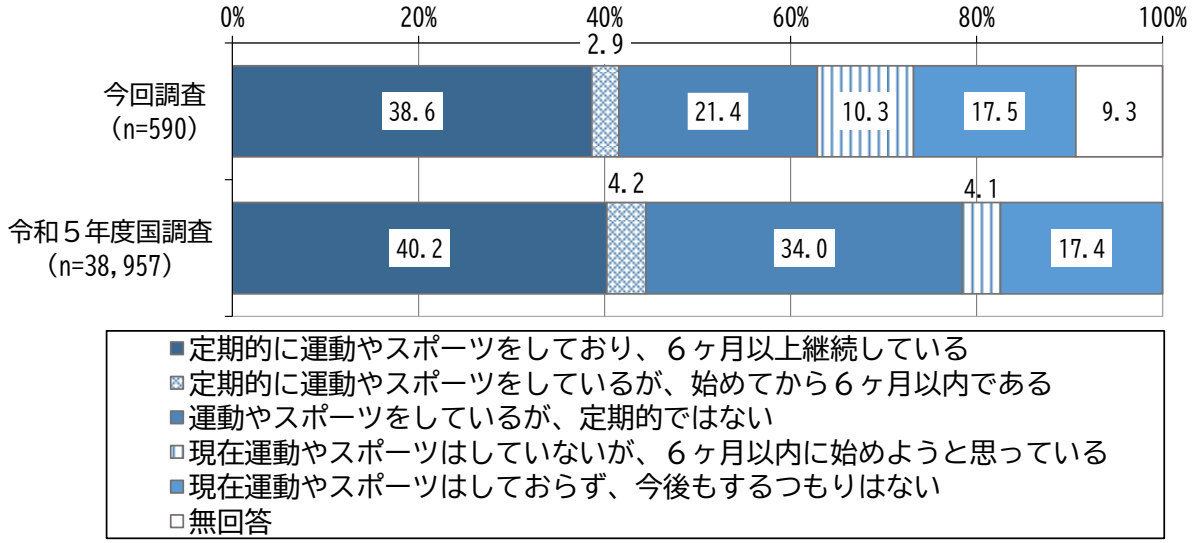
⑩ 運動やスポーツの今後の実施予定

問11	運動やスポーツについて、現在の状況と今後の予定について教えてください。(○は1つ)

運動やスポーツの今後の実施予定については、「定期的に運動やスポーツをしており、6ヶ月以上継続している」が 38.6%で最も高く、次いで「運動やスポーツをしているが、定期的ではない」が 21.4%、「現在運動やスポーツはしておらず、今後もするつもりはない」が 17.5%と続いています。

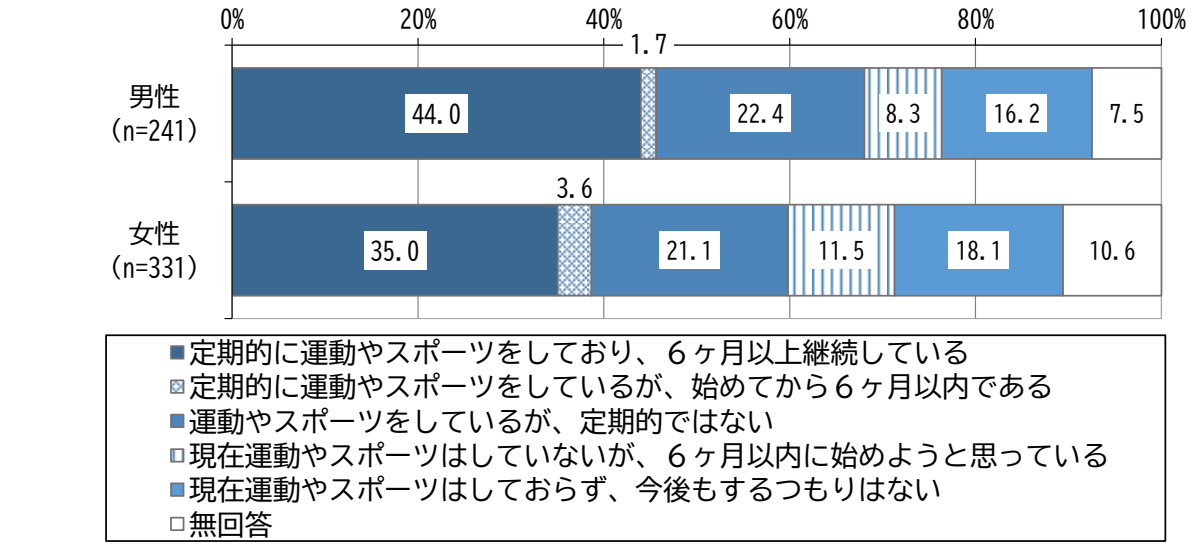
令和5(2023)年度国調査と比較すると、「現在運動やスポーツはしていないが、6ヶ月以内に始めようと思っている」(10.3%)では、令和5(2023)年度国調査(4.1%)より 6.2 ポイント高くなっています。

図表 2-1-46 運動やスポーツの今後の実施予定



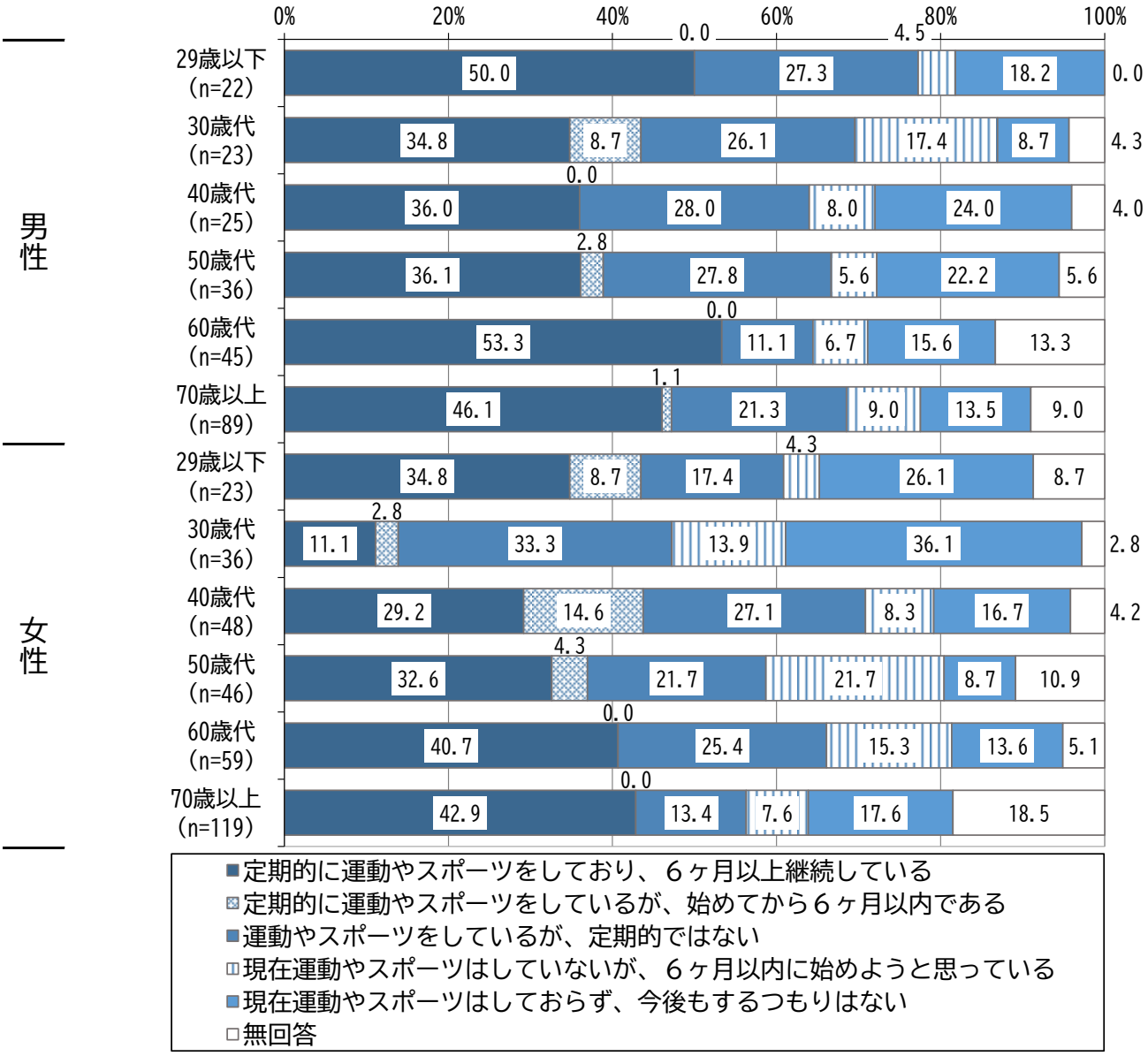
性別でみると、「定期的に運動やスポーツをしており、6ヶ月以上継続している」では、男性が 44.0%、女性が 35.0%となっています。

図表 2-1-47 運動やスポーツの今後の実施予定 性別



性別・年齢階級別でみると、「定期的に運動やスポーツをしており、6ヶ月以上継続している」では、男性・60歳代が 53.3%で最も高く、「現在運動やスポーツはしておらず、今後もするつもりはない」では、女性・30 歳代が 36.1%で最も高くなっています。

図表 2-1-48 運動やスポーツの今後の実施予定 性別・年齢階級別

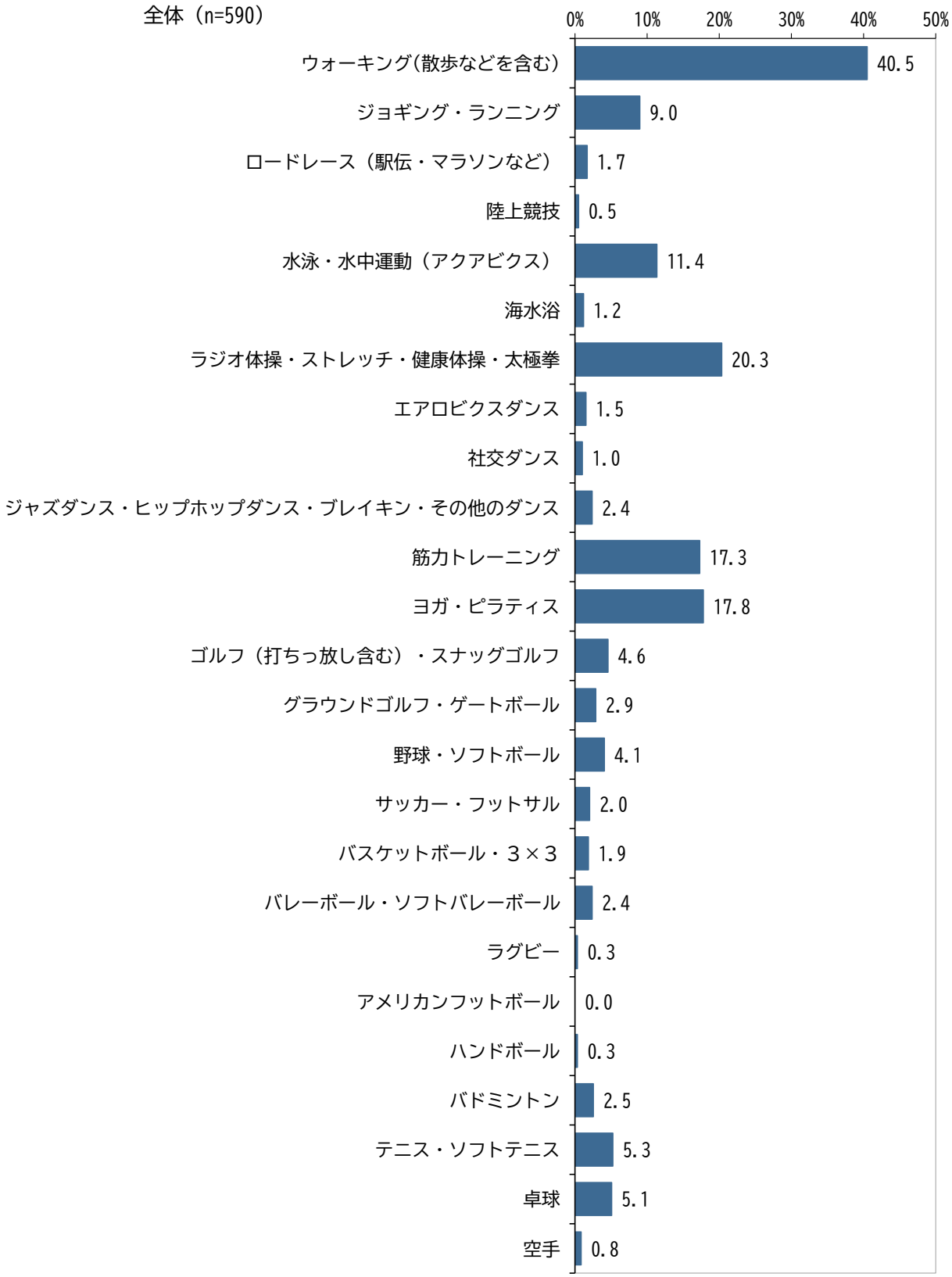


⑪ 今後始めてみたい運動やスポーツ

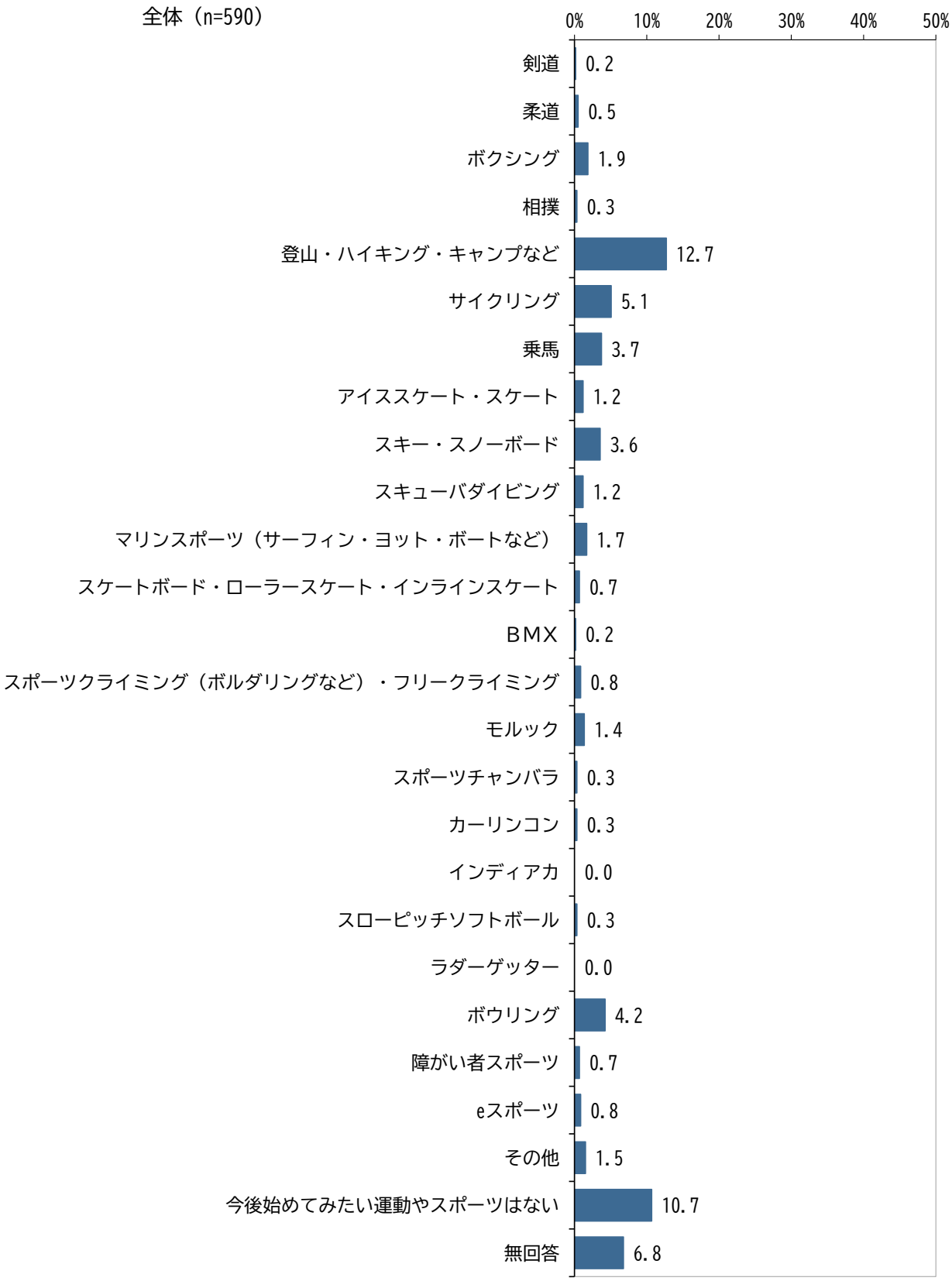
問12	今後あなたが始めてみたい運動やスポーツがあればあげてください。(○はいくつでも)

今後始めてみたい運動やスポーツについては、「ウォーキング(散歩などを含む)」が 40.5%で最も高く、次いで「ラジオ体操・ストレッチ・健康体操・太極拳」が 20.3%、「ヨガ・ピラティス」が 17.8%と続いています。

図表 2-1-49 今後始めてみたい運動やスポーツ①



図表 2-1-50 今後始めてみたい運動やスポーツ②



性別でみると、男性・女性いずれも「ウォーキング（散歩などを含む）」の割合が最も高くなっています。

性別・年齢階級別でみると、男性・29 歳以下では「登山・ハイキング・キャンプなど」が、男性・30 歳代では「筋力トレーニング」が、男性・40歳代では「ジョギング・ランニング」が、女性・39歳以下（29歳以下・30歳代）では「ヨガ・ピラティス」が、女性・40 歳代では「ウォーキング（散歩などを含む）」、「ヨガ・ピラティス」が、それ以外の性別・年齢階級別では「ウォーキング（散歩などを含む）」の割合が最も高くなっています。

図表 2-1-51 今後始めてみたい運動やスポーツ 属性別①

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	ウォーキング（散歩などを含む）	ジョギング・ランニング	ロードレース（駅伝・マラソンなど）	陸上競技	水泳・水中運動（アクアビクス）	海水浴	ラジオ体操・ストレッチ・健康体操・太極拳	エアロビクスダンス	社交ダンス	ジャズダンス・ヒップホップダンス・ブレイキン・その他のダンス
全体		590	40.5	9.0	1.7	0.5	11.4	1.2	20.3	1.5	1.0	2.4
性別	男性	241	40.2	13.7	3.3	1.2	11.2	1.7	13.3	0.0	0.8	0.8
	女性	331	40.8	6.0	0.6	0.0	11.5	0.9	25.1	2.7	0.6	3.6
男性	29歳以下	22	18.2	9.1	4.5	4.5	13.6	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0
	30歳代	23	39.1	34.8	4.3	4.3	8.7	8.7	8.7	0.0	0.0	0.0
	40歳代	25	16.0	24.0	8.0	4.0	8.0	4.0	8.0	0.0	8.0	4.0
	50歳代	36	41.7	13.9	8.3	0.0	13.9	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0
	60歳代	45	40.0	11.1	2.2	0.0	11.1	0.0	6.7	0.0	0.0	2.2
	70歳以上	89	52.8	7.9	0.0	0.0	11.2	1.1	22.5	0.0	0.0	0.0
女性	29歳以下	23	21.7	8.7	4.3	0.0	0.0	0.0	13.0	0.0	0.0	4.3
	30歳代	36	41.7	11.1	0.0	0.0	22.2	0.0	11.1	8.3	0.0	2.8
	40歳代	48	39.6	16.7	2.1	0.0	10.4	2.1	20.8	4.2	0.0	12.5
	50歳代	46	41.3	4.3	0.0	0.0	15.2	0.0	23.9	4.3	2.2	4.3
	60歳代	59	40.7	0.0	0.0	0.0	10.2	3.4	39.0	1.7	0.0	3.4
	70歳以上	119	44.5	3.4	0.0	0.0	10.1	0.0	26.9	0.8	0.8	0.0

		合計	筋力トレーニング	ヨガ・ピラティス	ゴルフ（打ちっ放し含む）・スナッグゴルフ	グラウンドゴルフ・ゲートボール	野球・ソフトボール	サッカー・フットサル	バスケットボール・3×3	バレーボール・ソフトバレーボール	ラグビー	アメリカンフットボール
全体		590	17.3	17.8	4.6	2.9	4.1	2.0	1.9	2.4	0.3	0.0
性別	男性	241	19.9	3.7	6.2	3.3	7.9	5.0	2.5	1.2	0.8	0.0
	女性	331	16.3	27.8	3.3	2.7	1.2	0.0	1.5	3.3	0.0	0.0
男性	29歳以下	22	9.1	0.0	13.6	0.0	4.5	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	23	47.8	8.7	0.0	0.0	13.0	17.4	13.0	8.7	4.3	0.0
	40歳代	25	12.0	12.0	4.0	0.0	16.0	16.0	8.0	4.0	0.0	0.0
	50歳代	36	22.2	5.6	5.6	0.0	16.7	2.8	2.8	0.0	2.8	0.0
	60歳代	45	22.2	4.4	13.3	4.4	4.4	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳以上	89	15.7	0.0	3.4	6.7	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性	29歳以下	23	8.7	26.1	4.3	0.0	0.0	0.0	4.3	4.3	0.0	0.0
	30歳代	36	19.4	47.2	2.8	2.8	2.8	0.0	5.6	8.3	0.0	0.0
	40歳代	48	29.2	39.6	2.1	2.1	2.1	0.0	2.1	6.3	0.0	0.0
	50歳代	46	19.6	37.0	10.9	0.0	4.3	0.0	2.2	6.5	0.0	0.0
	60歳代	59	18.6	33.9	1.7	3.4	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0
	70歳以上	119	9.2	10.9	1.7	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛け■は最も割合が高いもの

図表 2-1-52 今後始めてみたい運動やスポーツ 属性別②

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	ハンドボール	バドミントン	テニス・ソフトテニス	卓球	空手	剣道	柔道	ボクシング	相撲	登山・ハイキング・キャンプなど
全体		590	0.3	2.5	5.3	5.1	0.8	0.2	0.5	1.9	0.3	12.7
性別	男性	241	0.8	2.5	5.8	4.6	0.8	0.4	0.4	1.2	0.4	13.7
性別	女性	331	0.0	2.4	5.1	5.4	0.9	0.0	0.6	2.4	0.3	11.5
男性	29歳以下	22	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3
男性	30歳代	23	0.0	13.0	13.0	4.3	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	8.7
男性	40歳代	25	0.0	4.0	20.0	8.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	16.0
男性	50歳代	36	2.8	0.0	2.8	5.6	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	13.9
男性	60歳代	45	0.0	0.0	8.9	4.4	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	15.6
男性	70歳以上	89	0.0	2.2	1.1	4.5	1.1	1.1	1.1	0.0	1.1	10.1
女性	29歳以下	23	0.0	8.7	13.0	4.3	4.3	0.0	0.0	8.7	0.0	13.0
女性	30歳代	36	0.0	5.6	5.6	2.8	5.6	0.0	5.6	2.8	2.8	8.3
女性	40歳代	48	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	22.9
女性	50歳代	46	0.0	6.5	10.9	10.9	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	13.0
女性	60歳代	59	0.0	1.7	1.7	8.5	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	13.6
女性	70歳以上	119	0.0	0.0	1.7	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9

		合計	サイクリング	乗馬	アイススケート・スケート	スキー・スノーボード	スキューバダイビング	マリンスポーツ（サーフィン・ヨット・ボートなど）	スケートボード・ローラースケート・インライン	BMX	スポーツクライミング（ボルダリングなど）・フリークライミング	モルック
全体		590	5.1	3.7	1.2	3.6	1.2	1.7	0.7	0.2	0.8	1.4
性別	男性	241	6.6	3.7	0.0	4.1	1.2	2.5	1.7	0.0	0.4	0.4
性別	女性	331	3.9	3.3	2.1	3.3	1.2	1.2	0.0	0.3	1.2	1.8
男性	29歳以下	22	9.1	4.5	0.0	9.1	4.5	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
男性	30歳代	23	21.7	17.4	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性	40歳代	25	12.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	4.0	0.0	4.0	0.0
男性	50歳代	36	2.8	2.8	0.0	11.1	2.8	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0
男性	60歳代	45	4.4	4.4	0.0	2.2	2.2	4.4	2.2	0.0	0.0	0.0
男性	70歳以上	89	3.4	1.1	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1
女性	29歳以下	23	4.3	8.7	17.4	13.0	4.3	4.3	0.0	0.0	4.3	0.0
女性	30歳代	36	5.6	2.8	2.8	11.1	2.8	2.8	0.0	2.8	5.6	0.0
女性	40歳代	48	6.3	6.3	4.2	4.2	0.0	2.1	0.0	0.0	2.1	2.1
女性	50歳代	46	8.7	6.5	0.0	4.3	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	2.2
女性	60歳代	59	3.4	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4
女性	70歳以上	119	0.8	0.8	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7

※網掛け■は最も割合が高いもの

図表 2-1-53 今後始めてみたい運動やスポーツ 属性別③

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	スポーツチャンバラ	カーリンコン	インディアカ	スローピッチソフトボール	ラダーゲッター	ボウリング	障がい者スポーツ	eスポーツ	その他	今後始めてみたい運動やスポーツはない	無回答
全体		590	0.3	0.3	0.0	0.3	0.0	4.2	0.7	0.8	1.5	10.7	6.8
性別	男性	241	0.4	0.0	0.0	0.4	0.0	4.6	0.8	1.7	1.7	12.9	6.2
	女性	331	0.3	0.6	0.0	0.3	0.0	4.2	0.6	0.3	1.5	9.4	6.9
男性	29歳以下	22	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	9.1	0.0	18.2	4.5
	30歳代	23	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代	25	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	4.0	0.0	20.0	0.0
	50歳代	36	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	2.8	2.8	0.0	19.4	0.0
	60歳代	45	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	2.2	8.9	6.7
	70歳以上	89	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	2.2	0.0	0.0	3.4	11.2	12.4
女性	29歳以下	23	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	4.3	0.0	0.0	17.4	8.7
	30歳代	36	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	2.8	2.8	0.0
	40歳代	48	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	2.1	6.3	2.1
	50歳代	46	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	2.2	2.2	6.5	0.0
	60歳代	59	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.8	0.0	0.0	0.0	8.5	1.7
	70歳以上	119	0.8	1.7	0.0	0.0	0.0	4.2	0.8	0.0	1.7	12.6	16.0

※網掛け■は最も割合が高いもの

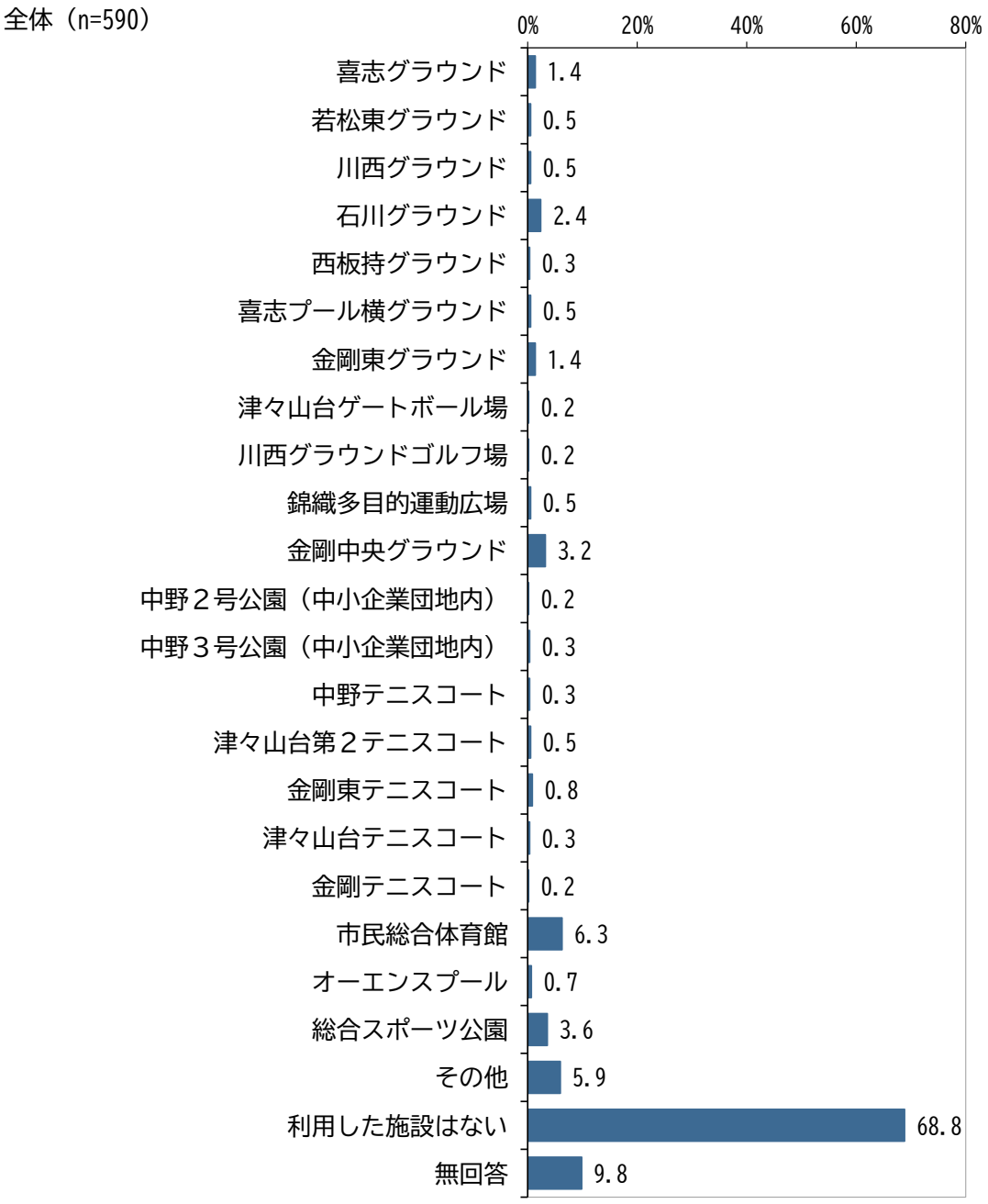
(3)スポーツ施設について

① 過去1年間で利用した富田林市内のスポーツ施設

問13	あなたがこの1年間で利用した富田林市内の公共のスポーツ施設はどこですか。 (○はいくつでも)

過去1年間で利用した富田林市内のスポーツ施設については、「利用した施設はない」が 68.8%で最も高く、次いで「市民総合体育館」が 6.3%、「その他」が 5.9%と続いています。

図表 2-1-54 過去1年間で利用した富田林市内のスポーツ施設



性別でみると、「利用した施設はない」では、男性が 67.6%、女性が 70.4%となっています。

性別・年齢階級別でみると、「利用した施設はない」では、女性・29 歳以下が 87.0%で最も高くなっています。

図表 2-1-55 過去1年間で利用した富田林市内のスポーツ施設 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	喜志グラウンド	若松東グラウンド	川西グラウンド	石川グラウンド	西板持グラウンド	喜志プール横グラウンド	金剛東グラウンド	津々山台ゲートボール場	川西グラウンドゴルフ場	錦織多目的運動広場	金剛中央グラウンド	中野2号公園（中小企業団地内）
全体		590	1.4	0.5	0.5	2.4	0.3	0.5	1.4	0.2	0.2	0.5	3.2	0.2
性別	男性	241	2.1	1.2	0.4	3.3	0.4	0.0	2.1	0.0	0.4	0.4	3.7	0.4
	女性	331	0.9	0.0	0.6	1.5	0.3	0.9	0.9	0.3	0.0	0.3	2.7	0.0
男性	29歳以下	22	4.5	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
	30歳代	23	8.7	0.0	4.3	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0
	40歳代	25	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0
	50歳代	36	0.0	2.8	0.0	2.8	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60歳代	45	0.0	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	2.2
	70歳以上	89	1.1	0.0	0.0	3.4	1.1	0.0	3.4	0.0	1.1	0.0	4.5	0.0
女性	29歳以下	23	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	36	5.6	0.0	0.0	0.0	2.8	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0
	40歳代	48	0.0	0.0	2.1	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0
	50歳代	46	0.0	0.0	2.2	4.3	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60歳代	59	1.7	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳以上	119	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.8	0.0	0.8	1.7	0.0

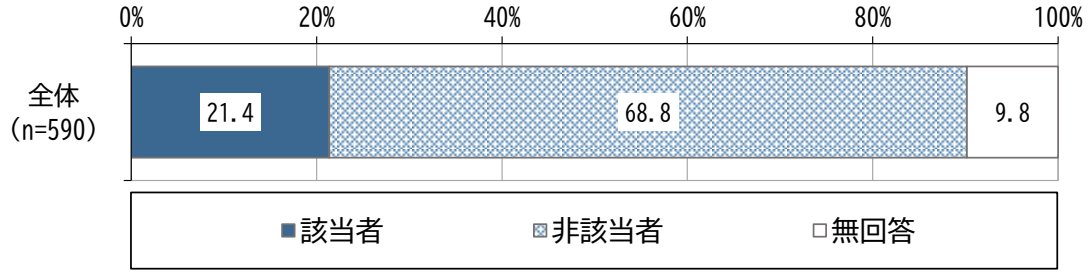
		合計	中野3号公園（中小企業団地内）	中野テニスコート	津々山台第2テニスコート	金剛東テニスコート	津々山台テニスコート	金剛テニスコート	市民総合体育館	オーエンスプール	総合スポーツ公園	その他	利用した施設はない	無回答
全体		590	0.3	0.3	0.5	0.8	0.3	0.2	6.3	0.7	3.6	5.9	68.8	9.8
性別	男性	241	0.0	0.4	0.4	0.8	0.0	0.0	5.8	1.2	5.8	4.6	67.6	8.3
	女性	331	0.3	0.3	0.6	0.6	0.6	0.3	6.0	0.3	2.1	6.9	70.4	10.9
男性	29歳以下	22	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	18.2	0.0	59.1	4.5
	30歳代	23	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	13.0	0.0	60.9	8.7
	40歳代	25	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	8.0	4.0	12.0	4.0	60.0	4.0
	50歳代	36	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	2.8	86.1	2.8
	60歳代	45	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	2.2	4.4	73.3	8.9
	70歳以上	89	0.0	0.0	1.1	1.1	0.0	0.0	5.6	0.0	2.2	7.9	62.9	12.4
女性	29歳以下	23	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	4.3	87.0	4.3
	30歳代	36	0.0	0.0	2.8	0.0	2.8	0.0	5.6	2.8	5.6	2.8	69.4	0.0
	40歳代	48	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	6.3	0.0	2.1	2.1	77.1	6.3
	50歳代	46	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	4.3	0.0	84.8	0.0
	60歳代	59	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	11.9	0.0	3.4	13.6	69.5	3.4
	70歳以上	119	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	10.1	59.7	25.2

※網掛け■は最も割合が高いもの

■過去1年間における富田林市内のスポーツ施設利用経験者の割合

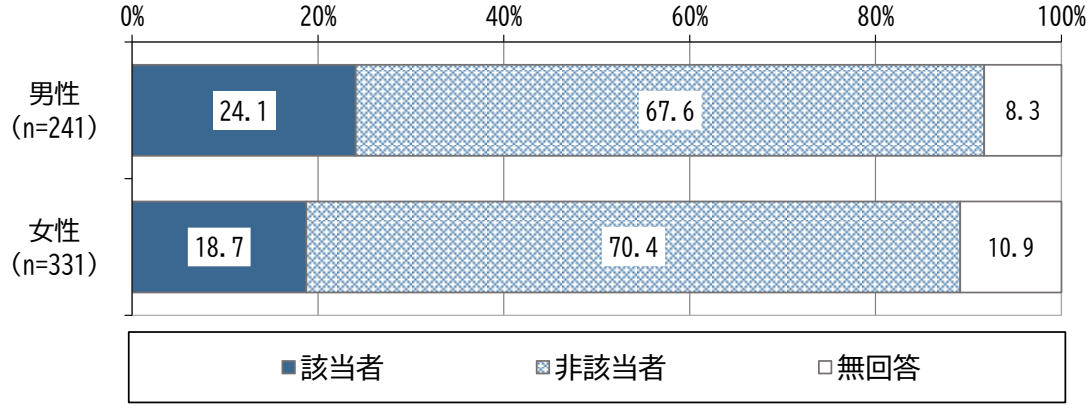
過去1年間における富田林市内のスポーツ施設利用経験者（問 13 で「1. 喜志グラウンド」～「22. その他」のいずれかを回答した人）の割合については、全体で 21.4％となっています。

図表 2-1-56　過去1年間における富田林市内のスポーツ施設利用経験者の割合



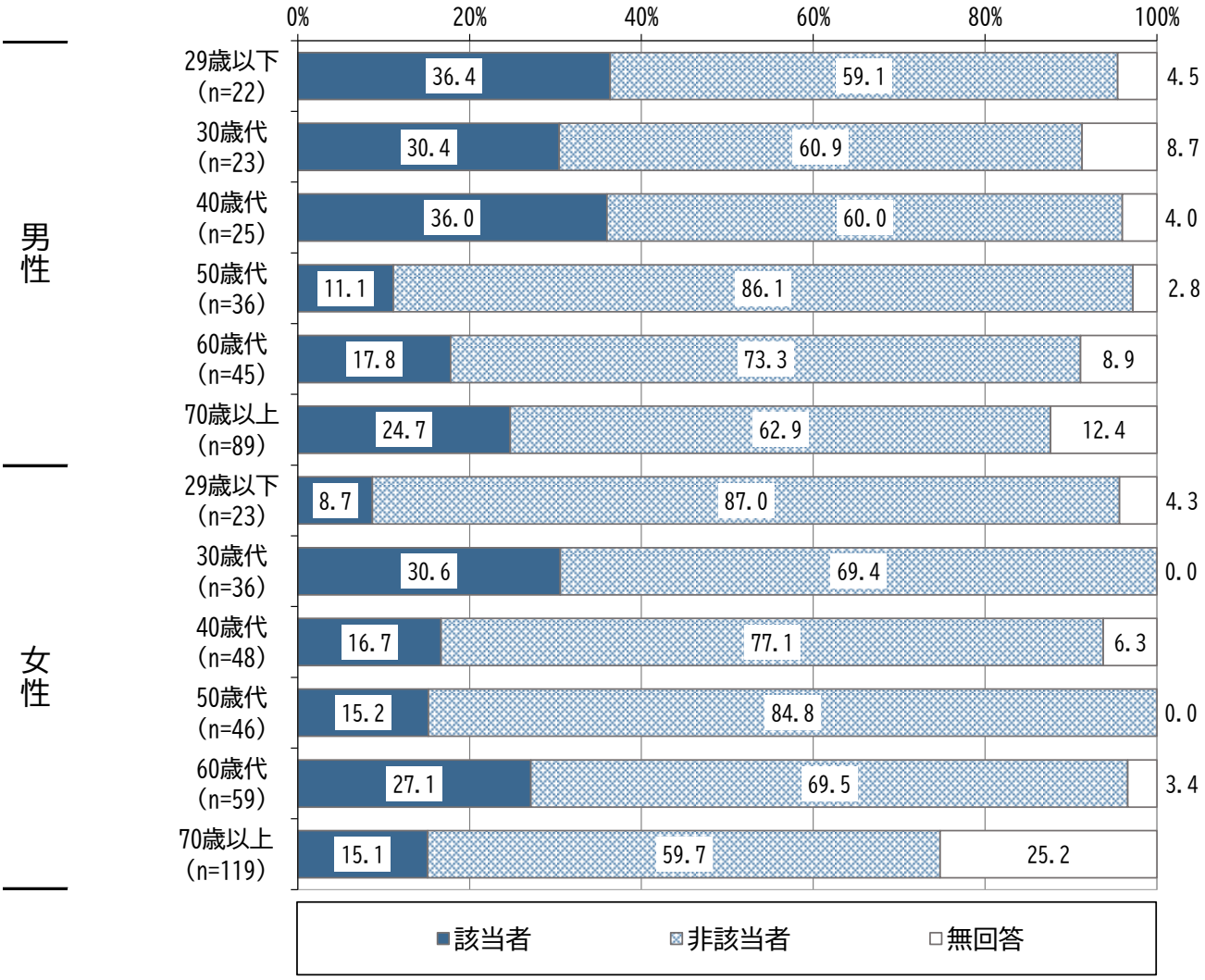
過去1年間における富田林市内のスポーツ施設利用経験者を性別でみると、男性が 24.1％、女性が 18.7％となっています。

図表 2-1-57　過去1年間における富田林市内のスポーツ施設利用経験者の割合　性別



過去1年間における富田林市内のスポーツ施設利用経験者を性別･年齢別でみると、男性は 29 歳以下が 36.4%で最も高く、女性は 30 歳代が 30.6%で最も高くなっています。

図表 2-1-58 過去1年間における富田林市内のスポーツ施設利用経験者の割合 性別･年齢階級別

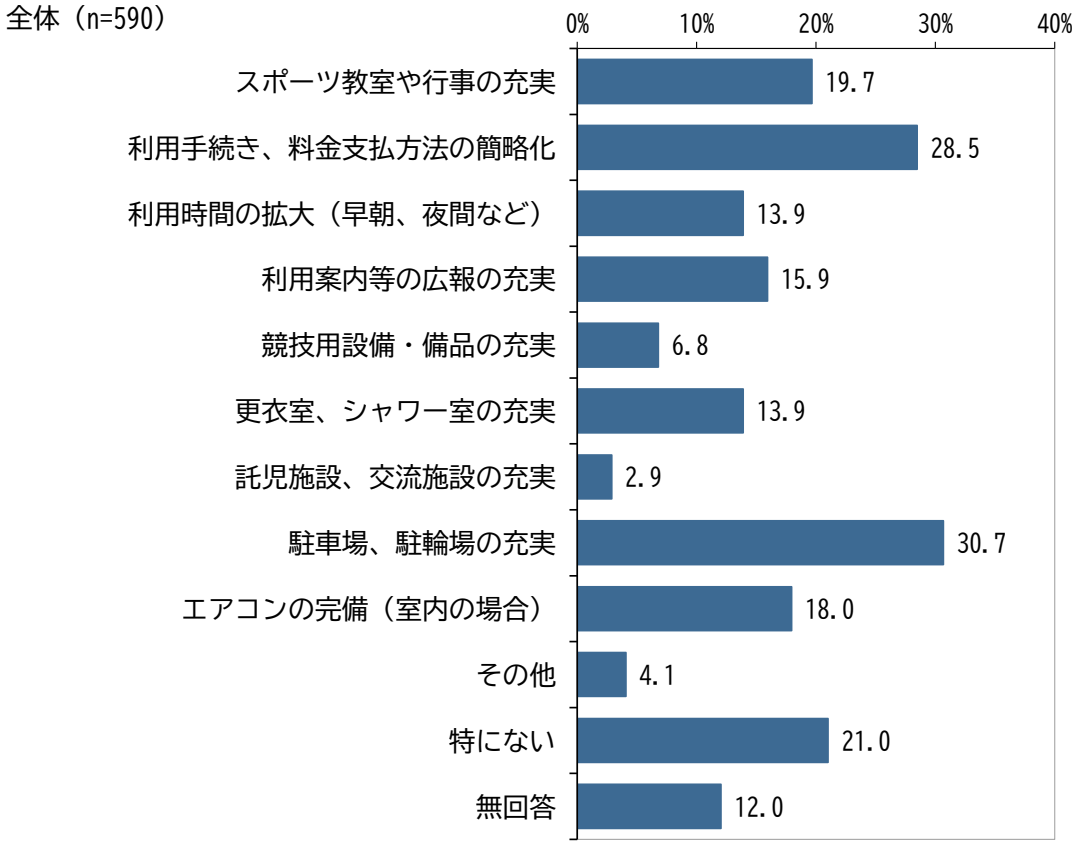


② 公共スポーツ施設を利用する際に望むもの

問14	公共スポーツ施設を利用する上で(利用するとして)、どのような点を望みますか。 (○はあてはまるもの3つまで)

公共スポーツ施設を利用する際に望むものについては、「駐車場、駐輪場の充実」が 30.7%で最も高く、次いで「利用手続き、料金支払方法の簡略化」が 28.5%、「特にない」が 21.0%と続いています。

図表 2-1-59 公共スポーツ施設を利用する際に望むもの



性別でみると、男性・女性いずれも「駐車場、駐輪場の充実」の割合が最も高くなっています。

性別・年齢階級別でみると、「利用手続き、料金支払方法の簡略化」では、男性・女性いずれも 29 歳以下の割合が最も高くなっています。

図表 2-1-60 公共スポーツ施設を利用する際に望むもの 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	スポーツ教室や行事の充実	利用手続き、料金支払方法の簡略化	利用時間の拡大（早朝、夜間など）	利用案内等の広報の充実	競技用設備・備品の充実	更衣室、シャワー室の充実	託児施設、交流施設の充実	駐車場、駐輪場の充実	エアコンの完備（室内の場合）	その他
全体		590	19.7	28.5	13.9	15.9	6.8	13.9	2.9	30.7	18.0	4.1
性別	男性	241	13.3	27.4	17.0	14.1	8.3	17.4	0.8	31.1	12.9	2.9
性別	女性	331	24.5	29.9	12.1	17.2	5.7	12.1	3.9	31.4	22.1	4.5
男性	29歳以下	22	9.1	40.9	31.8	9.1	18.2	22.7	0.0	36.4	18.2	0.0
男性	30歳代	23	17.4	39.1	30.4	0.0	17.4	30.4	4.3	34.8	13.0	0.0
男性	40歳代	25	24.0	32.0	16.0	0.0	16.0	12.0	4.0	44.0	12.0	8.0
男性	50歳代	36	8.3	36.1	30.6	8.3	8.3	33.3	0.0	44.4	13.9	0.0
男性	60歳代	45	8.9	33.3	11.1	33.3	4.4	20.0	0.0	35.6	17.8	4.4
男性	70歳以上	89	14.6	13.5	7.9	15.7	3.4	6.7	0.0	18.0	9.0	3.4
女性	29歳以下	23	13.0	56.5	21.7	17.4	4.3	8.7	4.3	26.1	17.4	8.7
女性	30歳代	36	38.9	38.9	22.2	16.7	5.6	5.6	16.7	52.8	19.4	0.0
女性	40歳代	48	25.0	43.8	14.6	10.4	8.3	18.8	2.1	54.2	45.8	0.0
女性	50歳代	46	21.7	32.6	30.4	17.4	6.5	13.0	0.0	30.4	19.6	6.5
女性	60歳代	59	42.4	27.1	8.5	23.7	11.9	15.3	5.1	30.5	18.6	6.8
女性	70歳以上	119	14.3	16.8	0.8	16.8	1.7	10.1	1.7	17.6	16.8	5.0

		合計	特にない	無回答
全体		590	21.0	12.0
性別	男性	241	25.3	10.0
性別	女性	331	17.8	12.7
男性	29歳以下	22	13.6	4.5
男性	30歳代	23	21.7	4.3
男性	40歳代	25	20.0	4.0
男性	50歳代	36	16.7	5.6
男性	60歳代	45	15.6	8.9
男性	70歳以上	89	38.2	16.9
女性	29歳以下	23	21.7	4.3
女性	30歳代	36	13.9	2.8
女性	40歳代	48	6.3	8.3
女性	50歳代	46	10.9	10.9
女性	60歳代	59	13.6	3.4
女性	70歳以上	119	27.7	24.4

※網掛け■は最も割合が高いもの

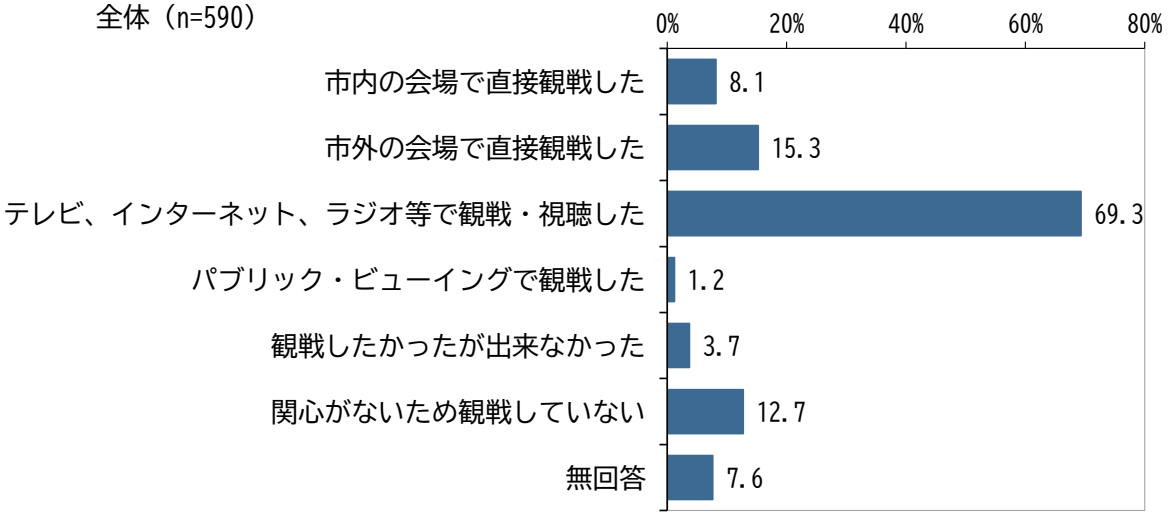
(4)スポーツ観戦等について

① 過去1年間のスポーツ観戦状況

問15	あなたは、この1年間にスポーツを何らかの形でみる機会がありましたか。 (○はいくつでも) (※ プロスポーツに限らず、アマチュアスポーツ、子どもの部活やスポーツイベントの観戦も含みます)

過去1年間のスポーツ観戦状況については、「テレビ、インターネット、ラジオ等で観戦・視聴した」が 69.3%で最も高く、次いで「市外の会場で直接観戦した」が 15.3%、「関心がないため観戦していない」が 12.7%と続いています。

図表 2-1-61 過去1年間のスポーツ観戦状況



性別でみると、「関心がないため観戦していない」では、男性が 9.1%、女性が 15.4%となっています。

性別・年齢階級別でみると、「関心がないため観戦していない」では、男性・女性いずれも 30 歳代の割合が最も高くなっています。

図表 2-1-62 過去1年間のスポーツ観戦状況 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

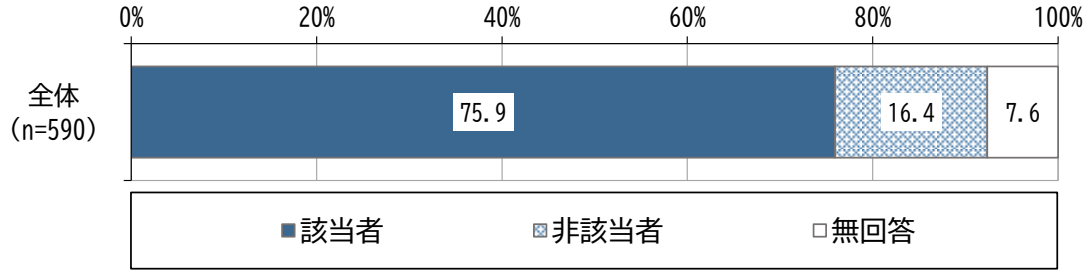
		合計	市内の会場で直接観戦した	市外の会場で直接観戦した	テレビ、インターネット、ラジオ等で観戦・視聴した	パブリック・ビューイングで観戦した	観戦したかったが出来なかった	関心がないため観戦していない	無回答
全体		590	8.1	15.3	69.3	1.2	3.7	12.7	7.6
性別	男性	241	10.8	17.8	74.7	2.1	3.3	9.1	5.8
	女性	331	6.0	13.9	66.5	0.6	3.9	15.4	8.2
男性	29歳以下	22	13.6	36.4	77.3	13.6	4.5	4.5	4.5
	30歳代	23	8.7	8.7	60.9	4.3	4.3	21.7	4.3
	40歳代	25	40.0	44.0	72.0	0.0	0.0	16.0	0.0
	50歳代	36	8.3	27.8	69.4	0.0	8.3	11.1	0.0
	60歳代	45	6.7	13.3	77.8	0.0	6.7	6.7	6.7
	70歳以上	89	5.6	6.7	78.7	1.1	0.0	5.6	10.1
女性	29歳以下	23	0.0	17.4	69.6	0.0	4.3	21.7	0.0
	30歳代	36	11.1	11.1	58.3	0.0	0.0	36.1	0.0
	40歳代	48	16.7	31.3	56.3	2.1	8.3	16.7	4.2
	50歳代	46	4.3	19.6	71.7	0.0	4.3	17.4	2.2
	60歳代	59	8.5	16.9	76.3	0.0	3.4	10.2	1.7
	70歳以上	119	0.8	3.4	65.5	0.8	3.4	9.2	19.3

※網掛け■は最も割合が高いもの

■過去1年間にスポーツを観戦した人の割合

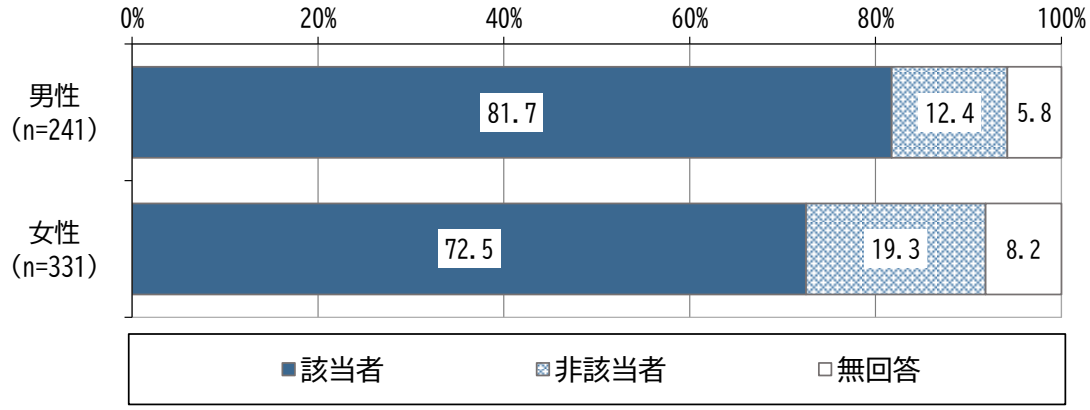
過去1年間にスポーツを観戦した人（問 15 で「1. 市内の会場で直接観戦した」～「4. パブリック・ビューイングで観戦した」のいずれかを回答した人）の割合については、全体で 75.9%となっています。

図表 2-1-63 過去1年間にスポーツを観戦した人の割合



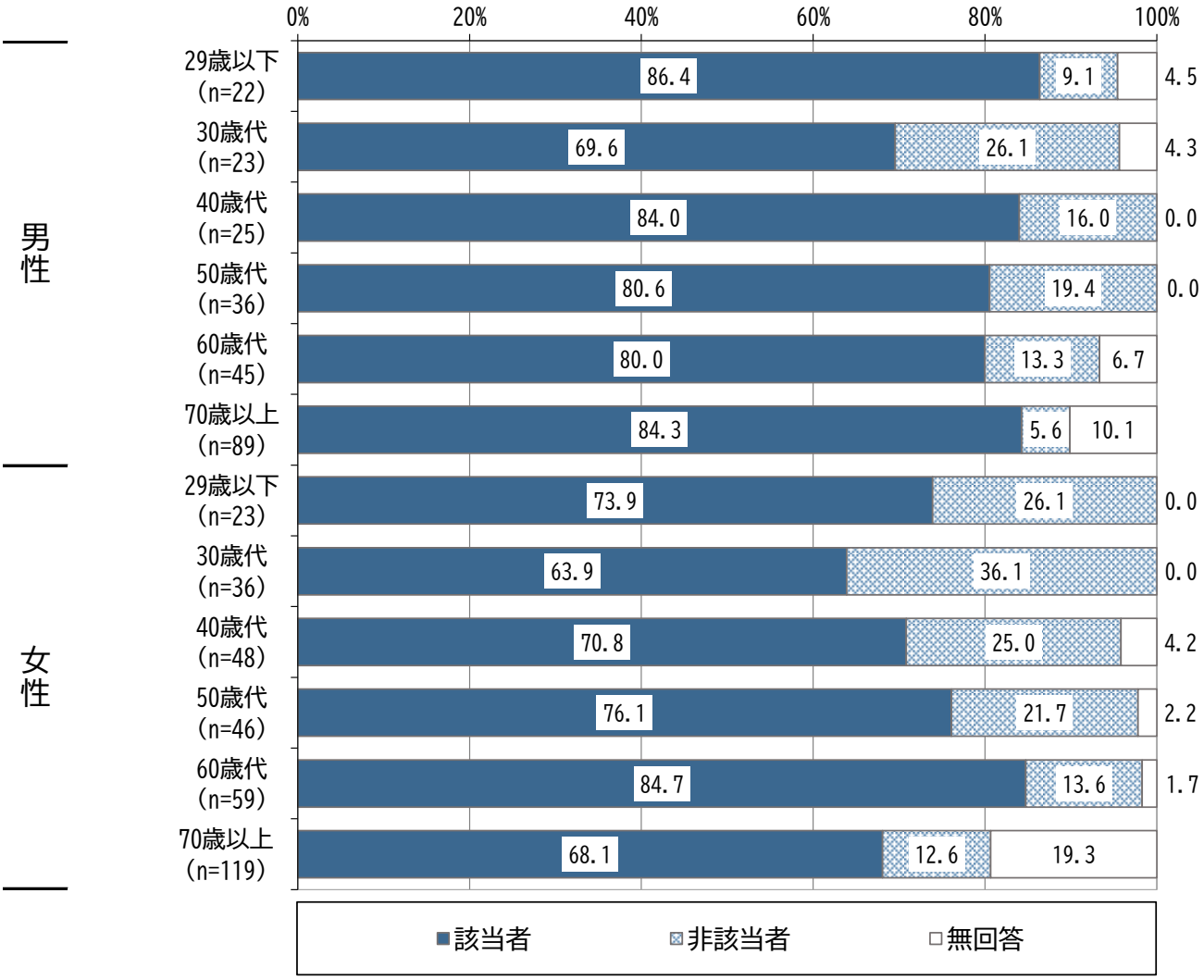
過去1年間にスポーツを観戦した人の割合を性別でみると、男性が 81.7%、女性が 72.5%となっています。

図表 2-1-64 過去1年間にスポーツを観戦した人の割合 性別



過去1年間にスポーツを観戦した人の割合を性別・年齢階級別でみると、男性では 29 歳以下が 86.4%で最も高く、女性では 60 歳代が 84.7%で最も高くなっています。

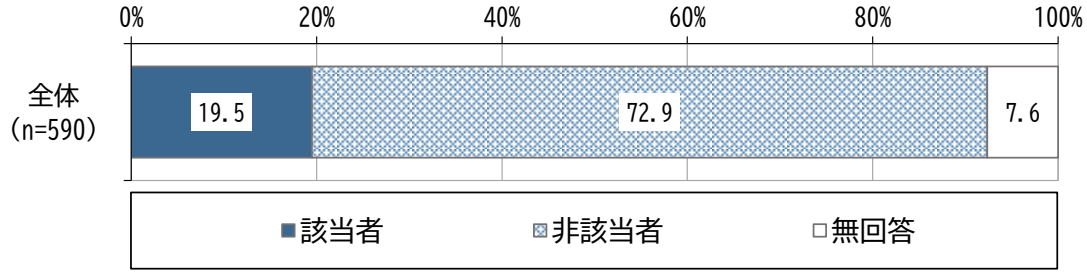
図表 2-1-65　過去1年間にスポーツを観戦した人の割合　性別・年齢階級別



■過去1年間にスポーツを直接現地で観戦した人の割合

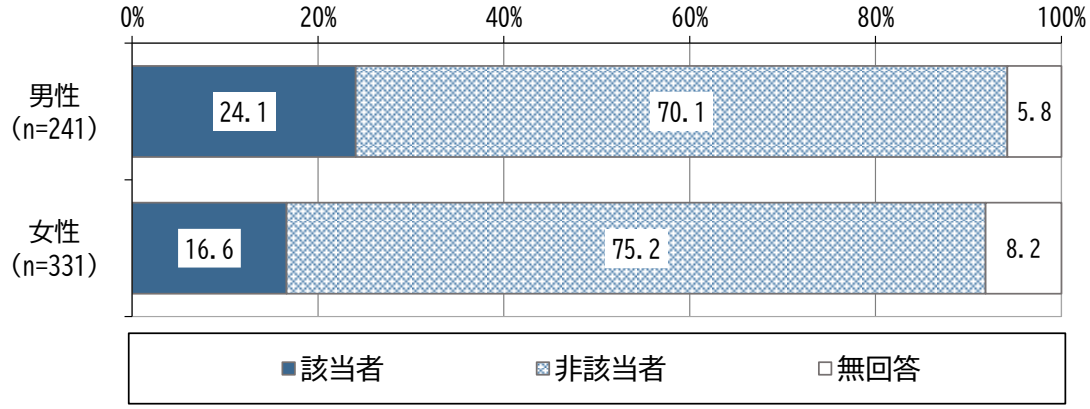
過去1年間にスポーツを直接現地で観戦した人（問 15 で「1. 市内の会場で直接観戦した」か「2. 市外の会場で直接観戦した」を回答した人）の割合については、全体で 19.5%となっています。

図表 2-1-66 過去1年間にスポーツを直接現地で観戦した人の割合



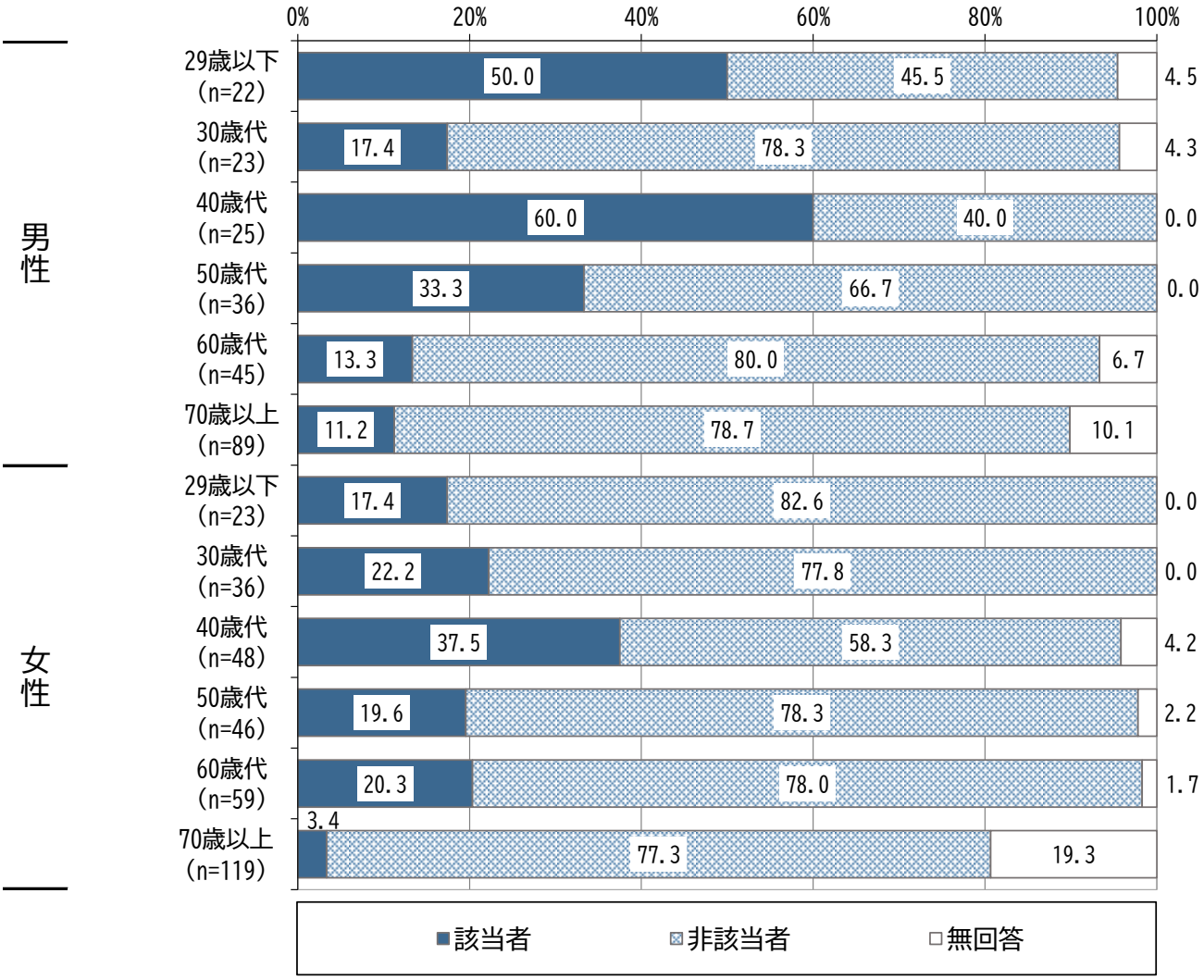
過去1年間にスポーツを直接現地で観戦した人の割合を性別でみると、男性が 24.1%、女性が 16.6%となっています。

図表 2-1-67 過去1年間にスポーツを直接現地で観戦した人の割合 性別



過去1年間にスポーツを直接現地で観戦した人の割合を性別・年齢階級別でみると、男性・女性いずれも40歳代の割合が最も高くなっています。

図表 2-1-68　過去1年間にスポーツを直接現地で観戦した人の割合　性別・年齢階級別

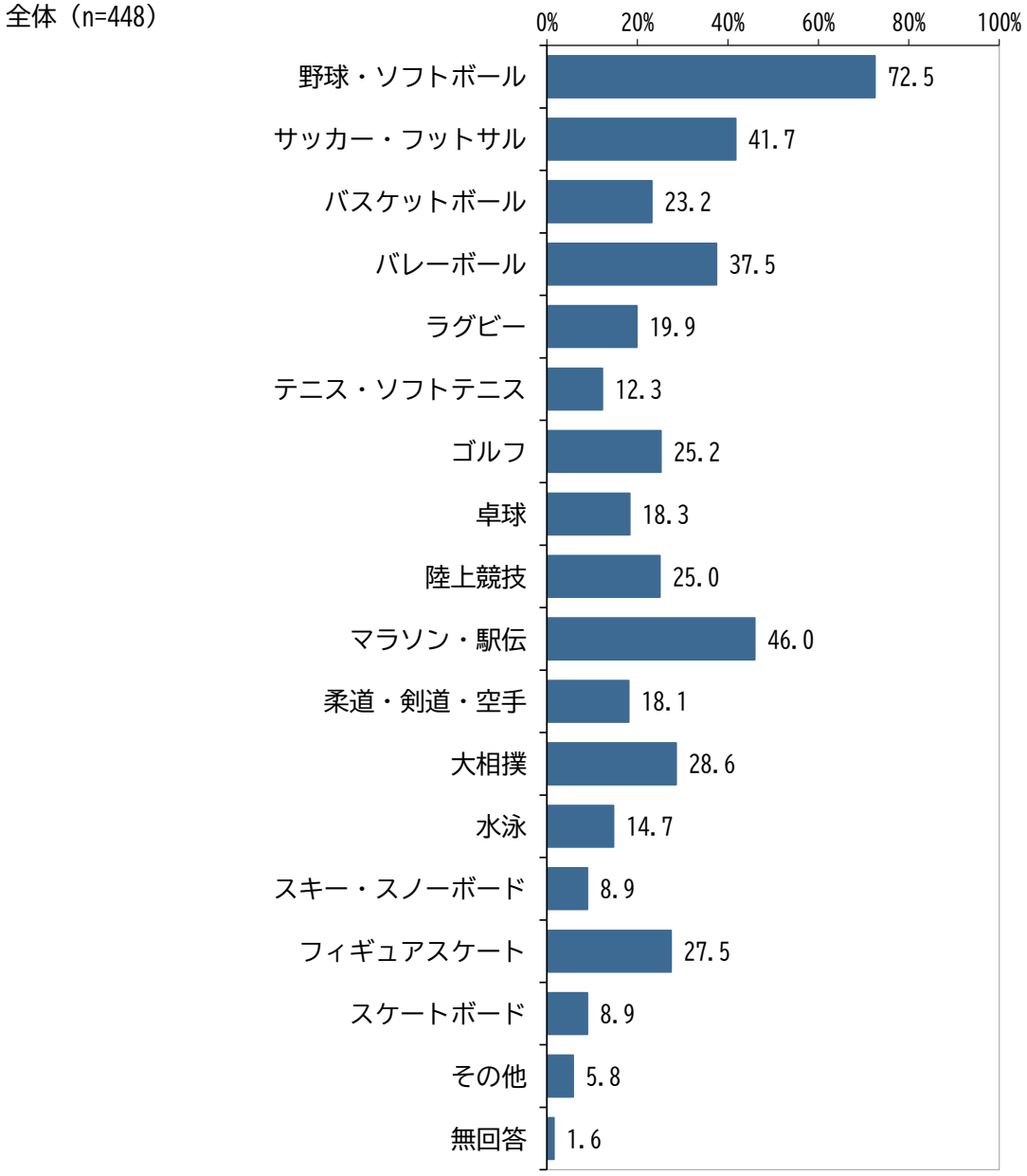


② 過去1年間に観戦したスポーツ

問15－1	**問15で「1」から「4」を回答された方にお聞きします。** この1年間にどのようなスポーツを観戦しましたか。（○はいくつでも）

過去1年間に観戦したスポーツについては、「野球・ソフトボール」が 72.5%で最も高く、次いで「マラソン・駅伝」が 46.0%、「サッカー・フットサル」が 41.7%と続いています。

図表 2-1-69 過去1年間に観戦したスポーツ



性別でみると、男性・女性いずれも「野球・ソフトボール」の割合が最も高くなっています。
性別・年齢階級別でみると、「野球・ソフトボール」では、男性・29 歳以下が 89.5%で最も高くなっています。

図表 2-1-70 過去1年間に観戦したスポーツ 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	野球・ソフトボール	サッカー・フットサル	バスケットボール	バレーボール	ラグビー	テニス・ソフトテニス	ゴルフ	卓球	陸上競技	マラソン・駅伝
全体		448	72.5	41.7	23.2	37.5	19.9	12.3	25.2	18.3	25.0	46.0
性別	男性	197	81.2	46.2	20.8	29.4	31.0	11.2	34.0	15.7	23.9	46.2
	女性	240	66.7	37.9	24.6	44.2	10.8	13.8	18.3	20.4	26.7	45.4
男性	29歳以下	19	89.5	52.6	21.1	21.1	10.5	10.5	21.1	0.0	10.5	21.1
	30歳代	16	81.3	56.3	25.0	43.8	31.3	12.5	6.3	12.5	12.5	12.5
	40歳代	21	71.4	66.7	52.4	38.1	23.8	28.6	33.3	23.8	19.0	38.1
	50歳代	29	72.4	37.9	13.8	24.1	31.0	10.3	44.8	17.2	27.6	44.8
	60歳代	36	88.9	58.3	16.7	25.0	33.3	8.3	30.6	22.2	25.0	38.9
	70歳以上	75	81.3	33.3	14.7	30.7	36.0	8.0	41.3	14.7	29.3	65.3
女性	29歳以下	17	76.5	52.9	11.8	35.3	17.6	0.0	0.0	11.8	23.5	41.2
	30歳代	23	56.5	39.1	21.7	39.1	13.0	8.7	0.0	4.3	4.3	8.7
	40歳代	34	55.9	41.2	32.4	50.0	2.9	17.6	11.8	14.7	26.5	29.4
	50歳代	35	82.9	42.9	37.1	45.7	17.1	22.9	20.0	25.7	40.0	57.1
	60歳代	50	74.0	38.0	36.0	58.0	12.0	20.0	22.0	26.0	28.0	50.0
	70歳以上	81	60.5	30.9	12.3	35.8	8.6	8.6	27.2	23.5	27.2	55.6

		合計	柔道・剣道・空手	大相撲	水泳	スキー・スノーボード	フィギュアスケート	スケートボード	その他	無回答
全体		448	18.1	28.6	14.7	8.9	27.5	8.9	5.8	1.6
性別	男性	197	18.8	32.0	14.2	9.1	14.2	6.1	7.1	1.0
	女性	240	16.7	25.0	15.8	8.8	38.3	11.7	4.6	2.1
男性	29歳以下	19	10.5	10.5	10.5	0.0	0.0	5.3	5.3	0.0
	30歳代	16	6.3	12.5	18.8	6.3	12.5	12.5	6.3	0.0
	40歳代	21	23.8	9.5	19.0	14.3	14.3	19.0	14.3	0.0
	50歳代	29	20.7	13.8	24.1	10.3	20.7	10.3	13.8	0.0
	60歳代	36	16.7	22.2	8.3	13.9	8.3	5.6	8.3	0.0
	70歳以上	75	22.7	60.0	12.0	8.0	18.7	0.0	2.7	2.7
女性	29歳以下	17	11.8	0.0	0.0	5.9	5.9	5.9	5.9	0.0
	30歳代	23	13.0	13.0	0.0	4.3	8.7	4.3	0.0	0.0
	40歳代	34	20.6	5.9	11.8	11.8	26.5	11.8	11.8	2.9
	50歳代	35	22.9	34.3	22.9	14.3	37.1	17.1	2.9	0.0
	60歳代	50	20.0	30.0	22.0	12.0	54.0	22.0	6.0	2.0
	70歳以上	81	12.3	34.6	18.5	4.9	49.4	6.2	2.5	3.7

※網掛け■は最も割合が高いもの

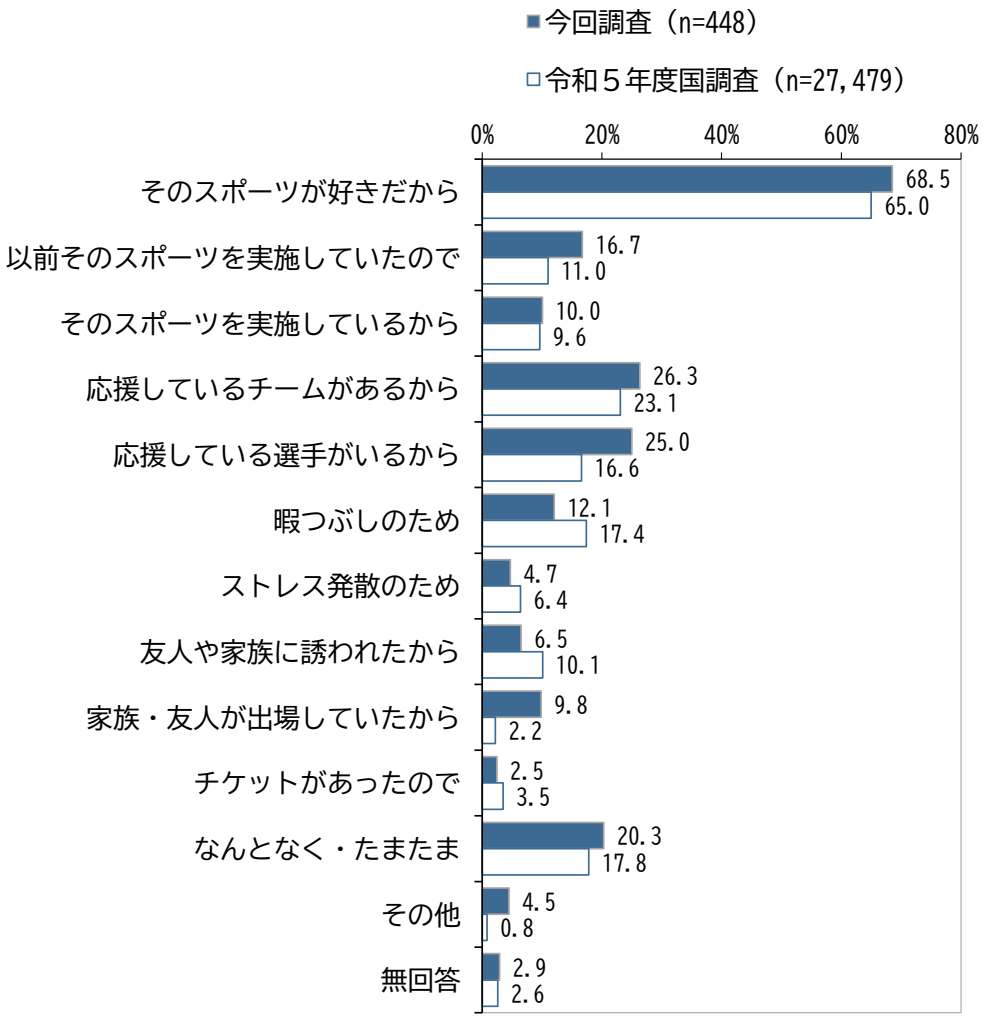
③ スポーツを観戦した理由

問15－2	**問15で「1」から「4」を回答された方にお聞きします。** スポーツを観戦したのは、どのような理由からですか。（○はいくつでも）

スポーツを観戦した理由については、「そのスポーツが好きだから」が 68.5%で最も高く、次いで「応援しているチームがあるから」が 26.3%、「応援している選手がいるから」が 25.0%と続いています。

令和5（2023）年度国調査と比較すると、「応援している選手がいるから」（25.0%）では、令和5（2023）年度国調査（16.6%）より 8.4 ポイント高くなっています。

図表 2-1-71 スポーツを観戦した理由



※ 今回調査の「無回答」について、国調査は「わからない」

性別でみると、男性・女性いずれも「そのスポーツが好きだから」の割合が最も高くなっています。

性別・年齢階級別でみると、すべての性別・年齢階級別で「そのスポーツが好きだから」の割合が最も高くなっています。

図表 2-1-72 スポーツを観戦した理由 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	そのスポーツが好きだから	以前そのスポーツを実施していたので	そのスポーツを実施しているから	応援しているチームがあるから	応援している選手がいるから	暇つぶしのため	ストレス発散のため	友人や家族に誘われたから	家族・友人が出場していたから	チケットがあったので
全体		448	68.5	16.7	10.0	26.3	25.0	12.1	4.7	6.5	9.8	2.5
性別	男性	197	77.7	27.4	16.8	33.0	20.3	14.2	5.6	4.1	8.1	3.0
	女性	240	61.7	8.8	4.6	20.4	27.9	10.4	3.8	7.9	10.4	2.1
男性	29歳以下	19	73.7	15.8	10.5	47.4	21.1	26.3	10.5	5.3	0.0	5.3
	30歳代	16	75.0	37.5	18.8	31.3	18.8	12.5	6.3	6.3	18.8	0.0
	40歳代	21	76.2	28.6	23.8	38.1	14.3	4.8	9.5	4.8	33.3	9.5
	50歳代	29	79.3	17.2	10.3	24.1	13.8	6.9	3.4	10.3	10.3	3.4
	60歳代	36	86.1	41.7	19.4	27.8	30.6	11.1	0.0	5.6	5.6	2.8
	70歳以上	75	76.0	25.3	17.3	34.7	20.0	18.7	6.7	0.0	1.3	1.3
女性	29歳以下	17	47.1	5.9	0.0	23.5	17.6	29.4	0.0	11.8	0.0	5.9
	30歳代	23	47.8	4.3	0.0	8.7	17.4	8.7	8.7	0.0	21.7	0.0
	40歳代	34	64.7	17.6	2.9	20.6	32.4	5.9	2.9	14.7	38.2	8.8
	50歳代	35	71.4	14.3	5.7	17.1	25.7	14.3	8.6	8.6	5.7	2.9
	60歳代	50	64.0	6.0	12.0	18.0	36.0	10.0	2.0	14.0	6.0	0.0
	70歳以上	81	61.7	6.2	2.5	25.9	27.2	7.4	2.5	2.5	2.5	0.0

		合計	なんとなく・たまたま	その他	無回答
全体		448	20.3	4.5	2.9
性別	男性	197	14.7	2.5	2.5
	女性	240	25.4	5.8	3.3
男性	29歳以下	19	21.1	0.0	0.0
	30歳代	16	31.3	0.0	0.0
	40歳代	21	14.3	0.0	0.0
	50歳代	29	17.2	6.9	0.0
	60歳代	36	5.6	0.0	0.0
	70歳以上	75	13.3	2.7	6.7
女性	29歳以下	17	41.2	0.0	0.0
	30歳代	23	30.4	4.3	0.0
	40歳代	34	23.5	5.9	0.0
	50歳代	35	28.6	2.9	0.0
	60歳代	50	22.0	6.0	4.0
	70歳以上	81	22.2	8.6	7.4

※網掛け■は最も割合が高いもの

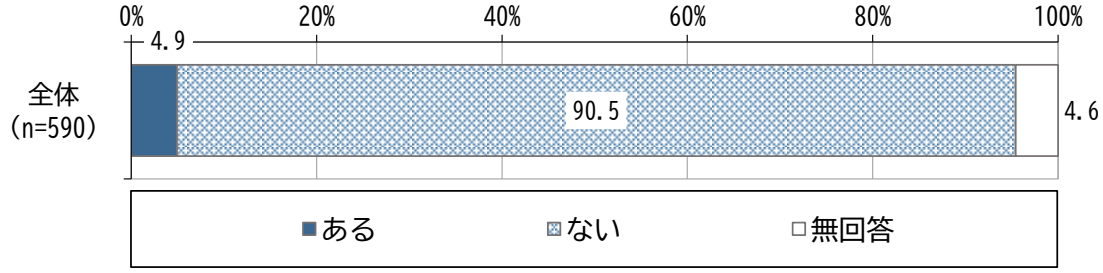
(5)スポーツの指導や支援活動について

① 過去1年間のスポーツボランティア経験の有無

問16	あなたは、この 1 年間にスポーツボランティア(地域の運動会の手伝い、少年野球チームのお世話など)として携わったことがありますか。(○は1つ)

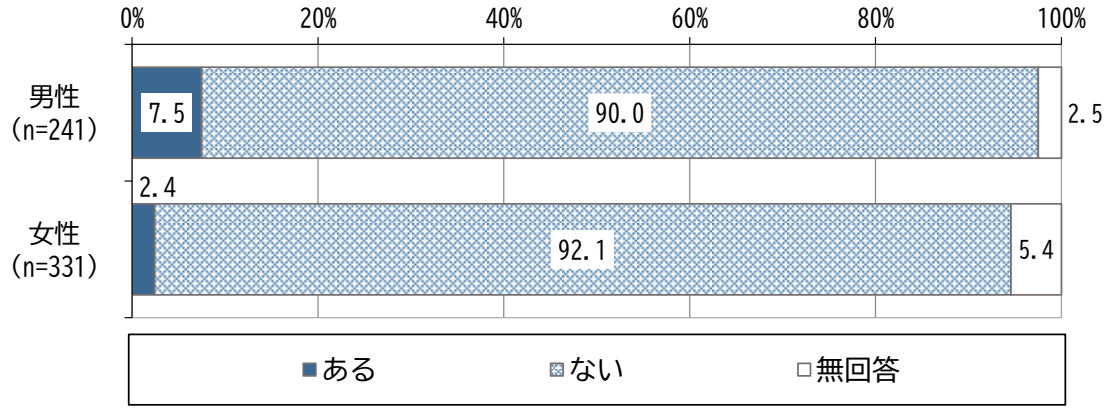
過去1年間のスポーツボランティア経験の有無については、「ある」が 4.9%、「ない」が 90.5%となっています。

図表 2-1-73 過去1年間のスポーツボランティア経験の有無



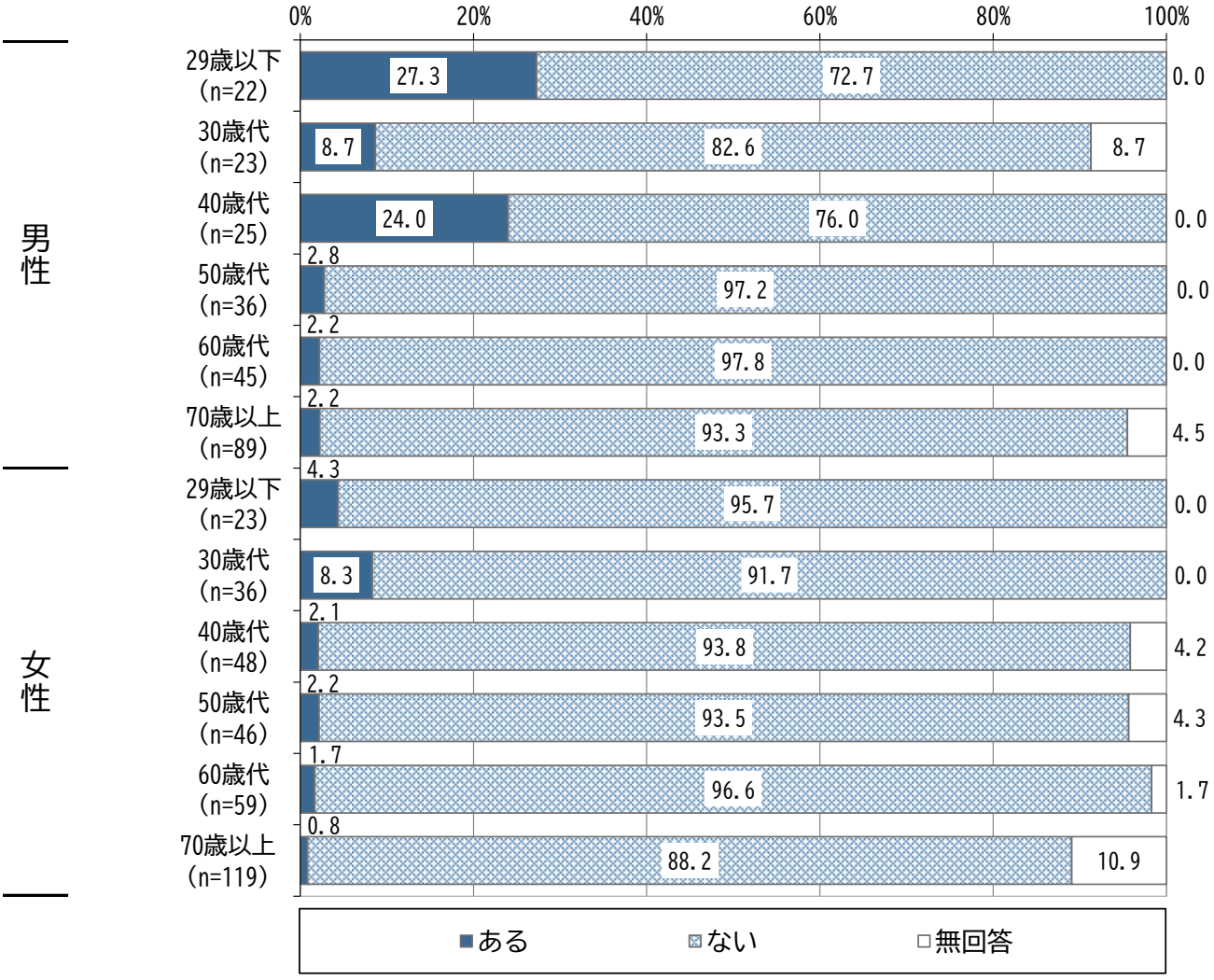
性別でみると、「ある」では、男性が 7.5%、女性が 2.4%となっています。

図表 2-1-74 過去1年間のスポーツボランティア経験の有無 性別



性別・年齢階級別でみると、「ある」では、男性は29歳以下が27.3%で最も高く、女性は30歳代が8.3%で最も高くなっています。

図表 2-1-75 過去1年間のスポーツボランティア経験の有無 性別・年齢階級別

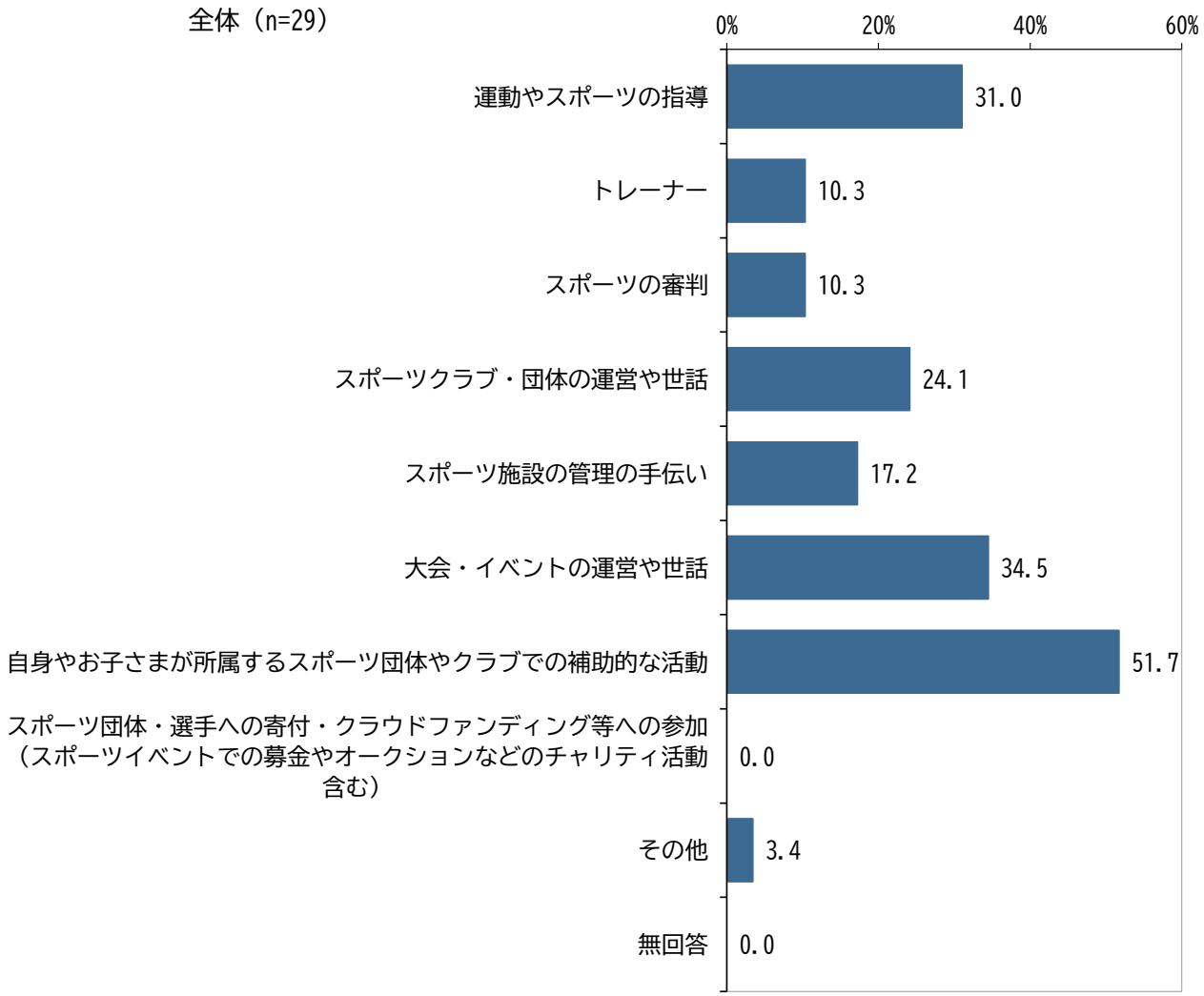


② 運動やスポーツをささえる活動内容

問16－1	**問16で「1. ある」を回答された方にお聞きします。** あなたがこの 1 年間に行った「運動やスポーツをささえる活動」があれば教えてください。 （○はいくつでも）

運動やスポーツをささえる活動内容については、「自身やお子さまが所属するスポーツ団体やクラブでの補助的な活動」が 51.7%で最も高く、次いで「大会・イベントの運営や世話」が 34.5%、「運動やスポーツの指導」が 31.0%と続いています。

図表 2-1-76 運動やスポーツをささえる活動内容



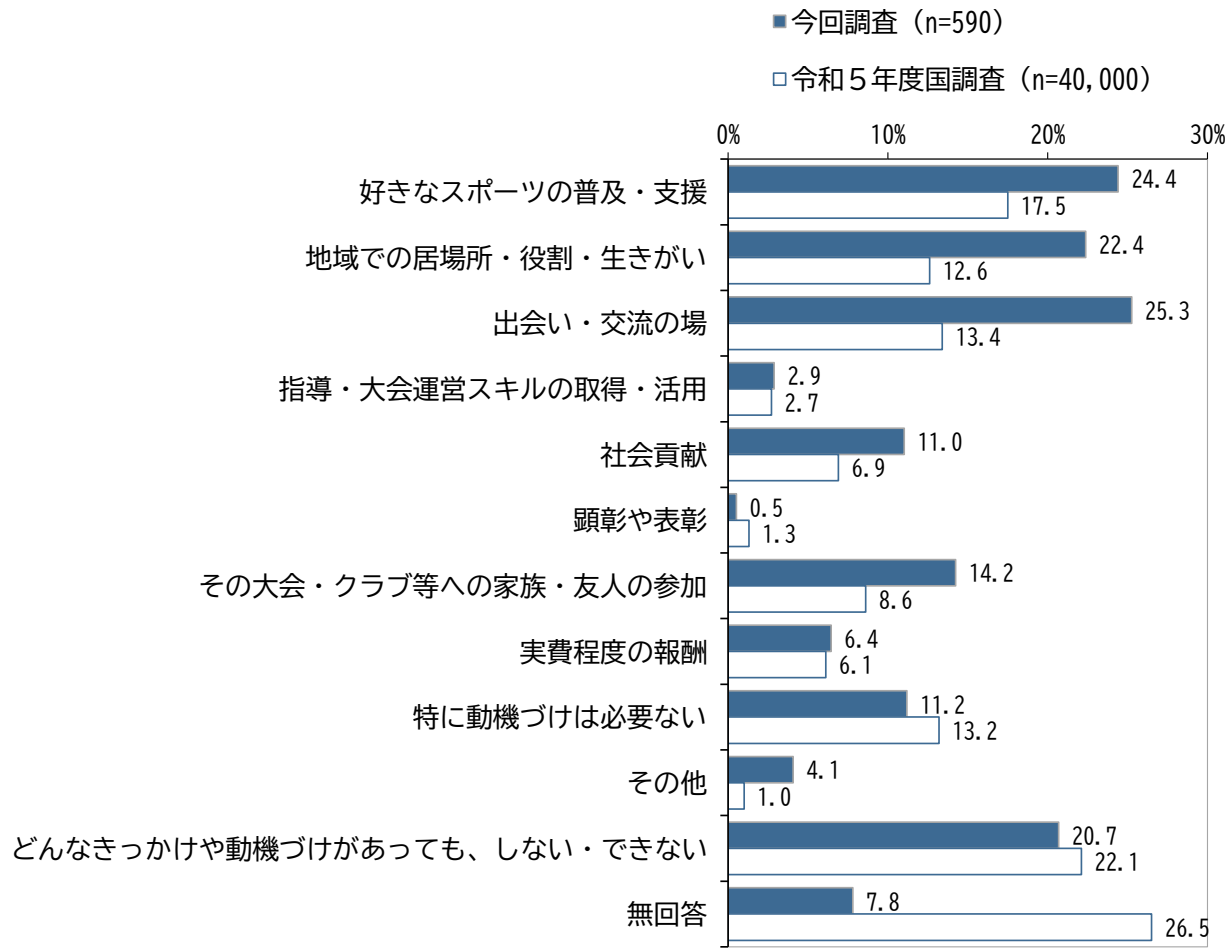
③ 運動やスポーツをささえる活動を行うきっかけや動機づけ

問17	あなたはどんなきっかけや動機づけ(モチベーション)があれば、運動やスポーツをささえる活動を行ったり続けたりすると思いますか。(○はいくつでも)

運動やスポーツをささえる活動を行うきっかけや動機づけについては、「出会い・交流の場」が 25.3%で最も高く、次いで「好きなスポーツの普及・支援」が 24.4%、「地域での居場所・役割・生きがい」が 22.4%と続いています。

令和5(2023)年度国調査と比較すると、「出会い・交流の場」(25.3%)では、令和5(2023)年度国調査(13.4%)より 11.9 ポイント高くなっています。

図表 2-1-77 運動やスポーツをささえる活動を行うきっかけや動機づけ



※ 今回調査の「無回答」について、国調査は「わからない」

性別でみると、男性では「好きなスポーツの普及・支援」、「出会い・交流の場」がいずれも 29.9%で最も高く、女性では「どんなきっかけや動機づけがあっても、しない・できない」が 23.6%で最も高くなっています。

性別・年齢階級別でみると、「出会い・交流の場」では、男性は 50 歳代が 41.7%で最も高く、女性は 60 歳代が 35.6%で最も高くなっています。

図表 2-1-78 運動やスポーツをささえる活動を行うきっかけや動機づけ 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	好きなスポーツの普及・支援	地域での居場所・役割・生きがい	出会い・交流の場	指導・大会運営スキルの取得・活用	社会貢献	顕彰や表彰	その大会・クラブ等への家族・友人の参加	実費程度の報酬	特に動機づけは必要ない	その他
全体		590	24.4	22.4	25.3	2.9	11.0	0.5	14.2	6.4	11.2	4.1
性別	男性	241	29.9	27.0	29.9	5.4	12.0	0.8	9.1	7.1	13.7	4.1
	女性	331	21.5	19.3	22.1	1.2	10.9	0.3	18.1	5.7	9.4	3.0
男性	29歳以下	22	36.4	18.2	27.3	4.5	9.1	4.5	13.6	18.2	22.7	0.0
	30歳代	23	30.4	21.7	21.7	4.3	13.0	4.3	8.7	21.7	13.0	8.7
	40歳代	25	40.0	24.0	40.0	4.0	12.0	0.0	32.0	8.0	8.0	8.0
	50歳代	36	38.9	27.8	41.7	11.1	19.4	0.0	8.3	13.9	5.6	0.0
	60歳代	45	26.7	37.8	26.7	4.4	15.6	0.0	6.7	0.0	17.8	8.9
	70歳以上	89	23.6	25.8	27.0	4.5	7.9	0.0	3.4	1.1	13.5	2.2
女性	29歳以下	23	30.4	17.4	21.7	4.3	4.3	4.3	4.3	13.0	8.7	8.7
	30歳代	36	22.2	25.0	13.9	5.6	13.9	0.0	38.9	8.3	11.1	5.6
	40歳代	48	33.3	16.7	27.1	2.1	16.7	0.0	43.8	16.7	4.2	2.1
	50歳代	46	26.1	19.6	21.7	0.0	15.2	0.0	15.2	0.0	17.4	0.0
	60歳代	59	28.8	30.5	35.6	0.0	16.9	0.0	16.9	3.4	6.8	0.0
	70歳以上	119	9.2	13.4	16.0	0.0	4.2	0.0	5.9	2.5	9.2	4.2

		合計	どんなきっかけや動機づけがあっても、しない・できない	無回答
全体		590	20.7	7.8
性別	男性	241	16.6	4.1
	女性	331	23.6	9.7
男性	29歳以下	22	4.5	0.0
	30歳代	23	8.7	4.3
	40歳代	25	8.0	0.0
	50歳代	36	19.4	0.0
	60歳代	45	8.9	0.0
	70歳以上	89	27.0	10.1
女性	29歳以下	23	13.0	4.3
	30歳代	36	11.1	0.0
	40歳代	48	14.6	2.1
	50歳代	46	23.9	4.3
	60歳代	59	18.6	3.4
	70歳以上	119	35.3	21.8

※網掛け■は最も割合が高いもの

(6)スポーツの価値について

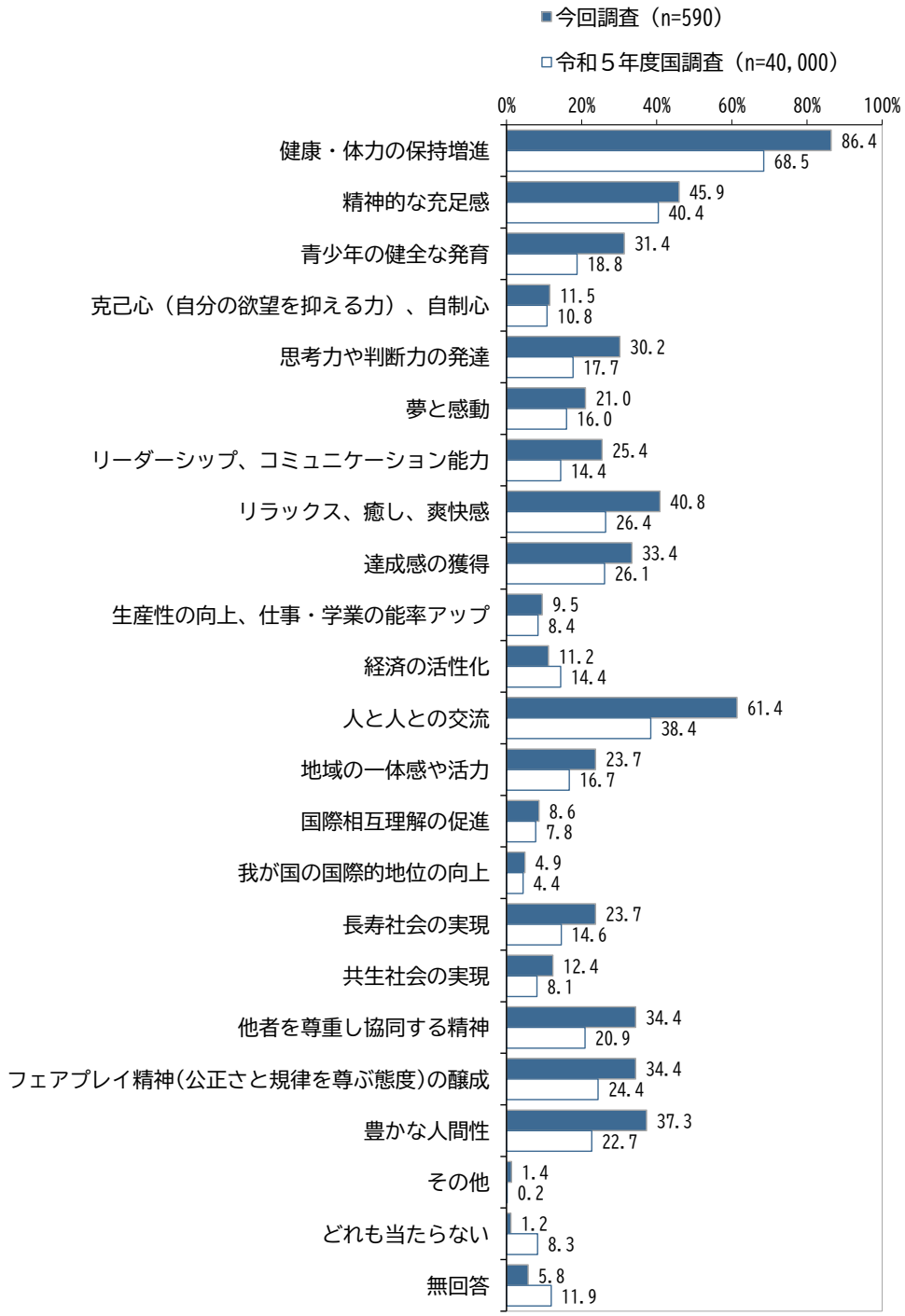
① 運動やスポーツがもたらす価値

問18	スポーツが個人や社会にもたらす効果についてあてはまると思うものはどれですか。 (〇はいくつでも)

運動やスポーツがもたらす価値については、「健康・体力の保持増進」が 86.4%で最も高く、次いで「人と人との交流」が 61.4%、「精神的な充足感」が 45.9%と続いています。

令和5(2023)年度国調査と比較すると、「人と人との交流」(61.4%)では、令和5(2023)年度国調査(38.4%)より 23.0 ポイント高くなっています。

図表 2-1-79 運動やスポーツがもたらす価値



性別でみると、男性・女性いずれも「健康・体力の保持増進」の割合が最も高くなっています。

性別・年齢階級別でみると、すべての性別・年齢階級別で「健康・体力の保持増進」の割合が最も高くなっています。

図表 2-1-80 運動やスポーツがもたらす価値 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	健康・体力の保持増進	精神的な充足感	青少年の健全な発育	克己心（自分の欲望を抑える力）、自制心	思考力や判断力の発達	夢と感動	リーダーシップ、コミュニケーション能力	リラックス、癒し、爽快感	達成感の獲得	生産性の向上、仕事・学業の能率アップ	経済の活性化	人と人との交流
全体		590	86.4	45.9	31.4	11.5	30.2	21.0	25.4	40.8	33.4	9.5	11.2	61.4
性別	男性	241	88.8	48.5	29.9	11.6	29.9	20.3	27.0	37.3	29.5	9.1	13.3	62.7
	女性	331	85.2	44.7	32.3	11.5	30.8	21.5	24.5	43.5	36.3	9.1	9.4	60.4
男性	29歳以下	22	86.4	63.6	40.9	31.8	36.4	18.2	54.5	31.8	50.0	18.2	22.7	63.6
	30歳代	23	95.7	60.9	30.4	21.7	30.4	26.1	30.4	52.2	39.1	13.0	8.7	60.9
	40歳代	25	92.0	80.0	36.0	16.0	52.0	32.0	52.0	44.0	52.0	16.0	8.0	64.0
	50歳代	36	100.0	50.0	25.0	8.3	30.6	30.6	30.6	33.3	19.4	8.3	22.2	66.7
	60歳代	45	80.0	42.2	24.4	8.9	26.7	15.6	17.8	33.3	28.9	8.9	13.3	57.8
	70歳以上	89	87.6	36.0	30.3	5.6	23.6	14.6	15.7	36.0	19.1	4.5	10.1	64.0
女性	29歳以下	23	87.0	39.1	17.4	8.7	8.7	13.0	13.0	26.1	21.7	8.7	4.3	52.2
	30歳代	36	86.1	52.8	33.3	11.1	27.8	22.2	38.9	36.1	44.4	8.3	13.9	47.2
	40歳代	48	97.9	62.5	39.6	16.7	43.8	27.1	50.0	62.5	60.4	22.9	14.6	75.0
	50歳代	46	93.5	54.3	37.0	15.2	26.1	30.4	19.6	43.5	34.8	8.7	10.9	60.9
	60歳代	59	93.2	44.1	30.5	10.2	42.4	16.9	27.1	55.9	37.3	8.5	13.6	62.7
	70歳以上	119	72.3	32.8	31.1	9.2	26.9	19.3	12.6	35.3	26.9	4.2	4.2	58.8

		合計	地域の一体感や活力	国際相互理解の促進	我が国の国際的地位の向上	長寿社会の実現	共生社会の実現	他者を尊重し協同する精神	フェアプレイ精神（公正さと規律を尊ぶ態度）の醸成	豊かな人間性	その他	どれも当たらない	無回答
全体		590	23.7	8.6	4.9	23.7	12.4	34.4	34.4	37.3	1.4	1.2	5.8
性別	男性	241	26.6	6.2	5.0	22.8	10.4	32.4	37.3	36.5	1.7	0.8	4.6
	女性	331	21.8	10.3	4.8	24.5	14.2	36.6	32.3	37.5	0.9	1.2	6.0
男性	29歳以下	22	13.6	4.5	9.1	27.3	4.5	27.3	40.9	40.9	0.0	0.0	0.0
	30歳代	23	13.0	4.3	4.3	26.1	8.7	21.7	39.1	26.1	0.0	0.0	0.0
	40歳代	25	32.0	4.0	4.0	8.0	20.0	36.0	32.0	44.0	0.0	4.0	4.0
	50歳代	36	27.8	8.3	5.6	8.3	19.4	27.8	44.4	38.9	2.8	0.0	0.0
	60歳代	45	31.1	11.1	4.4	24.4	6.7	33.3	35.6	37.8	0.0	0.0	11.1
	70歳以上	89	29.2	4.5	4.5	30.3	7.9	37.1	36.0	34.8	3.4	1.1	5.6
女性	29歳以下	23	8.7	8.7	0.0	13.0	8.7	17.4	13.0	13.0	0.0	0.0	4.3
	30歳代	36	16.7	2.8	2.8	13.9	11.1	27.8	25.0	36.1	0.0	2.8	0.0
	40歳代	48	20.8	6.3	4.2	31.3	20.8	54.2	37.5	52.1	0.0	0.0	0.0
	50歳代	46	21.7	10.9	4.3	28.3	15.2	39.1	39.1	26.1	0.0	0.0	4.3
	60歳代	59	32.2	11.9	8.5	23.7	16.9	45.8	42.4	47.5	1.7	1.7	1.7
	70歳以上	119	21.0	13.4	5.0	26.1	11.8	30.3	28.6	36.1	1.7	1.7	13.4

※網掛け■は最も割合が高いもの

(7)パラスポーツについて

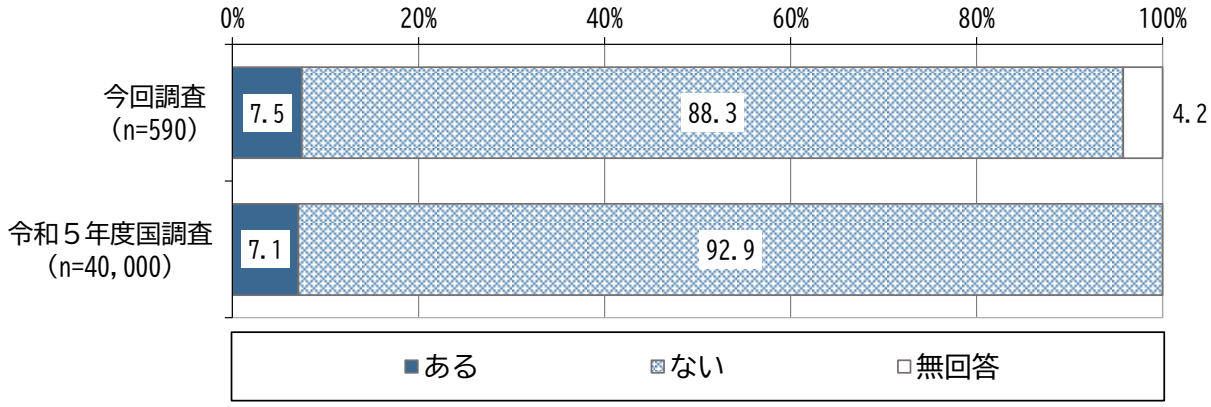
① パラスポーツの経験の有無

問19	あなたは、これまで過去一度でも車いすテニスやボッチャ等の障がい者スポーツ・パラスポーツを体験したことがありますか。(○は1つ)

パラスポーツの経験の有無については、「ある」が 7.5%、「ない」が 88.3%となっています。

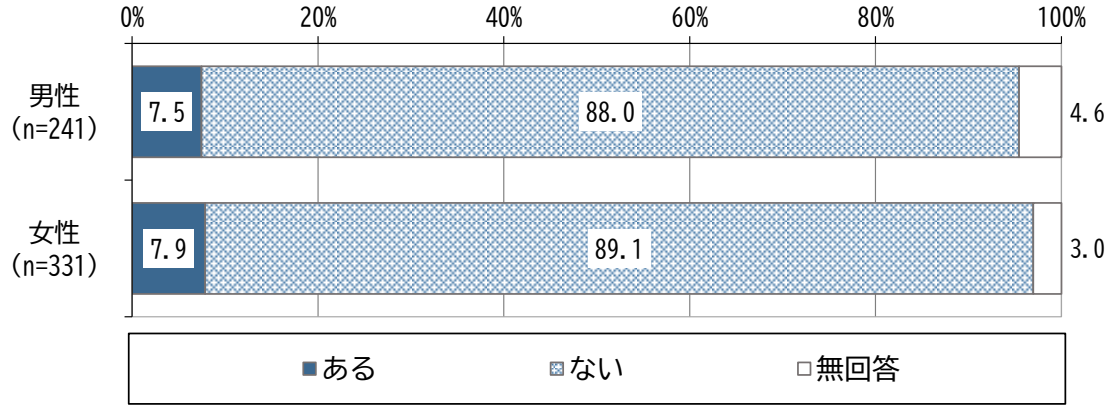
令和5(2023)年度国調査と比較すると、「ある」(7.5%)では、令和5(2023)年度国調査(7.1%)と大きな差はみられません。

図表 2-1-81 パラスポーツの経験の有無



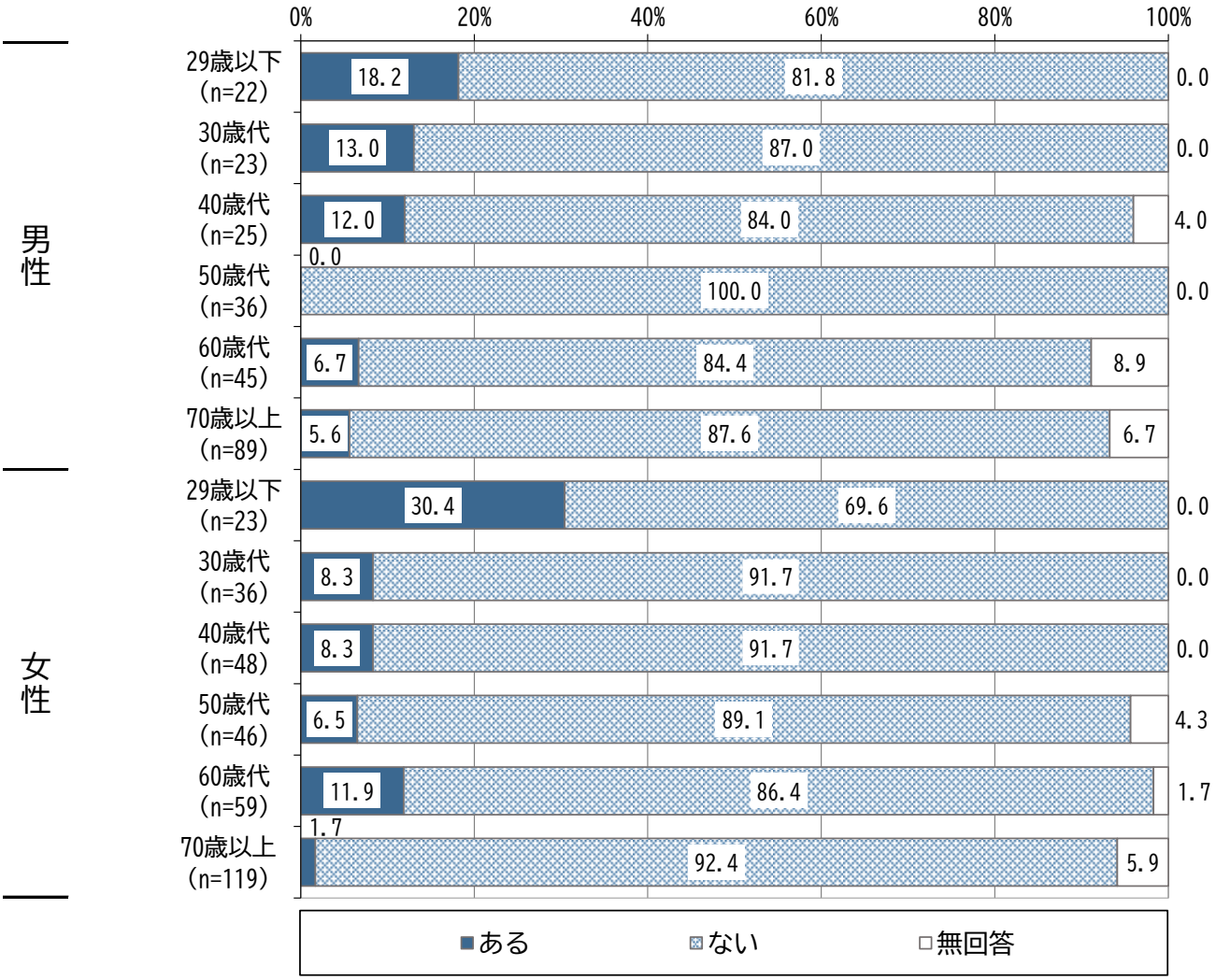
性別でみると、「ある」では、男性が 7.5%、女性が 7.9%となっています。

図表 2-1-82 パラスポーツの経験の有無 性別



性別・年齢階級別でみると、「ある」では、男性・女性いずれも 29 歳以下の割合が最も高くなっています。

図表 2-1-83　パラスポーツの経験の有無　性別・年齢階級別



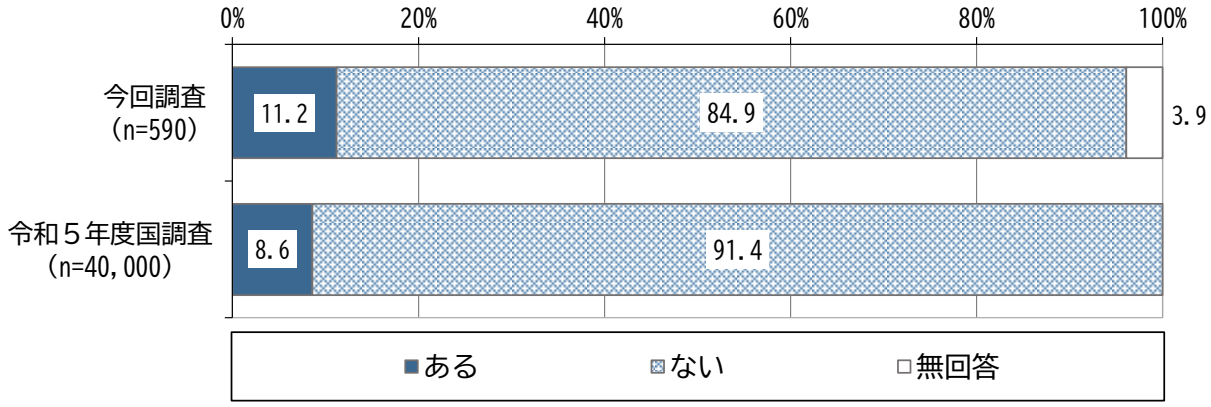
② 障がいのある人とない人でともに運動やスポーツをしたことがあるか

問20	あなたは障がいのある人とない人で、ともに運動やスポーツを実施したことがありますか。（○は1つ）

障がいのある人とない人でともに運動やスポーツをしたことがあるかについては、「ある」が 11.2%、「ない」が 84.9%となっています。

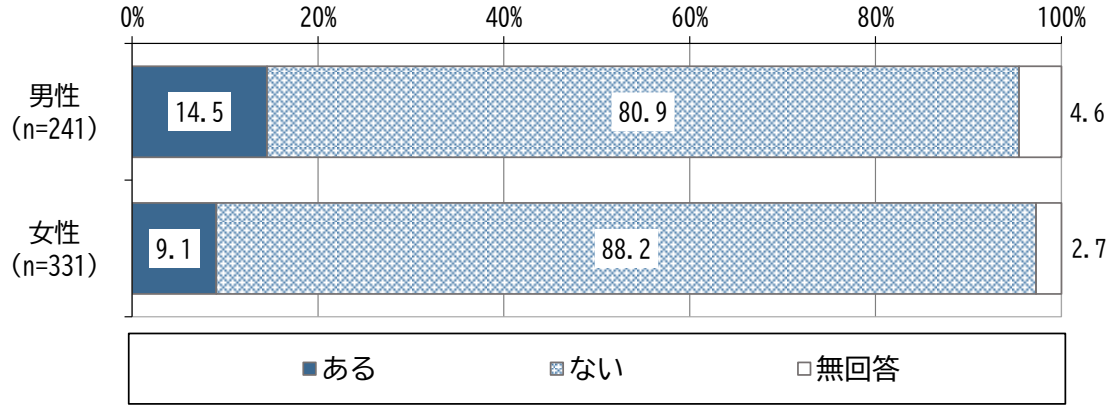
令和5（2023）年度国調査と比較すると、「ある」（11.2%）では、令和5（2023）年度国調査（8.6%）と大きな差はみられません。

図表 2-1-84 障がいのある人とない人でともに運動やスポーツをしたことがあるか



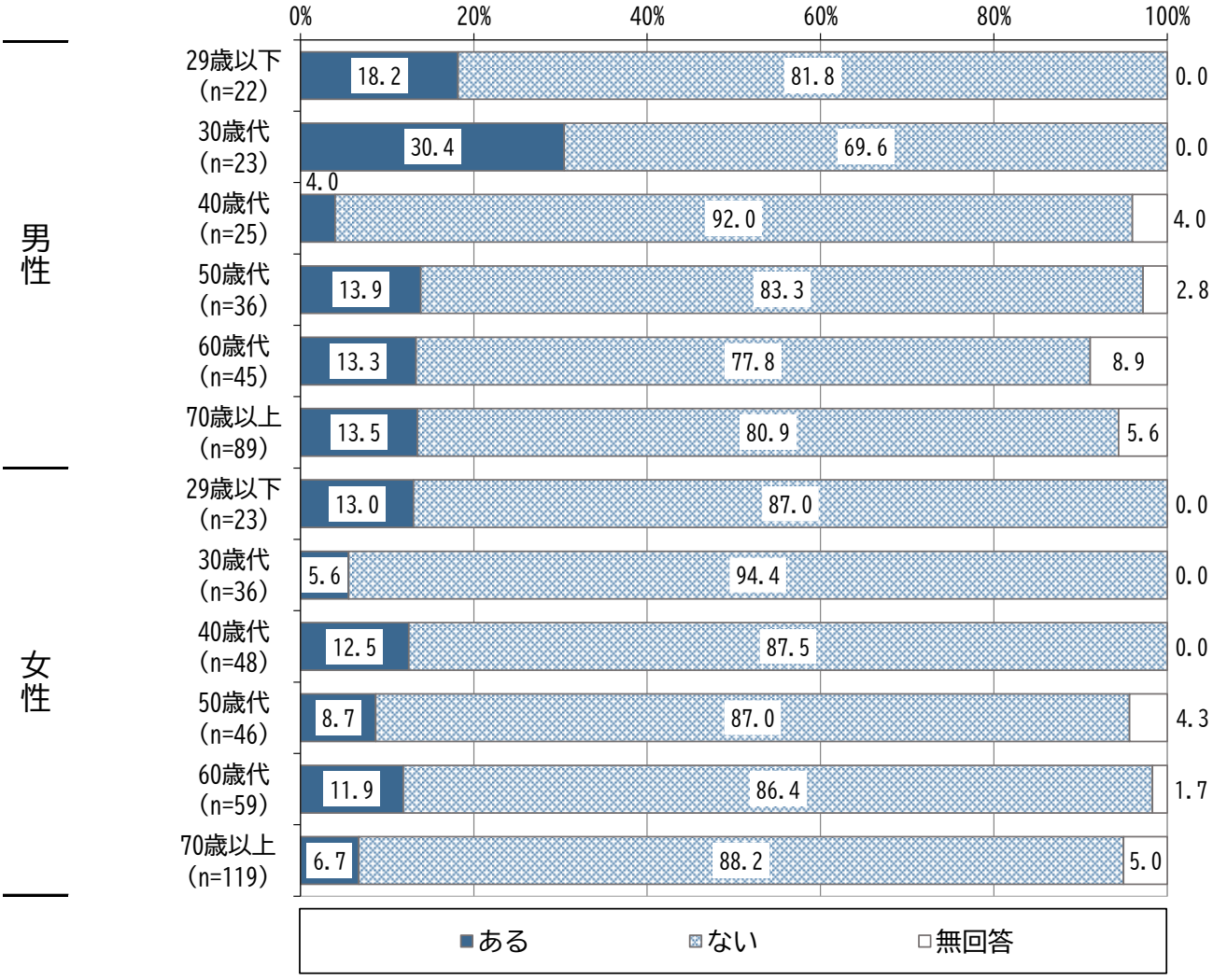
性別でみると、「ある」では、男性が 14.5%、女性が 9.1%となっています。

図表 2-1-85 障がいのある人とない人でともに運動やスポーツをしたことがあるか 性別



性別・年齢階級別でみると、「ある」では、男性は 30 歳代が 30.4％で最も高く、女性は 29 歳以下が 13.0％で最も高くなっています。

図表 2-1-86 障がいのある人とない人でともに運動やスポーツをしたことがあるか 性別・年齢階級別



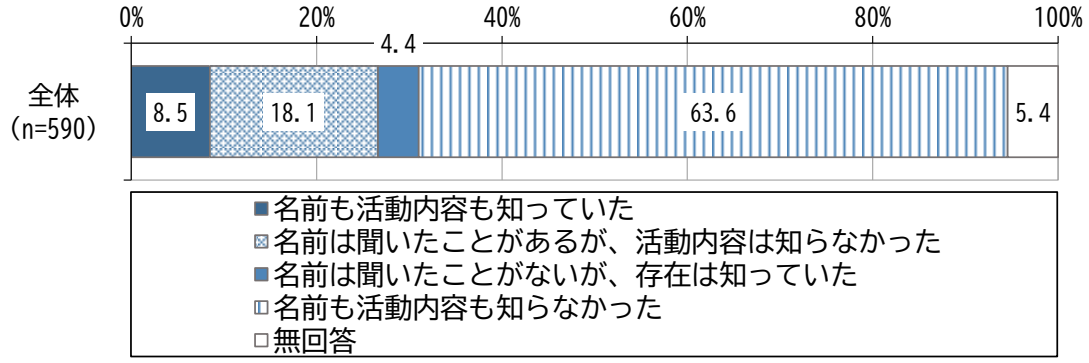
(8)スポーツ推進委員について

① スポーツ推進委員の認知状況

問21	「スポーツ推進委員」(旧名称:体育指導委員)は、スポーツ基本法に基づき、富田林市の教育委員会が委嘱し、非常勤職員として富田林市のスポーツ振興のため、ファミリーレクリーション(グラウンドゴルフ、ウォーキング等)等を実施しており、スポーツやレクリエーションに関する指導や助言を行っています。 あなたは、「スポーツ推進委員」について、ご存知ですか。(○は1つ)

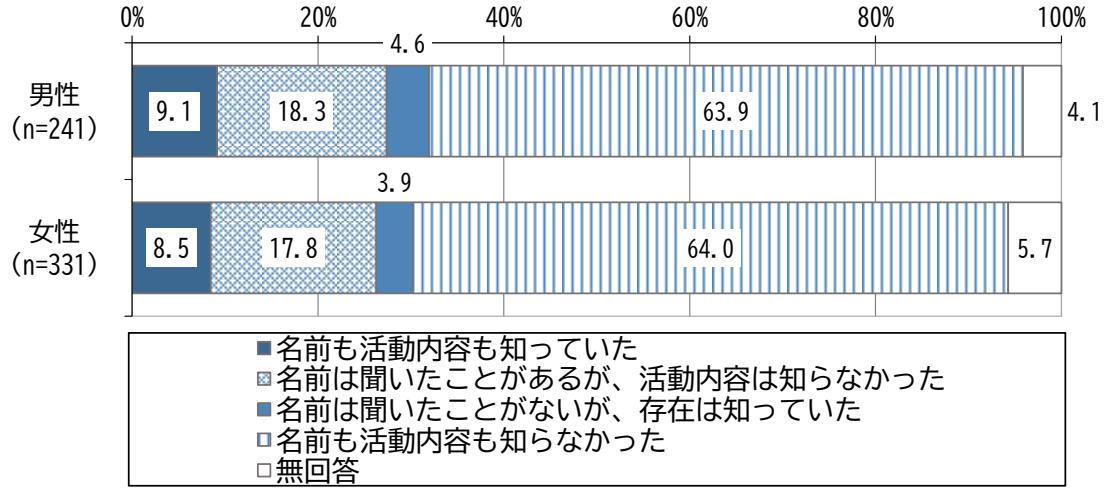
スポーツ推進委員の認知状況については、「名前も活動内容も知らなかった」が 63.6%で最も高く、次いで「名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らなかった」が 18.1%、「名前も活動内容も知っていた」が 8.5%と続いています。

図表 2-1-87 スポーツ推進委員の認知状況



性別でみると、「名前も活動内容も知っていた」では、男性が 9.1%、女性が 8.5%となっています。

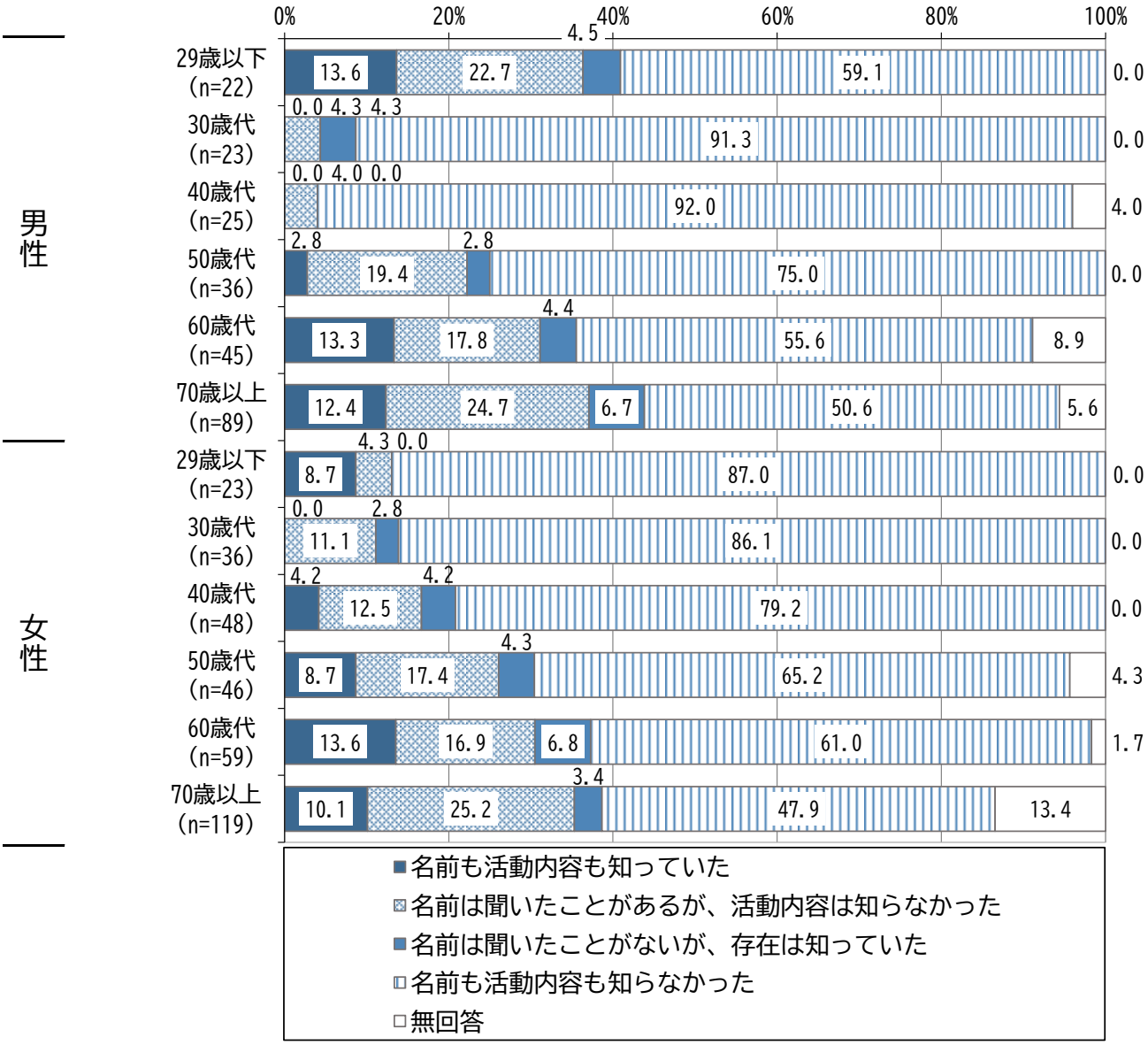
図表 2-1-88 スポーツ推進委員の認知状況 性別



性別・年齢階級別でみると、「名前も活動内容も知っていた」では、男性は 29 歳以下が 13.6%で最も高く、女性は 60 歳代が 13.6%となっています。

一方、「名前も活動内容も知らなかった」では、男性は 40 歳代が 92.0%で最も高く、女性は 29 歳以下が 87.0%で最も高くなっています。

図表 2-1-89　スポーツ推進委員の認知状況　性別・年齢階級別

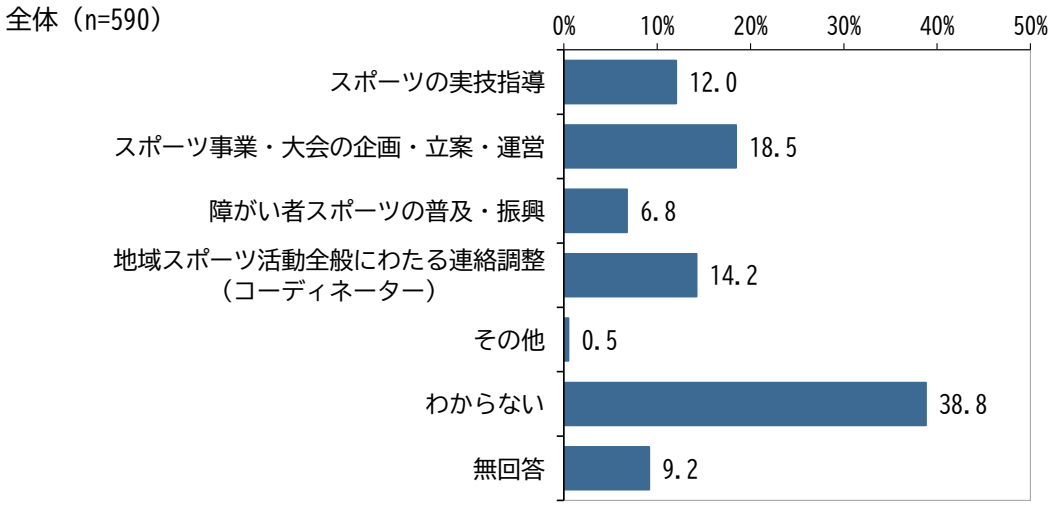


② スポーツ推進委員に期待する役割・活動

問22	あなたはスポーツ推進委員にどのような役割・活動を期待しますか。 一番期待するもの1つを選んでください。(○は1つ)

スポーツ推進委員に期待する役割・活動については、「わからない」が 38.8%で最も高く、次いで「スポーツ事業・大会の企画・立案・運営」が 18.5%、「地域スポーツ活動全般にわたる連絡調整(コーディネーター)」が 14.2%と続いています。

図表 2-1-90 スポーツ推進委員に期待する役割・活動



性別でみると、男性・女性いずれも「わからない」の割合が最も高くなっています。

性別・年齢階級別でみると、「スポーツ事業・大会の企画・立案・運営」では、男性・29歳以下が40.9%で最も高くなっています。

図表 2-1-91 スポーツ推進委員に期待する役割・活動 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	スポーツの実技指導	スポーツ事業・大会の企画・立案・運営	障がい者スポーツの普及・振興	地域スポーツ活動全般にわたる連絡調整（コーディネーター）	その他	わからない	無回答
全体		590	12.0	18.5	6.8	14.2	0.5	38.8	9.2
性別	男性	241	10.0	20.7	6.6	17.8	0.8	36.9	7.1
	女性	331	13.6	17.2	6.6	11.8	0.3	40.2	10.3
男性	29歳以下	22	9.1	40.9	13.6	4.5	0.0	31.8	0.0
	30歳代	23	8.7	17.4	4.3	13.0	0.0	56.5	0.0
	40歳代	25	8.0	20.0	0.0	4.0	4.0	56.0	8.0
	50歳代	36	8.3	22.2	5.6	27.8	0.0	33.3	2.8
	60歳代	45	11.1	17.8	11.1	24.4	0.0	22.2	13.3
	70歳以上	89	11.2	18.0	5.6	19.1	1.1	36.0	9.0
女性	29歳以下	23	13.0	17.4	8.7	13.0	0.0	47.8	0.0
	30歳代	36	11.1	25.0	8.3	11.1	0.0	44.4	0.0
	40歳代	48	14.6	14.6	16.7	6.3	0.0	41.7	6.3
	50歳代	46	13.0	21.7	2.2	17.4	0.0	37.0	8.7
	60歳代	59	18.6	20.3	8.5	16.9	0.0	25.4	10.2
	70歳以上	119	11.8	12.6	2.5	9.2	0.8	45.4	17.6

※網掛け■は最も割合が高いもの

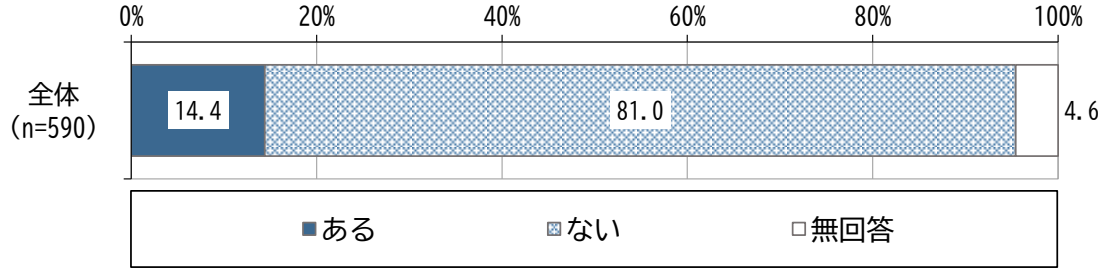
(9)富田林市におけるスポーツ推進について

① 富田林市のスポーツ大会等への参加経験の有無

問23	あなたは富田林市が主催するスポーツ大会やスポーツイベント、スポーツ教室に参加したことがありますか。(○は1つ)

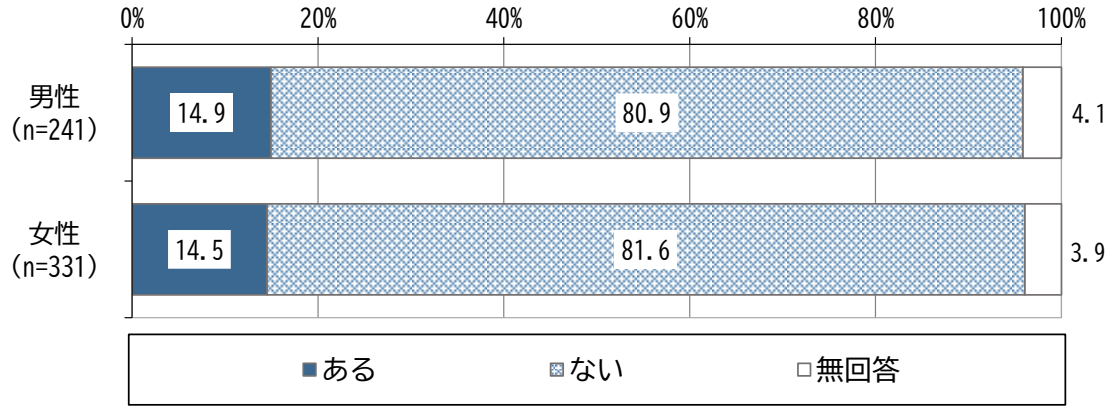
富田林市のスポーツ大会等への参加経験の有無については、「ある」が 14.4%、「ない」が 81.0%となっています。

図表 2-1-92 富田林市のスポーツ大会等への参加経験の有無



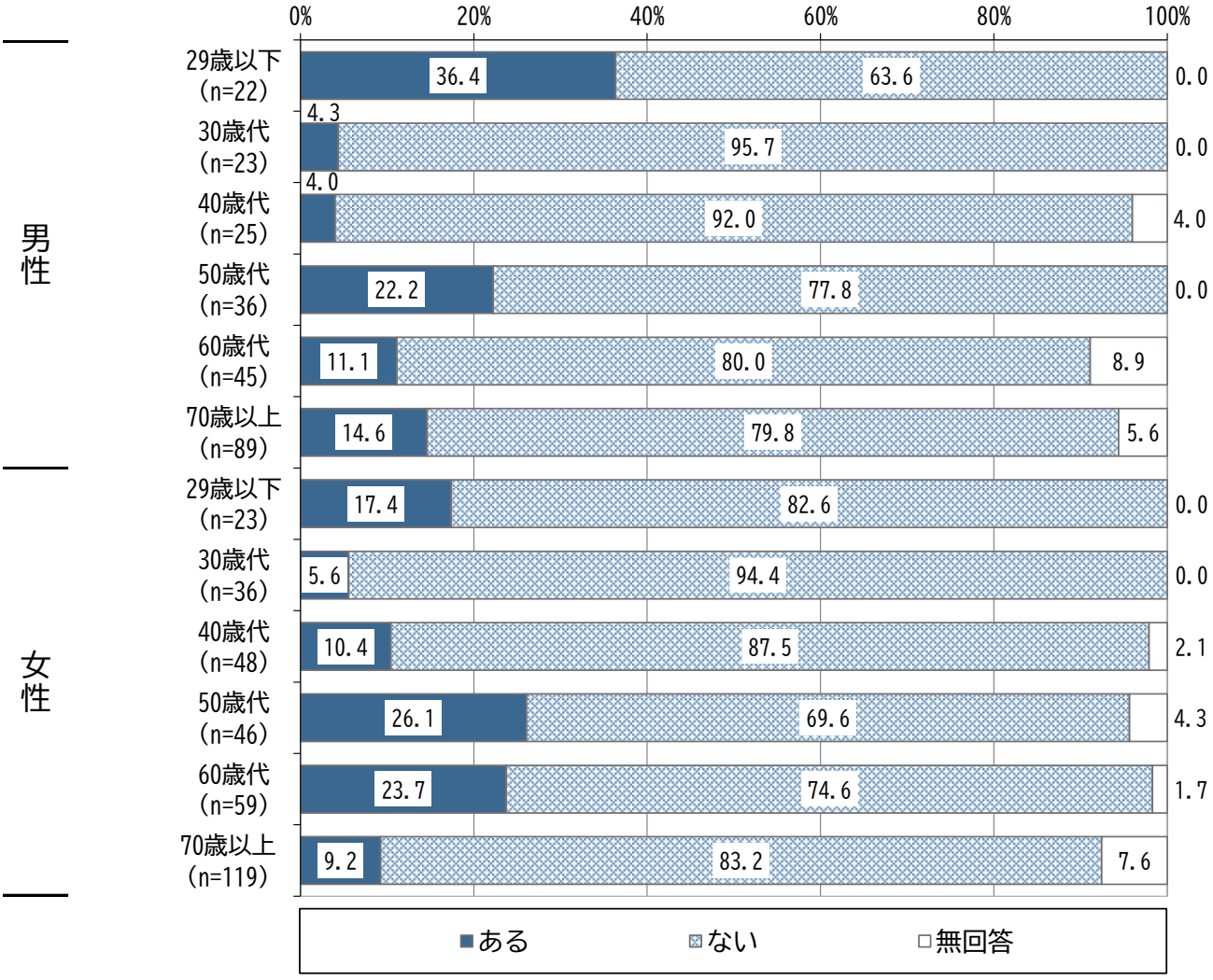
性別でみると、「ある」では、男性が 14.9%、女性が 14.5%となっています。

図表 2-1-93 富田林市のスポーツ大会等への参加経験の有無 性別



性別・年齢階級別でみると、「ある」では、男性では 29 歳以下が 36.4％で最も高く、女性では 50 歳代が 26.1％で最も高くなっています。

図表 2-1-94　富田林市のスポーツ大会等への参加経験の有無　性別・年齢階級別

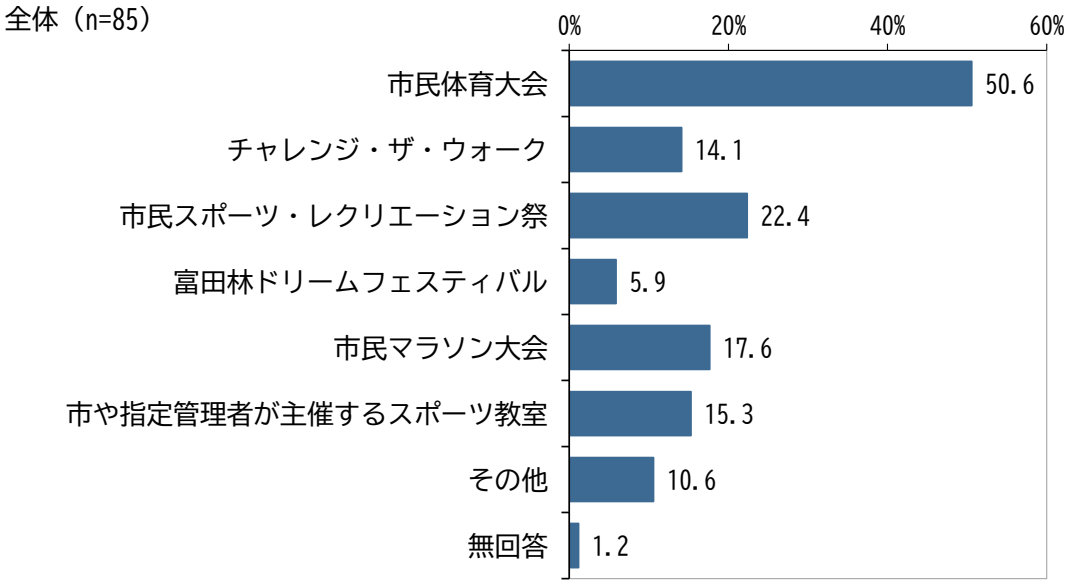


② 参加したスポーツ大会等の内容

問23－1	**問 23 で「1. ある」を回答された方にお聞きします。** それはどのようなスポーツ大会やスポーツイベント、スポーツ教室ですか。（○はいくつでも）

参加したスポーツ大会等の内容については、「市民体育大会」が 50.6%で最も高く、次いで「市民スポーツ・レクリエーション祭」が 22.4%、「市民マラソン大会」が 17.6%と続いています。

図表 2-1-95 参加したスポーツ大会等の内容



性別でみると、男性・女性いずれも「市民体育大会」の割合が最も高くなっています。

図表 2-1-96 参加したスポーツ大会等の内容 性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	市民体育大会	チャレンジ・ザ・ウォーク	市民スポーツ・レクリエーション祭	富田林ドリームフェスティバル	市民マラソン大会	市や指定管理者が主催するスポーツ教室	その他	無回答
全体		85	50.6	14.1	22.4	5.9	17.6	15.3	10.6	1.2
性別	男性	36	66.7	5.6	16.7	8.3	27.8	2.8	16.7	0.0
	女性	48	37.5	20.8	27.1	4.2	10.4	25.0	6.3	2.1

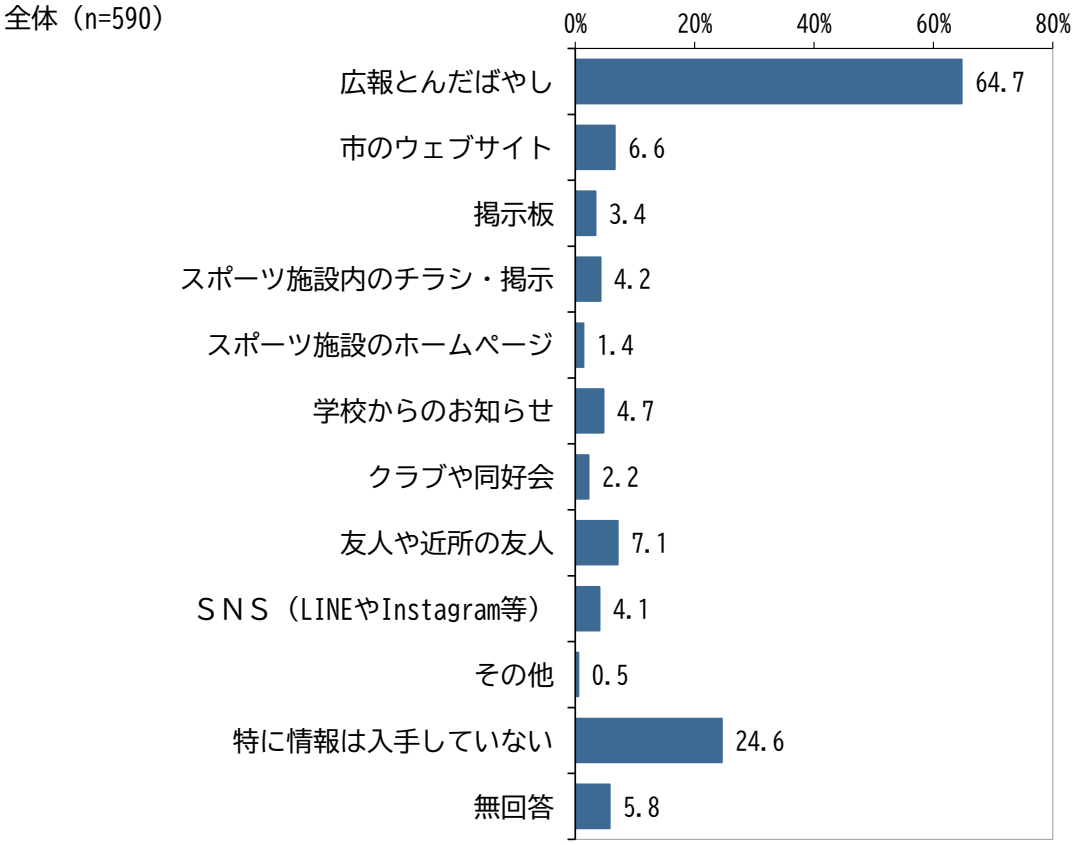
※網掛け■は最も割合が高いもの

③ 市のスポーツ大会等の情報の入手方法

問24	市が開催しているスポーツ大会やスポーツイベント、スポーツ教室などの情報は、どのような方法で入手していますか。（○はいくつでも）

市のスポーツ大会等の情報の入手方法については、「広報とんだばやし」が 64.7%で最も高く、次いで「特に情報は入手していない」が 24.6%、「友人や近所の友人」が 7.1%と続いています。

図表 2-1-97 市のスポーツ大会等の情報の入手方法



性別でみると、男性・女性いずれも「広報とんだばやし」の割合が最も高くなっています。

性別・年齢階級別でみると、「広報とんだばやし」では、男性・60 歳代が 86.7%で最も高く、「特に情報は入手していない」では、女性・29 歳以下が 69.6%で最も高くなっています。

図表 2-1-98 市のスポーツ大会等の情報の入手方法 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	広報とんだばやし	市のウェブサイト	掲示板	スポーツ施設内のチラシ・掲示	スポーツ施設のホームページ	学校からのお知らせ	クラブや同好会	友人や近所の友人	SNS（LINEやInstagram等）	その他
全体		590	64.7	6.6	3.4	4.2	1.4	4.7	2.2	7.1	4.1	0.5
性別	男性	241	62.7	7.5	3.3	6.2	2.9	3.3	2.9	6.6	2.9	0.4
	女性	331	65.9	6.3	3.3	2.4	0.3	5.4	1.5	6.9	4.5	0.3
男性	29歳以下	22	31.8	9.1	4.5	4.5	9.1	4.5	9.1	22.7	4.5	0.0
	30歳代	23	34.8	8.7	4.3	0.0	0.0	4.3	0.0	17.4	8.7	0.0
	40歳代	25	60.0	4.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	4.0	0.0	0.0
	50歳代	36	58.3	5.6	0.0	11.1	2.8	0.0	2.8	5.6	0.0	0.0
	60歳代	45	86.7	13.3	2.2	6.7	0.0	0.0	0.0	2.2	2.2	0.0
	70歳以上	89	68.5	5.6	5.6	7.9	4.5	1.1	4.5	3.4	3.4	1.1
女性	29歳以下	23	21.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	4.3
	30歳代	36	55.6	11.1	2.8	0.0	0.0	13.9	0.0	11.1	11.1	0.0
	40歳代	48	81.3	12.5	2.1	4.2	0.0	18.8	0.0	6.3	2.1	0.0
	50歳代	46	71.7	4.3	0.0	0.0	2.2	4.3	0.0	8.7	8.7	0.0
	60歳代	59	81.4	10.2	5.1	3.4	0.0	1.7	1.7	8.5	5.1	0.0
	70歳以上	119	61.3	2.5	5.0	3.4	0.0	0.8	3.4	5.9	0.8	0.0

		合計	特に情報は入手していない	無回答
全体		590	24.6	5.8
性別	男性	241	26.6	4.1
	女性	331	23.6	6.6
男性	29歳以下	22	36.4	0.0
	30歳代	23	52.2	0.0
	40歳代	25	36.0	0.0
	50歳代	36	33.3	0.0
	60歳代	45	13.3	0.0
	70歳以上	89	18.0	11.2
女性	29歳以下	23	69.6	0.0
	30歳代	36	27.8	0.0
	40歳代	48	18.8	0.0
	50歳代	46	23.9	2.2
	60歳代	59	16.9	0.0
	70歳以上	119	18.5	17.6

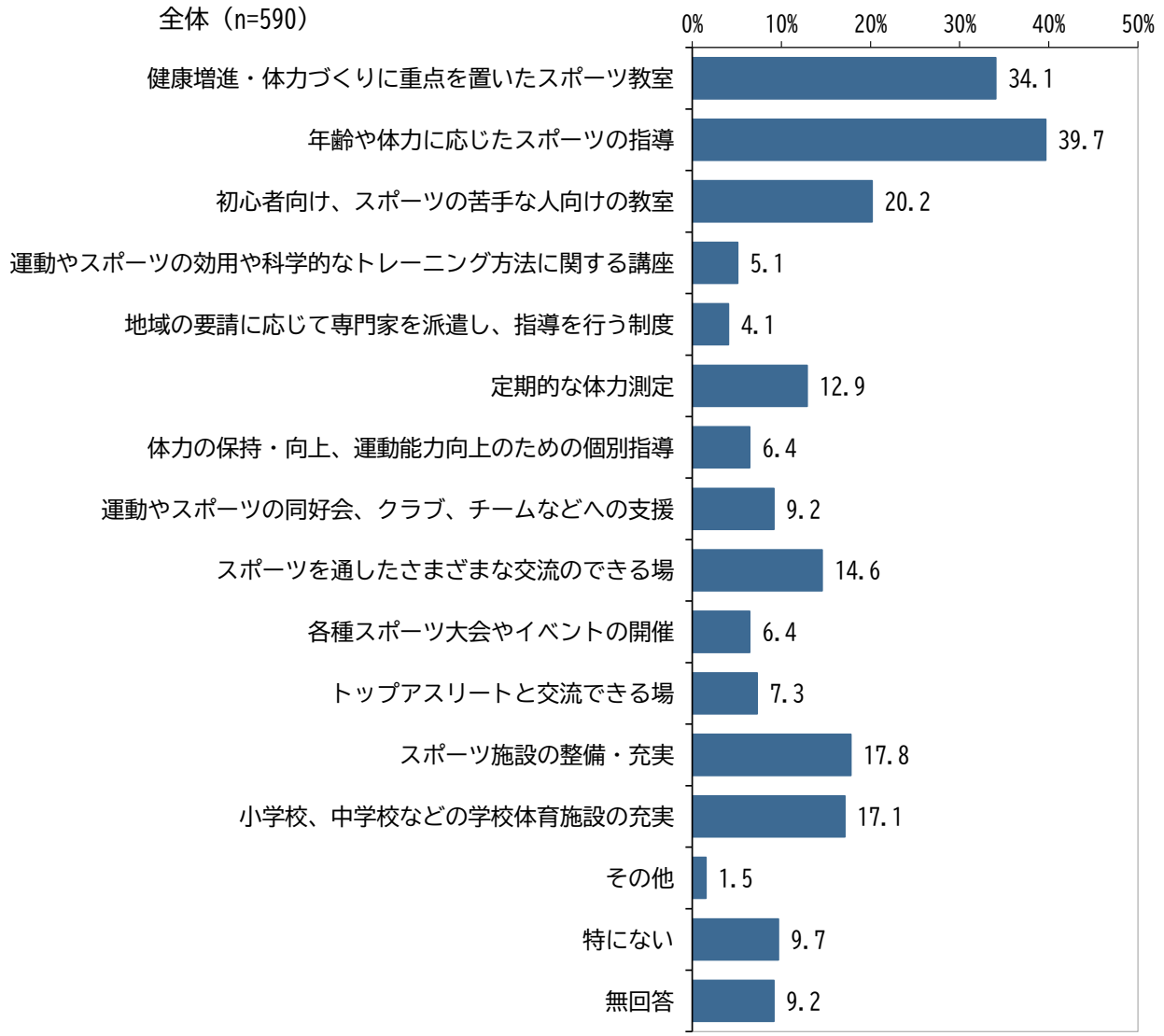
※網掛け■は最も割合が高いもの

④ スポーツ推進のために市に求める取組

問25	今後のスポーツ推進のために、市の役割として、特にどのような取組を充実するべきだと思いますか。(○はあてはまるもの3つまで)

スポーツ推進のために市に求める取組については、「年齢や体力に応じたスポーツの指導」が 39.7%で最も高く、次いで「健康増進・体力づくりに重点を置いたスポーツ教室」が 34.1%、「初心者向け、スポーツの苦手な人向けの教室」が 20.2%と続いています。

図表 2-1-99 スポーツ推進のために市に求める取組



性別でみると、男性・女性いずれも「年齢や体力に応じたスポーツの指導」の割合が最も高くなっています。

性別・年齢階級別でみると、「年齢や体力に応じたスポーツの指導」では、女性・60 歳代が 54.2%で最も高く、「初心者向け、スポーツの苦手な人向けの教室」では、男性・女性いずれも 29 歳以下の割合が最も高くなっています。

図表 2-1-100 スポーツ推進のために市に求める取組 属性別

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	健康増進・体力づくりに重点を置いたスポーツ教室	年齢や体力に応じたスポーツの指導	初心者向け、スポーツの苦手な人向けの教室	運動やスポーツの効用や科学的なトレーニング方法に関する講座	地域の要請に応じて専門家を派遣し、指導を行う制度	定期的な体力測定	体力の保持・向上、運動能力向上のための個別指導	運動やスポーツの同好会、クラブ、チームなどへの支援	スポーツを通したさまざまな交流のできる場	各種スポーツ大会やイベントの開催
全体		590	34.1	39.7	20.2	5.1	4.1	12.9	6.4	9.2	14.6	6.4
性別	男性	241	34.0	39.0	14.9	7.1	3.7	16.6	5.0	8.3	13.3	7.9
	女性	331	35.3	39.9	24.2	3.6	4.2	10.6	7.9	9.7	15.4	5.4
男性	29歳以下	22	27.3	9.1	22.7	4.5	0.0	22.7	9.1	13.6	13.6	18.2
	30歳代	23	26.1	21.7	13.0	8.7	8.7	21.7	4.3	4.3	21.7	13.0
	40歳代	25	20.0	28.0	12.0	0.0	4.0	16.0	0.0	16.0	12.0	4.0
	50歳代	36	38.9	30.6	5.6	11.1	0.0	11.1	2.8	8.3	19.4	13.9
	60歳代	45	40.0	46.7	17.8	11.1	2.2	20.0	11.1	4.4	15.6	6.7
	70歳以上	89	37.1	53.9	16.9	5.6	5.6	14.6	3.4	7.9	7.9	3.4
女性	29歳以下	23	26.1	13.0	47.8	0.0	0.0	4.3	17.4	13.0	26.1	4.3
	30歳代	36	25.0	27.8	36.1	5.6	0.0	5.6	2.8	11.1	16.7	11.1
	40歳代	48	37.5	33.3	29.2	8.3	6.3	14.6	12.5	18.8	10.4	6.3
	50歳代	46	34.8	32.6	28.3	2.2	4.3	15.2	4.3	10.9	21.7	6.5
	60歳代	59	54.2	54.2	25.4	5.1	10.2	5.1	6.8	8.5	25.4	6.8
	70歳以上	119	30.3	47.1	11.8	1.7	2.5	12.6	7.6	5.0	7.6	2.5

		合計	トップアスリートと交流できる場	スポーツ施設の整備・充実	小学校、中学校などの学校体育施設の充実	その他	特にない	無回答
全体		590	7.3	17.8	17.1	1.5	9.7	9.2
性別	男性	241	6.6	20.3	15.8	0.8	10.4	7.9
	女性	331	7.6	15.7	19.0	1.8	8.8	9.7
男性	29歳以下	22	13.6	27.3	22.7	0.0	4.5	4.5
	30歳代	23	13.0	21.7	21.7	0.0	13.0	4.3
	40歳代	25	16.0	28.0	16.0	0.0	4.0	12.0
	50歳代	36	11.1	36.1	16.7	0.0	11.1	5.6
	60歳代	45	2.2	20.0	15.6	4.4	8.9	2.2
	70歳以上	89	1.1	10.1	12.4	0.0	12.4	12.4
女性	29歳以下	23	17.4	17.4	13.0	8.7	17.4	0.0
	30歳代	36	13.9	13.9	52.8	2.8	8.3	0.0
	40歳代	48	8.3	27.1	27.1	0.0	4.2	6.3
	50歳代	46	10.9	17.4	8.7	0.0	4.3	10.9
	60歳代	59	6.8	16.9	16.9	3.4	3.4	1.7
	70歳以上	119	2.5	10.1	11.8	0.8	13.4	19.3

※網掛け■は最も割合が高いもの

(10)自由回答

問26	最後に、運動やスポーツに関してご意見やご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

運動やスポーツについての自由記述は、以下の通りです。(一部編集のうえ掲載)

図表 2-1-101 自由回答

「する」スポーツについて
自身の運動・スポーツ活動について
・介護に専念するようになって 20 年目を迎えます。この間、「昔取った杵柄」で週 3 日自宅でウエイトトレーニングを(ストレッチも)実践しています。筋力、筋持久力、呼吸循環持久力 etc の維持、増進を忘れないようにしようと、がんばっています。しかし、介護に専念しなければならない為、トレーニングの時間を生み出すのに苦労してきました。家事もおろそかにはできません。買い物や諸々の手続き、通院の時などは努めて外部の人たちと言葉を交わし、「社会」とのつながりを保つよう心がけています
・体力保持の為、スポーツはしたいですが、元々嫌いなので 1 人で参加するには気力と勇気がいりますね。皆が公平に税金使えるような工夫を考えてほしいです
・スポーツ前々から出来ません。家事等で忙しいため、また通院で忙しいため
・スポーツも楽しみたいのですが、足が弱くなり家でマージャンゲームで楽しんでいます。今年は家の回りを少し歩くのが運動と思い約 10 分ぐらい頑張っていきたいと思います
・若い時はいろいろなスポーツをしておりました、テニス、登山、マラソンなど、足のけがや、病気をするようになって、スポーツは出来なくなり残念ですが、無理のない程度で健康のためにウォーキングか体操をしています
・現在体調を崩し、入退院等でスポーツの出来る状況に有りません。専らリハビリに専念している状態です。出来れば毎日の散歩と小旅行が可能になればと思っています
・相撲する人があればやりたい
・定年後できるスポーツをしたい
・健康のため毎日持続して歩こうと思いました
・若い時は山登り、富士山等、楽しみました。日舞踊りも永年やりました。車の運転も 28～82 才まで、無事こなして来ました。今は一人暮しで、楽しくやっています。趣味は唄う事カラオケに行ってます。水泳も 60 才から始めました。調子に乗って肺炎になりました。ここで、私の人生が狂いました。今は歩けます。障がい者の手帳もいただきました。年と共に、運動が、出来なくなり、テレビ体操が唯一の慰めです。頑張ります
・今、公園でラジオ体操していますが、80 才前後の年の人ばかり 14 名ぐらいです。5,000 歩から 8,000 歩ぐらい歩いていますが毎日は私は無理です
・コスパにずっと行ってました。行きやすい場所で好きなスポーツがあり楽しみでした。市が「かなんぴあ」の様に受けついでくだされればと思っていました。今さら残念です。今は広報とんだばやしの募集に申し込み当たる事を願っています。参加出来て 5 回～10 回楽しく終るとそれっきりで月謝を支払っても続きを楽しく出来る様希望します
・週に一度は口コモセンターでマシーン運動等をしています。他には毎日 5,000 歩平均歩いています
・市民総合体育館と金岡公園テニスコートを利用させてもらっています。今元気でやっていけてるのも、ほぼ毎日、軽く体を動かしているからだと、たいへん感謝しています
・私は、現在、週に 1 回リハビリに行って、スクワットをしたり、片脚立ちをしたり、踵を上げて 10 秒上げたままにしています。スポーツをどれかしたくても、一昔前、大腸癌にかかったこと、最近、手足が痺れて家で、できる範囲で、軽い運動ができないのです。大腸癌にかかっていなかったら、病気をしていなかったら、いろんなことにチャレンジをしたり、人と人との意見を交換したりしていたと思います。旅行はおろか、ドライブもできません

・津々山台ゲートボール場、津々山台テニスコート下の公園でグラウンドゴルフを 10 年以上お世話になっています。年も重ねて、他の事はわかりません
・スポーツよりも病気との戦いが中心の生活です。特定の病気のため、体を動かす事、ウォーキング以上のスポーツは困難です
子どものスポーツについて
・40 年近く少年野球に携わっています。少子化で毎年部員を集めるのが大変です。その上、家庭によって勉強、塾が中心でスポーツを軽視している傾向が見られる。子どもが持っている興味を伸ばしてあげる方法はないものか。両親が考えている勉強オンリーの考え方を変えられないか。校門などで勧誘活動を行っているが他の方法も考えたい
・健康増進、体力づくり等は大人が主体的、自主的に行えるが、子どもは環境がなければ、きっかけが少なくなると思います。現状、サッカー、野球などは学校グラウンドや石川の川沿いを利用し活動を行っていますが、予約の優先順位などの理由に、満足に活動を行えていないことが実状です。空いている土地、立地条件の良い地など多くあると思いますので、積極的な環境整備をお願いしたいと思います。中学校のクラブ廃止が、実行されることもあり早期に対応をお願いします
・行政が実施する（スポーツ）の教室や講座は、そのほとんどが大人、高齢者、小学生以下向けである。中学生には腰が引けていて、実施がない。「部活動があるから」と言いたいのだろうが、”危うい者（物）には近づかない”と言う行政の姿勢はどうにかならないものだろうか。神戸市では部活動を廃止する計画もあると言う、多感な時期の子どもたちを支えてこそ行政や社会が評価されるのだ。すべての市民に公平、公正であることが望まれる
部活動について
・公立中学校や高校のクラブがなくなっていき、子どもを外部で習わせるとなるとお金が必要です。これもまた、格差社会が大きくなる原因ではないでしょうか。費用がかからず、子どもたちがスポーツや運動に興味を持っていけたらいいなと思います
・市立中学校の部活動のサポートをしてほしいです。教職員の働き方改革とスポーツでの青少年育成を両立するには市のサポートが必要な段階だと思います
高齢者のスポーツについて
・高齢者向け介護予防の充実→要介護者の減少
・高齢者の方でも 100 才をめざす、自分の足で歩けるような、施策を希望します
・富田林は 65 才以上が人口の約 30%とききます。健康寿命を延ばすために運動や栄養指導が必要だと思います。特に若い頃からスポーツをされている方はいろいろとご存じでスポーツ参加も気軽にできると思いますが、スポーツと縁遠かった人は二の足三の足を踏むと思います。ゆえに高齢社会を元気に生きていくためにどんな方も入りやすいハードルの低いスポーツへの誘いが必要かと。例：各地区の会館をもっと利用（お祭り以外は使われていない）、高齢者は車バス等利用するより歩いていける近い所が良いです
・高齢者が出来るスポーツ用具を各町会へ無償提供を行い健康増進につなげる行動を期待する。（各町会の希望する用具を聞き提供する）
・スポーツの苦手な私にとって、テニスコートで高齢の方が、テニスをされているのを見てすごいなあとつい見てしまいます。この人達が体調を崩されたり、傷をされた時にすぐに対処してあげてほしいと思いました
・一人暮らしの多い中で、ひとりでも行ける場所で簡単で体を動かしてみんなと交流がもてる場所があるといいです、座ってでも出来る体操
・高齢者向けの体操を希望します、理学療法士等の指導をしてほしいです。羽曳野市は、きのうクリニック配下のため楽しそうです
障がいのある人のスポーツについて
・障がいのある人向けの交流が少ない。身体だけでなく精神、発達障がい含む
・私の母は障害があり、スポーツをしている所を見たことがないと今回のアンケートで気づくことができました。もし可能でしたら障害を持っている人、お年寄りの方などが参加できる場ができると嬉しいです

・障がいがある人もサッカーや野球が気軽に出来る様なグラウンドを手続きしなくても使えるようにしてほしいです。総合体育館内にあるトレーニング施設等も手続き無しで使えるようにしてほしい。市バスが停まるようにしてもらえると助かります。体を動かそうにも親が主体と成らないと何も出来ないので
・富田林のスポーツ環境は、質量共にある程度担保されていると思います。ありがとうございます。今後、市が主で取り組み始めるのであれば、ボッチャ等障がい者スポーツへの健常者、子どもや高齢者も巻き込んだ取組が理想的かと思います。少しずつでもいいのと思いますのでよろしくお願いいたします
運動やスポーツに関する意識について
・小さい時から運動が嫌いだったので、今でも歩く事とか山登りぐらいしかできません。でも子どもは主人のスポーツ好きなところを持って生れてきたので、4 人ともスポーツが何でも大好きです。見るのもするのも大好きです。富田林市民の皆様のためにがんばって下さい
・相手や道具が不要な運動が続きやすいと思います
・以前に富田林ではない公共の運動施設に通った時に、ジムのトレーナーさんに、あまり運動ができなかった事を笑われたことがあって、それから恥ずかしいという気持ちで通えなくなったことがありました。私自身も最初からできる人がいないと、気にしなければ良かったですが、その場にいる、先生、トレーナーさんたちも、できない事を笑ったりせずに、温かい目で指導してくれたなら良いなと思った出来事がありました。どんな人が集うかで雰囲気も変わるので、周りの人とちょっと違う人がいても、変わらずに接してくれて、また来ようと思える、運動できる場があれば、是非、参加してみたいです
・ものがなければ運動ができないと言うのではなく、昔のように集まれる場所があってラジオ体操をするくらいがいい
「みる」スポーツについて
・野球以外にもトップアスリートの競技会が開催されればと思います
・昨年、河内長野市におきまして大相撲の地方巡業があり大変盛り上がっていました。富田林市では出来ないものでしょうか、例えばコロナワクチン接種の時に使わせて頂いた PL 教団の施設を利用させて頂くなどの方法も考えられると思いますが。勝手な事を書きました
・観戦はテレビで相撲やオリンピックを見ている程度です
「ささえる」スポーツについて
・数年前まで自身もスポーツを指導する側にいたので、活動普及などでお役に立てることがあれば協力したいと思う
・競技やスポーツ実施におけるけがやアクシデントにあった場合の対処方法（応急処置や治療方法など）の仕方の講座などがあれば良いかなと思います
スポーツ振興について
・引退した選手たちとの交流があると、モチベーションが上がると思う
・すべての市民にスポーツを実践してもらう（子どもから老人まで）
・未体験のスポーツを体験できる機会が増えると良い
・参加してみたくなる企画があれば様々なスポーツをしてみたくなるかもしれません
・運動やスポーツに縁がなく、これからも参加の可能性は低いですが、それをする人も支える人もすばらしいです。運動やスポーツ未満のアクティビティがあると、何かのきっかけとなり、さらに発展するような機会があればと思います。つい走り出したくなる様な小径、のぼってみたくなる坂の上のなにか、子どもにかえって遊びたくなる遊具、知らないうちに体を動かしてしまう何か
・運動することへの動機づけ、効果、楽しさなどを身近な公民館などでの PR 会や講座があれば気軽に参加できるのではないかと思われます
・スポーツの振興及びスポーツ活用を促進する事業の継続を永久的にできる様お願いしたい
・富田林体操を作る。10、4 時に防災無線から流すなど。オリンピックめざすアスリートも大切ですが数多い市民の健康増進が介護保険、健康保険の手助けとなると思います

・年代や体力に応じて、色々な運動・スポーツが１つでも多く、参加が出来て、楽しく、交流の場が出来る事を望みます
大会等について
・①広報のスポーツの無料講座は狭き門です（特にヨガ、ピラティス）場所が中央、金剛、東分室の３つだけでは足りないのでは。②子ども向けのスポーツもほぼ小学生までの様に思います。中学高校の部活にない様な事を長期休暇中に短期になれば良いと思います（筋トレ、ダンス、ヨガ等）③町内会の高齢者向けの運動の催しも参加者が少ないので町としてではなく市として町内の集いやすい場所で催したらどうでしょうか
・初心者でも気軽に始められるスポーツ教室があったら良いです。太極拳など良いですね
・市主催のスポーツ教室（体験教室）を平日の夜にも開催してほしい
・中高年を対象にした運動教室が土、日に実施されたらぜひ参加したいです。藤井寺市はキックボクシング教室（という名のストレッチ教室？）を土曜に開催されてました
・無料か手軽な料金で参加できる健康づくりの講座をこれからもたくさん企画して欲しいです。（ヨガ、体操、ウォーキングなど）
・けあぱるのスポーツ教室をもっと充実させてほしいです
・だれでも参加できるウォーキングイベントなどがあれば参加してみたい
・仕事上、平日が休みとなるので土日祝などにおこなわれているイベント行事には参加できないので平日にもイベント行事があれば参加しやすいです
・成人チームで軟式野球をしています。10代～50代のメンバーで男女混合で活動しています。市が運営している大会は、トーナメント戦で負けたら終わりのため、私たちにはレベルが高いので参加していません。野球初心者のチームでリーグ戦とか企画してくれると嬉しいです。シニア、中年の野球を再開するきっかけになるようなイベントをしてほしいです。潜在的な野球経験者や野球を再開したいと思っている人は意外と多いと思います、野球人口が増えることを願っております
・PL の花火がなくなった現在、富田林をアピールするものが 1 つなくなりました。今後はそれを挽回するべくマラソン大会を開催すればいいと思います、私はもう何年も前から望んでいます。フルは難しいかもしれないのでせめてハーフマラソンでも。ノウハウは開催している河内長野や高槻市、寝屋川市、橋本市などを参考にしたらいいと思います、私はすべて出場したことがあります、町おこしの目的も兼ねて、開催し、市をアピールすることが後々移住、定住に結びつき人口増につながるかもしれません、期待しています
・女性でも軽く楽しめるボクササイズなどあれば楽しそうですね。ファミリーソフトバレーボールなど家族対抗の試合などの大会も楽しそうです。子どももお年寄りも一緒に遊べたら楽しいでしょうね。いつも利用させていただき感謝しております
情報発信について
・参加しやすい運動の案内などがあれば参加してみたいけど、どこを確認すれば参加できる運動などが開催してるのか分からないです。平日の夜などで、参加してみたいです
・運動をしたいですが、どこでどのような活動があるのか分かりません。もっと宣伝してくれたらいいなぁと思います
・当該スポーツ推進委員の方は、担当する地域に市が開催するスポーツ大会の情報を発してほしい
・50 才以上のスポーツ（ソフトボール）を出来るチーム、場所、入りやすさのあるチームを紹介してほしい
・おうちでできる体操、ストレッチ、筋トレなど SNS のよくわからない素人の動画より、市町村が選んだ専門家の動画がつくれるなら、それをやりたい。30 分も歩けないし、歩くための体力がいる。最初から公の場で運動するのはゼッタイムリ。30 分も歩けないから。あと、変な人に喋りかけられるのもイヤ。おうちでできる動画で YouTube で富田林の知名度も up
・情報発信の多様化を図っていく必要がある
・広報に運動ウォーキング、筋トレ等の効用や下半身を鍛える重要さを広く知識として記載してはどうでしょうか
・広報のページ内容が少く、小さい。もう少し、わかりやすく、大きく、具体的に案内してほしいです。また、出来れば専門のトレーナーの氏名など表示してほしい

・高齢者で足が弱ってスポーツ施設を利用出来ない者のために足、腰を鍛えるための体操を広報誌で紹介して下さい。長く楽しくできる簡単な種目であるとうれしいです
・市の広報やお知らせ etc で「年齢や体力に応じた運動」や「運動することの効用や科学的なトレーニング方法」など、ホームトレーニングしかできない者としては運動のモチベーションを維持したり、勉強になる情報をパンフレットか小冊紙のような物と一緒にして配布してもらえると嬉しいです。読みやすい、見やすい、A4 サイズ、カラー、写真やイラストが載った小冊紙が配布されると嬉しいです
・施設の拡充やグループサークル活動の広報など、もっと知れたらいいなと思います
・卓球の無料体験のお知らせ等をしてほしい。市民体育館で教室があるようだが、期日を定めて、体験会をする等のお知らせをしてほしい
・新たなスポーツ、運動を始める際には、キッカケ（背中を押してくれるもの）が必要です。例えば専門家の指導を受けることができる、数回の体験ができるなどの支援があり、これを分かりやすく周知してもらえるような広報活動があればうれしいです
スポーツ施設について
・総合体育館にあるトレーニングルームが本当に古いので設備を更新してほしい。隣の河内長野市のトレーニングルームは、すべてマトリックスの器具で統一されていて羨ましい。恐らくリースだと思うが、富田林市もリースで最新の器具にできないか。設備を更新すれば、利用者は確実に増えると思う。逆に今のトレーニングルームのまま続けるのであれば、最近民間のジムも多いので廃止しても良いと思う
・施設の改善が必要。総合体育館だけになって、時間を取るのが難しくなっている。施設、特にトイレを改修してほしい
・他市に比べて当市はスポーツ施設の充実は図られていると感じていますが、老朽化した施設や用具などは安全面での不安があります。急を要するものからの暫時修復、更新が望まれます
・体育館でスポーツをしようと思っても、夏は暑すぎて熱中症にもなり控えています。クーラーを設置してほしい。他市は、設置している所が多い。料金ももう少し安くしてほしい。高いと思う
・スポーツ施設の整備、特に空調が壊れたままで治していない状態と聞きました。夏はサウナ状態でバレーボールを練習しているそうです。今年夏が来るまで冷房完備してあげてほしいです
・体育館の冷房設置・設備、備品の補充
・小学校・中学校の体育館にクーラーを設置していただきたいです。熱中症対策にもなりますし、避難先の快適性にもつながると思います
・子ども連れや高齢者、障がい者にも利用しやすい設備にしていく必要がある。その部分が他市よりかなり遅れていると感じる
・運動やスポーツが苦手ではありますが 60 歳代の頃は市民総合体育館での体操教室に参加しておりました。病気（メニエール病）をしてからは遠ざかっていますが。高齢になり公共のスポーツ施設を利用するよりも屋内での運動の場として公民館を利用することも多かったと思います。高齢者も利用しやすい公民館の施設整備・充実もよろしくお願いします
・けあぱるのプールは年中使用できるが多目的更衣室がない。目の不自由な方など介助者が同性ではなく家族だった場合、異性でも入れる。多目的更衣室は必要と考えます。富田林市内に屋内でスポーツ、プールができる施設が他市と比べて遅れている。高齢化が進みバリアフリーの充実した運動施設は、老後のふれあいの場となり、健康促進にもつながると思います
・プールの充実。高齢者の料金を半額等安くしてほしい。医療費の節約につながると思う
・けあぱるのマシーンが古いです
・自由に使用できる運動器具を設置してほしい。（公園内の一部に健康器具を設置とか）
・石川で運動したいので、常時駐車場を開放していただけるとありがたいです
・担当が違うかもしれませんが、公民館でも可能なダンス等の種目の場合、公民館は普段使っている団体以外使えないシステムになっているのがあまりにも不便である。既得権益がすぎるのではないかと思う。普段使っているサークル、団体以外でも空きがある日だけでも一般にも使わせて欲しい。しかも、以前、問い合わせたところ、使用する場に指導者がいなくても、他でお月謝を払って習っている人同士のグループは不可と言われた。公共の場所で利益を得る活動を指導者がするのが

いけない、というのは納得できるが、公共の施設以外でも指導者に対して、ボランティアしか認めないというのはやりがい搾取だと思う。改善を検討していただきたいです
・市の野球連盟が、少年野球か、スポーツ公園や金剛東グランドを押さえており、グラウンド取得に難儀しています（金剛中央グラウンドは狭いので利用していません）。何の大会か詳細はわかりませんが、幅をきかせすぎとちがいますか。私たちはオーパスの抽選でグラウンド取得しているのに連盟は抽選なしなんですか。連盟に参加してないチームもグランド利用する権利は平等であってほしいです
・ウォーキング等気軽に利用できる施設の充実、イス等の休憩施設の併設（駐輪、駐車場の整備無料で）高低差の少ないウォーキング施設、公園の整備
・富田林市の一部の地域だけでは無く、すべての地区でスポーツや体力作りが出来る施設がほしい
・滝谷駅の近くに住んでますが、富田林市の施設等のある所は自宅の有る場所からは行きにくいです。近くに歩いて行けるような所に施設があれば嬉しいです
・気軽に利用できる施設の充実
・スポーツができる施設が減っている。早く整備してほしいです
・府と協力して、府の公園をもっと利用しては
・実施する場所が少ない（スポーツによって場所がわからない。）時間に制約がある。（仕様時間）予約の仕方にも制限がある（当日指定）
・羽曳野市の石川グラウンドには、サッカーゴールがたくさんあり、平日は子ども達が練習をして、土日は小学生のサッカー大会をして盛り上がっている。富田林の石川グラウンドも、広いのにゴールの数が少なく、せっかく良い場所があるのに、もったいないなと思います。野球ができるグラウンドはたくさんあるけど、サッカーグラウンドを整備して、土日はサッカー大会で盛り上がる石川グラウンドを見てみたいです
・ランナーの意見として富田林内にもジョギング・ランニングコースを作ってほしい。私の練習拠点は狭山池です。そこは整備されていて景色も良く走りやすい。でもいつもだとあきてくるのでもう 1 ヶ所富田林内にあってほしい。どうぞよろしくお願いします。金剛中学前の金剛中央公園一体の大々的な開発も期待しております
・未就学児が運動（遊べる）施設を作って欲しい。河内長野の「あいっく」のような場所、天候に関わらず行ける様に。室内なら嬉しいです
・子どもが思いっきり遊べる室内（外）遊び場がほしい、遊具が少ない
・子ども達が自由に球技をできる場所を提供していただきたい
・気軽にスポーツが出来る環境が減っている。特に子どもたちが普段からボール遊びが出来る場所が必要
・幼児など、自転車の練習できる施設をつくること。小・中学校の野球や、サッカーのできるグランドをたくさんつくること。スポーツの出来る公園の充実。上記施設は各町単位であること。それが無理なら小学校区ごとに建設されたい。各小学校に練習用自転車と指導教員をおくこと
・地域にある公園の遊具等を小さな子どもでも活用できるように整備してもらいたい。近くでは向陽台 2、3 号公園には年齢層の高い子ならできるが、低い子では無理な使いにくいスベリ台よりは使いやすい遊具やジャングルジムのような、バランス感覚の養える遊具を設置してもらいたい
・子どもが公園でスポーツができるように環境を整えてほしい。（現状ボールが使えないところばかり）サッカーゴールやバスケットゴールなど球技もできるようにしてほしい。サバーファームを農園とスポーツができるような場所にしてほしい。広い土地がもったいない。体育館の設備を良くしてほしい。トイレや畳、エアコンなど
・河南町に「かなんぴあ」があるように市民利用中心のスポーツクラブ（￥5，000 程度）を作ってほしい。子どもの遊び場が少なくなっているので、見合う利用料を定めてでも、プール等の施設を作ってあげてほしい、屋根付で。思い切ったことをしないと若い人が減り過疎化が進むと思います、逆に若年層～も運動は必要で、夏＝冬の2季化や、春秋の花粉等アレルギーの方も多いので雇用も生まれるのはいいこと

・参加費用や使用料などが必要なものは適切な料金を支払って利用して、利用するようにしてもらいたい。またシニア料金の設定はせず、年配の方々が優遇されることのないようにしてもらいたい。不遇を感じる世代です
・仕事帰りに利用できる施設が少ない
・私は健康管理の一環として、ほぼ毎日市内の遊歩道を1万歩近く歩いています。その遊歩道の入口には、歩行者用道路の標識と看板を出している。看板の内容は「自転車・原付バイク等は走行不可です車両から降りて押して歩いて下さい。」の看板がある。殆どの自転車は押している人はいなく、走行しているのが現状である。短い遊歩道であれば押して歩く事は出来ると思いますが、長い距離押して歩くことは不可能だと思います。至急に自転車道を設置するよう要望します
・富田林市内にボウリング場があればなぁと思います
・コーフボールができる施設・設備がほしいです
・河川敷等にパターゴルフの練習場所を作っていただきたいです。(群馬県の河川敷には長いパターゴルフの練習場所があります)
・市民体育館やテニスコートの予約を Web や paypay で送金ができるシステムを導入してもらえると、より気軽に手軽に利用できると思います
・体育館とか公民館などの公共の施設のトイレ、和式が多くて使いにくい、高齢者が多くなって来ているのだから、洋式を増やして欲しい
・体育館を一般で気軽に借りれるようにしてほしい。気軽にバドミントンなどしたい。川面の石川のサイクリングじゃない所を舗装してほしい。凸凹や砂利で歩きづらい。歩くにはサイクリングの方は危ないので。学校のイベントで持久走する時も子ども達は凸凹の走りにくい所を走っている。公園に大人の健康器具も置いてほしい。北大伴にあるような健康公園を川面にも作ってほしい
・伏山(南海滝谷駅)あたりからすると、どの施設も遠いので(車なし)利用する機会が少ない
・近くで利用出来る施設等があれば利用したいと思いますが、現在はないのが残念です
移動手段について
・私の住んでいる所から運動できる施設または会場までの交通手段がないため、市の案内を見ていても参加(見学)出来ないのが現状
・施設までの公共移動手段の充実(車が無い人のためにも公共のバスなどの充実)
・以前、レインボーバスも体育館に来てくれていたのですが、またきてもらえることはできるのでしょうか。車を持たない友人が、あれば来やすいのにと仰っておりましたので
・スポーツ施設に行くには、交通は車の運転が必要な場所、あるいは乗継ぎが必要であるだとか、近鉄方面が多く、不便でいけなかった為、広報を見ても、あきらめざるをえない事が多かったと思います
・施設に行くための足の確保(バス、タクシー、送迎バス(個人))
・移動手段が無い人、自宅近くに施設が無いと、するのは散歩のみ
その他
・高齢者守るべき
・くれぐれも政治、政党色、宗教、宗教団体色のつかぬようにお願いします
・既存の公園のトイレの設置
・アンケート調査でより良いきめ細かな地域振興を促進し、住みたくなる富田林市にして行って下さい
・「スポーツ」…この言葉の定義がわかりません、このアンケートで「スポーツ」をどう解釈されているのかわかりません
・年齢に応じた運動を続けること。市民の健康で長生きのため努力してください。自助努力
・年齢や身体の不調の為、運動はウォーキングしかできません。ウォーキングは主に津々山台から藤沢台の緑道を利用しています。近年、害虫駆除の為にたくさんの桜の木が切られていますが、その後植樹はされていません。木が減ったことで、特に夏場は木陰がなくなり歩くのが辛くなりました。防虫や防犯などの為に植樹をされていないのかもしれませんが、ウォーキングやランニングをしやすいようにまた散歩をして四季を楽しめる様に積極的に植樹を進めていただければと思っています

・今までの取組ありがとうございます。これからも皆が参加しやすく続けやすいように。私はパソコン etc が苦手で役員になった時どのサークルもそれで苦しい思いをします。老人サークルはそこを手助けしていただけると助かります
・民間ではあるがPL学園野球部の復活、支援を市が出来ないのか
・PL 学園のような、富田林市内の高校で高校野球の強い所が出てきてほしい。その為に市の税金を高校球児にどんどん使ってあげてほしい

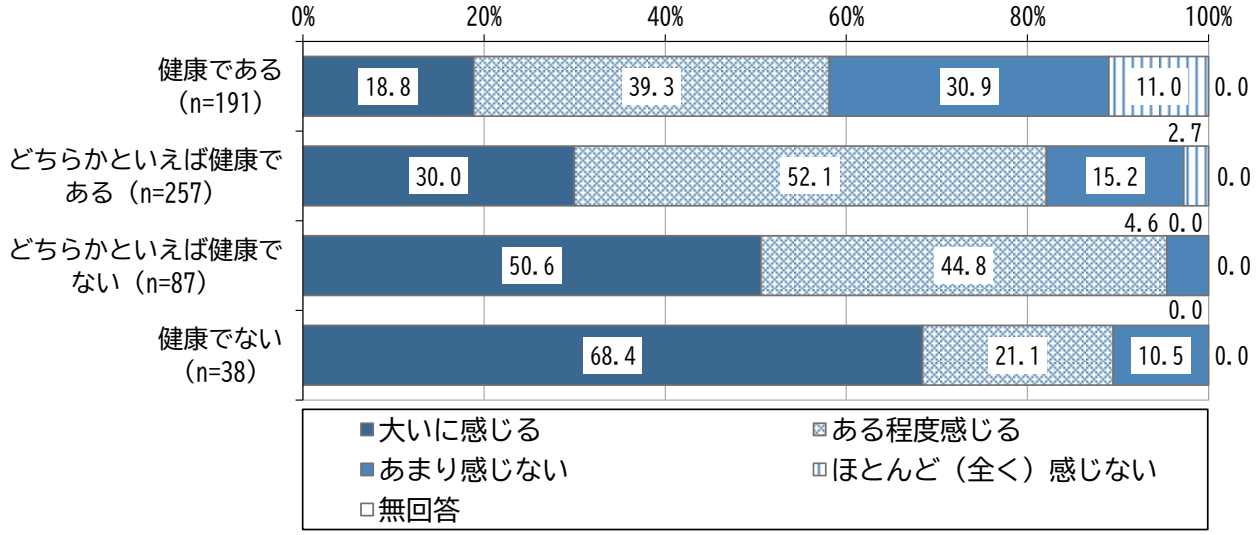
2 調査結果(追加分析)

(1)主観的健康感別にみる運動やスポーツの状況

① 主観的健康感×運動不足を感じるか

運動不足を感じるかを主観的健康感別にみると、健康でないと思う度合いが強くなるにつれて、「大いに感じる」の割合が増加しています。

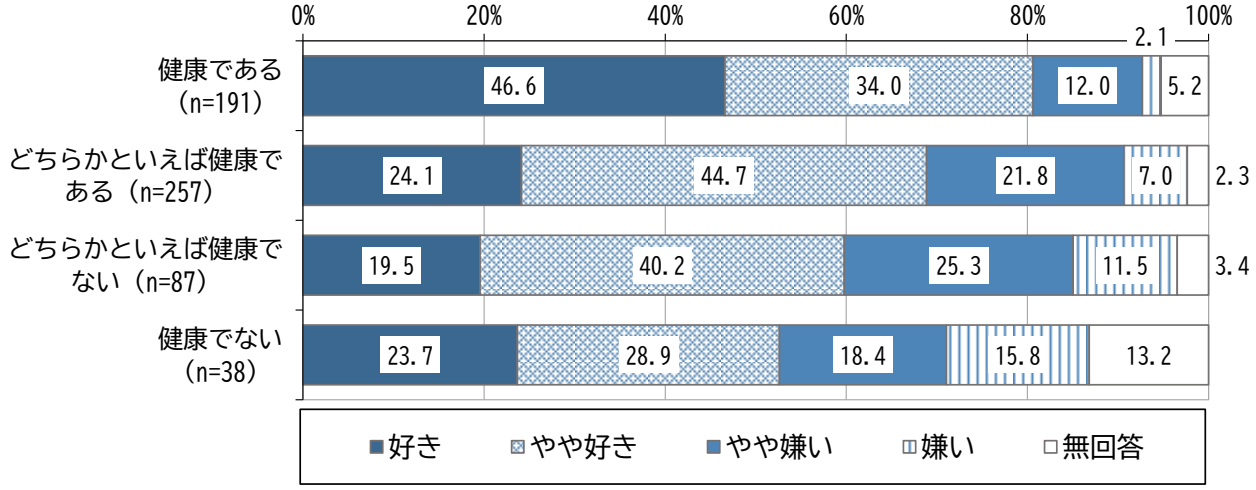
図表 2-2-1 主観的健康感×運動不足を感じるか



② 主観的健康感×運動やスポーツを実施することが好きか

運動やスポーツを実施することが好きかを主観的健康感別にみると、健康であると思う度合いが強くなるにつれて、『好き』(「好き」と「やや好き」の合計)の割合が増加しています。

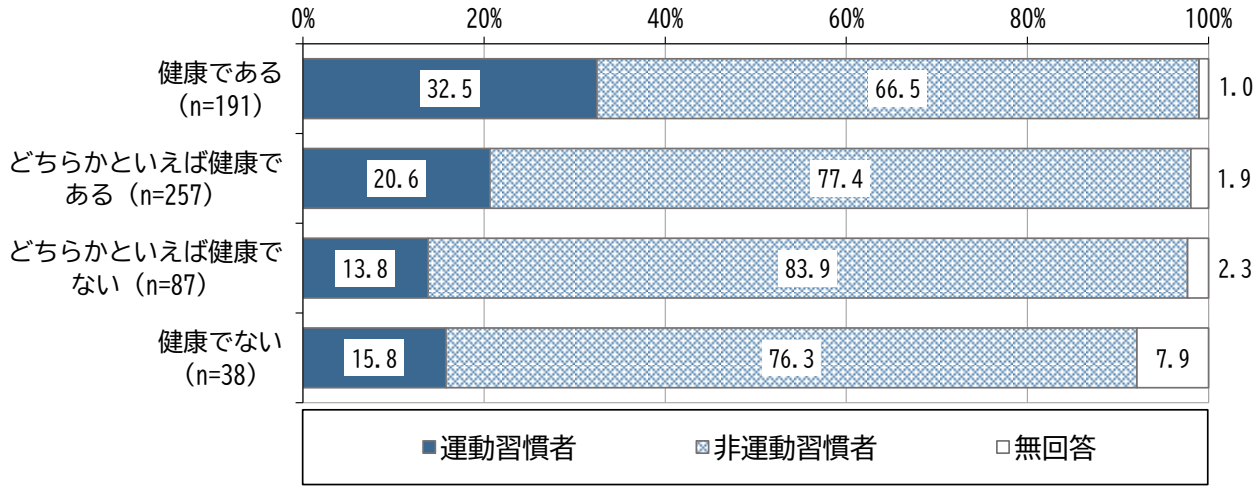
図表 2-2-2 主観的健康感×運動やスポーツを実施することが好きか



③ 主観的健康感×運動習慣者の割合

運動習慣者（1日 30 分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上実施し、1年以上継続している人）の割合を主観的健康感別にみると、「健康である」と回答した人が 32.5％で最も高くなっています。

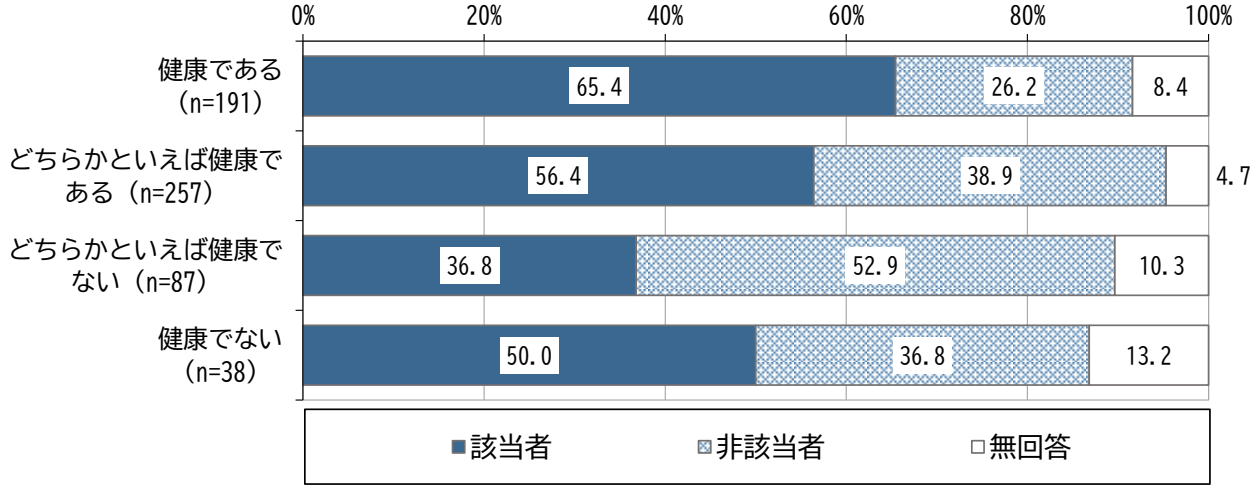
図表 2-2-3 主観的健康感×運動習慣者の割合



④ 主観的健康感×週１日以上の運動やスポーツの実施者の割合

週 1 日以上の運動やスポーツの実施者の割合を主観的健康感別にみると、「健康である」と回答した人が 65.4％で最も高くなっています。

図表 2-2-4 主観的健康感×週１日以上の運動やスポーツの実施者の割合

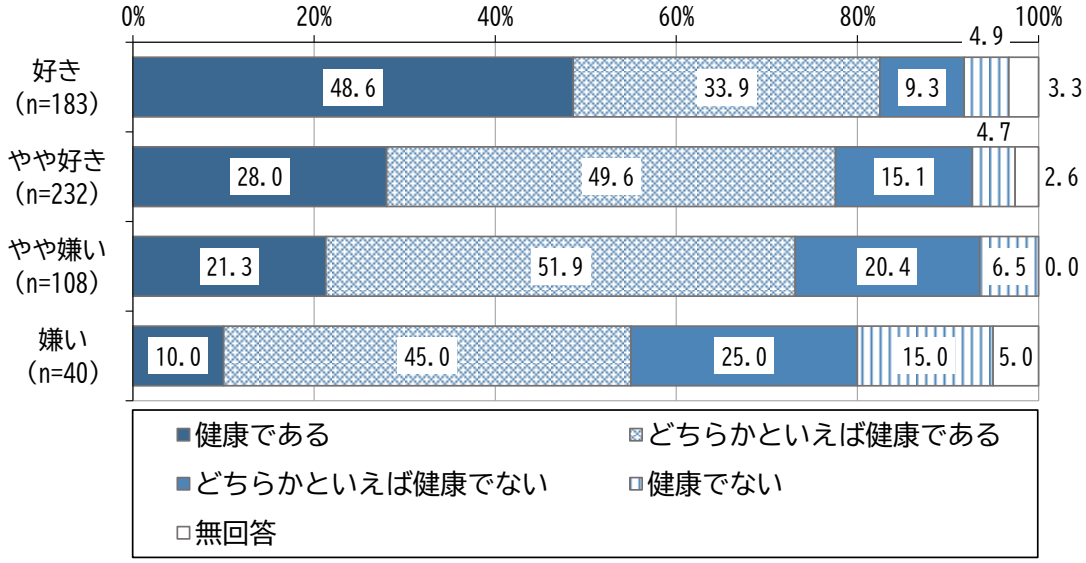


(2)運動やスポーツを実施することが好きか別にみる運動やスポーツの状況

① 運動やスポーツを実施することが好きか×主観的健康感

主観的健康感を運動やスポーツを実施することが好きか別にみると、運動やスポーツを実施することが好きと感じる度合いが強くなるにつれて、「健康である」の割合が増加しています。

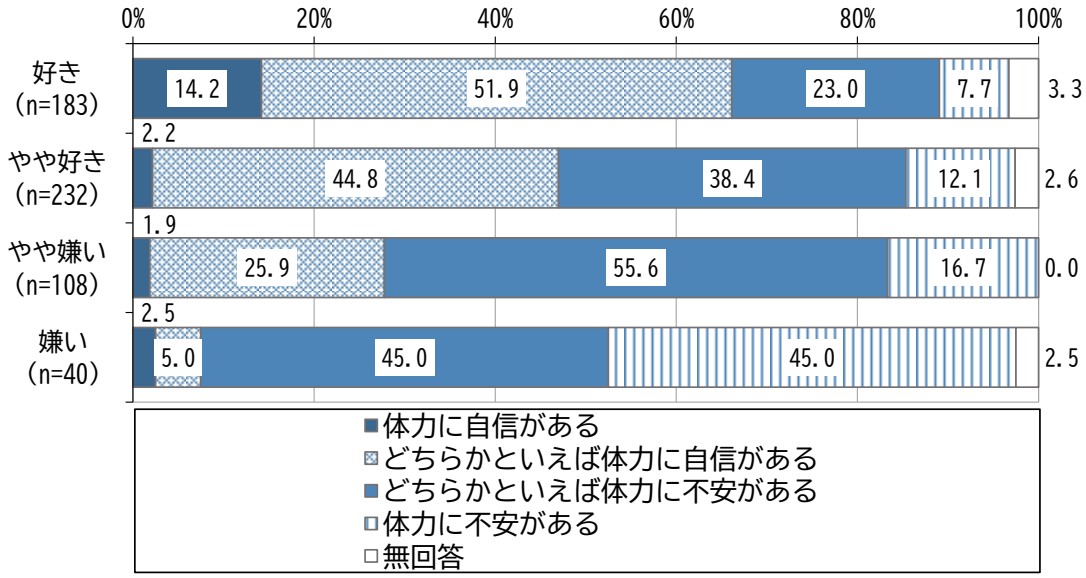
図表 2-2-5 運動やスポーツを実施することが好きか×主観的健康感



② 運動やスポーツを実施することが好きか×体力に自信があるか

体力に自信があるかを運動やスポーツを実施することが好きか別にみると、運動やスポーツを実施することが好きと感じる度合いが強くなるにつれて、『体力に自信がある』(「体力に自信がある」と「どちらかといえば体力に自信がある」の合計)の割合が増加しています。

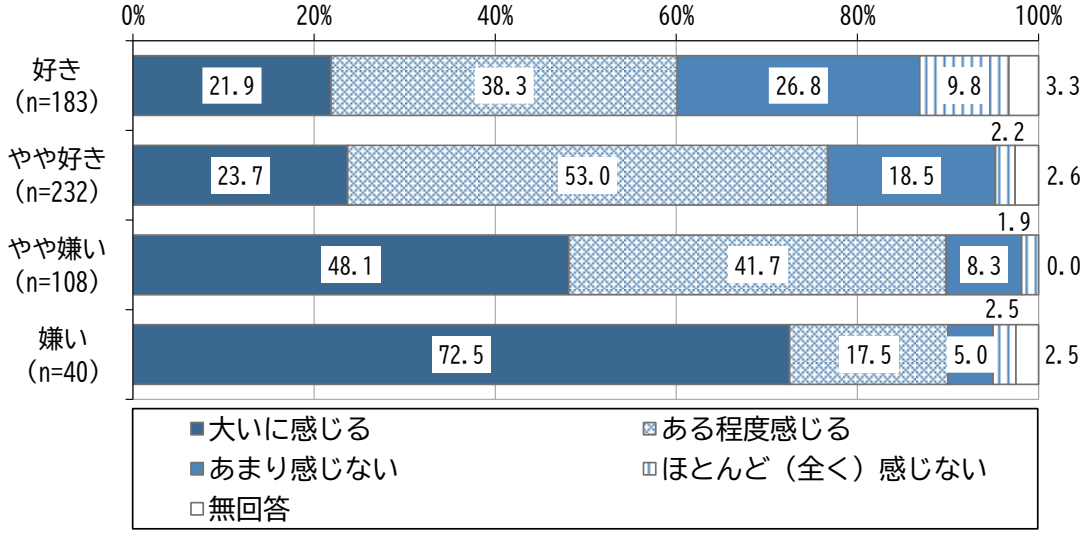
図表 2-2-6 運動やスポーツを実施することが好きか×体力に自信があるか



③ 運動やスポーツを実施することが好きか×運動不足を感じるか

運動不足を感じるかを運動やスポーツを実施することが好きか別にみると、運動やスポーツを実施することが嫌いと感じる度合いが強くなるにつれて、「大いに感じる」の割合が増加しています。

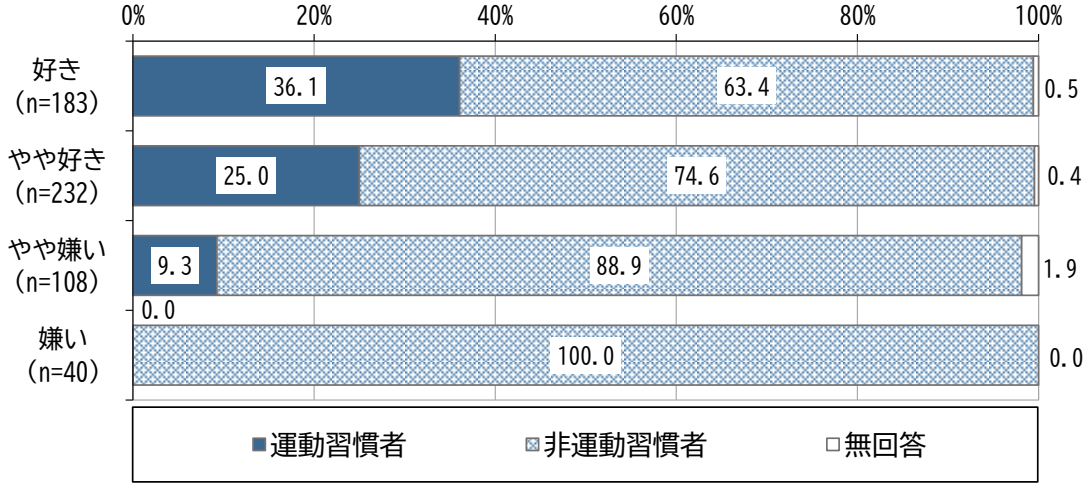
図表 2-2-7 運動やスポーツを実施することが好きか×運動不足を感じるか



④ 運動やスポーツを実施することが好きか×運動習慣者の割合

運動習慣者の割合を運動やスポーツを実施することが好きか別にみると、運動やスポーツを実施することが好きと感じる度合いが強くなるにつれて、運動習慣者の割合が増加しています。

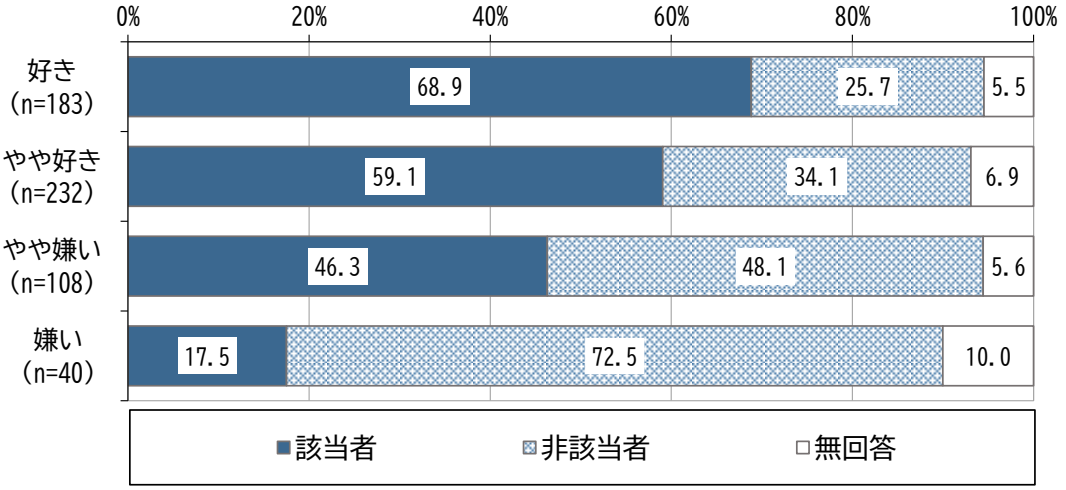
図表 2-2-8 運動やスポーツを実施することが好きか×運動習慣者の割合



⑤ 運動やスポーツを実施することが好きか×週１日以上の運動やスポーツの実施者の割合

週 1 日以上の運動やスポーツの実施者の割合を運動やスポーツを実施することが好きか別にみると、運動やスポーツを実施することが好きと感じる度合いが強くなるにつれて、週 1 日以上の運動やスポーツの実施者の割合が増加しています。

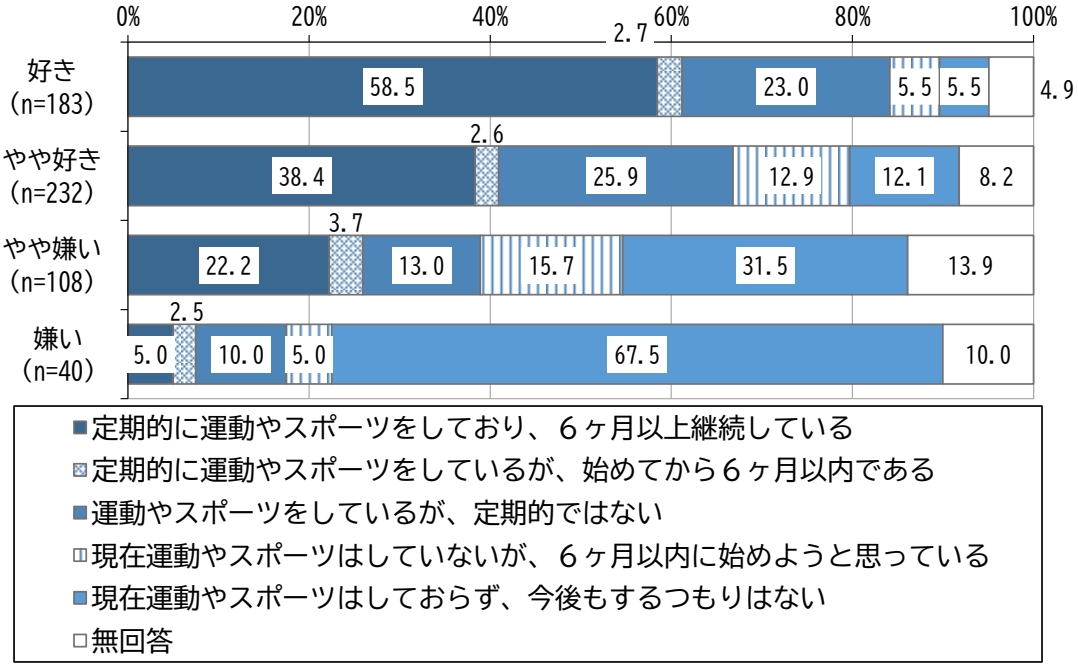
図表 2-2-9 運動やスポーツを実施することが好きか×週１日以上の運動やスポーツの実施者の割合



⑥ 運動やスポーツを実施することが好きか×運動やスポーツの今後の実施予定

運動やスポーツの今後の実施予定を運動やスポーツを実施することが好きか別にみると、運動やスポーツを実施することが嫌いと感じる度合いが強くなるにつれて、「現在運動やスポーツはしておらず、今後もするつもりはない」の割合が増加しています。

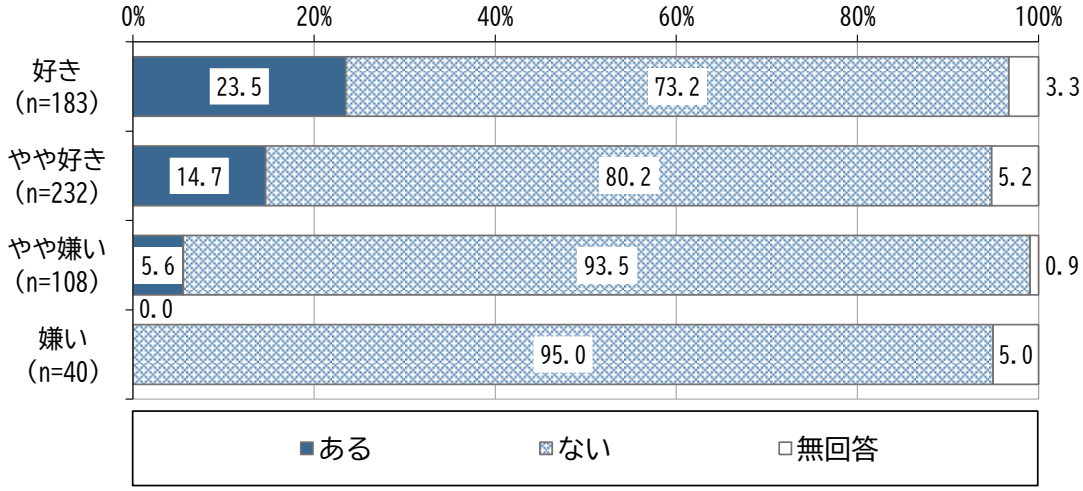
図表 2-2-10 運動やスポーツを実施することが好きか×運動やスポーツの今後の実施予定



⑦ 運動やスポーツを実施することが好きか×富田林市のスポーツ大会等への参加経験の有無

富田林市のスポーツ大会等への参加経験の有無を運動やスポーツを実施することが好きか別にみると、運動やスポーツを実施することが好きと感じる度合いが強くなるにつれて、参加経験の「ある」人の割合が増加しています。

図表 2-2-11 運動やスポーツを実施することが好きか×富田林市のスポーツ大会等への参加経験の有無



⑧ 運動やスポーツを実施することが好きか×スポーツ推進のために市に求める取組

スポーツ推進のために市に求める取組を運動やスポーツを実施することが好きか別にみると、運動やスポーツを実施することが嫌いと感じる度合いが強くなるにつれて、「初心者向け、スポーツの苦手な人向けの教室」の割合が増加しています。

図表 2-2-12 運動やスポーツを実施することが好きか×スポーツ推進のために市に求める取組

単位：実数（人）、構成比（%）

	合計	健康増進・体力づくりに重点を置いたスポーツ教室	年齢や体力に応じたスポーツの指導	初心者向け、スポーツの苦手な人向けの教室	運動やスポーツの効用や科学的なトレーニング方法に関する講座	地域の要請に応じて専門家を派遣し、指導を行う制度	定期的な体力測定	体力の保持・向上、運動能力向上のための個別指導	運動やスポーツの同好会、クラブ、チームなどへの支援	スポーツを通したさまざまな交流のできる場	各種スポーツ大会やイベントの開催
好き	183	32.8	42.6	12.0	8.7	7.1	15.8	4.4	12.0	11.5	9.3
やや好き	232	35.8	40.5	20.3	4.3	3.4	12.9	6.5	11.6	15.1	6.0
やや嫌い	108	35.2	36.1	30.6	2.8	0.9	11.1	6.5	3.7	17.6	6.5
嫌い	40	30.0	35.0	37.5	2.5	0.0	7.5	17.5	0.0	7.5	0.0

	合計	トップアスリートと交流できる場	スポーツ施設の整備・充実	小学校、中学校などの学校体育施設の充実	その他	特にない	無回答
好き	183	10.4	28.4	18.0	1.1	4.9	9.3
やや好き	232	5.6	19.0	18.1	2.2	9.1	7.8
やや嫌い	108	8.3	8.3	17.6	0.0	14.8	6.5
嫌い	40	0.0	0.0	12.5	2.5	22.5	10.0

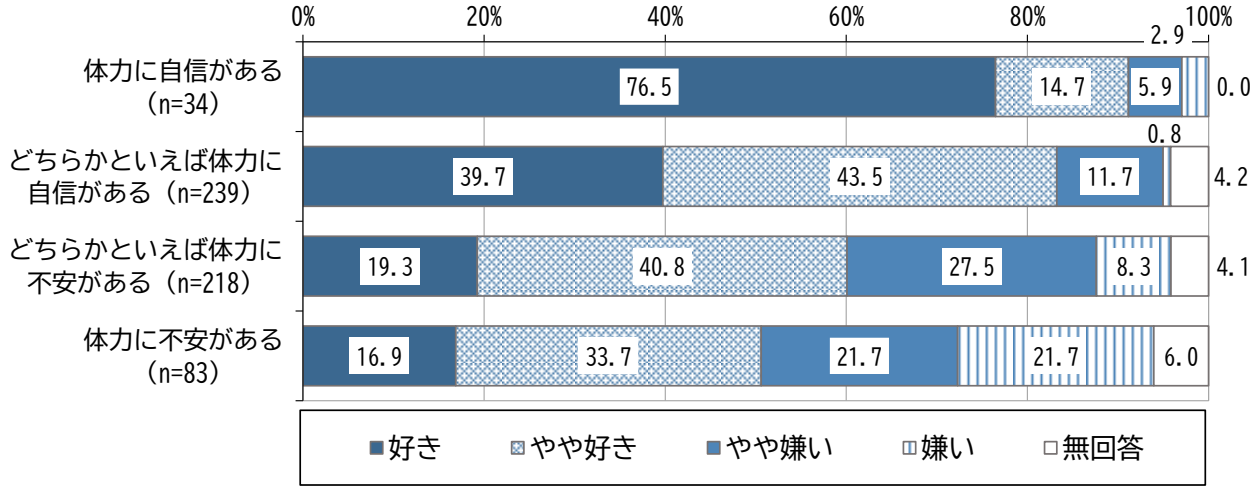
※網掛け■は最も割合が高いもの

(3)体力に自信があるか別にみる運動やスポーツの状況

① 体力に自信があるか×運動やスポーツを実施することが好きか

運動やスポーツを実施することが好きかを体力に自信があるか別にみると、体力に自信があると感じる度合いが強くなるにつれて、「好き」の割合が増加しています。

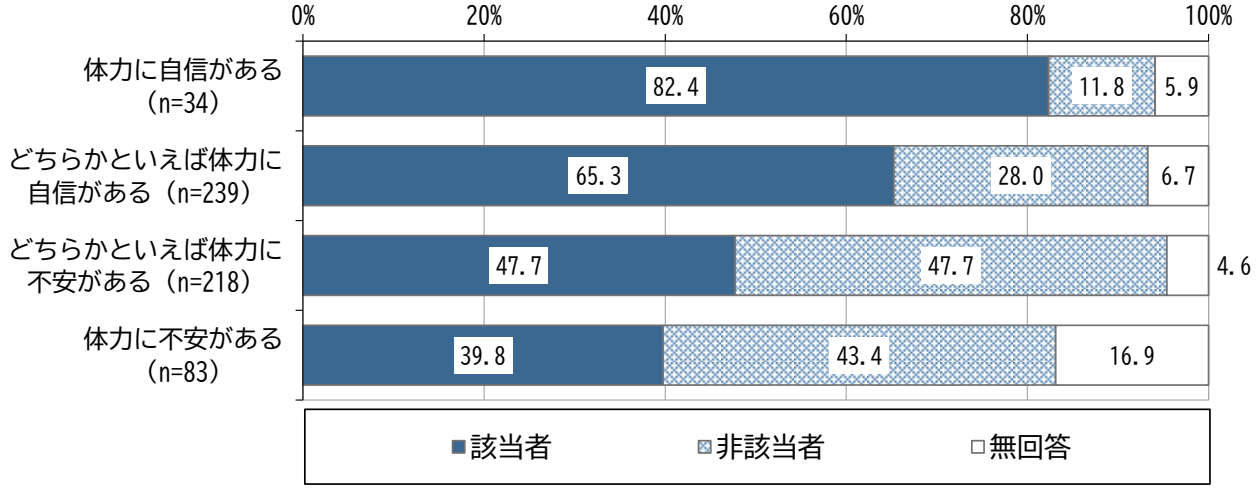
図表 2-2-13 体力に自信があるか×運動やスポーツを実施することが好きか



② 体力に自信があるか×週１日以上の運動やスポーツの実施者の割合

週 1 日以上の運動やスポーツの実施者の割合を体力に自信があるか別にみると、体力に自信があると感じる度合いが強くなるにつれて、週 1 日以上の運動やスポーツの実施者の割合が増加しています。

図表 2-2-14 体力に自信があるか×週１日以上の運動やスポーツの実施者の割合

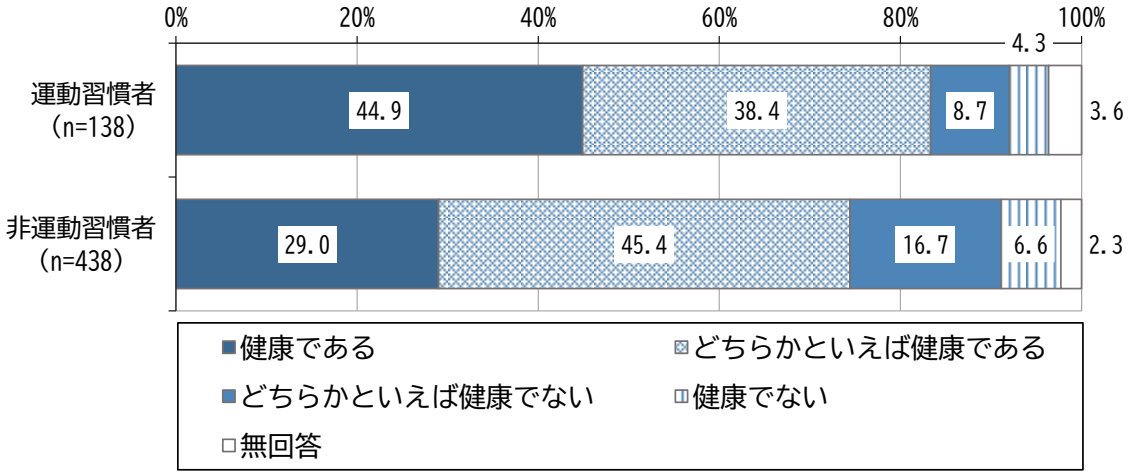


(4)運動習慣者別にみる運動やスポーツの状況

① 運動習慣者×主観的健康感

主観的健康感を運動習慣者別にみると、「健康である」では、運動習慣者が 44.9%で、非運動習慣者(29.0%)より 15.9 ポイント高くなっています。

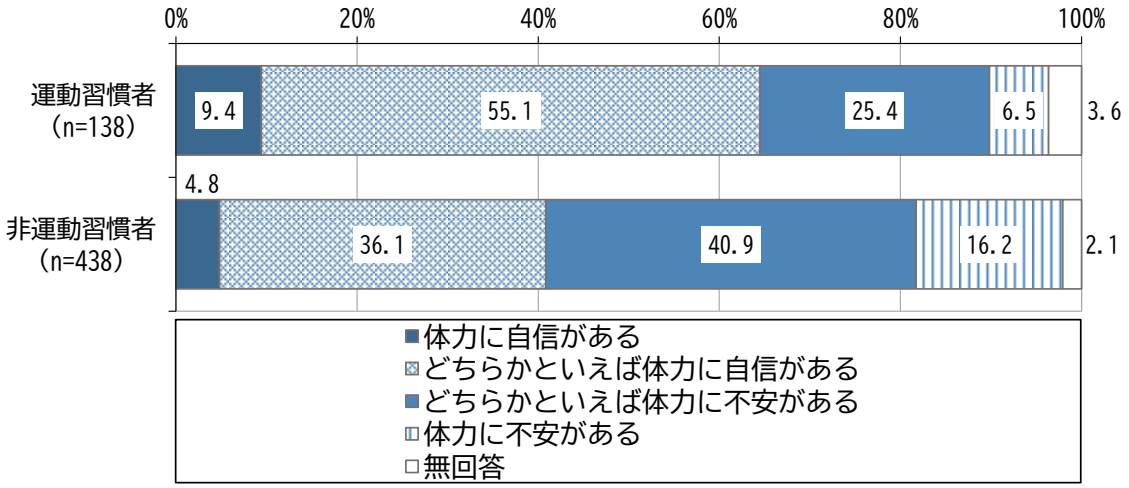
図表 2-2-15 運動習慣者×主観的健康感



② 運動習慣者×体力に自信があるか

体力に自信があるかを運動習慣者別にみると、『体力に自信がある』(「体力に自信がある」と「どちらかといえば体力に自信がある」の合計)では、運動習慣者が 64.5%で、非運動習慣者(40.9%)より 23.6 ポイント高くなっています。

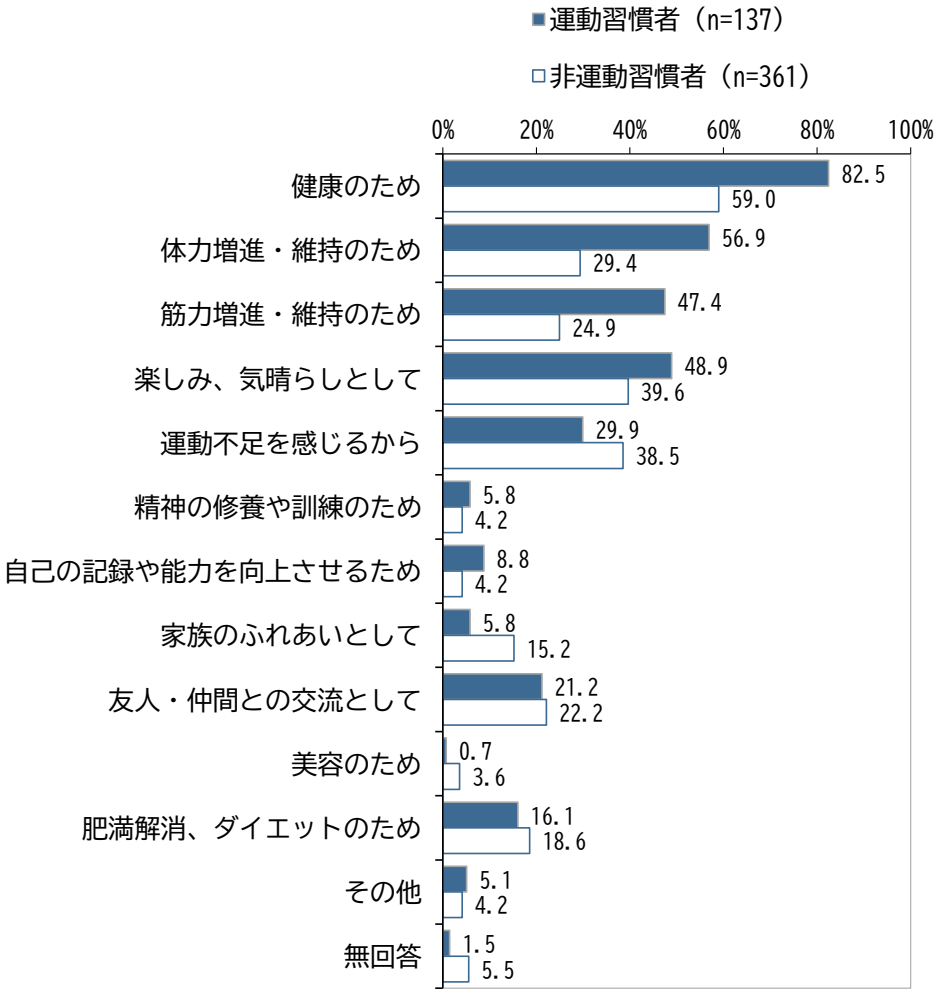
図表 2-2-16 運動習慣者×体力に自信があるか



③ 運動習慣者×運動やスポーツを実施した理由

運動やスポーツを実施した理由を運動習慣者別にみると、「体力増進・維持のため」では、運動習慣者が56.9%で、非運動習慣者（29.4%）より 27.5 ポイント高くなっており、差が最も大きい項目となっています。

図表 2-2-17　運動習慣者×運動やスポーツを実施した理由

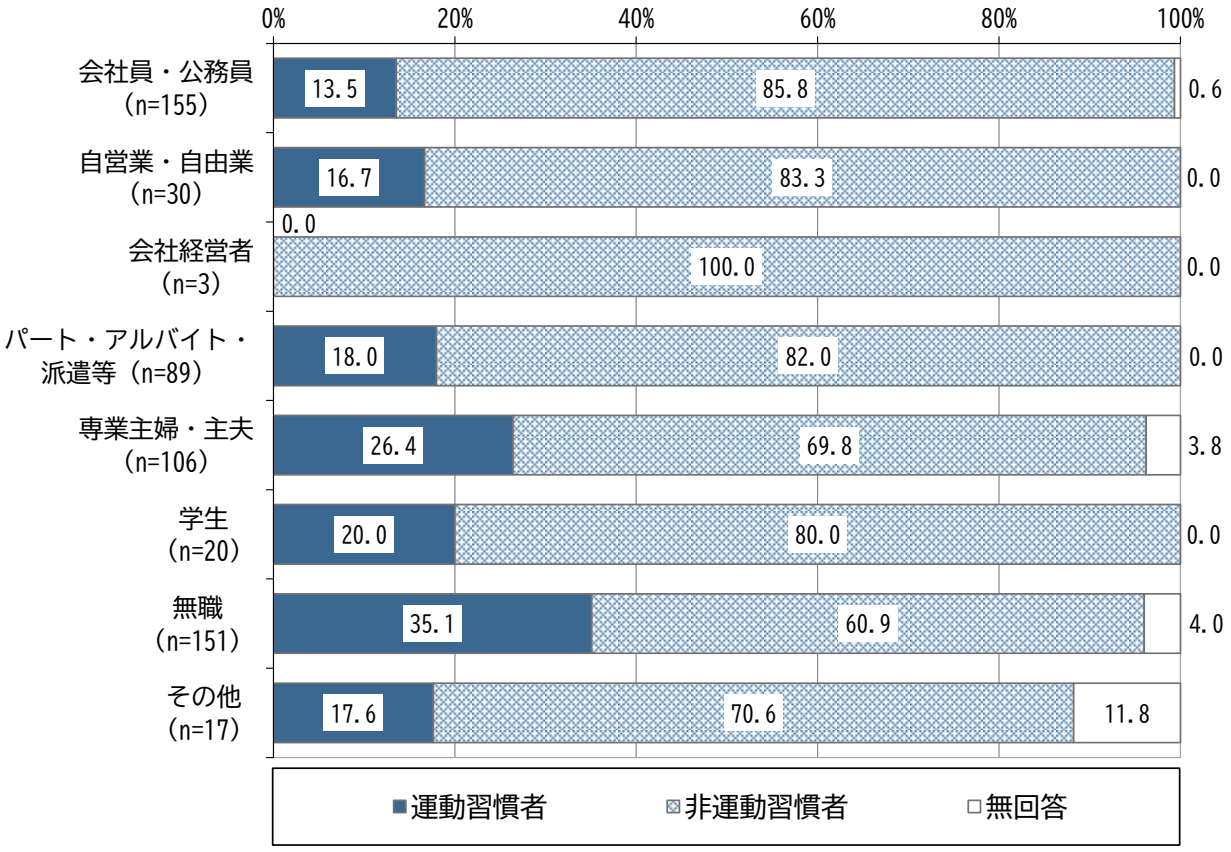


(5)職業別にみる運動やスポーツの状況

① 職業×運動習慣者の割合

運動習慣者の割合を職業別にみると、「無職」が 35.1%で最も高い一方、「会社員・公務員」や「自営業・自由業」等の有職者の割合が低くなっています。

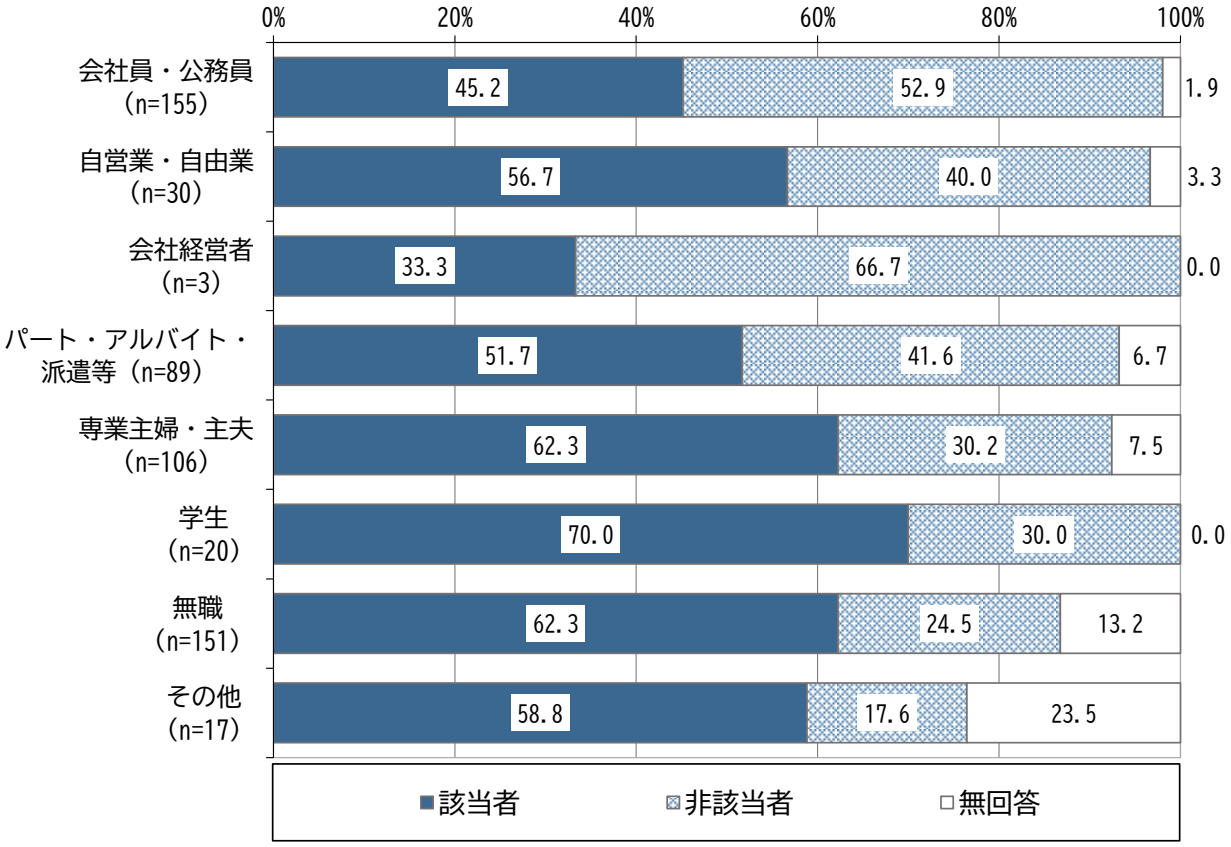
図表 2-2-18 職業×運動習慣者の割合



② 職業×週１日以上の運動やスポーツの実施者の割合

週 1 日以上の運動やスポーツの実施者の割合を職業別にみると、「学生」が 70.0%で最も高い一方、「会社員・公務員」や「自営業・自由業」等の有職者の割合が低くなっています。

図表 2-2-19 職業×週１日以上の運動やスポーツの実施者の割合



(6)居住地域別にみる運動やスポーツの状況

① 居住地域×運動やスポーツを実施した場所

運動やスポーツを実施した場所を居住地域別にみると、「公共体育・スポーツ施設」では伏山台地区が28.6%で最も高く、「公園」では高辺台地区が47.6%で最も高くなっています。

図表 2-2-20 居住地域×運動やスポーツを実施した場所

単位：実数（人）、構成比（%）

		合計	公共体育・スポーツ施設	学校体育施設	フィットネスクラブ・ジム等の民間商業インドア施設	レジャープール、スキー場、ゴルフ場等の民間商業アウトドア施設	自宅または自宅敷地内	職場または職場敷地内	公園	公民館	空き地	道路
居住地域別	富田林地区	90	13.3	7.8	17.8	8.9	30.0	6.7	14.4	4.4	0.0	38.9
	新堂地区	28	10.7	3.6	14.3	7.1	28.6	3.6	10.7	7.1	0.0	35.7
	喜志地区	36	11.1	0.0	11.1	13.9	38.9	5.6	22.2	5.6	5.6	41.7
	喜志西地区	16	0.0	12.5	12.5	12.5	25.0	0.0	25.0	6.3	0.0	50.0
	大伴地区	17	11.8	0.0	17.6	11.8	47.1	11.8	11.8	5.9	0.0	35.3
	東条地区	13	15.4	7.7	7.7	30.8	30.8	7.7	7.7	7.7	0.0	46.2
	彼方地区	23	8.7	0.0	8.7	21.7	17.4	0.0	4.3	4.3	4.3	39.1
	川西地区	18	16.7	0.0	5.6	5.6	33.3	5.6	16.7	16.7	0.0	38.9
	錦郡地区	31	22.6	3.2	9.7	16.1	38.7	6.5	25.8	3.2	6.5	22.6
	伏山台地区	7	28.6	0.0	42.9	14.3	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0	28.6
	寺池台地区	42	26.2	9.5	11.9	16.7	33.3	2.4	40.5	4.8	0.0	38.1
	久野喜台地区	30	16.7	10.0	13.3	10.0	30.0	3.3	33.3	0.0	3.3	36.7
	高辺台地区	21	14.3	0.0	19.0	4.8	52.4	0.0	47.6	0.0	0.0	42.9
	藤沢台地区	26	11.5	3.8	7.7	3.8	46.2	3.8	38.5	3.8	0.0	34.6
	向陽台地区	35	22.9	2.9	14.3	11.4	37.1	2.9	40.0	0.0	0.0	37.1
	小金台地区	38	15.8	2.6	26.3	13.2	31.6	10.5	28.9	0.0	0.0	39.5
	わからない	18	11.1	0.0	0.0	16.7	33.3	5.6	33.3	0.0	0.0	61.1

		合計	山岳・森林・海・湖・川等の自然環境	その他	無回答
居住地域別	富田林地区	90	17.8	5.6	7.8
	新堂地区	28	21.4	7.1	10.7
	喜志地区	36	30.6	11.1	5.6
	喜志西地区	16	0.0	12.5	0.0
	大伴地区	17	11.8	11.8	5.9
	東条地区	13	7.7	0.0	7.7
	彼方地区	23	8.7	8.7	13.0
	川西地区	18	16.7	5.6	0.0
	錦郡地区	31	19.4	3.2	6.5
	伏山台地区	7	14.3	0.0	0.0
	寺池台地区	42	11.9	7.1	4.8
	久野喜台地区	30	10.0	13.3	6.7
	高辺台地区	21	19.0	4.8	0.0
	藤沢台地区	26	15.4	19.2	0.0
	向陽台地区	35	11.4	8.6	0.0
	小金台地区	38	13.2	5.3	2.6
	わからない	18	22.2	5.6	11.1

※網掛け■は最も割合が高いもの

第3章　中学生の運動とスポーツに関するアンケート調査結果

1　調査結果(基本分析)

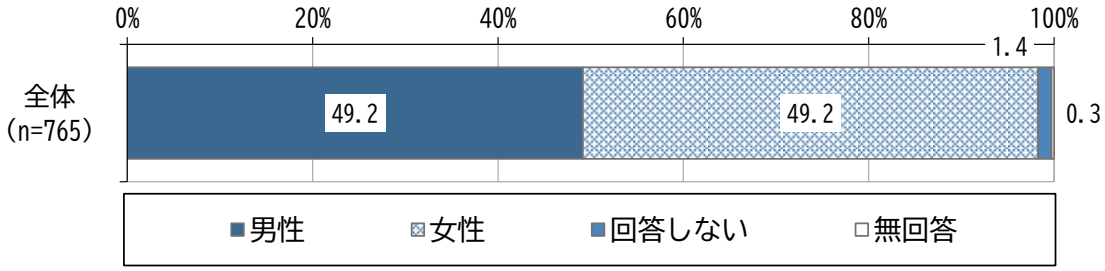
(1)回答者の属性

①　性別

問1	あなたの性別についてお答えください。(○は1つ)

性別については、「男性」が 49.2%、「女性」が 49.2%、「回答しない」が 1.4%となっています。

図表3-1-1　性別

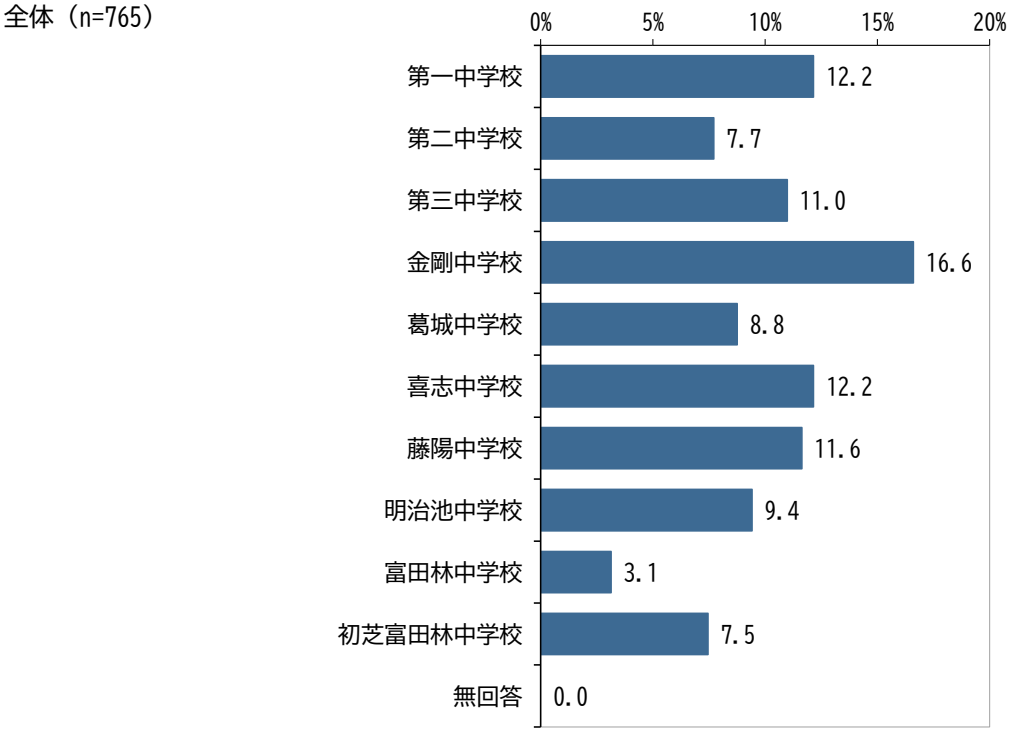


②　所属中学校

問2	あなたの通っている中学校についてお答えください。(○は1つ)

所属中学校については、「金剛中学校」が 16.6%で最も高く、次いで「第一中学校」、「喜志中学校」がいずれも 12.2%と続いています。

図表3-1-2　所属中学校

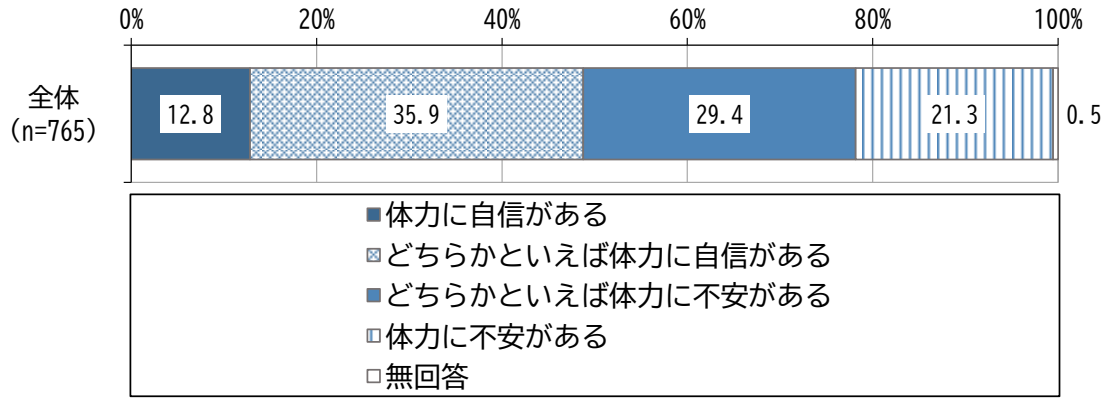


③ 体力に自信があるか

問3	あなたは、同じ学年の人と比べて、体力に自信がありますか。(○は1つ)

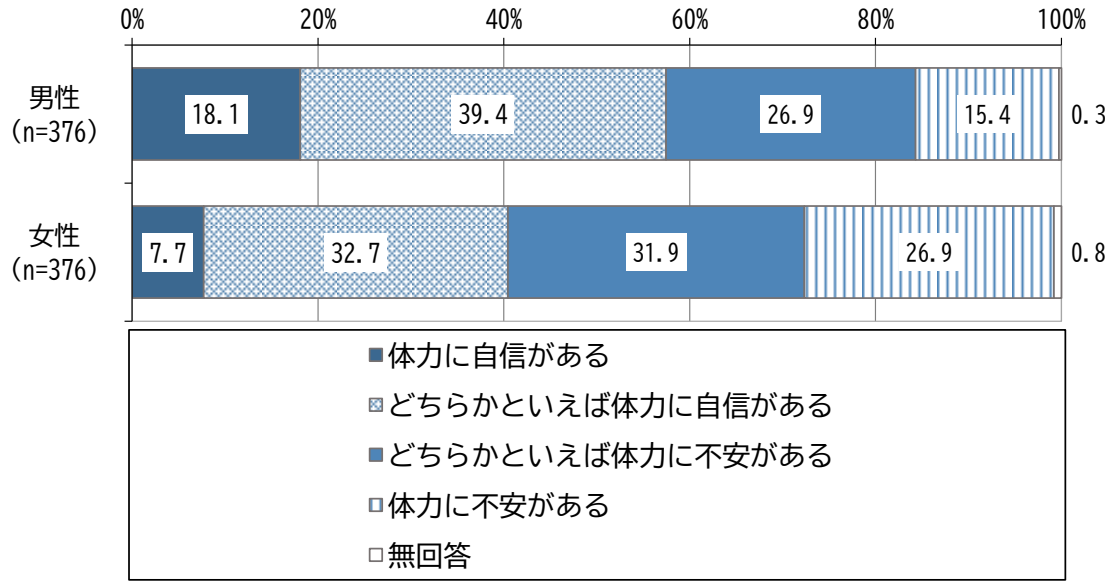
体力に自信があるかについては、「どちらかといえば体力に自信がある」が 35.9%で最も高く、次いで「どちらかといえば体力に不安がある」が 29.4%、「体力に不安がある」が 21.3%と続いています。

図表3-1-3 体力に自信があるか



性別でみると、『体力に自信がある』(「体力に自信がある」と「どちらかといえば体力に自信がある」の合計)では、男性が 57.5%、女性が 40.4%となっています。

図表3-1-4 体力に自信があるか 性別

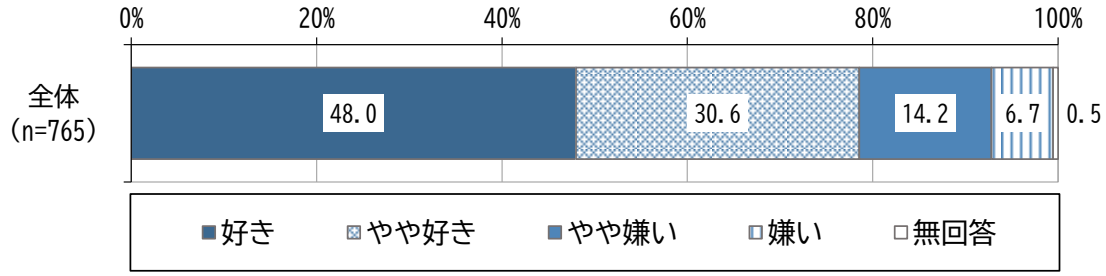


④ 運動やスポーツをすることが好きか

問4	あなたは運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。(○は1つ)

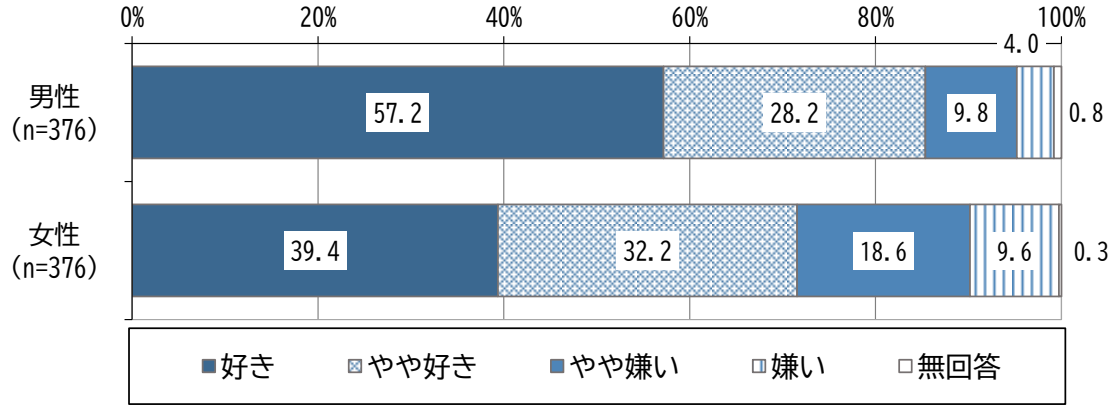
運動やスポーツをすることが好きかについては、「好き」が48.0%で最も高く、次いで「やや好き」が30.6%、「やや嫌い」が14.2%と続いています。

図表3-1-5 運動やスポーツをすることが好きか



性別でみると、『好き』(「好き」と「やや好き」の合計)では、男性が85.4%、女性が71.6%となっています。

図表3-1-6 運動やスポーツをすることが好きか 性別

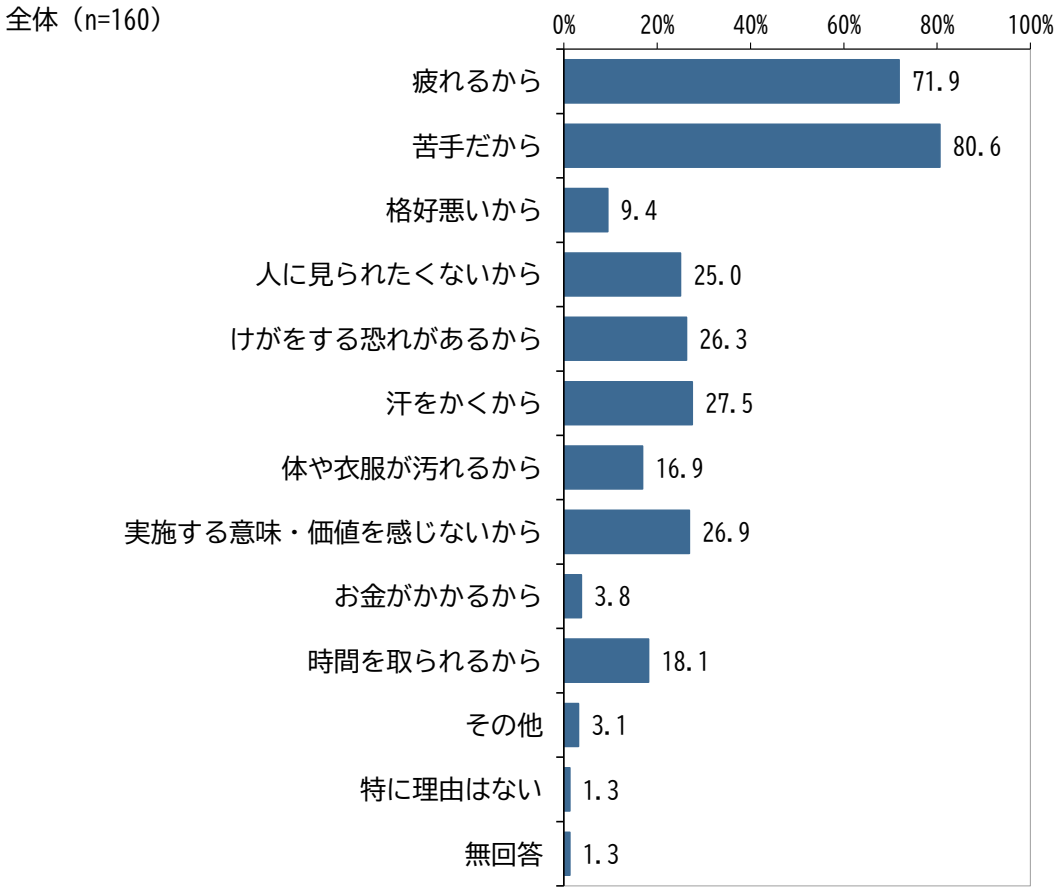


⑤ 運動やスポーツが嫌いな理由

問4－1	**問4で「3」または「4」を回答された方にお聞きします。** あなたが運動やスポーツが嫌いな理由はなんですか。（○はいくつでも）

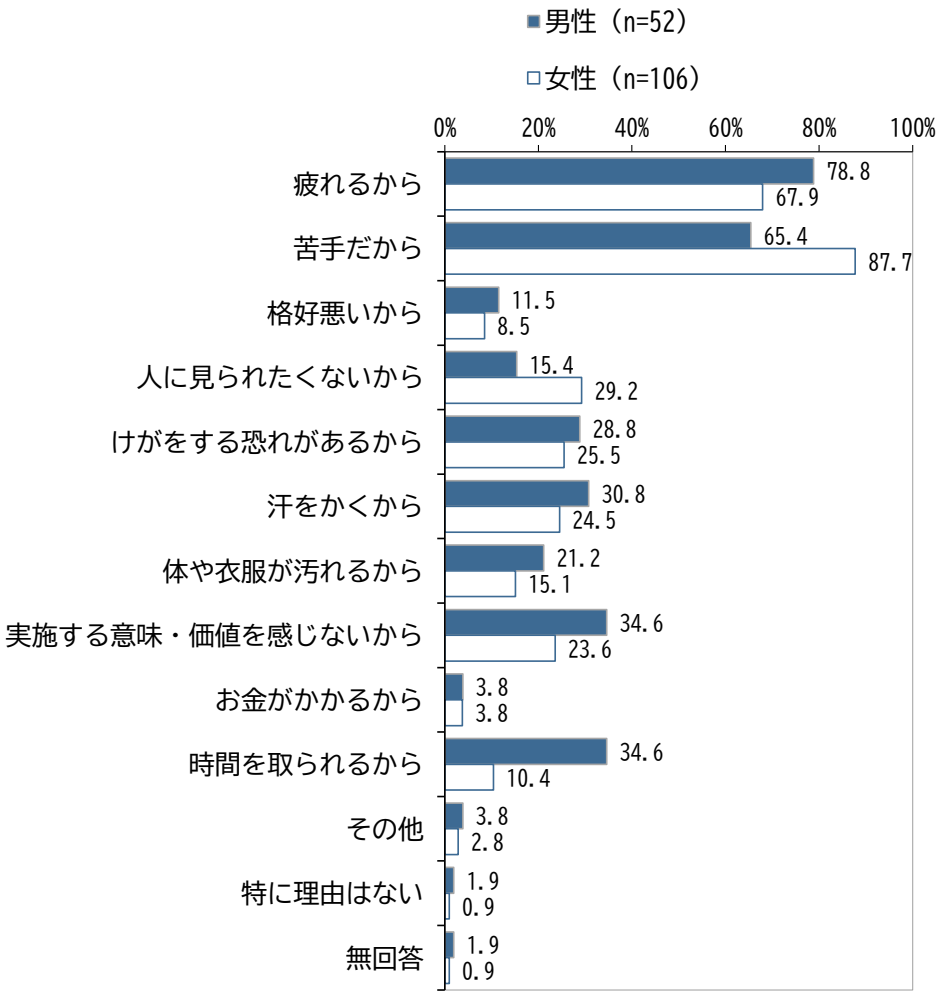
運動やスポーツが嫌いな理由については、「苦手だから」が 80.6％で最も高く、次いで「疲れるから」が 71.9％、「汗をかくから」が 27.5％と続いています。

図表3-1-7 運動やスポーツが嫌いな理由



性別でみると、男性では「疲れるから」が 78.8%で最も高く、女性では「苦手だから」が 87.7%で最も高くなっています。

図表3-1-8 運動やスポーツが嫌いな理由 性別

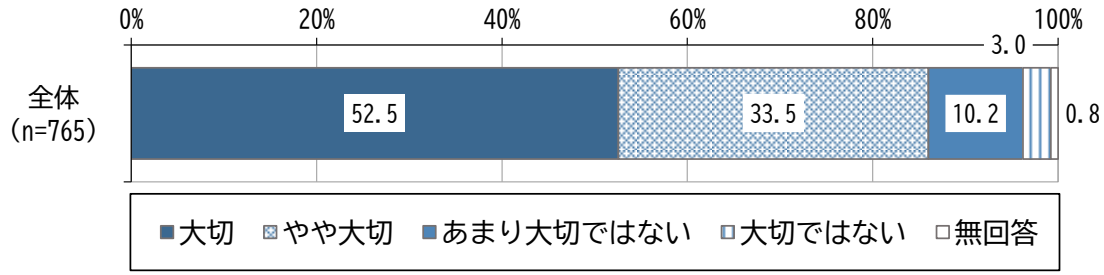


⑥ 運動やスポーツは大切か

問5	あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切なものですか。(○は1つ)

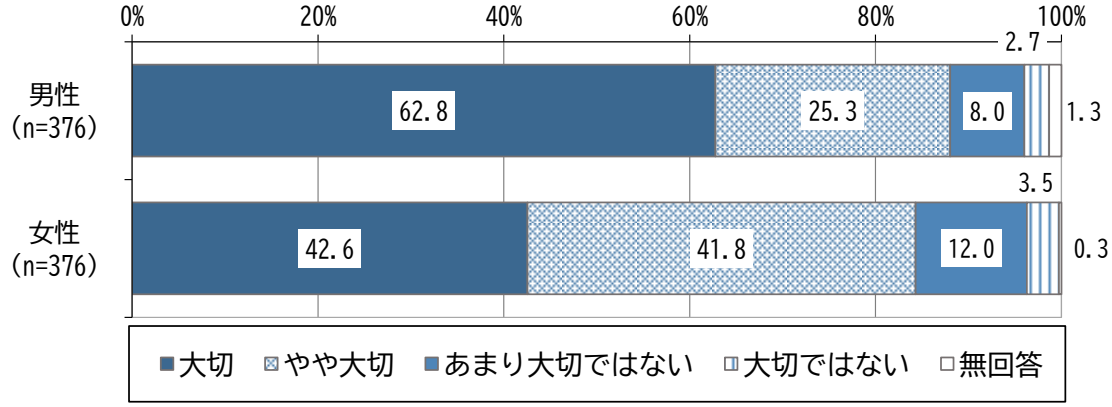
運動やスポーツは大切かについては、「大切」が 52.5%で最も高く、次いで「やや大切」が 33.5%、「あまり大切ではない」が 10.2%と続いています。

図表3-1-9 運動やスポーツは大切か



性別でみると、『大切』(「大切」と「やや大切」の合計)では、男性が 88.1%、女性が 84.4%となっています。

図表3-1-10 運動やスポーツは大切か 性別



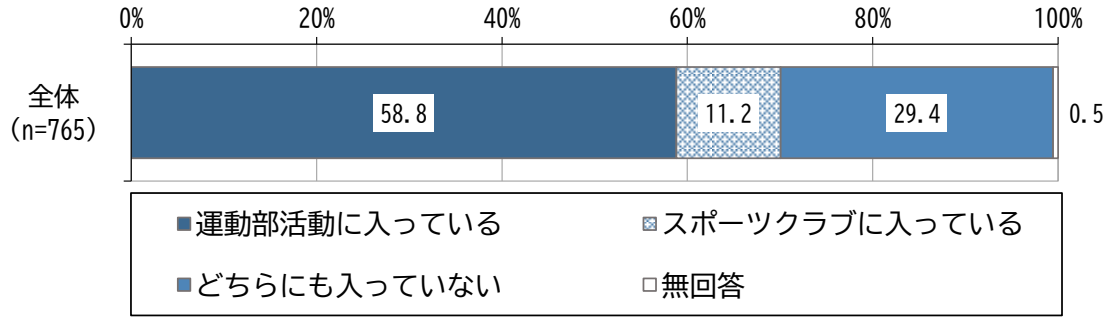
(2)運動やスポーツの実施状況について

① 学校の運動部活動等への所属状況

問6	あなたは学校の運動部活動や地域のスポーツクラブに入っていますか。(○は1つ)

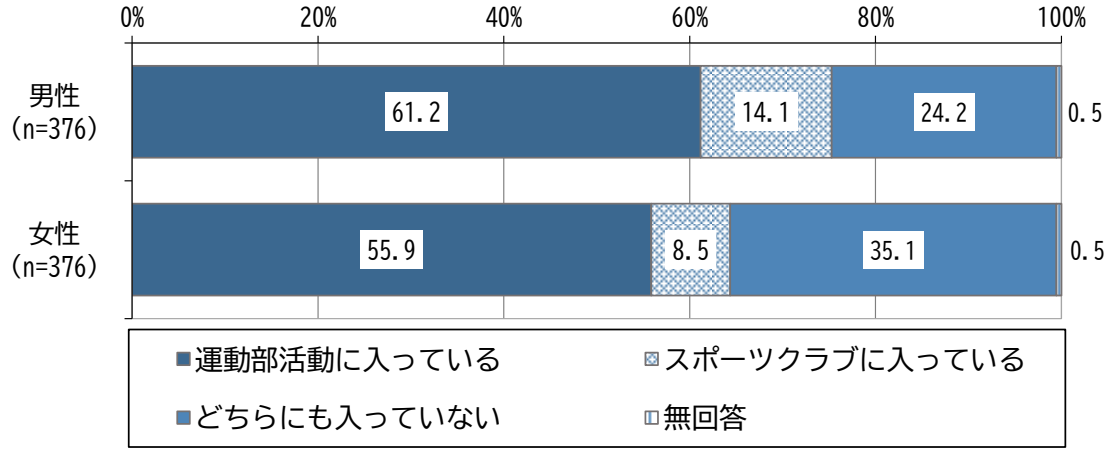
学校の運動部活動等への所属状況については、「運動部活動に入っている」が 58.8%で最も高く、次いで「どちらにも入っていない」が 29.4%、「スポーツクラブに入っている」が 11.2%となっています。

図表3-1-11 学校の運動部活動等への所属状況



性別でみると、「運動部活動に入っている」では、男性が 61.2%、女性が 55.9%となっています。

図表3-1-12 学校の運動部活動等への所属状況 性別

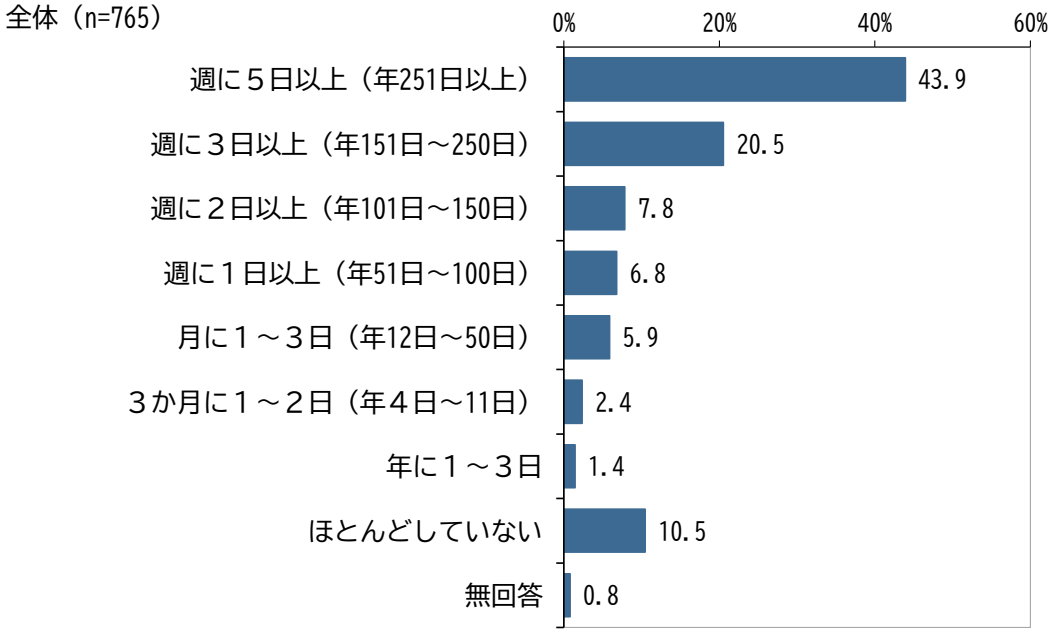


② 過去1年間に体育の授業以外で運動やスポーツを行った日数

問7	あなたはこれまでの1年間に、学校の体育の授業のほかに、何日くらい運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツを行いましたか。(○は1つ)

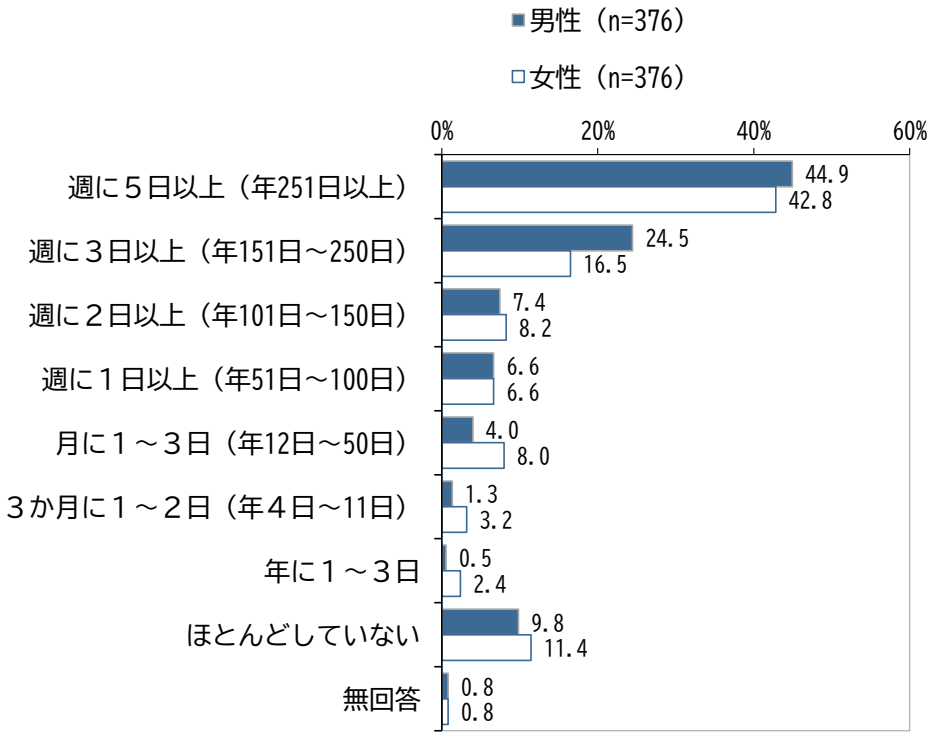
過去1年間に体育の授業以外で運動やスポーツを行った日数については、「週に5日以上(年 251 日以上)」が 43.9%で最も高く、次いで「週に3日以上(年 151 日～250 日)」が 20.5%、「ほとんどしていない」が 10.5%と続いています。

図表3-1-13 過去1年間に体育の授業以外で運動やスポーツを行った日数



性別でみると、「ほとんどしていない」では、男性が 9.8%、女性が 11.4%となっています。

図表3-1-14　過去1年間に体育の授業以外で運動やスポーツを行った日数　性別

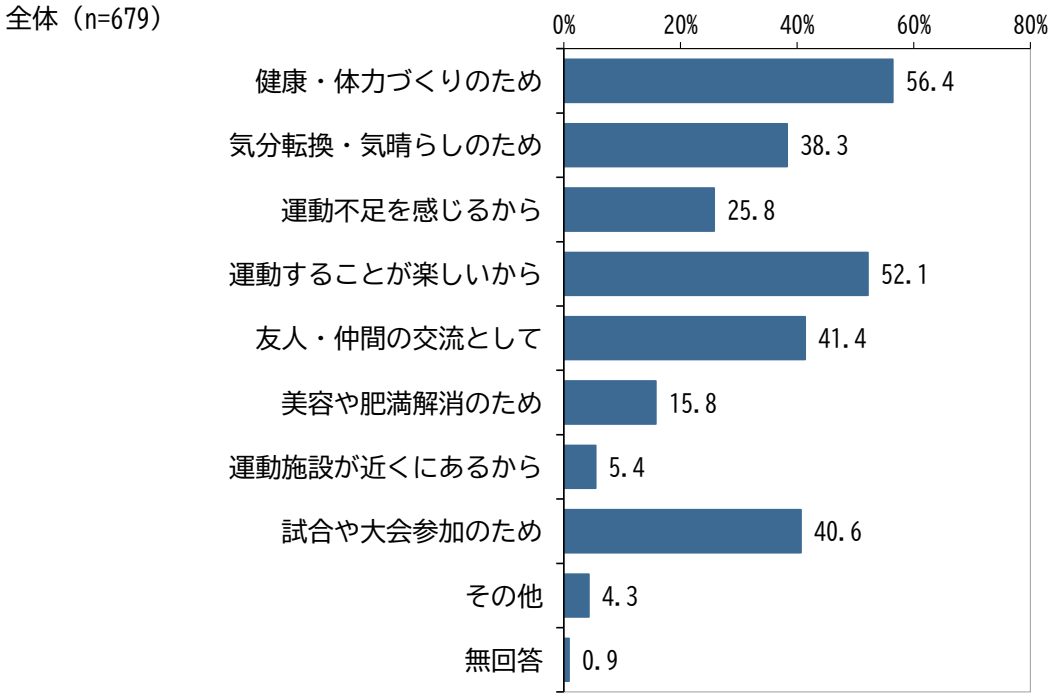


③ 体育の授業以外で運動やスポーツをする理由

問7－1	**問7で「1」～「7」を回答された方にお聞きします。** 学校の体育の授業のほかに、運動やスポーツをする理由として該当するものを選んでください。（○はいくつでも）

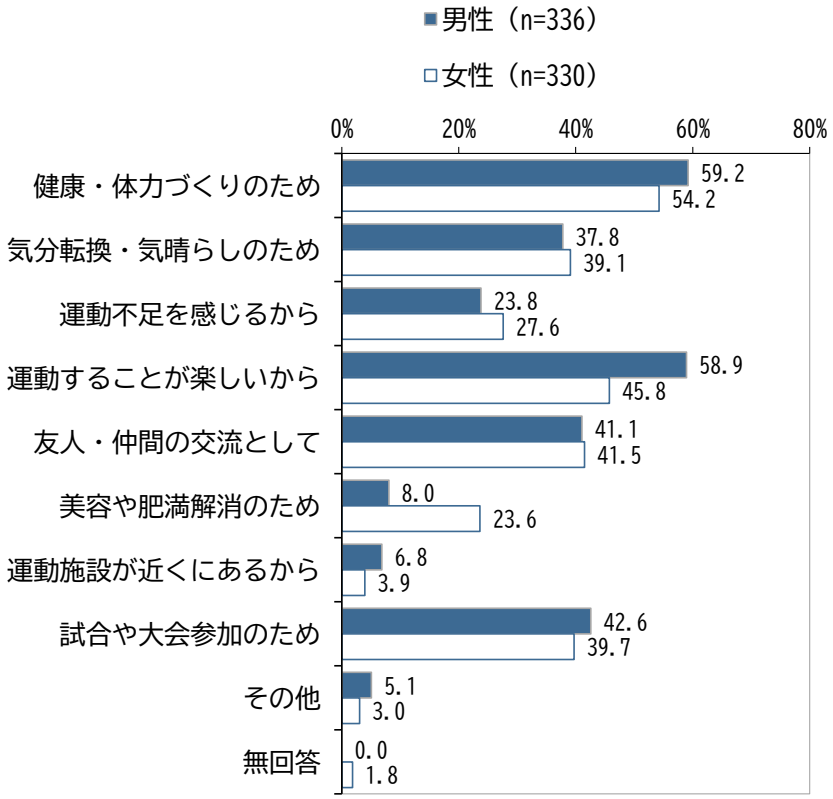
体育の授業以外で運動やスポーツをする理由については、「健康・体力づくりのため」が 56.4%で最も高く、次いで「運動することが楽しいから」が 52.1%、「友人・仲間の交流として」が 41.4%と続いています。

図表3-1-15 体育の授業以外で運動やスポーツをする理由



性別でみると、男性・女性いずれも「健康・体力づくりのため」の割合が最も高くなっています。

図表3-1-16　体育の授業以外で運動やスポーツをする理由　性別

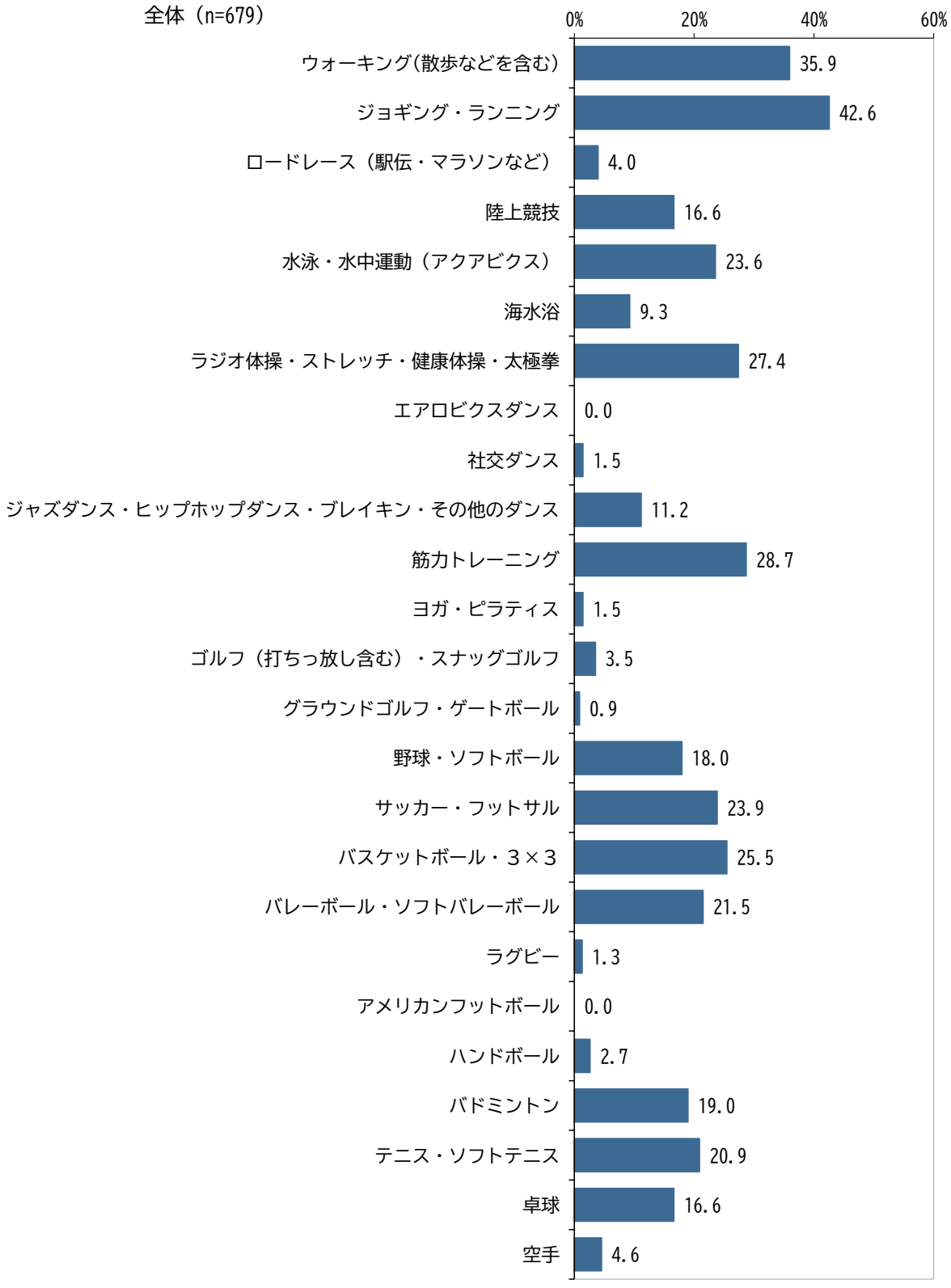


④ 体育の授業以外で実施した運動やスポーツ

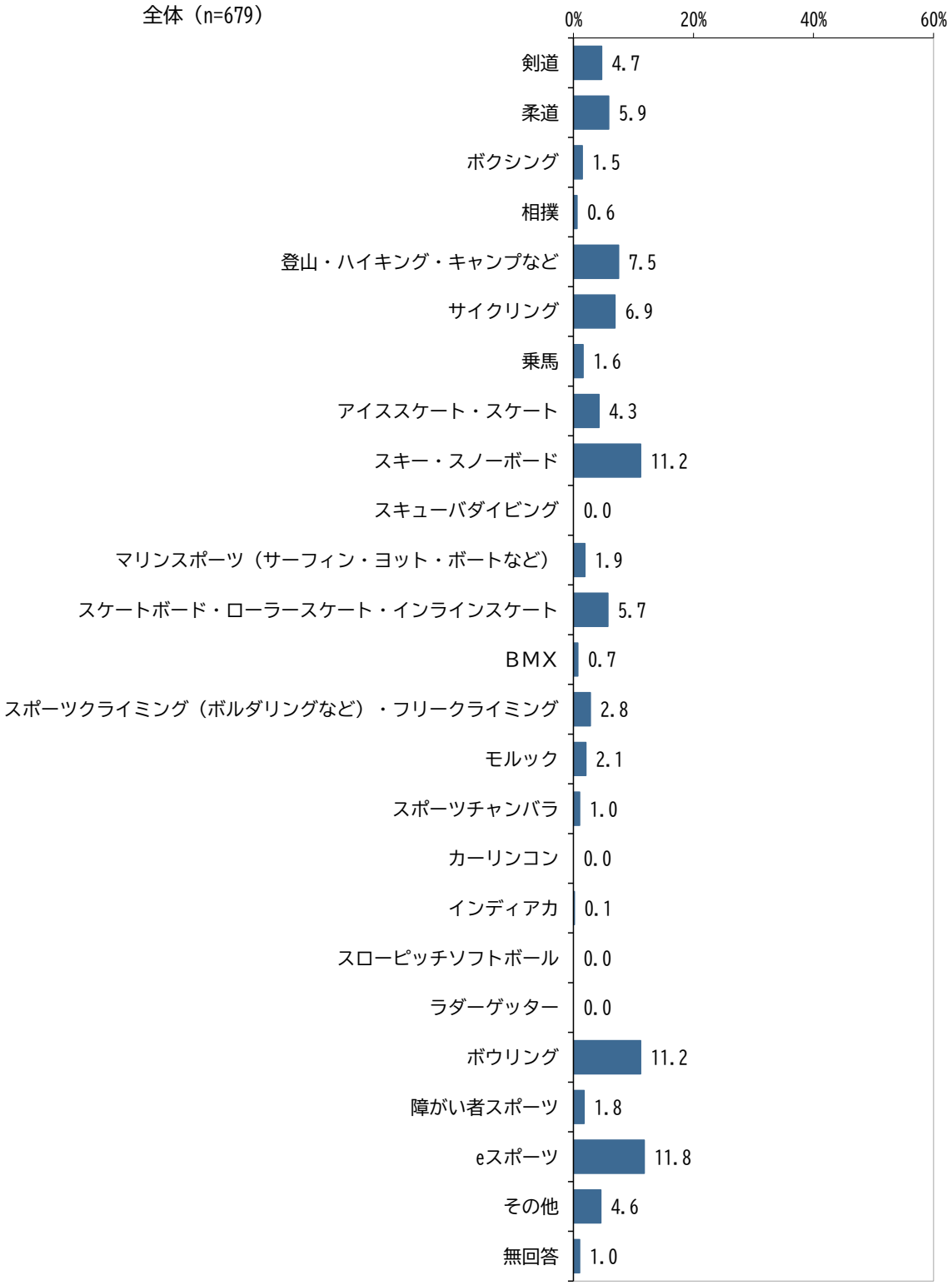
問7－2	**問7で「1」～「7」を回答された方にお聞きします。** あなたは、どのような運動やスポーツを行いましたか。（○はいくつでも）

体育の授業以外で実施した運動やスポーツについては、「ジョギング・ランニング」が 42.6%で最も高く、次いで「ウォーキング（散歩などを含む）」が 35.9%、「筋力トレーニング」が 28.7%と続いています。

図表3-1-17 体育の授業以外で実施した運動やスポーツ①

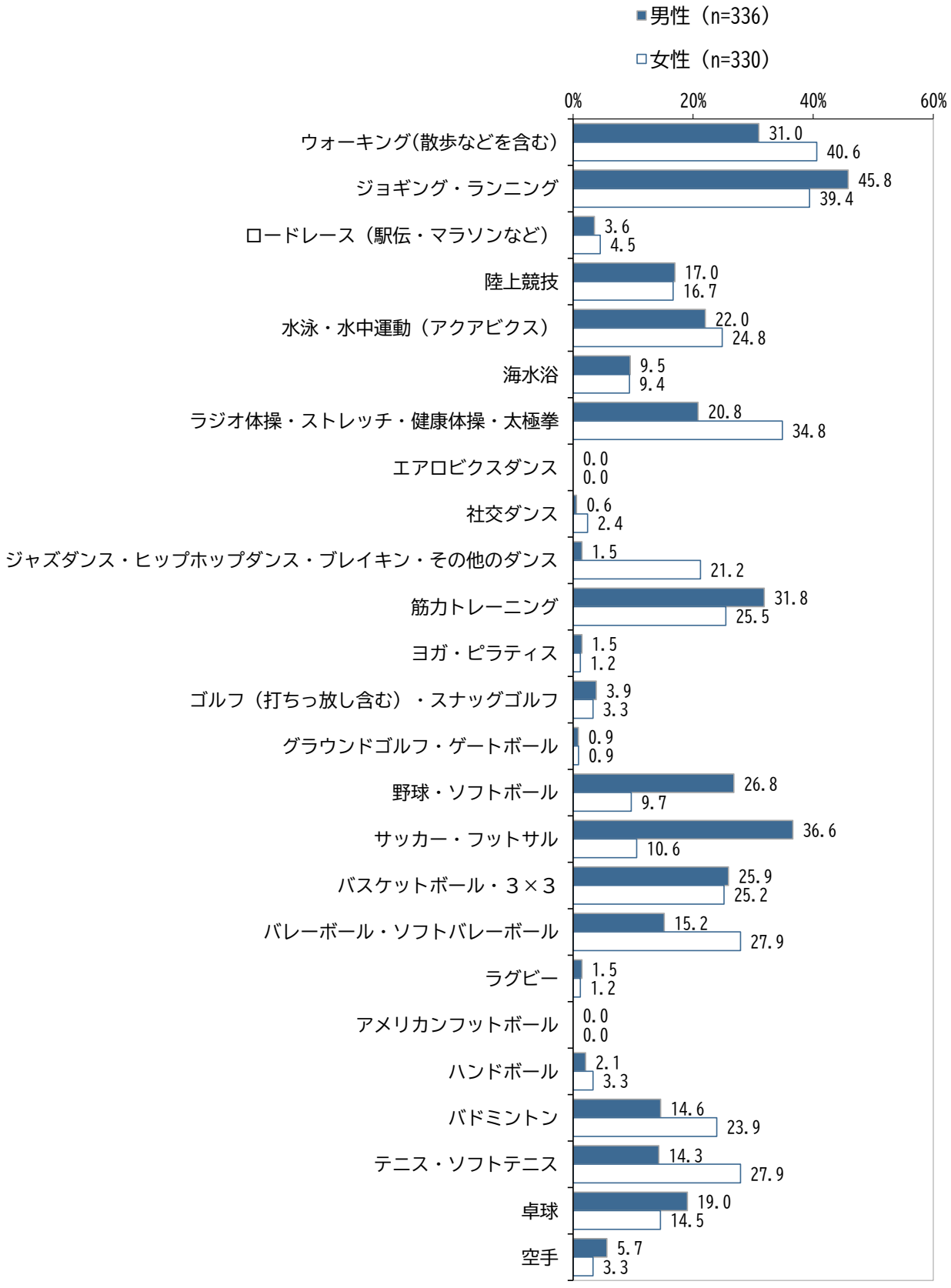


図表3-1-18　体育の授業以外で実施した運動やスポーツ②

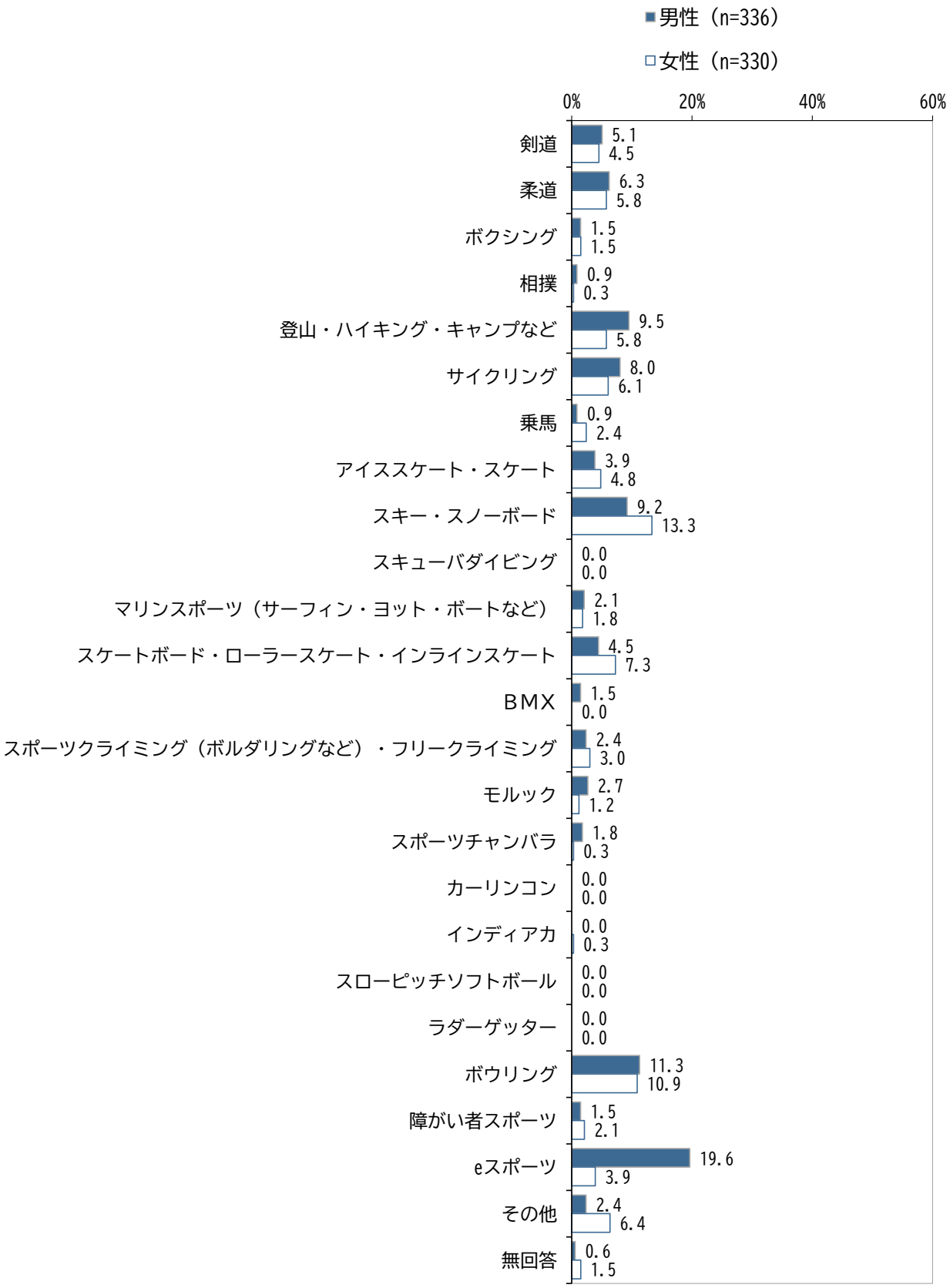


性別でみると、男性では「ジョギング・ランニング」が 45.8%で最も高く、女性では「ウォーキング（散歩などを含む）」が 40.6%で最も高くなっています。

図表3-1-19 体育の授業以外で実施した運動やスポーツ 性別①



図表3-1-20 体育の授業以外で実施した運動やスポーツ 性別②

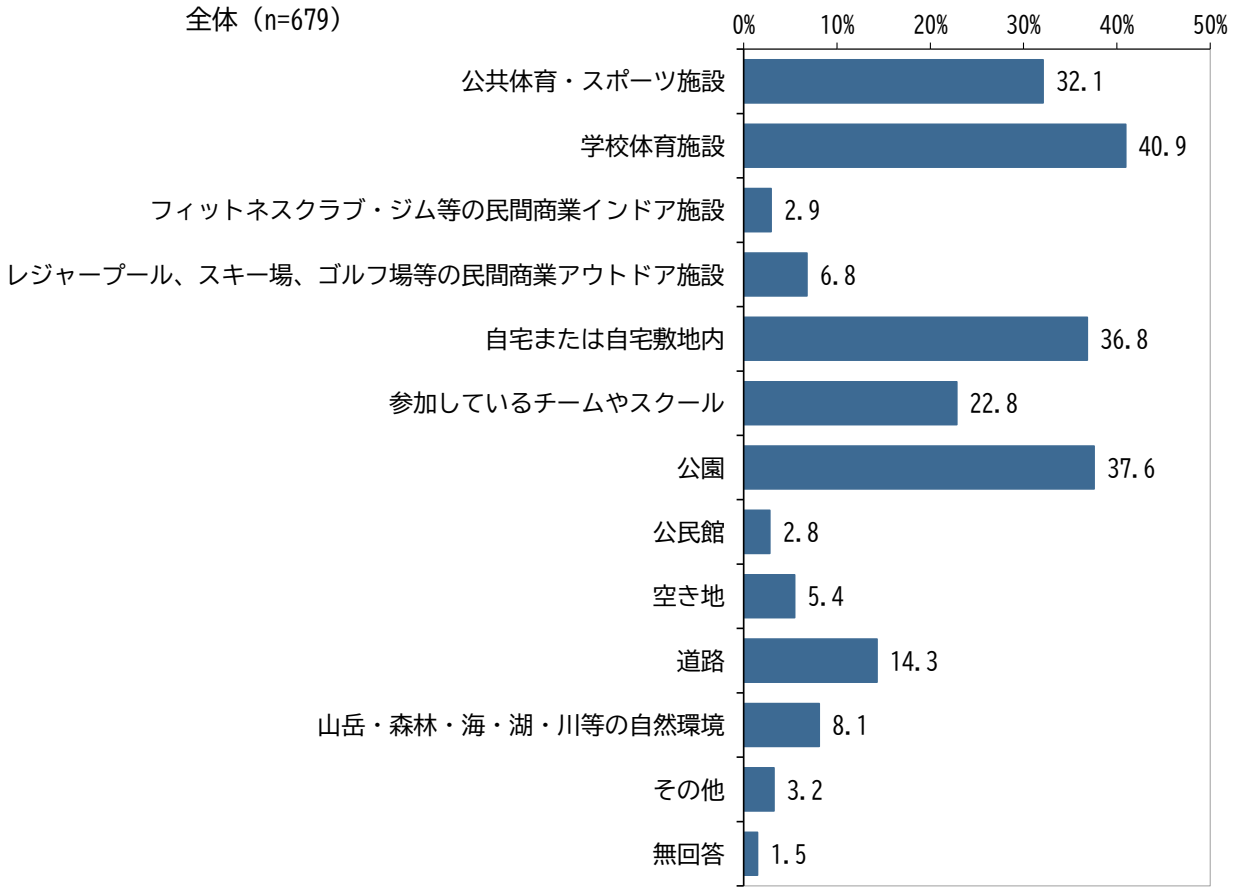


⑤ 体育の授業以外で運動やスポーツを実施した場所

問7－3	**問7で「1」～「7」を回答された方にお聞きします。** 学校の体育の授業のほかに、運動やスポーツを主にどこでしましたか。（○はいくつでも）

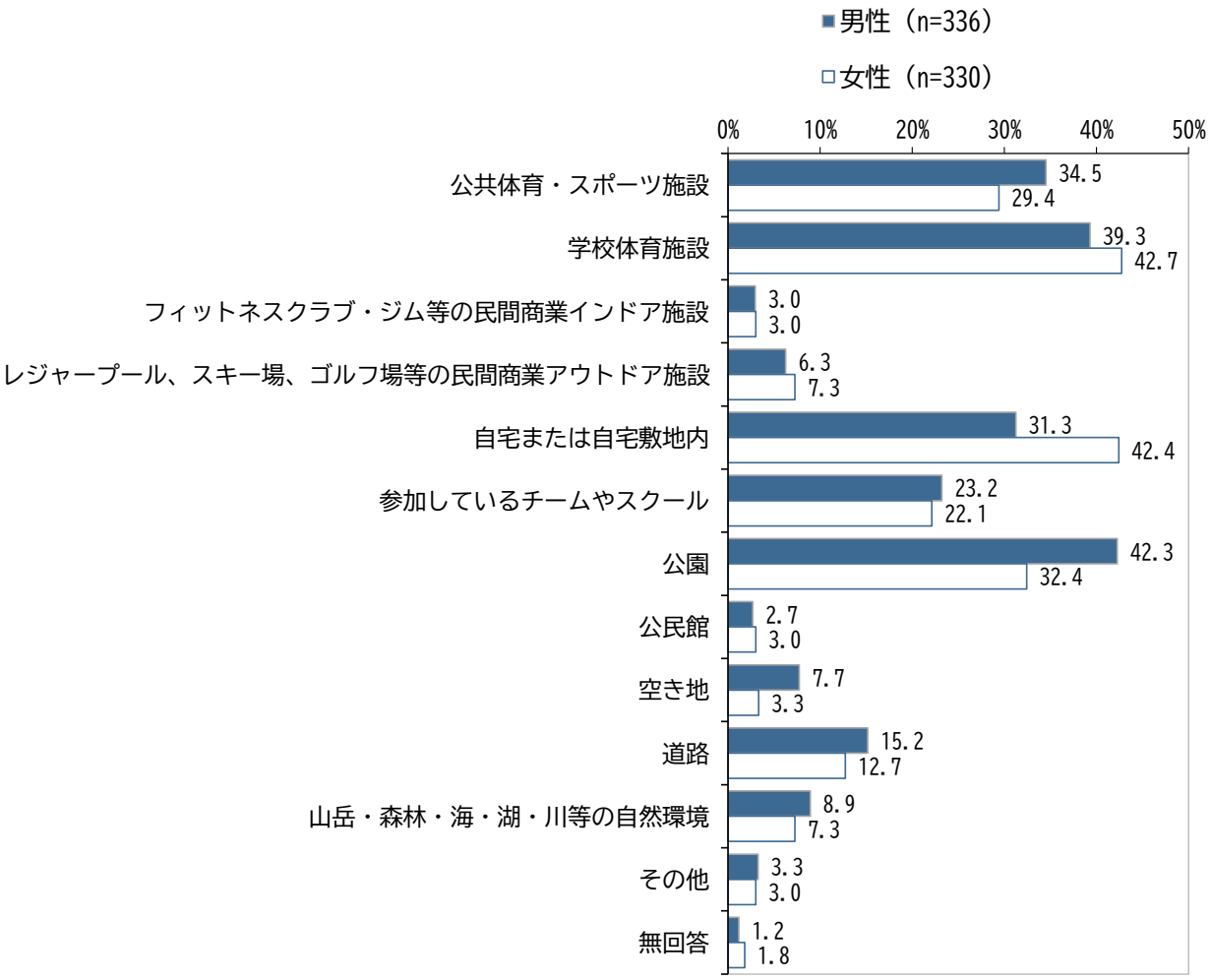
体育の授業以外で運動やスポーツを実施した場所については、「学校体育施設」が 40.9%で最も高く、次いで「公園」が 37.6%、「自宅または自宅敷地内」が 36.8%と続いています。

図表3-1-21 体育の授業以外で運動やスポーツを実施した場所



性別でみると、男性では「公園」が 42.3%で最も高く、女性では「学校体育施設」が 42.7%で最も高くなっています。

図表3-1-22 体育の授業以外で運動やスポーツを実施した場所 性別

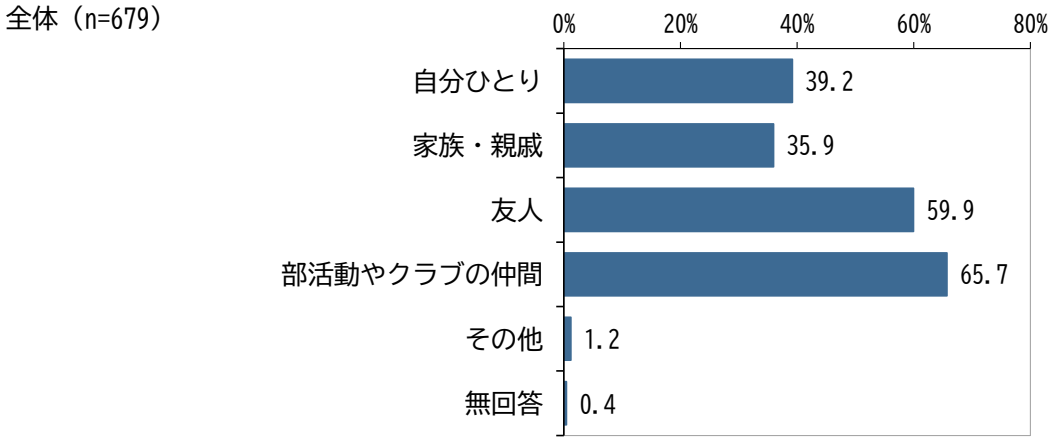


⑥ 体育の授業以外で運動やスポーツを実施した人

問7－4	**問7で「1」～「7」を回答された方にお聞きします。** 学校の体育の授業のほかに、運動やスポーツを主に誰としましたか。（○はいくつでも）

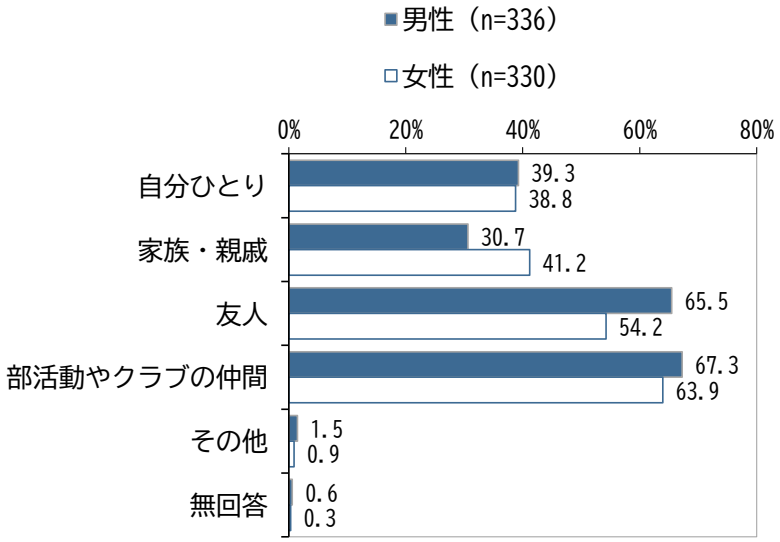
体育の授業以外で運動やスポーツを実施した人については、「部活動やクラブの仲間」が 65.7%で最も高く、次いで「友人」が 59.9%、「自分ひとり」が 39.2%と続いています。

図表3-1-23 体育の授業以外で運動やスポーツを実施した人



性別でみると、男性・女性いずれも「部活動やクラブの仲間」の割合が最も高くなっています。

図表3-1-24 体育の授業以外で運動やスポーツを実施した人 性別

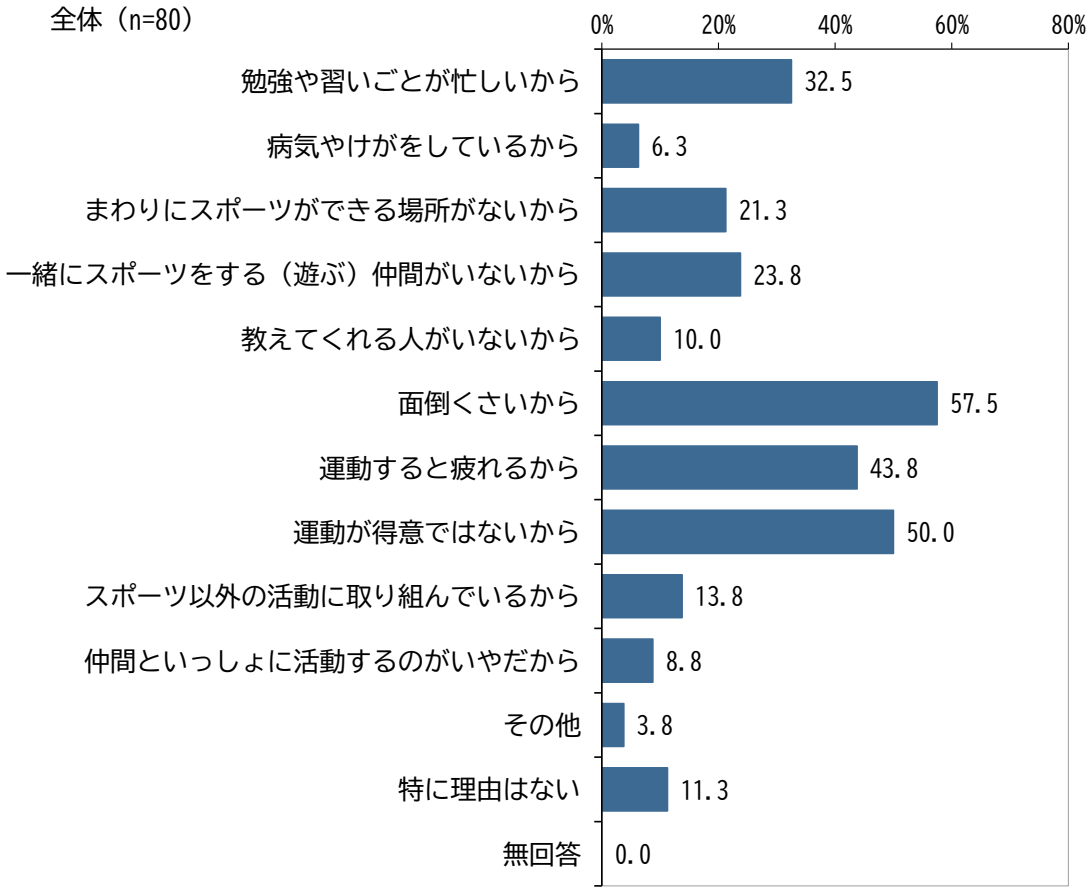


⑦ 体育の授業以外で運動やスポーツを実施していない理由

問7－5	**問7で「8. ほとんどしていない」を回答された方にお聞きします。** 運動やスポーツをしていない理由はなんですか。（○はいくつでも）

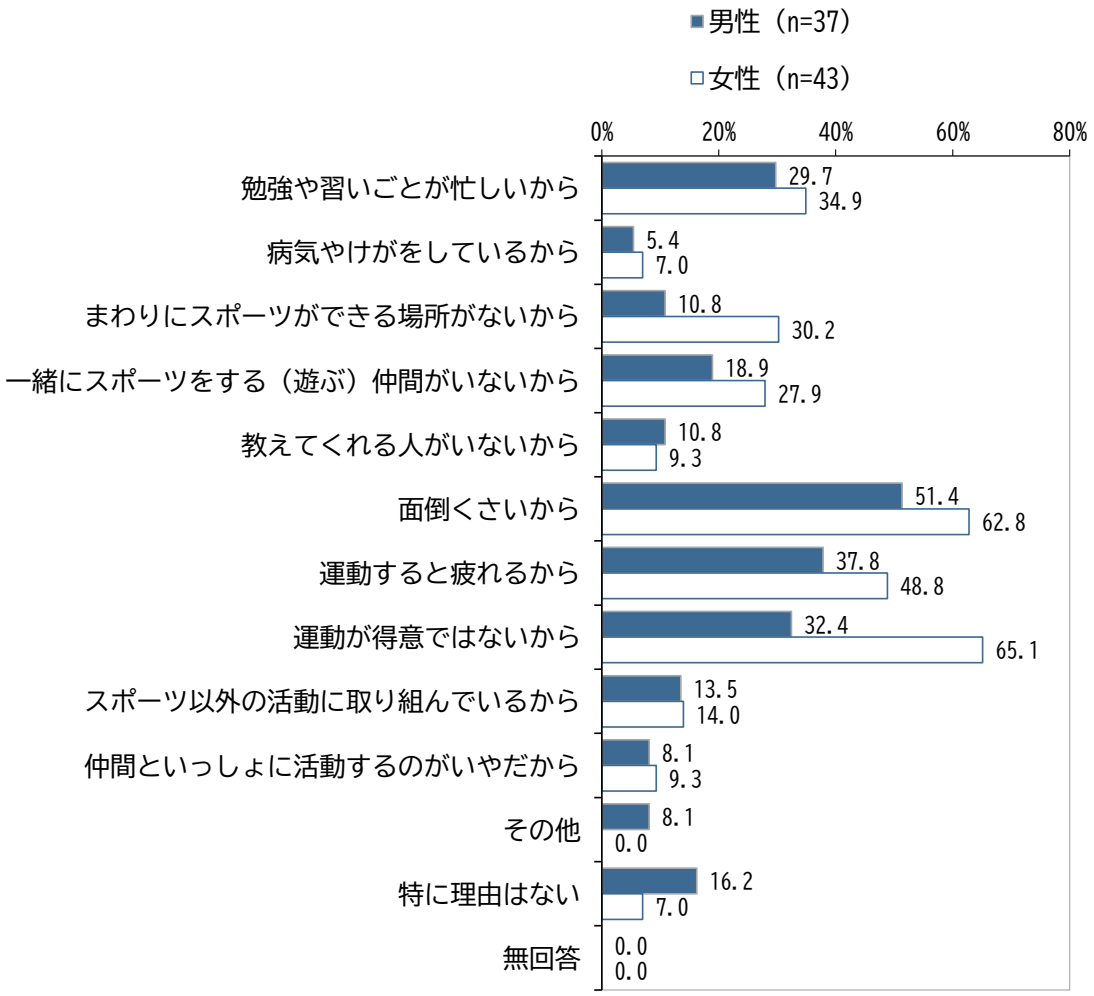
体育の授業以外で運動やスポーツを実施していない理由については、「面倒くさいから」が 57.5%で最も高く、次いで「運動が得意ではないから」が 50.0%、「運動すると疲れるから」が 43.8%と続いています。

図表3-1-25 体育の授業以外で運動やスポーツを実施していない理由



性別でみると、男性では「面倒くさいから」が 51.4%で最も高く、女性では「運動が得意ではないから」が65.1%で最も高くなっています。

図表3-1-26 体育の授業以外で運動やスポーツを実施していない理由 性別

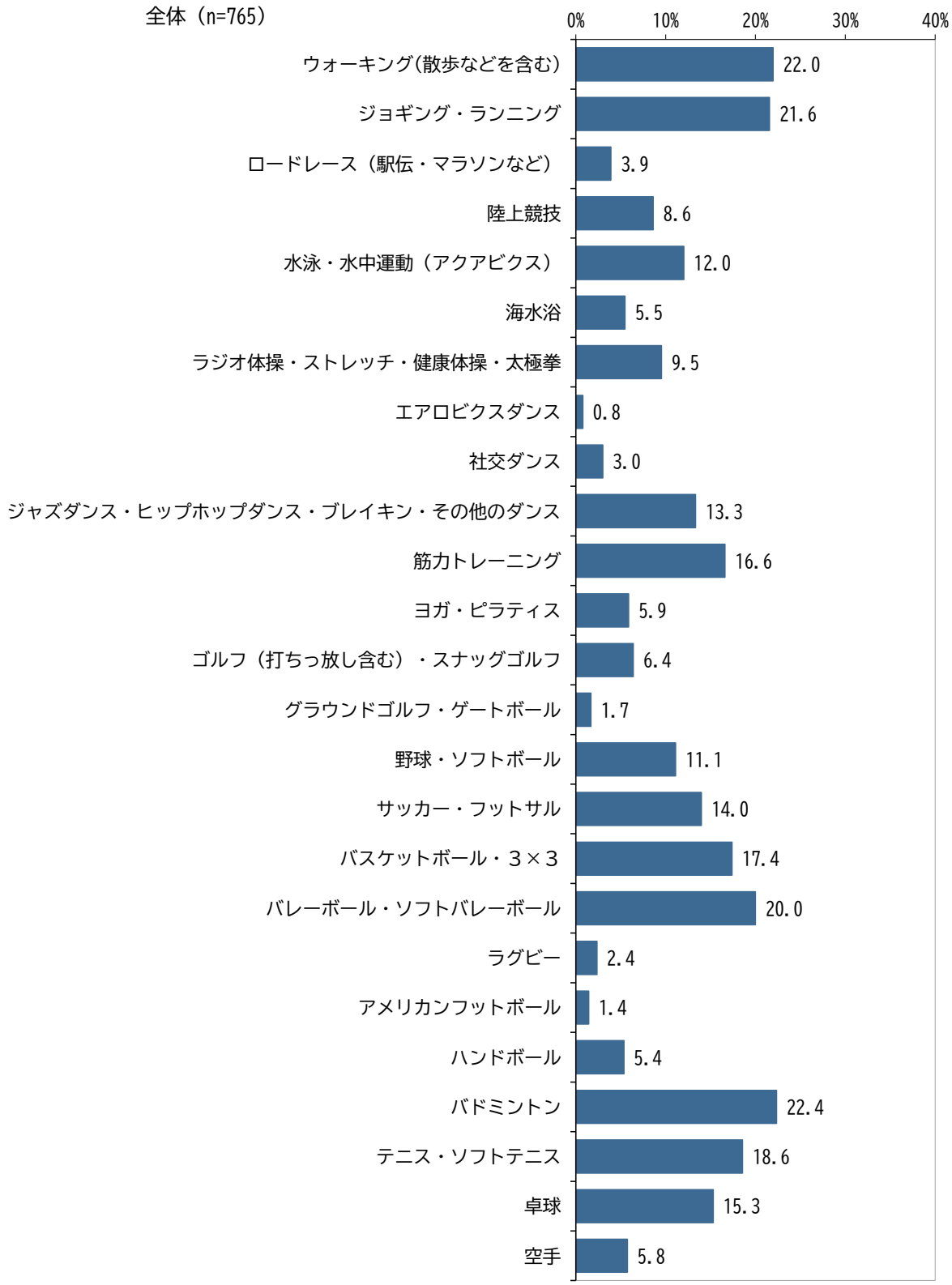


⑧ 今後行ってみたい運動やスポーツ

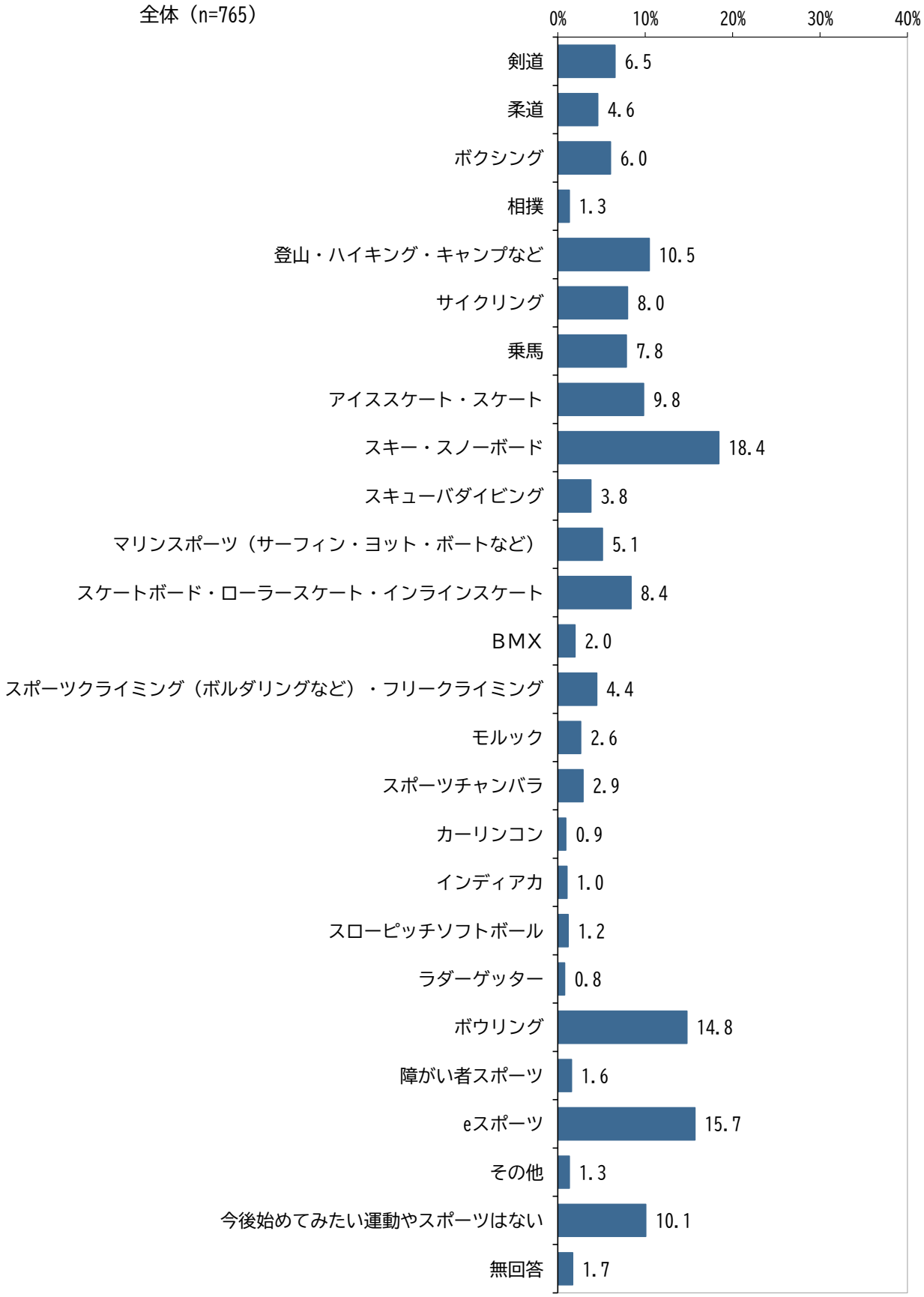
問8	現在行っているものも含め、今後行ってみたいと思う運動やスポーツはありますか。 （〇はいくつでも）

今後行ってみたい運動やスポーツについては、「バドミントン」が 22.4%で最も高く、次いで「ウォーキング（散歩などを含む）」が 22.0%、「ジョギング・ランニング」が 21.6%と続いています。

図表3-1-27 今後行ってみたい運動やスポーツ①

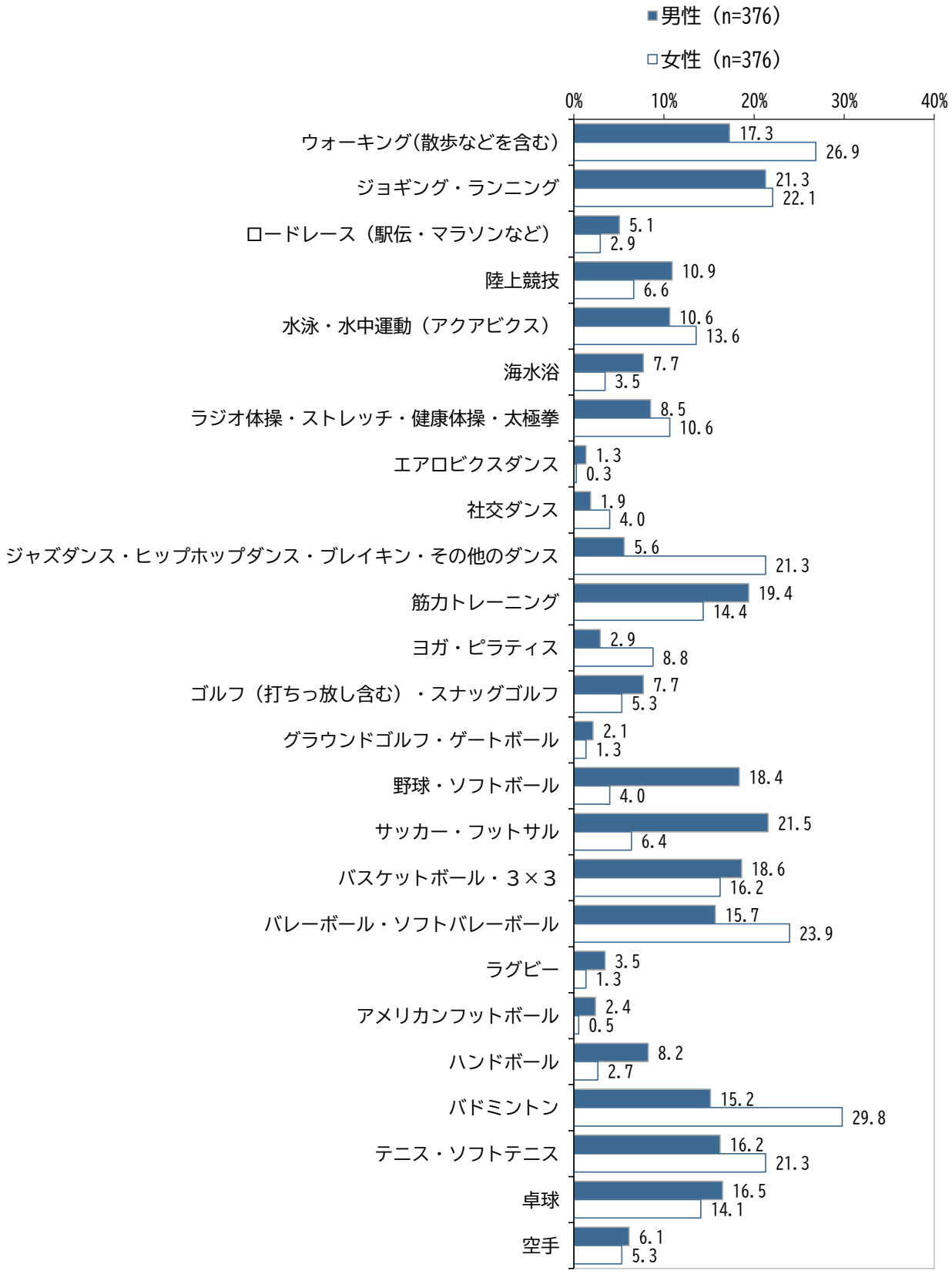


図表3-1-28 今後行ってみたい運動やスポーツ②

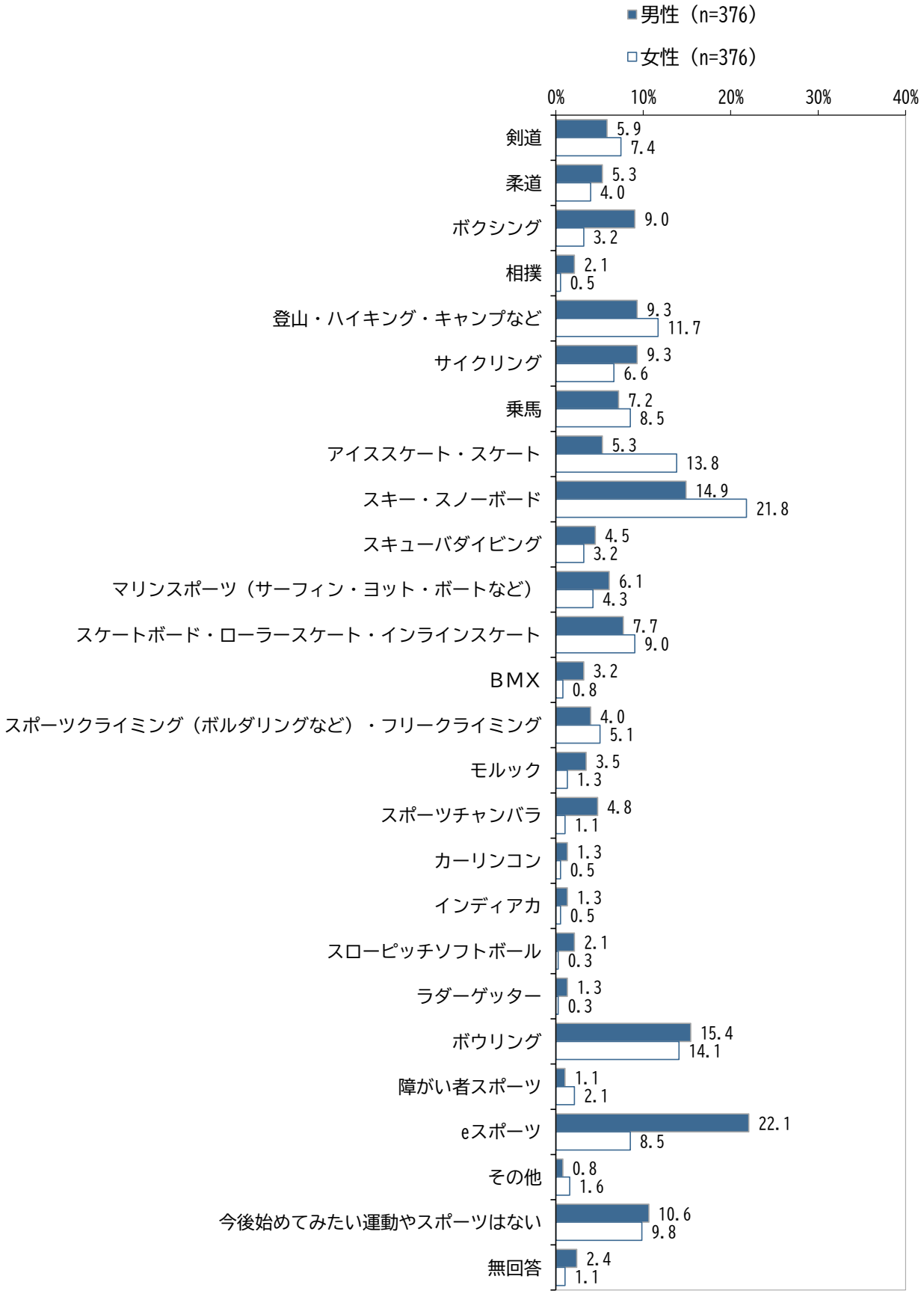


性別でみると、男性では「e スポーツ」が 22.1%で最も高く、女性では「バドミントン」が 29.8%で最も高くなっています。

図表3-1-29 今後行ってみたい運動やスポーツ 性別①



図表3-1-30　今後行ってみたい運動やスポーツ　性別②

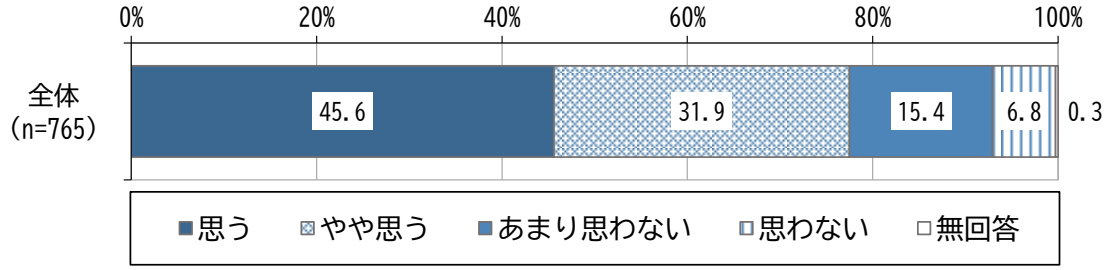


⑨ 中学校卒業後も自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思うか

問9	中学校を卒業した後も、自主的に運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。（○は1つ）

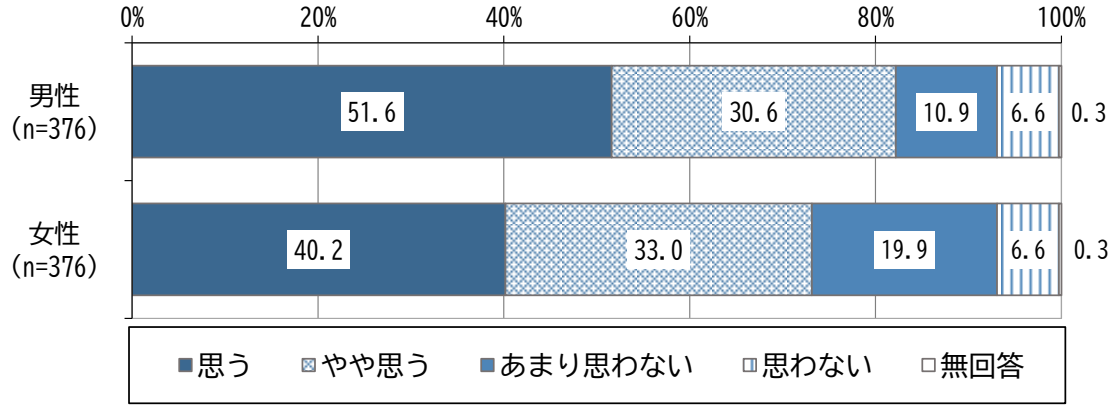
中学校卒業後も自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思うかについては、「思う」が 45.6%で最も高く、次いで「やや思う」が 31.9%、「あまり思わない」が 15.4%と続いています。

図表3-1-31 中学校卒業後も自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思うか



性別でみると、『思う』（「思う」と「やや思う」の合計）では、男性が 82.2%、女性が 73.2%となっています。

図表3-1-32 中学校卒業後も自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思うか 性別

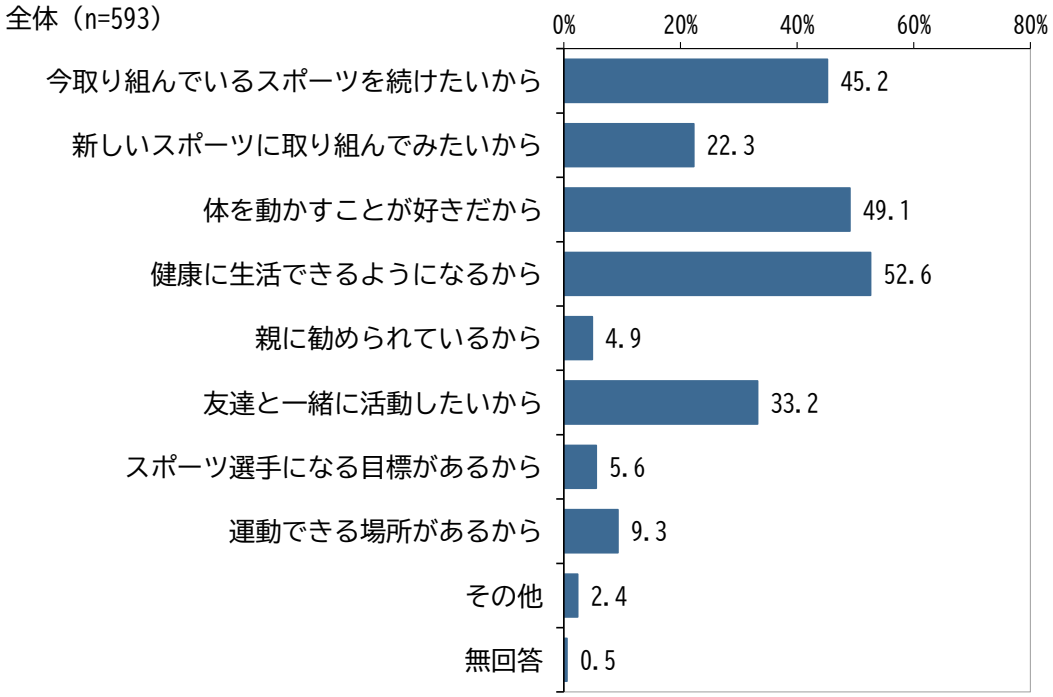


⑩ 中学校卒業後に自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思う理由

問9－1	**問9で「1」または「2」を回答された方にお聞きします。** そのように思う理由はなんですか。（○はいくつでも）

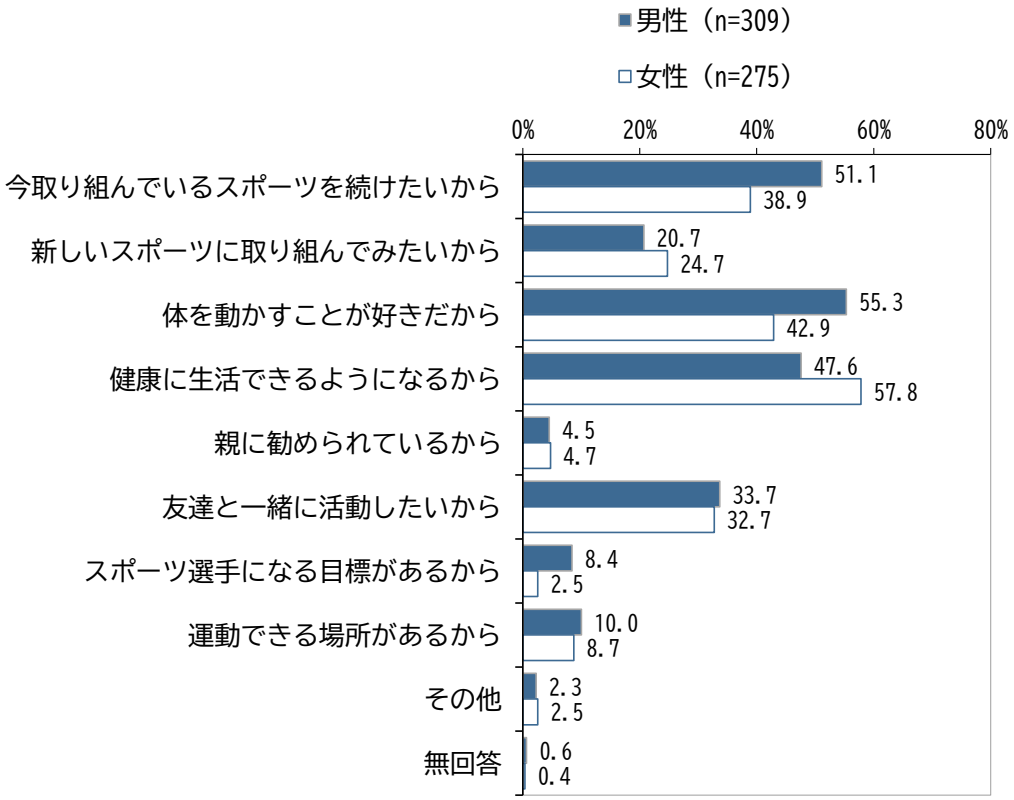
中学校卒業後に自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思う理由については、「健康に生活できるようになるから」が 52.6%で最も高く、次いで「体を動かすことが好きだから」が 49.1%、「今取り組んでいるスポーツを続けたいから」が 45.2%と続いています。

図表3-1-33 中学校卒業後に自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思う理由



性別でみると、男性では「体を動かすことが好きだから」が55.3％で最も高く、女性では「健康に生活できるようになるから」が57.8％で最も高くなっています。

図表3-1-34　中学校卒業後に自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思う理由　性別

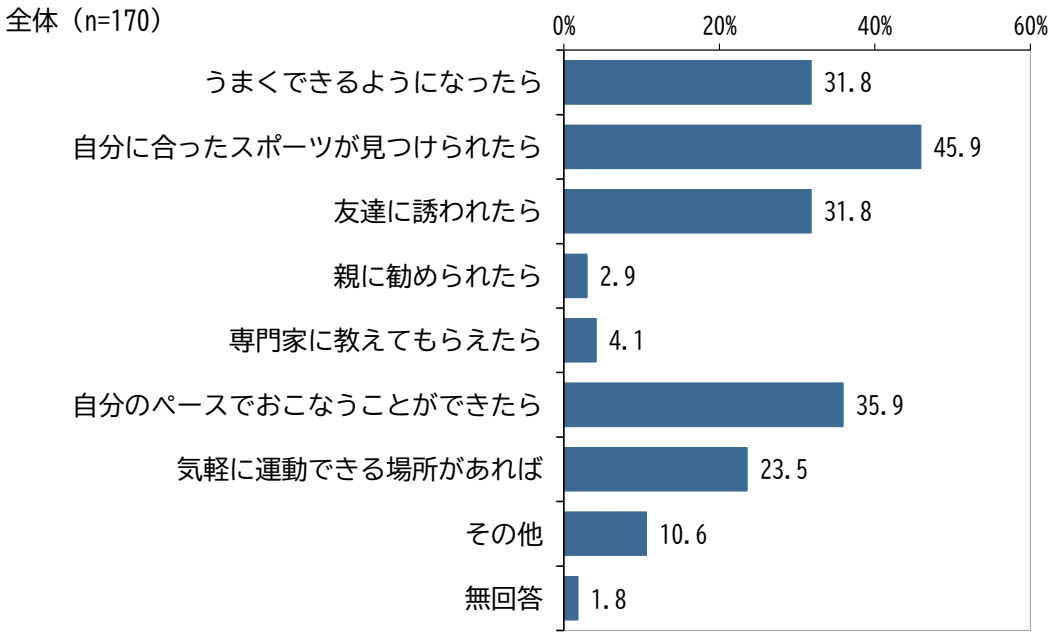


⑪ 中学校卒業後に自主的に運動やスポーツをしたくなるきっかけ

問9－2	**問9で「3」または「4」を回答された方にお聞きします。** 今後どのようなことがあれば、卒業後も運動したくなると思いますか。（○はいくつでも）

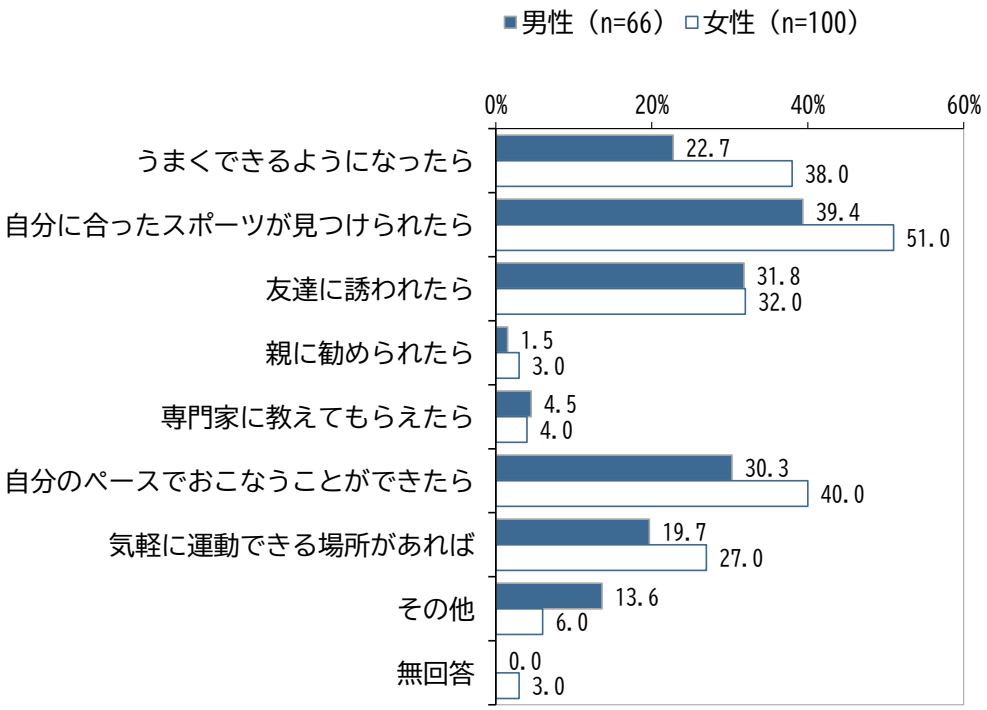
中学校卒業後に自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思わない人の、自主的に運動やスポーツをしたくなるきっかけについては、「自分に合ったスポーツが見つけられたら」が 45.9%で最も高く、次いで「自分のペースでおこなうことができたら」が 35.9%、「うまくできるようになったら」、「友達に誘われたら」がいずれも 31.8%と続いています。

図表3-1-35 中学校卒業後に自主的に運動やスポーツをしたくなるきっかけ



性別でみると、男性・女性いずれも「自分に合ったスポーツが見つけられたら」の割合が最も高くなっています。

図表3-1-36　中学校卒業後に自主的に運動やスポーツをしたくなるきっかけ　性別



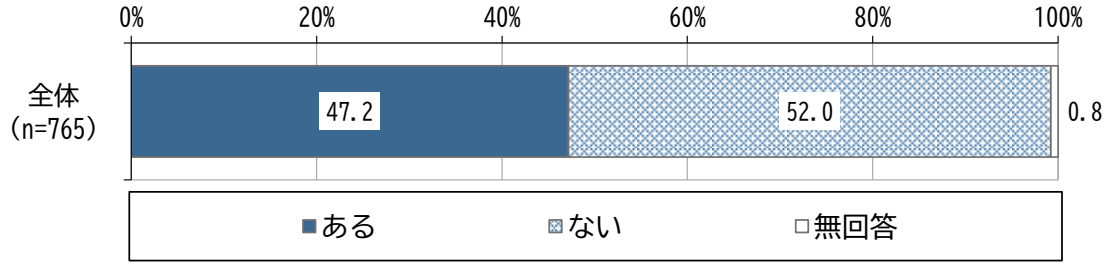
(3)パラスポーツについて

① パラスポーツの経験有無

問10	あなたは、これまで過去一度でも車いすテニスやボッチャ等の障がい者スポーツ・パラスポーツを体験したことがありますか。(○は1つ)

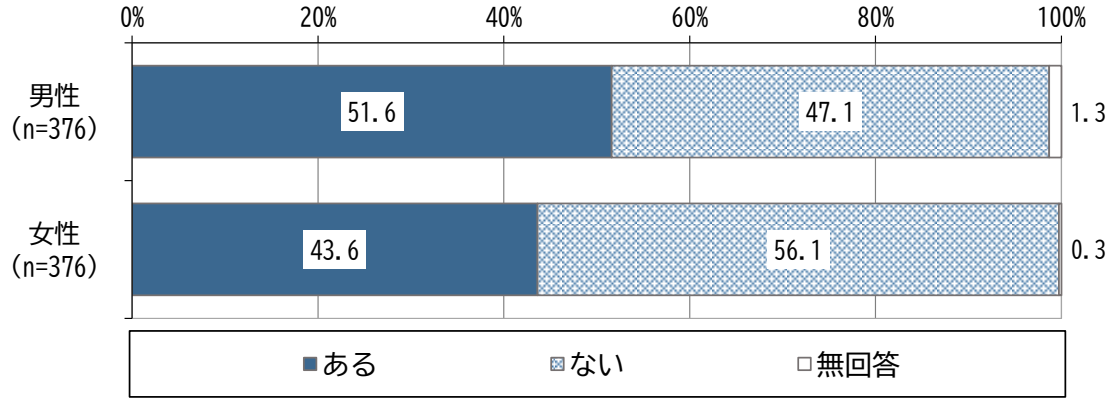
パラスポーツの経験有無については、「ある」が 47.2%、「ない」が 52.0%となっています。

図表3-1-37 パラスポーツの経験有無



性別でみると、「ある」では、男性が 51.6%、女性が 43.6%となっています。

図表3-1-38 パラスポーツの経験有無 性別

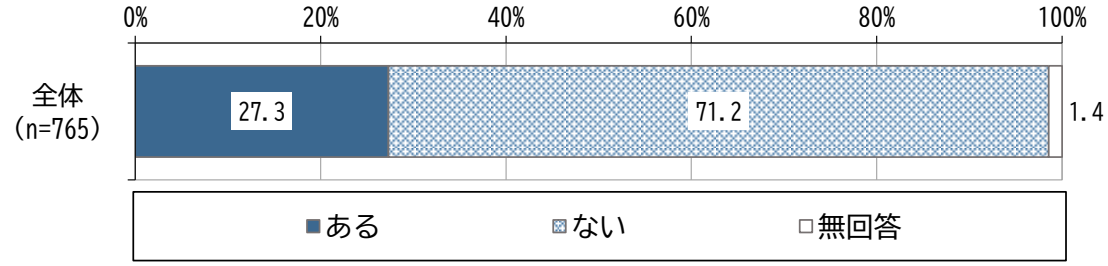


② 障がいのある人とない人でともに運動やスポーツをしたことがあるか

問11	あなたは障がいのある人とない人で、ともに運動やスポーツを実施したことがありますか。（○は1つ）

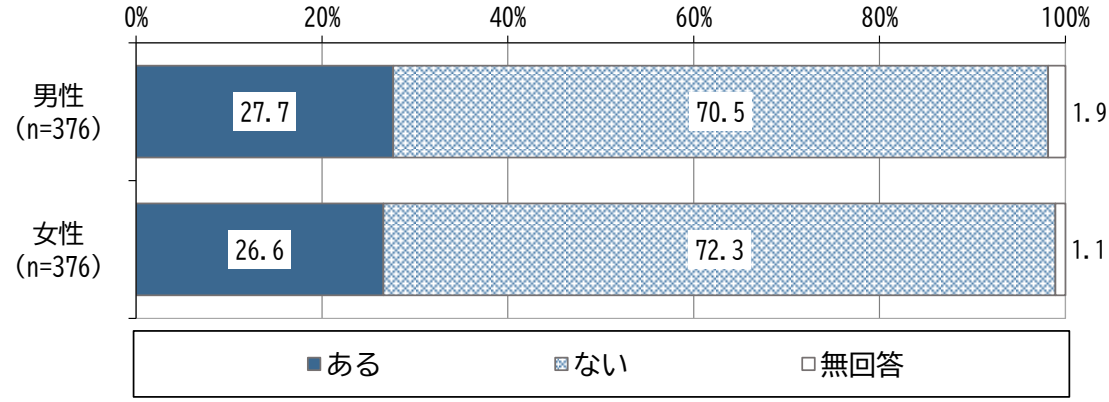
障がいのある人とない人でともに運動やスポーツをしたことがあるかについては、「ある」が 27.3%、「ない」が 71.2%となっています。

図表3-1-39 障がいのある人とない人でともに運動やスポーツをしたことがあるか



性別でみると、「ある」では、男性が 27.7%、女性が 26.6%となっています。

図表3-1-40 障がいのある人とない人でともに運動やスポーツをしたことがあるか 性別



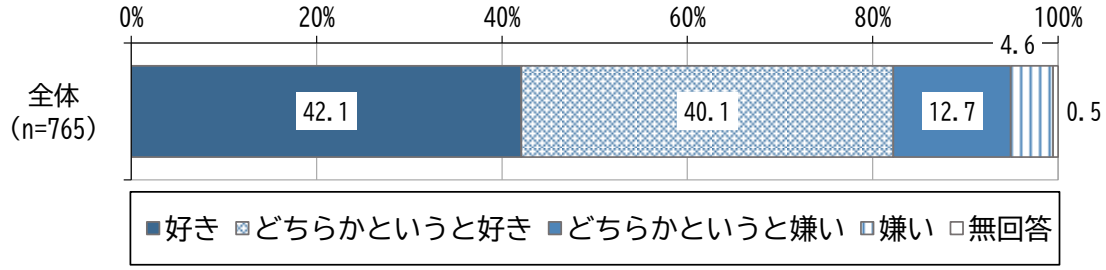
(4)スポーツの観戦等について

① スポーツをみることが好きか

問12	あなたは運動やスポーツを「みる」ことが好きですか。(○は1つ)

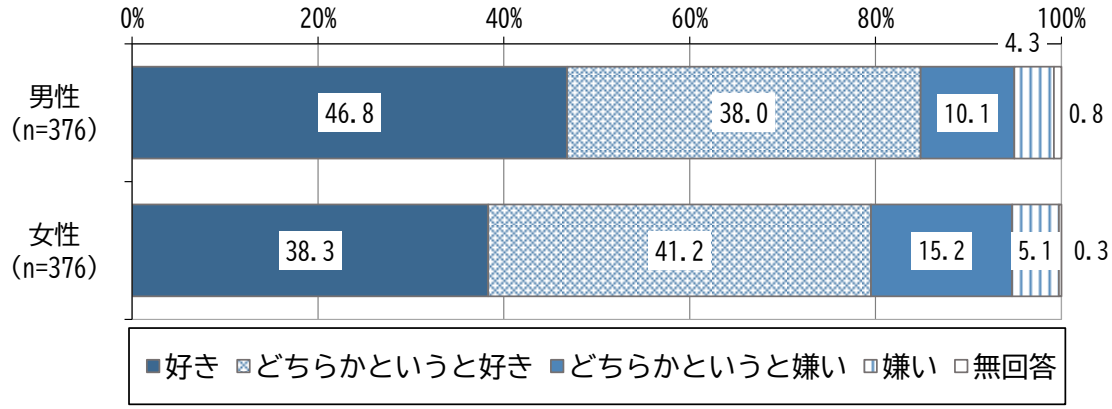
スポーツをみることが好きかについては、「好き」が 42.1%で最も高く、次いで「どちらかというと好き」が40.1%、「どちらかというと嫌い」が12.7%と続いています。

図表3-1-41 スポーツをみることが好きか



性別でみると、『好き』(「好き」と「どちらかというと好き」の合計)では、男性が 84.8%、女性が 79.5%となっています。

図表3-1-42 スポーツをみることが好きか 性別

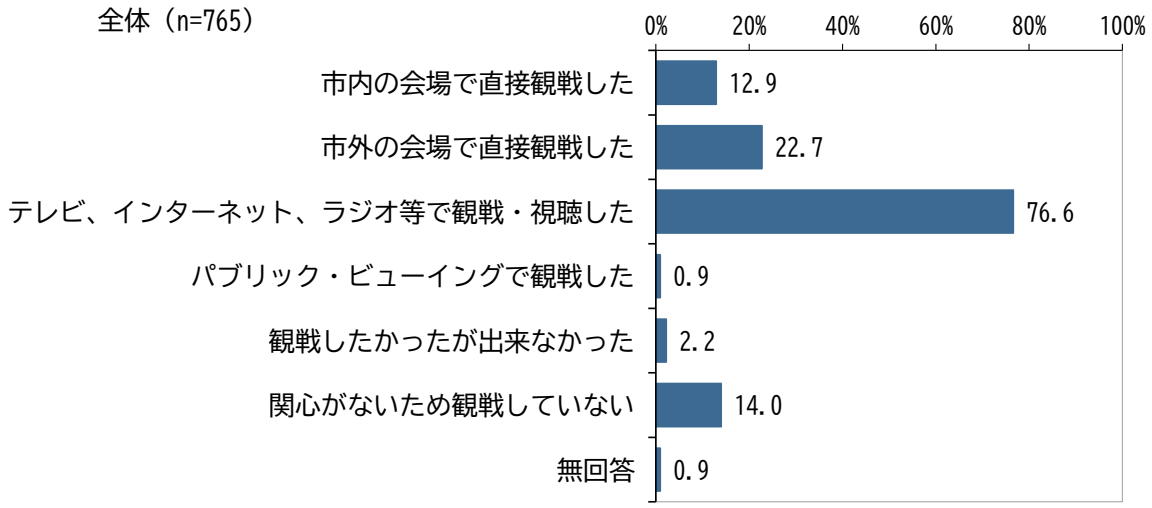


② 過去1年間のスポーツ観戦状況

問13	あなたは、この1年間でスポーツを何らかの形でみる機会がありましたか。 （○はいくつでも）

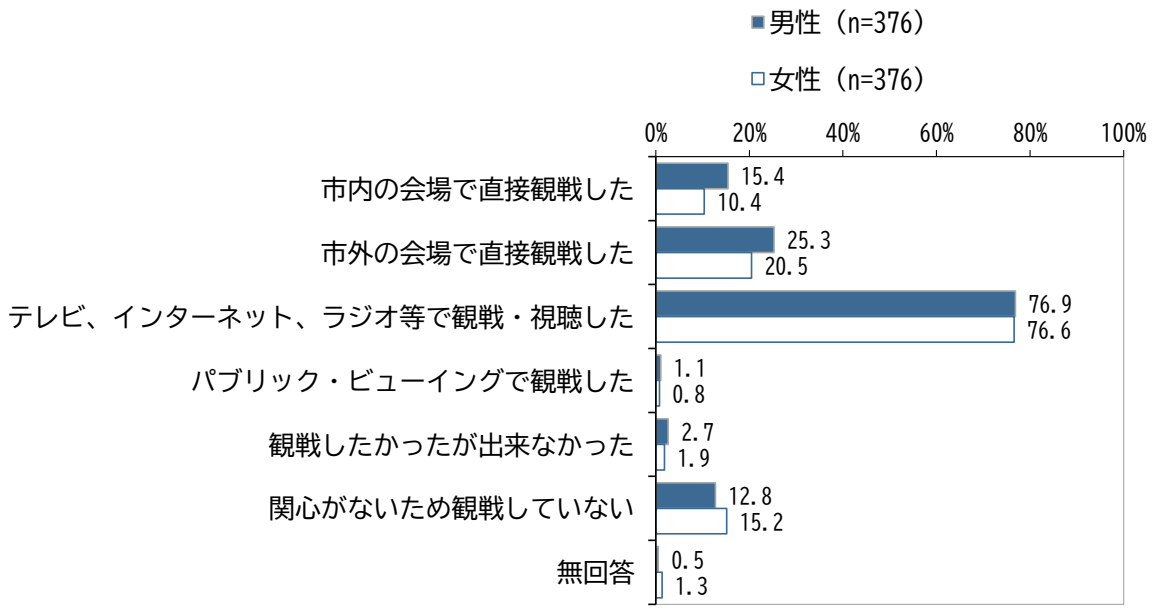
過去1年間のスポーツ観戦状況については、「テレビ、インターネット、ラジオ等で観戦・視聴した」が 76.6%で最も高く、次いで「市外の会場で直接観戦した」が 22.7%、「関心がないため観戦していない」が 14.0%と続いています。

図表3-1-43 過去1年間のスポーツ観戦状況



性別でみると、男性・女性いずれも「テレビ、インターネット、ラジオ等で観戦・視聴した」の割合が最も高くなっています。

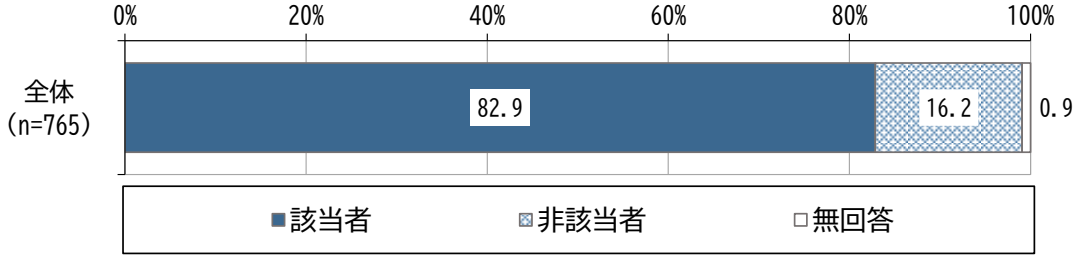
図表3-1-44 過去1年間のスポーツ観戦状況 性別



■過去1年間にスポーツを観戦した人の割合

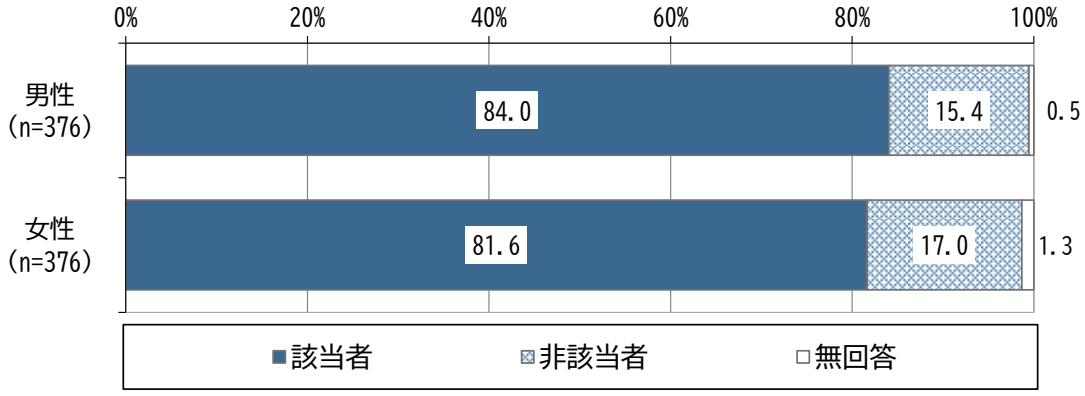
過去1年間にスポーツを観戦した人の割合（問 13 で「1. 市内の会場で直接観戦した」～「4. パブリック・ビューイングで観戦した」のいずれかを回答した人）については、全体で 82.9%となっています。

図表 3-1-45　過去1年間にスポーツを観戦した人の割合



過去1年間にスポーツを観戦した人の割合を性別でみると、男性が 84.0%、女性が 81.6%となっています。

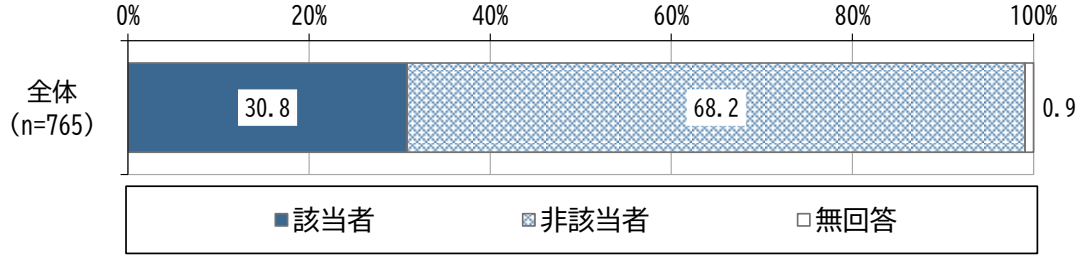
図表 3-1-46　過去1年間にスポーツを観戦した人の割合　性別



■過去1年間にスポーツを直接現地で観戦した人の割合

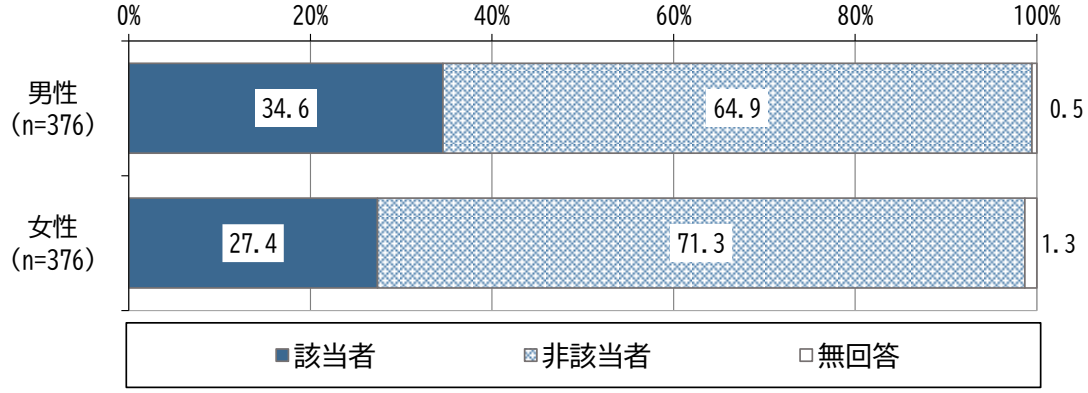
過去1年間にスポーツを直接現地で観戦した人（問 13 で「1. 市内の会場で直接観戦した」か「2. 市外の会場で直接観戦した」を回答した人）の割合については、全体で 30.8%となっています。

図表 3-1-47 過去1年間にスポーツを直接現地で観戦した人の割合



過去1年間にスポーツを直接現地で観戦した人の割合を性別でみると、男性が 34.6%、女性が 27.4%となっています。

図表 3-1-48 過去1年間にスポーツを直接現地で観戦した人の割合 性別

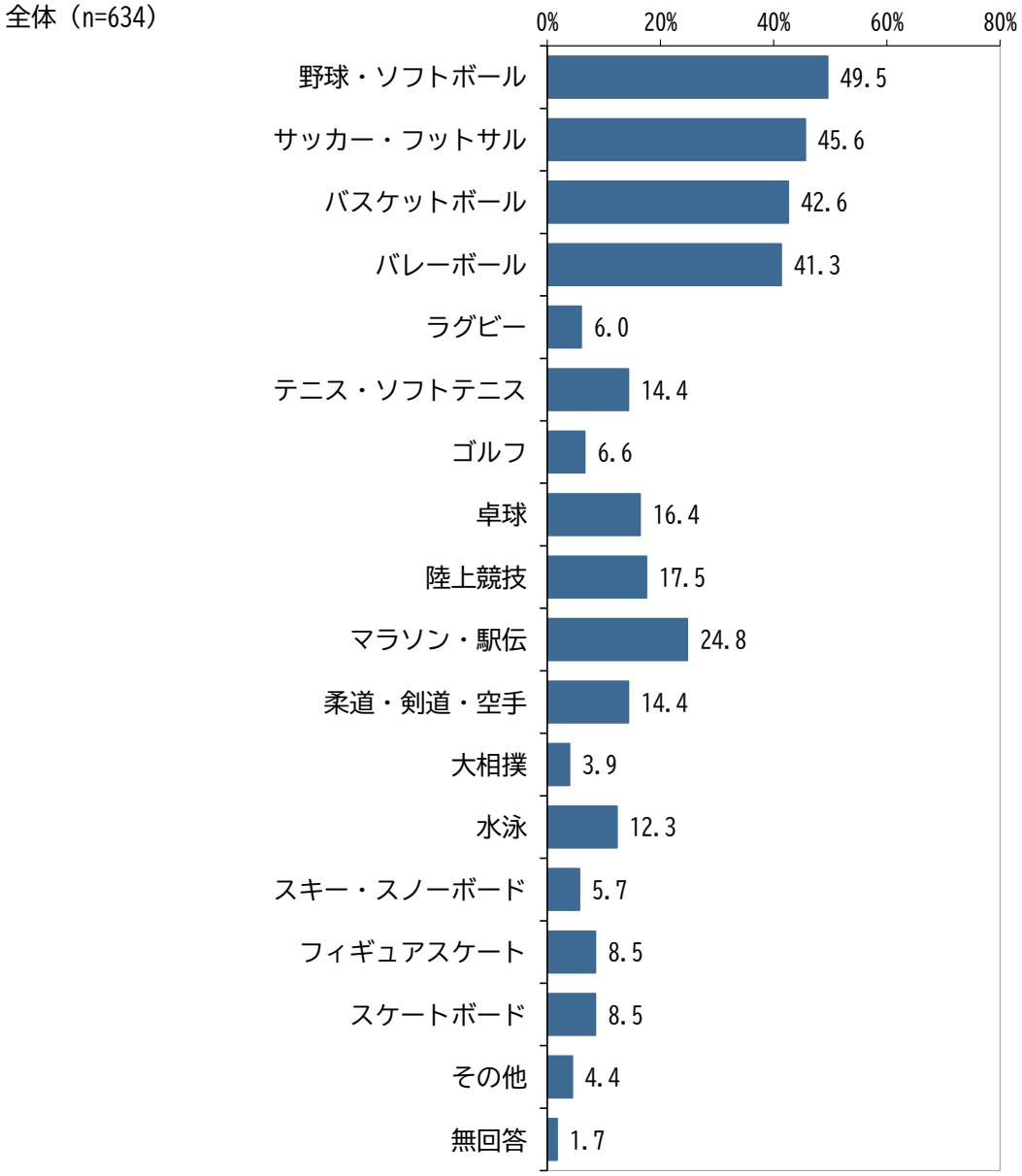


③ 過去1年間に観戦したスポーツ

問13－1	**問 13 で「1」から「4」を回答された方にお聞きします。** この1年間にどのようなスポーツを観戦しましたか。（○はいくつでも）

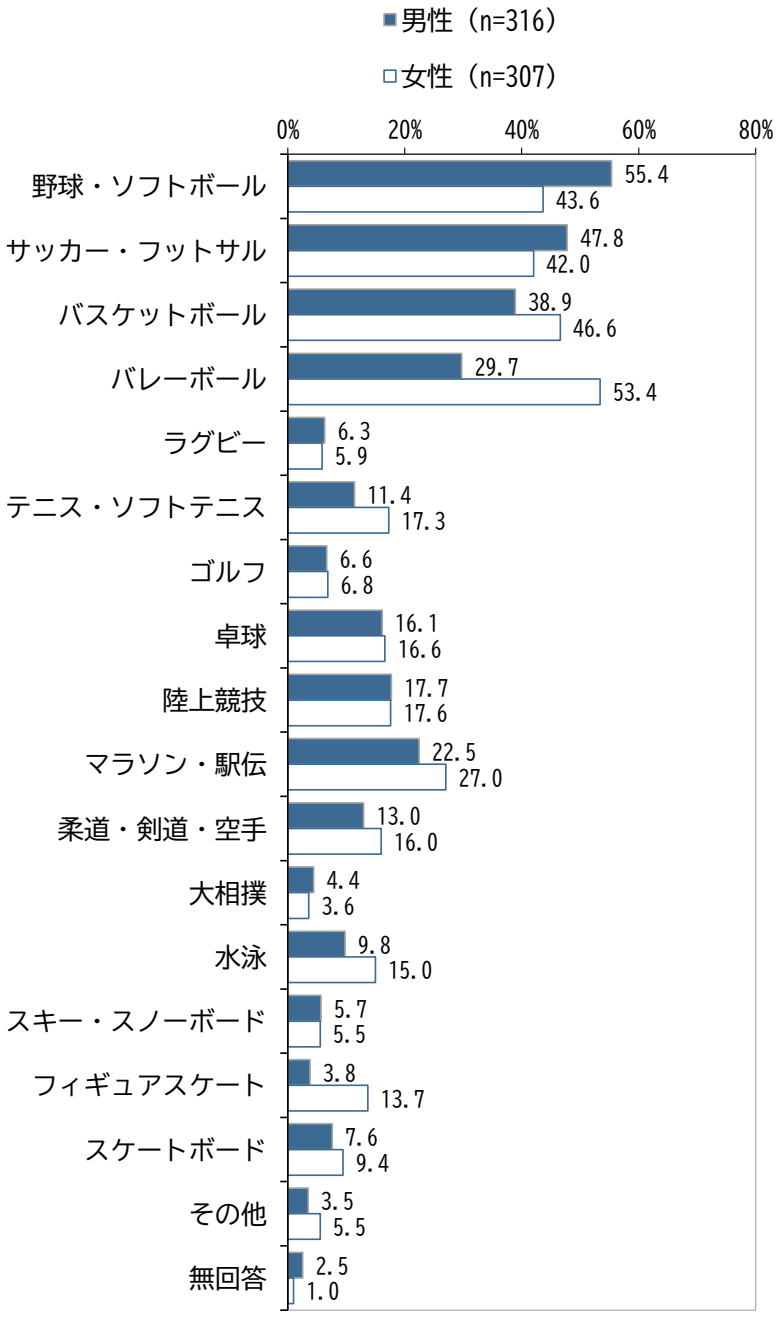
過去1年間に観戦したスポーツについては、「野球・ソフトボール」が 49.5%で最も高く、次いで「サッカー・フットサル」が 45.6%、「バスケットボール」が 42.6%と続いています。

図表3-1-49 過去1年間に観戦したスポーツ



性別でみると、男性では「野球・ソフトボール」が 55.4%で最も高く、女性では「バレーボール」が 53.4%で最も高くなっています。

図表3-1-50 過去1年間に観戦したスポーツ 性別



(5)自由回答

問14	最後に、運動やスポーツに関して普段思っていること、取り組んでみたいことがあれば書いてください。

運動やスポーツについての自由記述は、以下の通りです。(一部編集のうえ掲載)

図表3-1-51 自由回答

「する」スポーツについて
運動やスポーツに関する意識について
・運動やスポーツは楽しい(41 件)
・運動をすることは大切(9 件)
・運動は健康に良い(7 件)
・しんどい/だるい/めんどくさい(6 件)
・運動は体にいいし、めちゃくちゃ楽しいのでみなさんやりましょう。特に野球は素晴らしいスポーツです
・運動とかをしたら、健康になったり、運動好きになったりするんだなと思った
・体を動かすことは健康にも良いし、体力もつくことで自己肯定感が上がるし、ストレスも解消されるから、人生の上で大切だと思う。体を動かすことは好き
・大好き
・運動は楽しむのが大事
・楽しみながらする
・全員が楽しめる事
・楽しそう
・楽しく健康にしたいです
・あまり運動をする機会がないから、これから先は運動をする回数や日数を増やしていきたい
・これからも続けたい
・体育の授業で A とれるぐらい体は動かしたいなと思う
・健康になれるし運動不足にもあまりならないから嬉しい
・健康的だと思う
・やっぱり推し活するのに当たって自分の健康状態を良くするのは大事だと思うんですよね。勿論推しの心配が強いですけどまず自分の健康状態が大事だと思う
・動くことは大切でダイエットにもいいと思います
・日常を生きていく中で運動(スポーツ)はとても大事なものだと思うし、何歳になってもやっていきたいと思う
・運動不足解消しなきゃなーと思っています
・それぞれのアンケートにも答えましたが、僕自身体を動かすこと楽しめたらいいと思っています
・運動は医師から激しいのは控えるように言われていていて、普段あんまり運動をしないけれど体を動かすことは好きだから、これからは体力をもっとつけたいと考えています
・運動は怪我を防ぐ事だと思う
・やった方がいいこと
・スポーツについてあまり興味はないけど、この前スノボ行って楽しいなって思ったし、趣味の範囲でやる分には取り組んでみたいと思う
・運動やスポーツは大事なので、めんどくさくてもやっていこうと思いました
・スポーツは競争が無いといけない
・スポーツは自分も成長することができて周りと協力する力がつくと思います
・メニューによってはしんどいけど終わった時の達成感が好きです
・大人になっても健康のために続けたい

・運動をしていれば、健康で、規則正しい生活に慣れるから、運動はしておいた方がいいなとは、思いました。体力があまりないから、運動しようと思いました
・しんどいこととかでも頑張って続けるのが大事だと思っている
・運動を疎かにしている大人が多いと感じるので、もっと大人もできるような手軽なスポーツがあればいいと思います
・運動は続けることが大切だと思っています
・今後も部活などで体を動かしていきたいです。そして、習い事でダンスをしているのでこれからも続けていきたいです
・しんどい時もあるけれど健康を維持するためには必要なものだからこれからも運動やスポーツを続けていければいいなと思います
・なぜ運動やスポーツをしないといけないのかと思っていました
・私はあまり運動が得意ではないですがこれから挑戦できたらいいなと思ってます
・とても辛いがおわった時は達成感を感じることが多い
・大変だと思うこともあるけど、目標を達成できるまで諦めずに頑張りたいです
・やってみたら楽しいけれど、やる気にならない
・運動は苦手だが、健康を保つために楽しくスポーツをやっていきたい
・運動自体は得意ではないのであまり好きではないが、友達と走るなど軽い運動は好きです
・運動が嫌いでやってないけど、個室とかで練習できるならやってみたい
・スポーツはやるのは好きだけれど得意ではない、けれど今後挑戦してみたいスポーツもあるのでやってみたいと思う
・運動するのはとても苦手で嫌い。できれば部活も辞めておきたいが、やはり全体的にみると運動は気分転換にもなるし体の健康にもなる。そして仲間との交流も深まるから大切だと思う
・できる人とできない人とで差が激しくて心身ともに疲れる
・運動したくない
・「嫌だ」と思っています
・苦手なので極力したくない
・疲れたと思っている
・運動は苦手なので、これからも授業以外はできる限りやりたくないなと思っています
・体力がない。泳げない
自身のスポーツについて
・もっとたくさんのスポーツを挑戦したい（14 件）
・体力をつけたい（6 件）
・上手くなりたい（4 件）
・筋力トレーニングがしたい（2 件）
・運動を頑張る（2件）
・バレーボールがしたい（2件）
・金剛中には男子バレーボールクラブがないので、バレーボールをする機会があれば、やってみたいと思いました
・運動やスポーツで、卓球をマスターしたい
・運動不足がもたらす体への負担を減らすために運動を軽く行っています。社交ダンスやスキー・スノボなどは行う機会がほとんどないのでやってみたいと思いました
・勝ち負けにこだわるのではなく、とにかく無理せず楽しむことを第１にやっていきたいです。そして、独学（自分ひとり）でできるやりたいこと（例:ダンス）やってみたいと思います
・中学の間にテニス部の大会で賞状をとれるようにサーブなどの練習に取り組みたい
・私は中学1年生の時に陸上部に入り、二学期の途中で硬式テニス部に変わりましたが、陸上部には陸上部なりのよさがあって硬式テニス部には硬式テニス部なりのよさがあり、陸上もテニスも侮れないなと思いました
・野球の選手たちが走って頑張っている姿を見て私もしたいと思いました

・登山などは挑戦してみたい
・スキーが一回しかやったことがないので、またやってみたい
・野球をしてみたい
・バレーがしたい
・乗馬をやってみたい
・バスケでたくさんリバウンドを取りたいからジャンプ力をつけたい。シュート率を高める
・高校生になったら，バレーボールや e スポーツなどを取り組んでみたい
・ダンスをすることが好きなのでもっといろんなジャンルにも取り組んでみたいと思いました
・剣道とか興味ある
・サッカーこれからも続けていきたい
・サッカーができるようになりたい
・キックボクシングをやってるのでもっとやる
・ランニングとバトミントンは好きだから今後も続けたい
・運動をすることによってとてもリラックスできるし、楽しいからこれからもいろんなスポーツもしていきたい。そして、スポーツで飯食っていきたい
・運動不足を解消したいから
・習い事（空手）でもっと強くなって茶帯に進化する
・得意なスポーツを増やしていけるよう頑張りたいです
・カヌーのタイムアタックに取り組んでみたい
・これからも切磋琢磨と練習に取り組みたい
・上手くいかない時があってもできるようになったらすごく楽しいから、このまま続けていきたいと思っています
・運動するよって言っても運動が嫌いな人にとっては嫌に感じると思うので鬼ごっこ（走る運動）やドッチボール（球技のため）などを友達や色んな人としたいです。本当に鬼ごっこがしたいです
・怪我をしないこと
・どうすればボールに回転をいっぱいかけれるかと、どこを狙うかを意識している
・犬と散歩
・歩く
・バレーボール、スキー、スノボ、バスケ
・バスケ・ダンス。今もしているから
・陸上競技をこれからも続けていきたい
・柔道を続けたい
・スポーツチャンバラで全国に行きたい
・ボクシングをやってみたい
・取り組んでみたいことはテニスです。なぜなら、今もやっているからです
・野球頑張る
・普段、上を目指すように頑張ろうと思っている
・引退試合に向けて頑張る
・目的意識を持ってやっている
・毎日の努力が 3 年の夏休みに出てくるのでガチで頑張ります
・自分のペースというのがほしい
・パラスポーツがしてみたい
学校体育について
・持久走はいらないと思います
・持久走で一番最後になったら、気まずい
・体力がないので、持久走が嫌いです
・体育で剣道をしたい
・体育でいろんな競技をやってみたい

・体育でバトミントンとかをやってみたいです
・運動音痴なので体育の授業無くなればいいのにと思ってます
・常識的に考えると、学校の体育で持久走に取り組むことはすごく無意味。他のチームスポーツと違って個人の体力勝負であり、現代において十分間も走り続ける事はないので、他のチームスポーツに変えるべきであると私は、常日頃考えております。特に私の学校の持久走は、体育の教師がどれだけしんどくても途中で辞めると補習を受けさせてくるので無理に走らなければならずゴミです
・運動(自主的)をするのは楽しいけどスポーツ(体育)は何をしても先生がすぐキレるから楽しくない
・学校で e スポーツを取り入れてほしい
部活動について
・部活動をみんなはどんな気持ちで取り組んでいるのか
・水泳部が学校にないので水泳部をつくってほしいです
・もっと部活を頑張りたい
・中学校にも、男子バレー部を作ってください
大会等について
・市民が自由に集まって(総合体育館などで)スポーツ大会をしてみたい
スポーツ施設について
・球場が少ないと思う
・運動ができる公園が少ないのと公園がちっちゃい
・バスケができるゴール付きの体育館がほしい
・サッカーとかできる公園が少ないから公園を増やしてほしい
・もっと体育館や公園とかが増えたらいい
・スポーツって楽しい時もあるけどしんどい時もあると思う。スポーツができる場所が少ない
・富田林にスケートパークを作ってほしい
・運動などはボール系統のスポーツが好きなのですが、ボール遊び禁止の場所が多いので、できる場所がほしいです
・公園などにバスケットゴールがない
・もっとスポーツができる場所を作ることです
・もっと近場に運動施設があると良いなと思います
・野球ができる施設を増やしてほしい
・もっと公園にバスケができるコートなどを作ってほしいです
「知る」スポーツについて
・体力を効率的につけられる方法を知りたい
その他
・障がい者スポーツというくくりは不適切
・ソフトテニスと、テニスではなぜ種類が違うのか
・公園は最近ボール遊びなどが禁止されていたり子供の声が騒音と言うクレームがあったりするので地域全体で理解をするのが大切だと思います。大谷さんのグローブは飾るのではなく使えばいいと思います

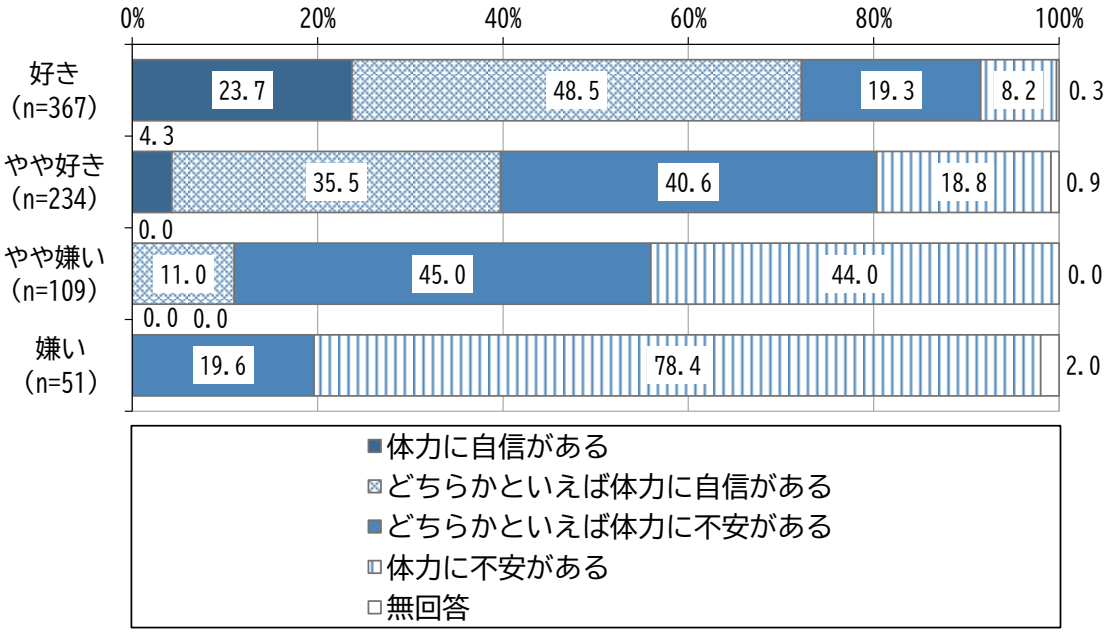
2 調査結果(追加分析)

(1)運動やスポーツをすることが好きか別にみる運動やスポーツの状況

① 運動やスポーツをすることが好きか×体力に自信があるか

体力に自信があるかを運動やスポーツをすることが好きか別でみると、運動やスポーツをすることが嫌いと思う度合いが強くなるにつれて、『体力に不安がある』(「どちらかといえば体力に不安がある」と「体力に不安がある」の合計)の割合が増加しています。

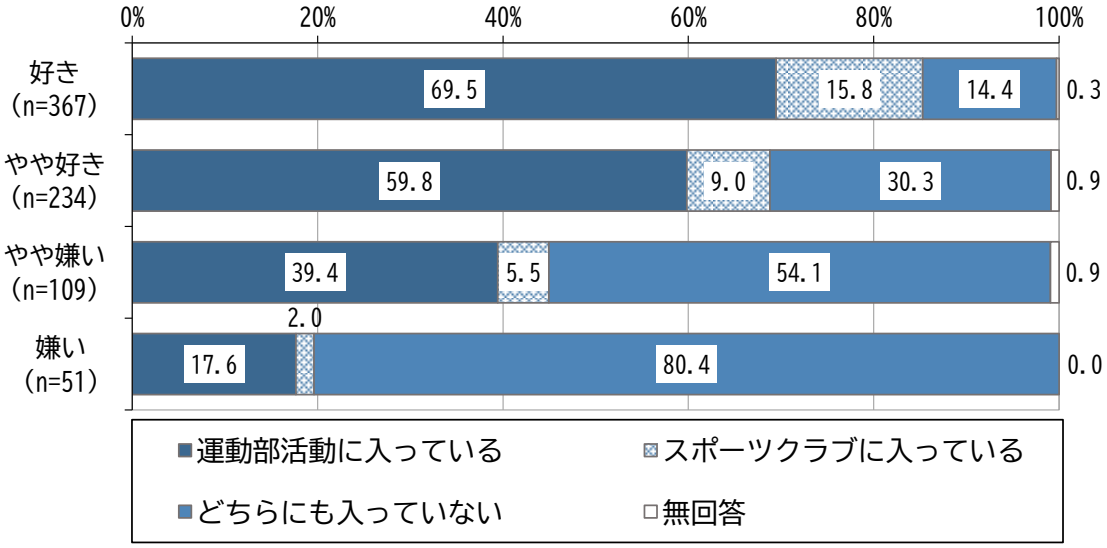
図表 3-2-1 運動やスポーツをすることが好きか×体力に自信があるか



② 運動やスポーツをすることが好きか×学校の運動部活動等への所属状況

学校の運動部活動等への所属状況を運動やスポーツをすることが好きか別でみると、運動やスポーツをすることが嫌いと思う度合いが強くなるにつれて、「どちらにも入っていない」の割合が増加しています。

図表 3-2-2 運動やスポーツをすることが好きか×学校の運動部活動等への所属状況



③ 運動やスポーツをすることが好きか×過去1年間に体育の授業以外で運動やスポーツを行った日数

過去1年間に体育の授業以外で運動やスポーツを行った日数を運動やスポーツをすることが好きか別でみると、運動やスポーツをすることが好きと思う度合いが強くなるにつれて、「週に5日以上（年 251 日以上）」の割合が増加し、運動やスポーツをすることが嫌いと思う度合いが強くなるにつれて、「ほとんどしていない」の割合が増加しています。

図表 3-2-3 運動やスポーツをすることが好きか×過去1年間に体育の授業以外で運動やスポーツを行った日数

単位：実数（人）、構成比（%）

	合計	週に5日以上（年251日以上）	週に3日以上（年151日～250日）	週に2日以上（年101日～150日）	週に1日以上（年51日～100日）	月に1～3日（年12日～50日）	3か月に1～2日（年4日～11日）	年に1～3日	ほとんどしていない	無回答
好き	367	58.0	22.9	6.5	4.4	2.7	0.5	0.8	3.8	0.3
やや好き	234	36.3	23.5	9.4	10.7	5.1	2.6	1.7	9.8	0.9
やや嫌い	109	29.4	10.1	10.1	5.5	13.8	5.5	2.8	21.1	1.8
嫌い	51	9.8	9.8	5.9	9.8	15.7	7.8	2.0	37.3	2.0

※網掛け■は最も割合が高いもの

④ 運動やスポーツをすることが好きか×体育の授業以外で運動やスポーツを実施していない理由

体育の授業以外で運動やスポーツを実施していない理由を運動やスポーツをすることが好きか別でみると、運動やスポーツをすることが嫌いと思う度合いが強くなるにつれて、「一緒にスポーツをする（遊ぶ）仲間がいないから」、「運動すると疲れるから」、「運動が得意ではないから」の割合が増加しています。

図表 3-2-4 運動やスポーツをすることが好きか×体育の授業以外で運動やスポーツを実施していない理由

単位：実数（人）、構成比（%）

	合計	勉強や習いごとが忙しいから	病気やけがをしているから	まわりにスポーツができる場所がないから	一緒にスポーツをする（遊ぶ）仲間がいないから	教えてくれる人がいないから	面倒くさいから	運動すると疲れるから	運動が得意ではないから	スポーツ以外の活動に取り組んでいるから	仲間といっしょに活動するのがいやだから
好き	14	42.9	14.3	14.3	14.3	0.0	42.9	21.4	21.4	35.7	7.1
やや好き	23	34.8	0.0	26.1	21.7	4.3	56.5	34.8	34.8	0.0	13.0
やや嫌い	23	26.1	13.0	21.7	26.1	17.4	56.5	52.2	60.9	17.4	8.7
嫌い	19	31.6	0.0	21.1	31.6	15.8	73.7	63.2	78.9	10.5	5.3

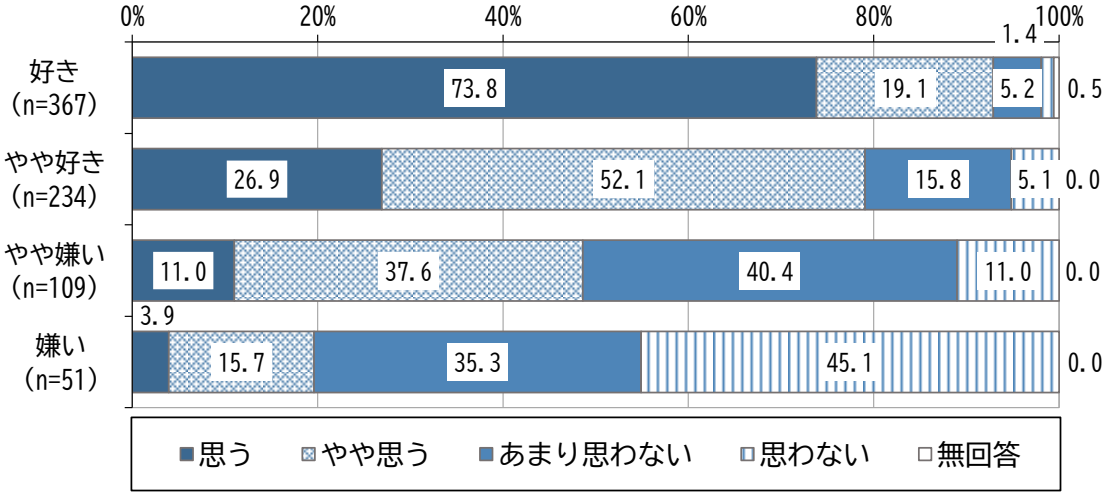
	合計	その他	特に理由はない	無回答
好き	14	0.0	14.3	0.0
やや好き	23	4.3	8.7	0.0
やや嫌い	23	0.0	13.0	0.0
嫌い	19	5.3	10.5	0.0

※網掛け■は最も割合が高いもの

⑤ 運動やスポーツをすることが好きか×中学校卒業後も自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思うか

中学校卒業後も自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思うかを運動やスポーツをすることが好きか別にみると、運動やスポーツをすることが好きと思う度合いが強くなるにつれて、中学校卒業後も自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと『思う』(「思う」と「やや思う」の合計)の割合が増加しています。

図表 3-2-5 運動やスポーツをすることが好きか×中学校卒業後も自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思うか

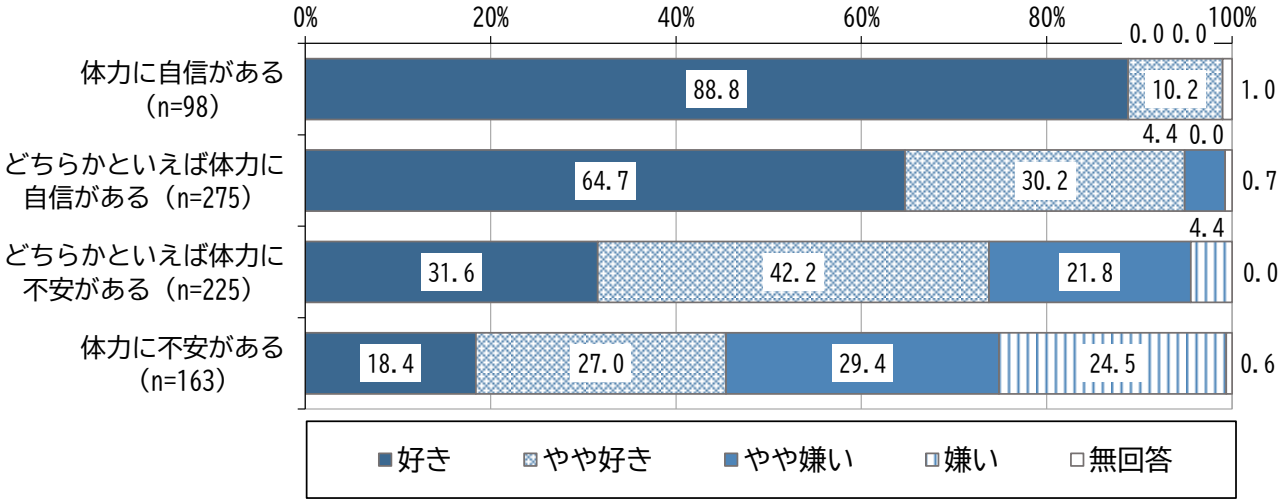


(2)体力に自信があるか別にみる運動やスポーツの状況

① 体力に自信があるか×運動やスポーツをすることが好きか

運動やスポーツをすることが好きかを体力に自信があるか別にみると、体力に自信があると思う度合いが強くなるにつれて、『好き』(「好き」と「やや好き」の合計)の割合が増加しています。

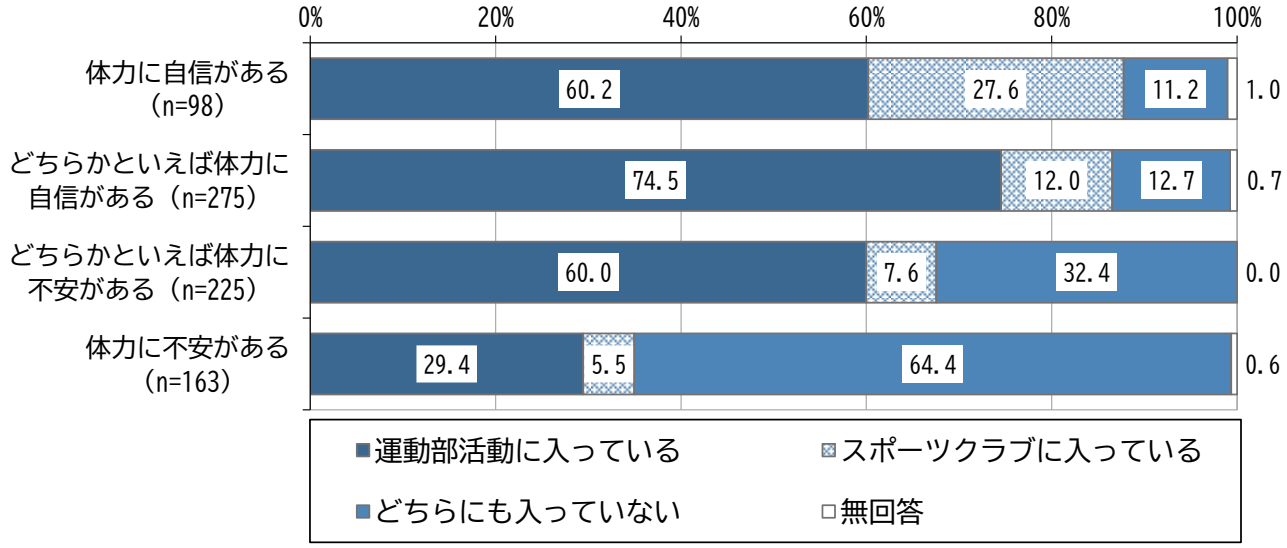
図表 3-2-6 体力に自信があるか×運動やスポーツをすることが好きか



② 体力に自信があるか×学校の運動部活動等への所属状況

学校の運動部活動等への所属状況を体力に自信があるか別にみると、体力に不安があると思う度合いが強くなるにつれて、「どちらにも入っていない」の割合が増加しています。

図表 3-2-7 体力に自信があるか×学校の運動部活動等への所属状況



③ 体力に自信があるか×過去1年間に体育の授業以外で運動やスポーツを行った日数

過去1年間に体育の授業以外で運動やスポーツを行った日数を体力に自信があるか別にみると、体力に自信があると思う度合いが強くなるにつれて、「週に5日以上（年 251 日以上）」の割合が増加し、体力に不安があると思う度合いが強くなるにつれて、「ほとんどしていない」の割合が増加しています。

図表 3-2-8 体力に自信があるか×過去1年間に体育の授業以外で運動やスポーツを行った日数

単位：実数（人）、構成比（%）

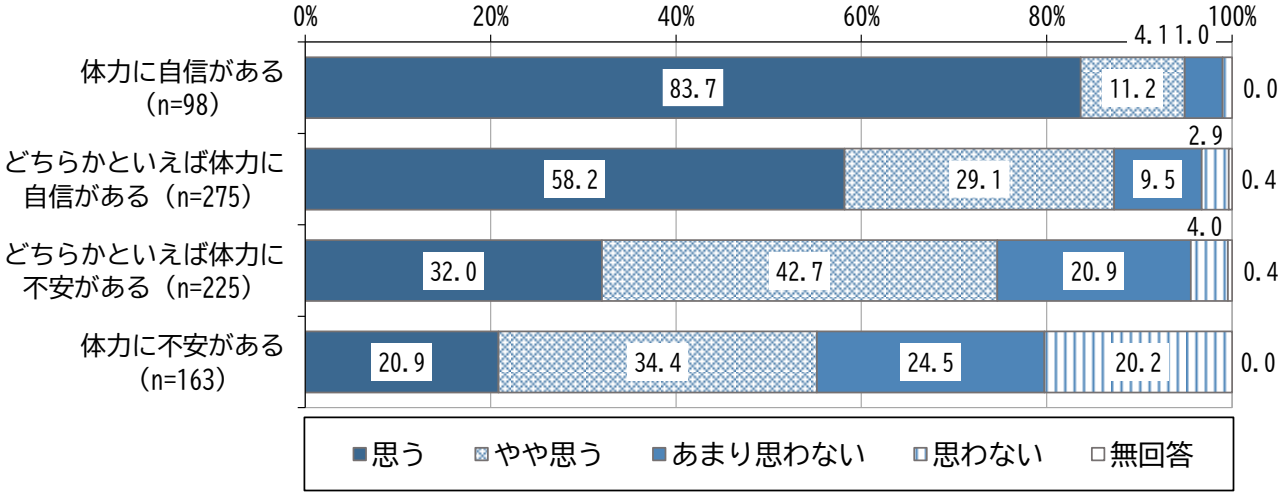
	合計	週に5日以上（年251日以上）	週に3日以上（年151日～250日）	週に2日以上（年101日～150日）	週に1日以上（年51日～100日）	月に1～3日（年12日～50日）	3か月に1～2日（年4日～11日）	年に1～3日	ほとんどしていない	無回答
体力に自信がある	98	68.4	22.4	4.1	3.1	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0
どちらかといえば体力に自信がある	275	54.9	24.4	6.2	5.5	3.6	0.0	0.0	4.4	1.1
どちらかといえば体力に不安がある	225	33.3	25.3	11.6	8.4	7.6	3.6	1.3	8.4	0.4
体力に不安がある	163	24.5	6.7	8.0	9.2	11.0	6.1	4.3	28.8	1.2

※網掛け■は最も割合が高いもの

④ 体力に自信があるか×中学校卒業後も自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思うか

中学校卒業後も自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思うかを体力に自信があるか別にみると、体力に自信があると思う度合いが強くなるにつれて、中学校卒業後も自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと『思う』(「思う」と「やや思う」の合計)の割合が増加しています。

図表 3-2-9 体力に自信があるか×中学校卒業後も自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思うか



第4章　スポーツ関係団体の調査結果

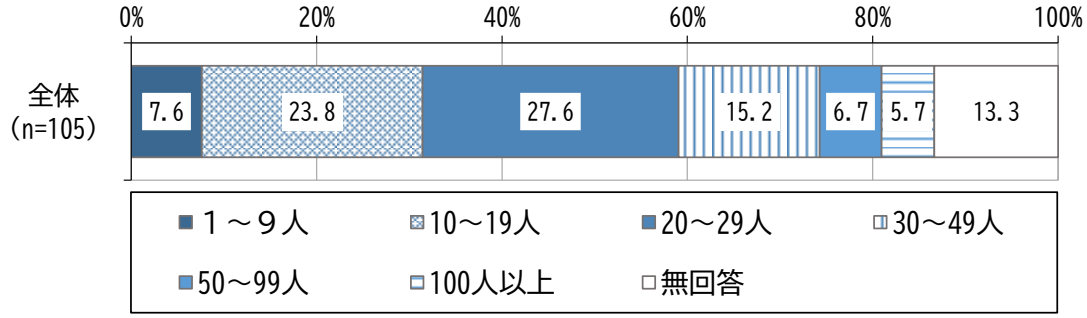
1　回答団体について

(1)登録会員数

問1	貴団体の概要を教えてください。(令和7年1月1日現在)

登録会員数については、「20～29 人」が 27.6%で最も高く、次いで「10～19 人」が 23.8%、「30～49 人」が 15.2%と続いています。

図表 4-1-1　登録会員数

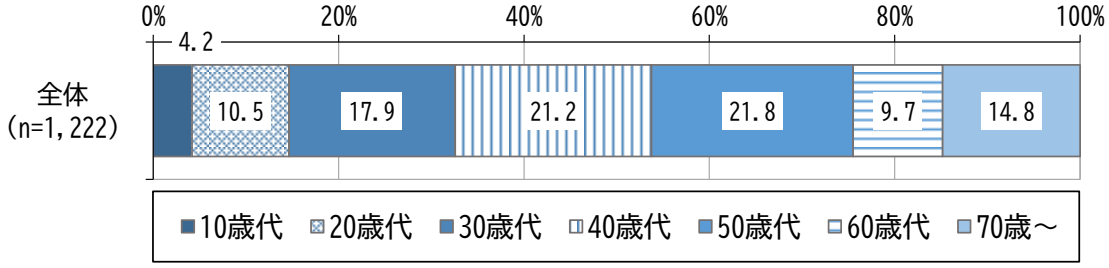


(2)運営者及び指導者の年代別割合

問2	貴団体の運営者及び指導者について、概ねの年代別人数をご記入ください。

運営者及び指導者の年代別割合については、「50 歳代」が 21.8%で最も高く、次いで「40 歳代」が 21.2%、「30 歳代」が 17.9%と続いています。

図表 4-1-2　運営者及び指導者の年代別割合



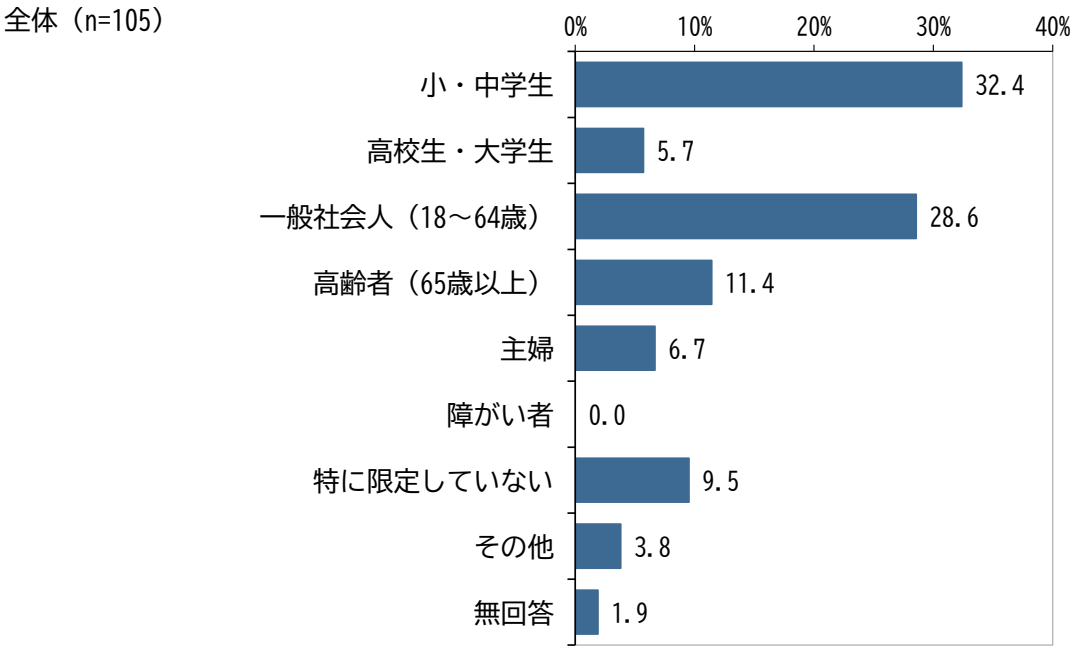
2 活動状況について

(1)団体の対象者

問3	貴団体はどういう方を中心に活動していますか。(○は1つ)

団体の対象者については、「小・中学生」が 32.4%で最も高く、次いで「一般社会人(18～64 歳)」が 28.6%、「高齢者(65 歳以上)」が 11.4%と続いています。

図表 4-2-1 団体の対象者

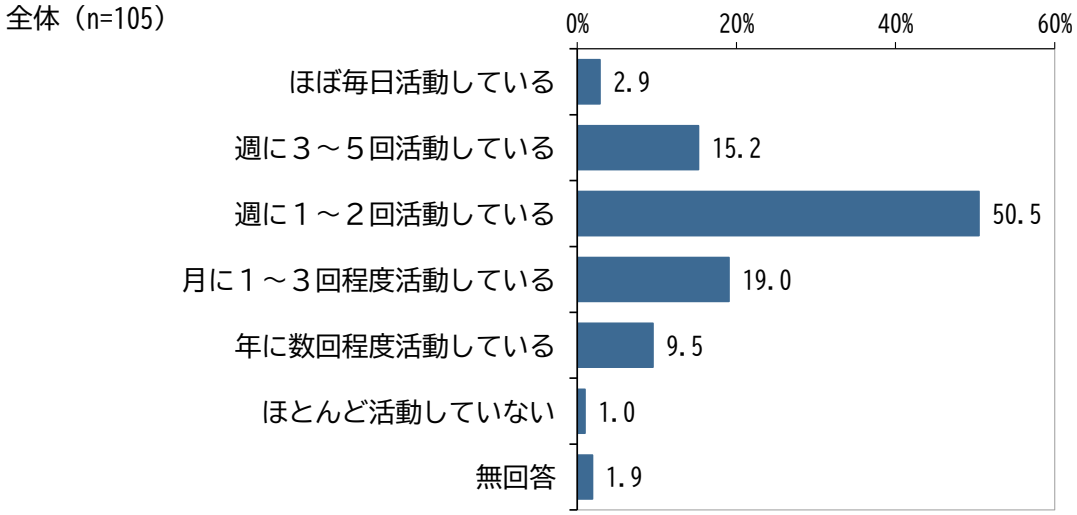


(2)活動頻度

問4	貴団体の実際の活動頻度を教えてください。(○は1つ)

活動頻度については、「週に1～2回活動している」が 50.5%で最も高く、次いで「月に1～3回程度活動している」が 19.0%、「週に3～5回活動している」が 15.2%と続いています。

図表 4-2-2 活動頻度



団体対象者別でみると、多くの団体で「週に1～2回活動している」の割合が最も高くなっています。

図表 4-2-3 活動頻度 団体対象者別

単位：実数（団体）、構成比（%）

		合計	ほぼ毎日活動している	週に3～5回活動している	週に1～2回活動している	月に1～3回程度活動している	年に数回程度活動している	ほとんど活動していない	無回答
全体		105	2.9	15.2	50.5	19.0	9.5	1.0	1.9
団体対象者別	小・中学生	34	0.0	26.5	70.6	2.9	0.0	0.0	0.0
	高校生・大学生	6	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	一般社会人（18～64歳）	30	0.0	0.0	20.0	53.3	23.3	3.3	0.0
	高齢者（65歳以上）	12	8.3	8.3	75.0	0.0	0.0	0.0	8.3
	主婦	7	0.0	14.3	71.4	14.3	0.0	0.0	0.0
	特に限定していない	10	0.0	0.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	その他	4	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

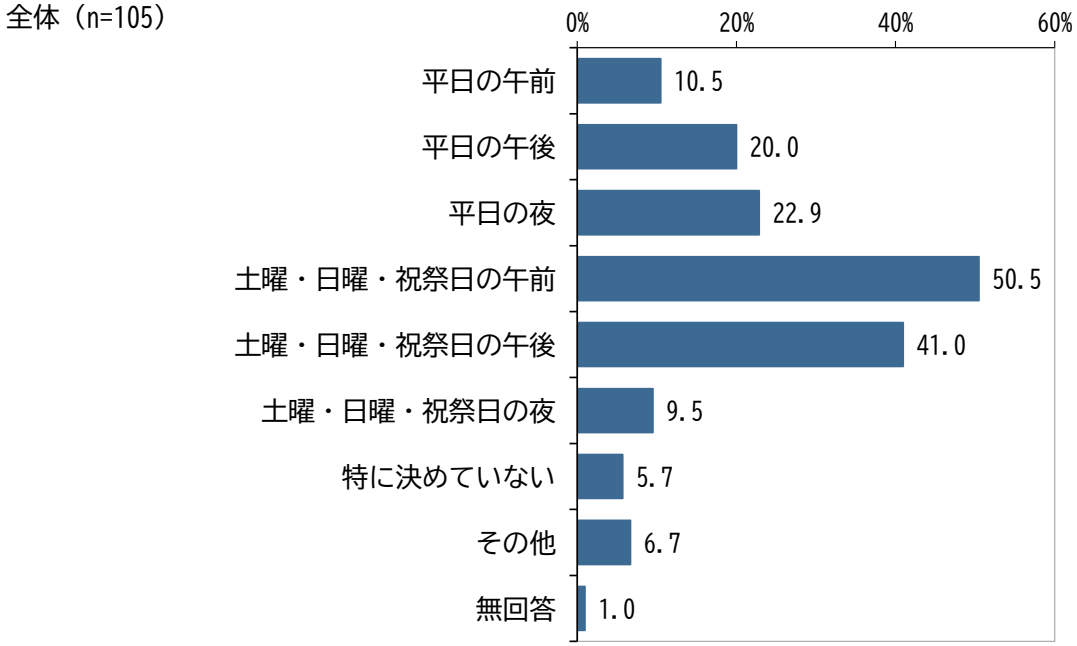
※網掛け■は最も割合が高いもの

(3)活動時間帯

問5	貴団体の主な活動の時間帯を教えてください。(○はいくつでも)

活動時間帯については、「土曜・日曜・祝祭日の午前」が 50.5%で最も高く、次いで「土曜・日曜・祝祭日の午後」が 41.0%、「平日の夜」が 22.9%と続いています。

図表 4-2-4 活動時間帯



団体対象者別でみると、多くの団体で「土曜・日曜・祝祭日の午前」の割合が最も高くなっています。

図表 4-2-5 活動時間帯 団体対象者別

単位：実数（団体）、構成比（%）

		合計	平日の午前	平日の午後	平日の夜	土曜・日曜・祝祭日の午前	土曜・日曜・祝祭日の午後	土曜・日曜・祝祭日の夜	特に決めていない	その他	無回答
全体		105	10.5	20.0	22.9	50.5	41.0	9.5	5.7	6.7	1.0
団体対象者別	小・中学生	34	0.0	20.6	32.4	58.8	50.0	8.8	0.0	2.9	0.0
	高校生・大学生	6	16.7	50.0	50.0	83.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	一般社会人（18～64歳）	30	3.3	6.7	20.0	66.7	43.3	10.0	10.0	6.7	0.0
	高齢者（65歳以上）	12	25.0	25.0	8.3	33.3	16.7	0.0	8.3	16.7	0.0
	主婦	7	42.9	28.6	0.0	0.0	42.9	28.6	0.0	0.0	0.0
	特に限定していない	10	10.0	20.0	10.0	20.0	20.0	10.0	20.0	10.0	0.0
	その他	4	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0

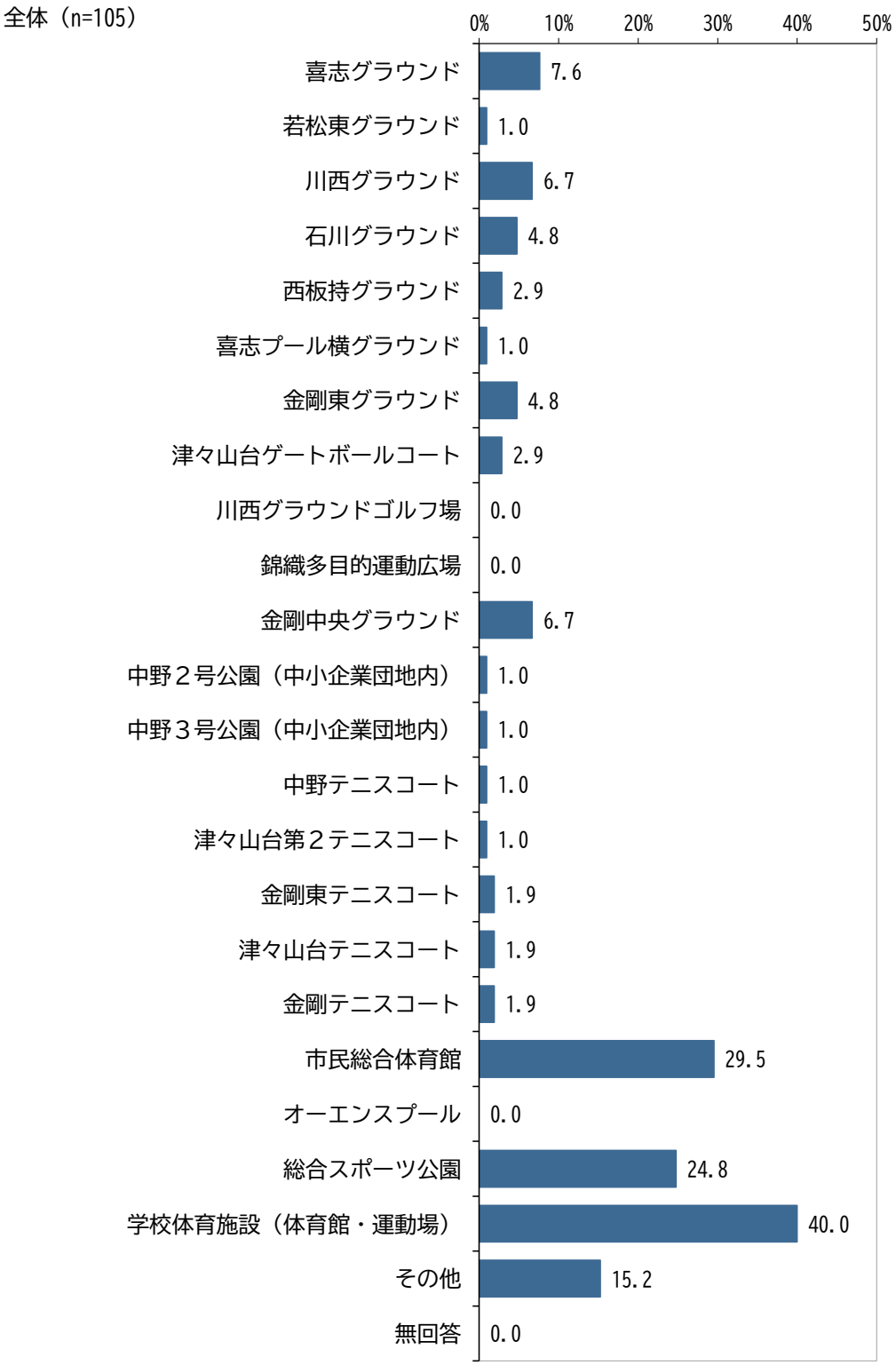
※網掛け■は最も割合が高いもの

(4)活動場所

問6	貴団体が普段の活動時に使用している主な施設や場所についてご記入ください。 (○はいくつでも)

活動場所については、「学校体育施設(体育館・運動場)」が 40.0%で最も高く、次いで「市民総合体育館」が 29.5%、「総合スポーツ公園」が 24.8%と続いています。

図表 4-2-6 活動場所



団体対象者別でみると、多くの団体で「学校体育施設（体育館・運動場）」の割合が最も高くなっています。

図表 4-2-7 活動場所 団体対象者別

単位：実数（団体）、構成比（%）

		合計	喜志グラウンド	若松東グラウンド	川西グラウンド	石川グラウンド	西板持グラウンド	喜志プール横グラウンド	金剛東グラウンド	津々山台ゲートボールコート	川西グラウンドゴルフ場	錦織多目的運動広場	金剛中央グラウンド	中野2号公園（中小企業団地内）
全体		105	7.6	1.0	6.7	4.8	2.9	1.0	4.8	2.9	0.0	0.0	6.7	1.0
団体対象者別	小・中学生	34	20.6	0.0	2.9	2.9	8.8	2.9	5.9	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0
	高校生・大学生	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	一般社会人（18～64歳）	30	0.0	0.0	16.7	13.3	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	高齢者（65歳以上）	12	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	特に限定していない	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0

		合計	中野3号公園（中小企業団地内）	中野テニスコート	津々山台第2テニスコート	金剛東テニスコート	津々山台テニスコート	金剛テニスコート	市民総合体育館	オーエンスプール	総合スポーツ公園	学校体育施設（体育館・運動場）	その他	無回答
全体		105	1.0	1.0	1.0	1.9	1.9	1.9	29.5	0.0	24.8	40.0	15.2	0.0
団体対象者別	小・中学生	34	2.9	0.0	2.9	2.9	0.0	0.0	35.3	0.0	26.5	58.8	2.9	0.0
	高校生・大学生	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0
	一般社会人（18～64歳）	30	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.7	0.0	36.7	10.0	23.3	0.0
	高齢者（65歳以上）	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	50.0	8.3	0.0
	主婦	7	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	42.9	0.0	28.6	57.1	0.0	0.0
	特に限定していない	10	0.0	10.0	0.0	10.0	10.0	10.0	50.0	0.0	20.0	30.0	30.0	0.0
	その他	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0

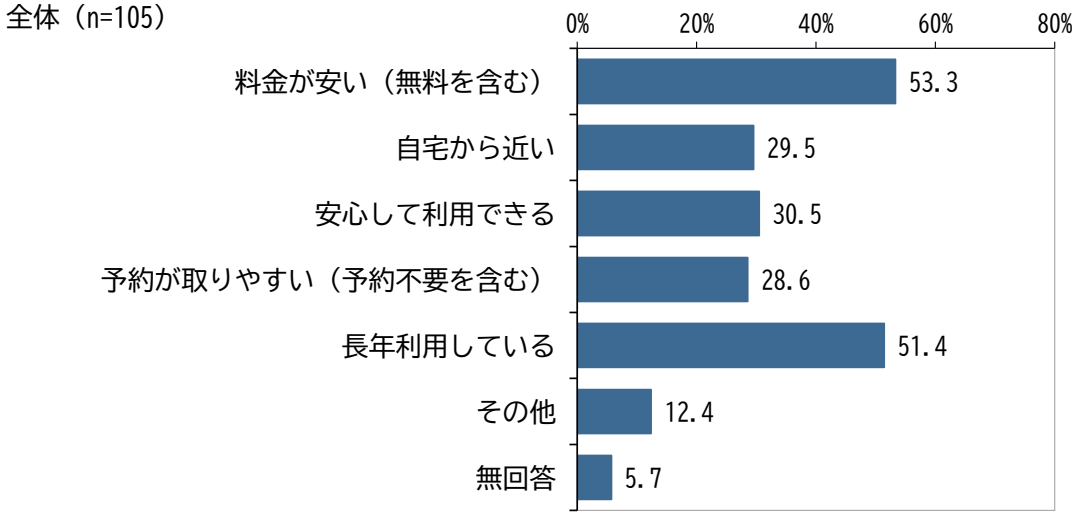
※網掛け■は最も割合が高いもの

(5)市内のスポーツ施設を利用する際の条件

問7	貴団体が、富田林市内のスポーツ施設を利用する際に考慮する条件はなんですか。 (○はあてはまるもの3つまで)

市内のスポーツ施設を利用する際の条件については、「料金が安い(無料を含む)」が 53.3%で最も高く、次いで「長年利用している」が 51.4%、「安心して利用できる」が 30.5%と続いています。

図表 4-2-8 市内のスポーツ施設を利用する際の条件



団体対象者別でみると、「料金が安い(無料を含む)」では、高齢者(65 歳以上)を対象とした団体が83.3%で最も高くなっています。

図表 4-2-9 市内のスポーツ施設を利用する際の条件 団体対象者別

単位：実数（団体）、構成比（%）

		合計	料金が安い（無料を含む）	自宅から近い	安心して利用できる	予約が取りやすい（予約不要を含む）	長年利用している	その他	無回答
全体		105	53.3	29.5	30.5	28.6	51.4	12.4	5.7
団体対象者別	小・中学生	34	52.9	29.4	44.1	26.5	61.8	2.9	2.9
	高校生・大学生	6	66.7	16.7	33.3	16.7	0.0	16.7	33.3
	一般社会人（18～64歳）	30	50.0	30.0	20.0	26.7	43.3	26.7	0.0
	高齢者（65歳以上）	12	83.3	50.0	0.0	50.0	41.7	8.3	8.3
	主婦	7	42.9	28.6	57.1	28.6	57.1	14.3	0.0
	特に限定していない	10	40.0	30.0	40.0	20.0	70.0	10.0	0.0
	その他	4	50.0	0.0	25.0	50.0	75.0	0.0	25.0

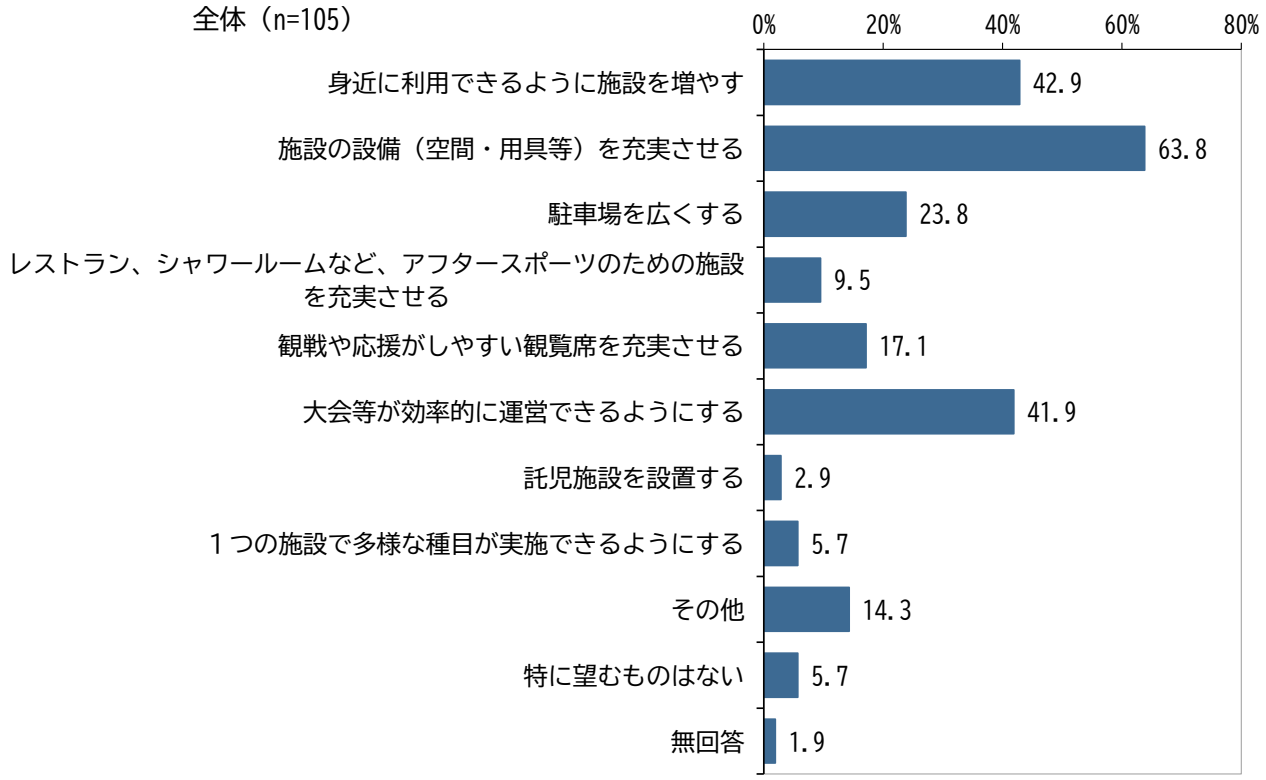
※網掛け■は最も割合が高いもの

(6)市内のスポーツ施設に望むこと

問8	富田林市が目指すべきスポーツ施設は、どうあるべきだと考えますか。 (○はあてはまるもの3つまで)

市内のスポーツ施設に望むことについては、「施設の設備(空間・用具等)を充実させる」が63.8%で最も高く、次いで「身近に利用できるように施設を増やす」が 42.9%、「大会等が効率的に運営できるようにする」が41.9%と続いています。

図表 4-2-10 市内のスポーツ施設に望むこと



団体対象者別でみると、多くの団体で「施設の設備（空間・用具等）を充実させる」の割合が最も高くなっています。

図表 4-2-11 市内のスポーツ施設に望むこと 団体対象者別

単位：実数（団体）、構成比（%）

		合計	身近に利用できるように施設を増やす	施設の設備（空間・用具等）を充実させる	駐車場を広くする	レストラン、シャワールームなど、アフタースポーツのための施設を充実させる	観戦や応援がしやすい観覧席を充実させる	大会等が効率的に運営できるようにする	託児施設を設置する	1つの施設で多様な種目が実施できるようにする	その他	特に望むものはない	無回答
全体		105	42.9	63.8	23.8	9.5	17.1	41.9	2.9	5.7	14.3	5.7	1.9
団体対象者別	小・中学生	34	38.2	61.8	26.5	5.9	38.2	29.4	0.0	2.9	17.6	8.8	5.9
	高校生・大学生	6	33.3	83.3	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0
	一般社会人（18～64歳）	30	43.3	63.3	23.3	13.3	13.3	50.0	0.0	6.7	10.0	3.3	0.0
	高齢者（65歳以上）	12	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	41.7	8.3	16.7	25.0	8.3	0.0
	主婦	7	57.1	57.1	28.6	0.0	0.0	71.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	特に限定していない	10	40.0	70.0	40.0	30.0	0.0	30.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0
	その他	4	50.0	75.0	25.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0

※網掛け■は最も割合が高いもの

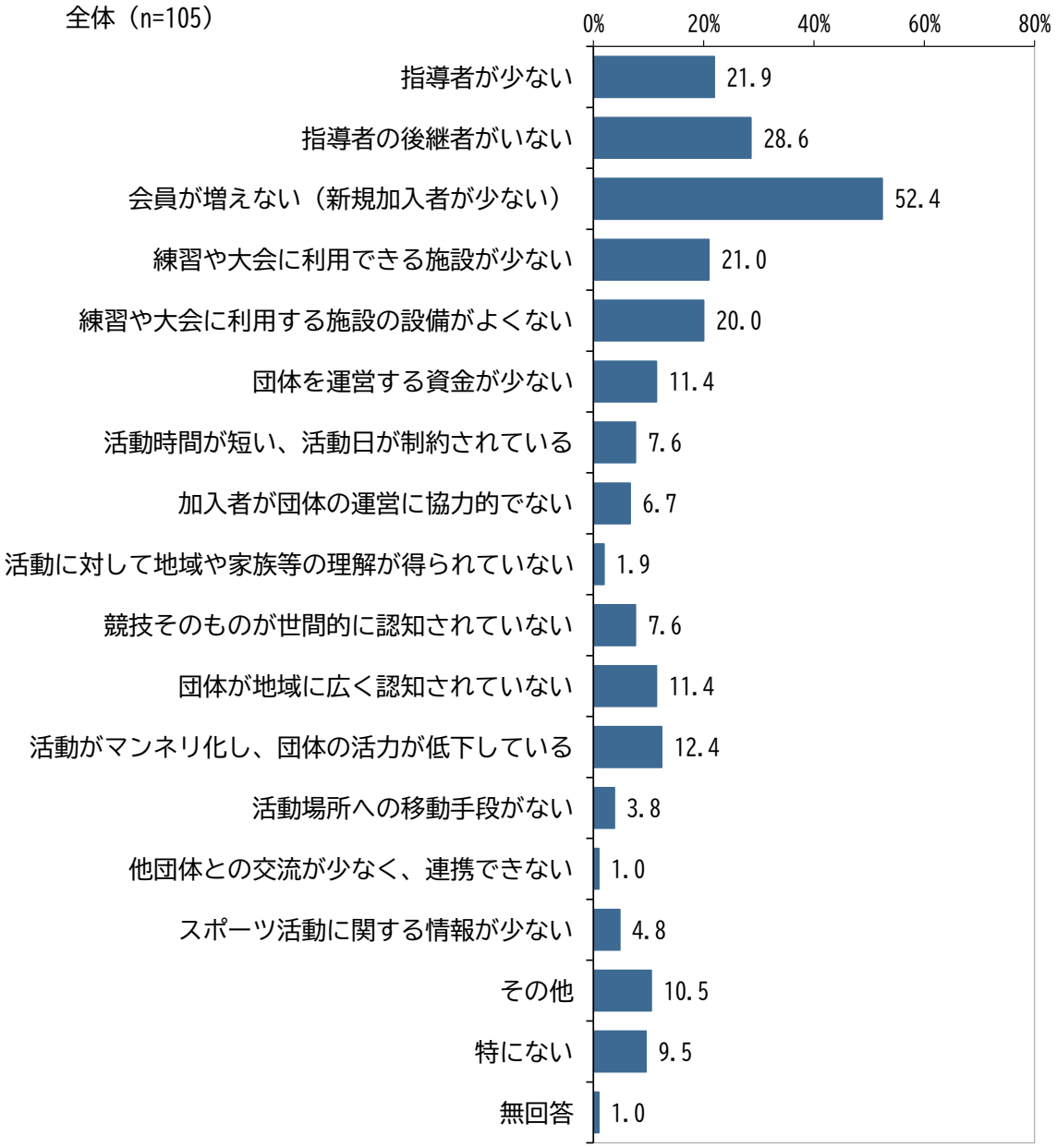
3 現在の課題について

(1)運営・活動に関する課題

問9	貴団体の運営・活動について、現在、課題となっていることはなんですか。(○はいくつでも)

運営・活動に関する課題については、「会員が増えない(新規加入者が少ない)」が 52.4%で最も高く、次いで「指導者の後継者がいない」が 28.6%、「指導者が少ない」が 21.9%と続いています。

図表 4-3-1 運営・活動に関する課題



団体対象者別でみると、多くの団体で「会員が増えない（新規加入者が少ない）」の割合が最も高くなっています。

図表 4-3-2 運営・活動に関する課題 団体対象者別

単位：実数（団体）、構成比（%）

		合計	指導者が少ない	指導者の後継者がいない	会員が増えない（新規加入者が少ない）	練習や大会に利用できる施設が少ない	練習や大会に利用する施設の設備がよくない	団体を運営する資金が少ない	活動時間が短い、活動日が制約されている	加入者が団体の運営に協力的でない	活動に対して地域や家族等の理解が得られていない	競技そのものが世間的に認知されていない
全体		105	21.9	28.6	52.4	21.0	20.0	11.4	7.6	6.7	1.9	7.6
団体対象者別	小・中学生	34	38.2	50.0	64.7	23.5	17.6	14.7	8.8	2.9	2.9	8.8
	高校生・大学生	6	50.0	50.0	16.7	16.7	16.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	一般社会人（18～64歳）	30	6.7	16.7	43.3	20.0	23.3	10.0	3.3	13.3	3.3	0.0
	高齢者（65歳以上）	12	16.7	25.0	83.3	25.0	8.3	8.3	8.3	8.3	0.0	33.3
	主婦	7	14.3	0.0	14.3	42.9	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
	特に限定していない	10	10.0	20.0	60.0	10.0	30.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0
	その他	4	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		合計	団体が地域に広く認知されていない	活動がマンネリ化し、団体の活力が低下している	活動場所への移動手段がない	他団体との交流が少なく、連携できない	スポーツ活動に関する情報が少ない	その他	特にない	無回答
全体		105	11.4	12.4	3.8	1.0	4.8	10.5	9.5	1.0
団体対象者別	小・中学生	34	14.7	2.9	8.8	0.0	5.9	2.9	0.0	0.0
	高校生・大学生	6	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	一般社会人（18～64歳）	30	6.7	20.0	0.0	3.3	3.3	16.7	16.7	0.0
	高齢者（65歳以上）	12	16.7	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0
	主婦	7	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	28.6	0.0
	特に限定していない	10	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	その他	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0

※網掛け■は最も割合が高いもの

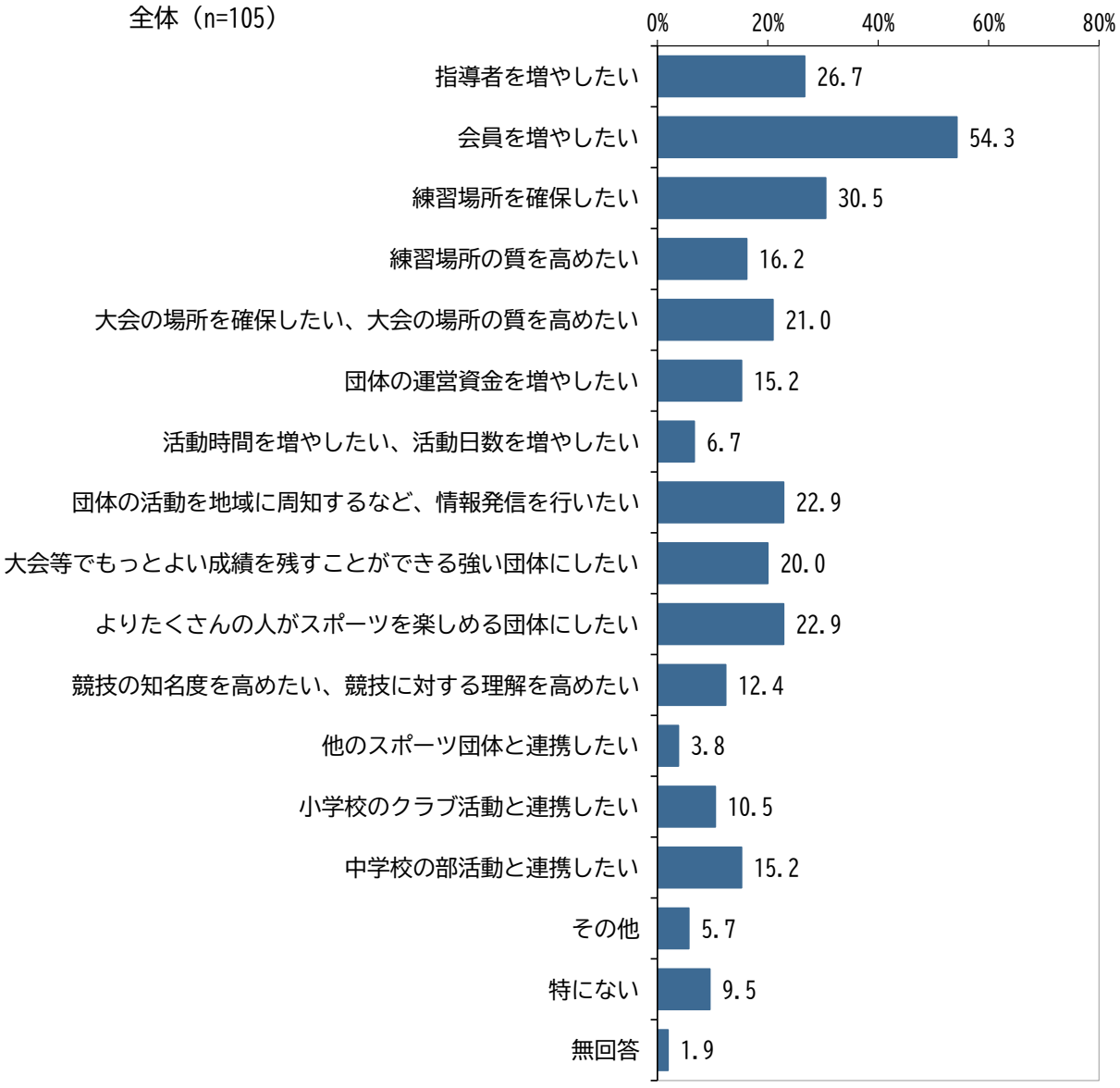
4 今後の活動について

(1)今後の展望

問 10	貴団体の運営・活動について、今後どのようにしていきたいと思いますか。 (○はいくつでも)

今後の展望については、「会員を増やしたい」が 54.3%で最も高く、次いで「練習場所を確保したい」が 30.5%、「指導者を増やしたい」が 26.7%と続いています。

図表 4-4-1 今後の展望



団体対象者別でみると、多くの団体で「会員を増やしたい」の割合が最も高くなっています。

図表 4-4-2 今後の展望 団体対象者別

単位：実数（団体）、構成比（%）

		合計	指導者を増やしたい	会員を増やしたい	練習場所を確保したい	練習場所の質を高めたい	大会の場所を確保したい、大会の場所の質を高めたい	団体の運営資金を増やしたい	活動時間を増やしたい、活動日数を増やしたい	団体の活動を地域に周知するなど、情報発信を行いたい	大会等でもっとよい成績を残すことができる強い団体にしたい	よりたくさんの人がスポーツを楽しめる団体にしたい
全体		105	26.7	54.3	30.5	16.2	21.0	15.2	6.7	22.9	20.0	22.9
団体対象者別	小・中学生	34	50.0	76.5	35.3	11.8	14.7	23.5	8.8	35.3	8.8	17.6
	高校生・大学生	6	50.0	16.7	50.0	16.7	16.7	16.7	0.0	33.3	83.3	16.7
	一般社会人（18～64歳）	30	13.3	43.3	26.7	23.3	30.0	13.3	3.3	16.7	36.7	30.0
	高齢者（65歳以上）	12	16.7	75.0	25.0	0.0	33.3	8.3	8.3	16.7	0.0	41.7
	主婦	7	14.3	28.6	57.1	28.6	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3
	特に限定していない	10	10.0	40.0	20.0	20.0	20.0	10.0	0.0	30.0	10.0	20.0
	その他	4	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0

		合計	競技の知名度を高めたい、競技に対する理解を高めたい	他のスポーツ団体と連携したい	小学校のクラブ活動と連携したい	中学校の部活動と連携したい	その他	特にない	無回答
全体		105	12.4	3.8	10.5	15.2	5.7	9.5	1.9
団体対象者別	小・中学生	34	14.7	5.9	14.7	23.5	2.9	2.9	0.0
	高校生・大学生	6	0.0	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	一般社会人（18～64歳）	30	3.3	3.3	13.3	13.3	3.3	13.3	0.0
	高齢者（65歳以上）	12	41.7	0.0	16.7	0.0	8.3	8.3	0.0
	主婦	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0
	特に限定していない	10	20.0	0.0	0.0	10.0	20.0	20.0	0.0
	その他	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0

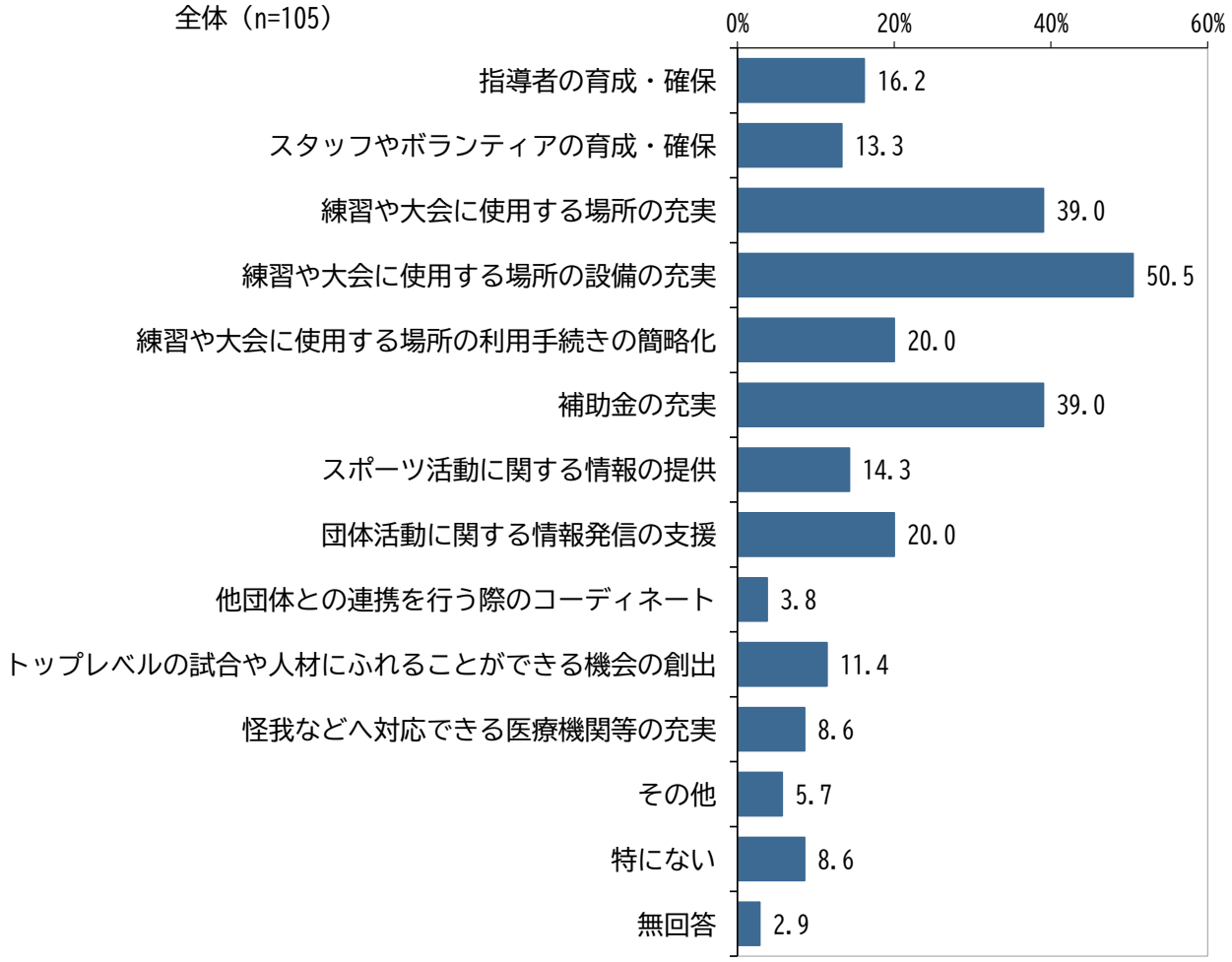
※網掛け■は最も割合が高いもの

(2)今後の活動のために行政へ求める支援

問11	貴団体の今後の活動のため、特に行政への支援を望まれる点はありますか。 (○はいくつでも)

今後の活動のために行政へ求める支援については、「練習や大会に使用する場所の設備の充実」が50.5%で最も高く、次いで「練習や大会に使用する場所の充実」、「補助金の充実」がいずれも39.0%と続いています。

図表 4-4-3 今後の活動のために行政へ求める支援



団体対象者別でみると、多くの団体で「練習や大会に使用する場所の設備の充実」の割合が最も高くなっています。

図表 4-4-4 今後の活動のために行政へ求める支援 団体対象者別

単位：実数（団体）、構成比（%）

		合計	指導者の育成・確保	スタッフやボランティアの育成・確保	練習や大会に使用する場所の充実	練習や大会に使用する場所の設備の充実	練習や大会に使用する場所の利用手続きの簡略化	補助金の充実	スポーツ活動に関する情報の提供	団体活動に関する情報発信の支援	他団体との連携を行う際のコーディネート	トップレベルの試合や人材にふれることができる機会の創出
全体		105	16.2	13.3	39.0	50.5	20.0	39.0	14.3	20.0	3.8	11.4
団体対象者別	小・中学生	34	29.4	17.6	32.4	52.9	11.8	47.1	17.6	38.2	2.9	17.6
	高校生・大学生	6	33.3	16.7	16.7	50.0	16.7	50.0	0.0	16.7	16.7	33.3
	一般社会人（18～64歳）	30	16.7	20.0	46.7	53.3	23.3	43.3	20.0	13.3	3.3	6.7
	高齢者（65歳以上）	12	0.0	0.0	50.0	25.0	50.0	25.0	8.3	16.7	8.3	0.0
	主婦	7	0.0	0.0	42.9	57.1	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	特に限定していない	10	0.0	10.0	50.0	60.0	10.0	30.0	10.0	10.0	0.0	10.0
	その他	4	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0

		合計	怪我など対応できる医療機関等の充実	その他	特にない	無回答
全体		105	8.6	5.7	8.6	2.9
団体対象者別	小・中学生	34	8.8	2.9	5.9	2.9
	高校生・大学生	6	0.0	0.0	0.0	16.7
	一般社会人（18～64歳）	30	6.7	6.7	6.7	0.0
	高齢者（65歳以上）	12	0.0	8.3	8.3	0.0
	主婦	7	28.6	0.0	28.6	0.0
	特に限定していない	10	10.0	10.0	20.0	0.0
	その他	4	25.0	25.0	0.0	0.0

※網掛け■は最も割合が高いもの

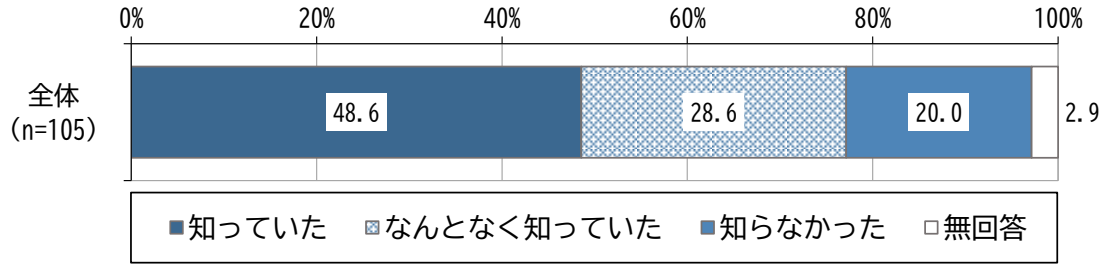
5 中学校部活動の地域移行について

(1)部活動の地域移行の認知状況

問12	現在、国の施策として、中学校における部活動(活動指導・大会引率を含む)を、段階的に地域スポーツの団体等に委ねる「部活動の地域移行」が進められています。 あなたは、このことを知っていますか。(○は1つ)

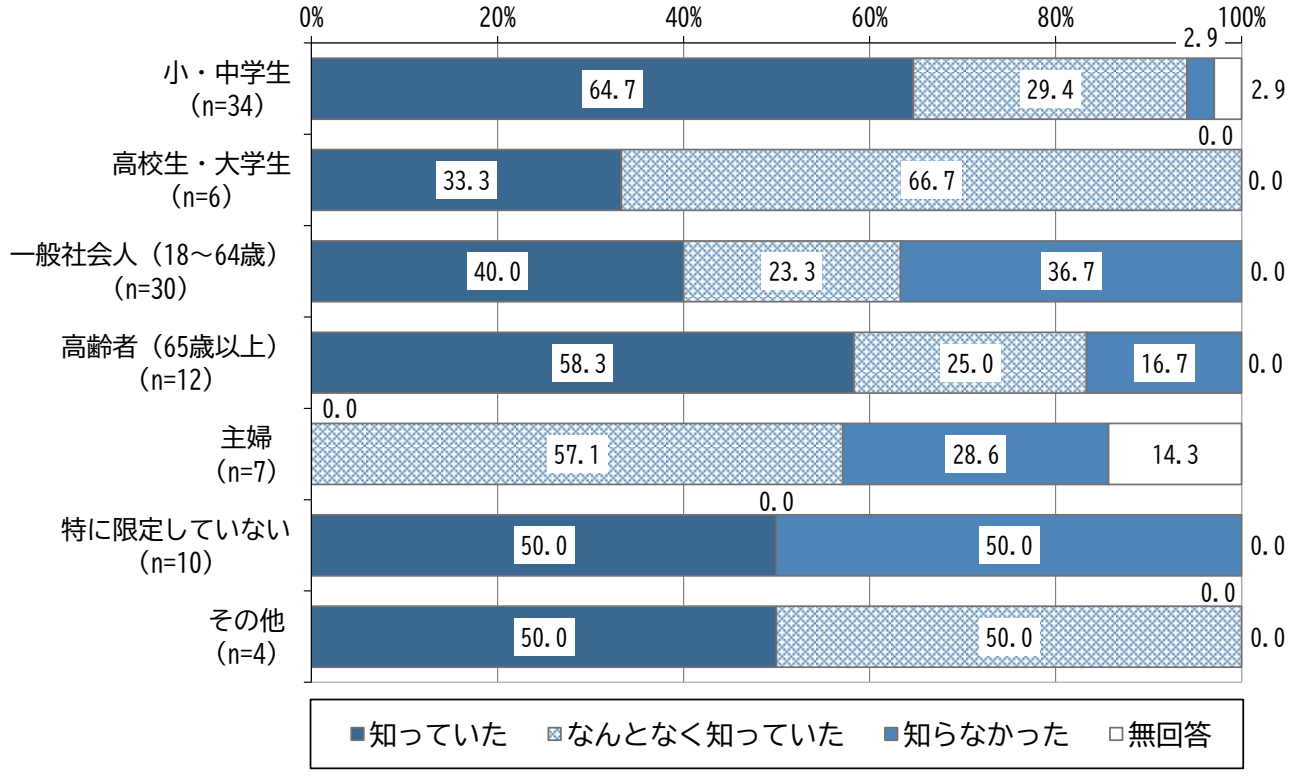
部活動の地域移行の認知状況については、「知っていた」が 48.6%で最も高く、次いで「なんとなく知っていた」が 28.6%、「知らなかった」が 20.0%となっています。

図表 4-5-1 部活動の地域移行の認知状況



団体対象者別でみると、「知っていた」では、小・中学生を対象とする団体が 64.7%で最も高くなっています。

図表 4-5-2 部活動の地域移行の認知状況 団体対象者別

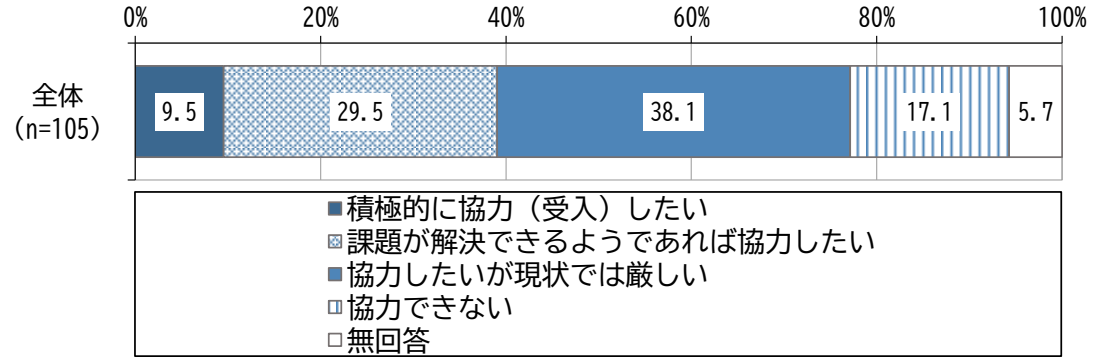


(2)部活動の地域移行への協力意向

問13	今後、富田林市でも中学校部活動の地域移行を進めていきたいと考えていますが、部活動の地域移行に協力したいと思いますか。(○は1つ)

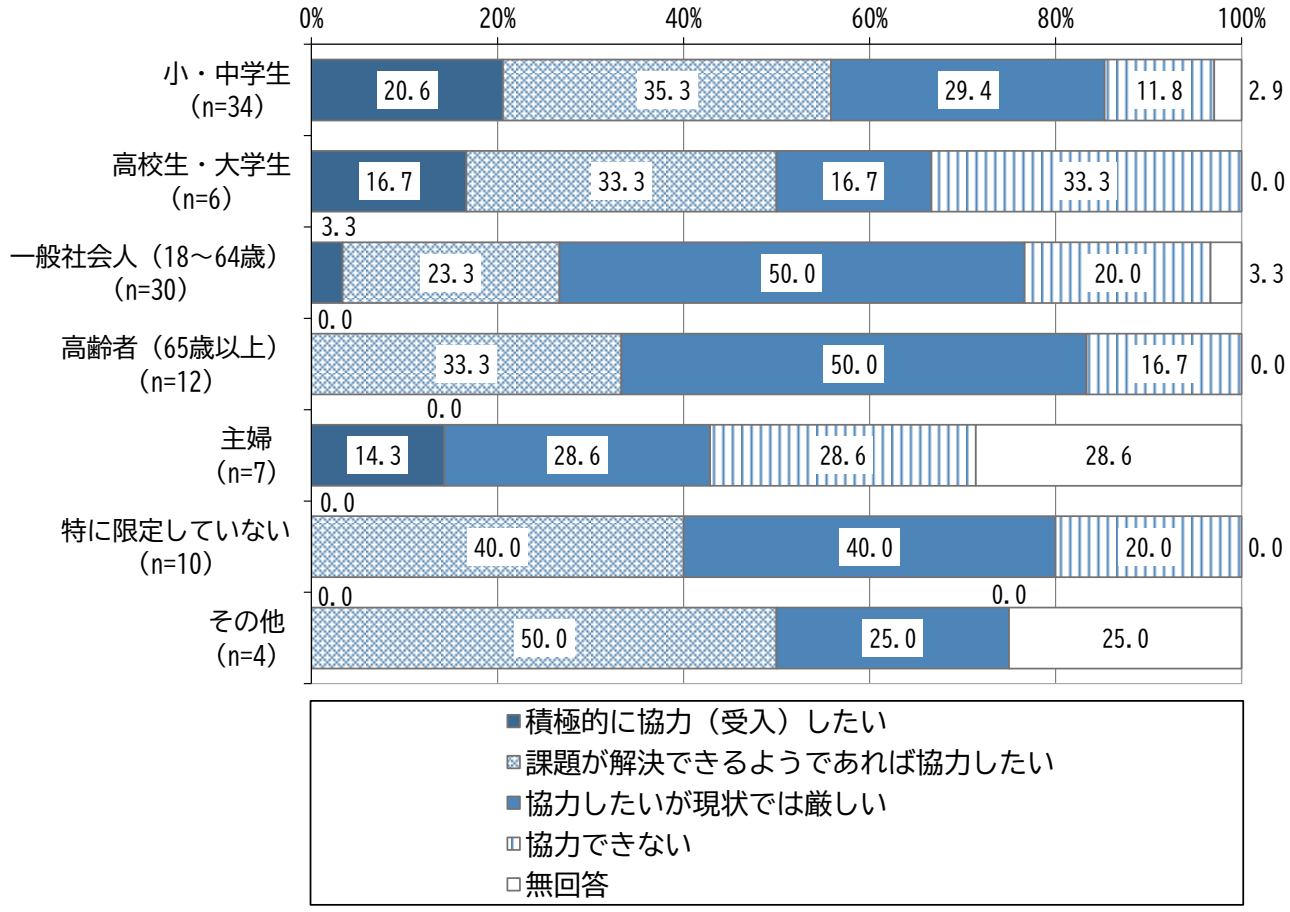
部活動の地域移行への協力意向については、「協力したいが現状では厳しい」が 38.1%で最も高く、次いで「課題が解決できるようであれば協力したい」が 29.5%、「協力できない」が 17.1%と続いています。

図表 4-5-3 部活動の地域移行への協力意向



団体対象者別でみると、「積極的に協力(受入)したい」では、小・中学生を対象とする団体が 20.6%で最も高くなっています。

図表 4-5-4 部活動の地域移行への協力意向 団体対象者別

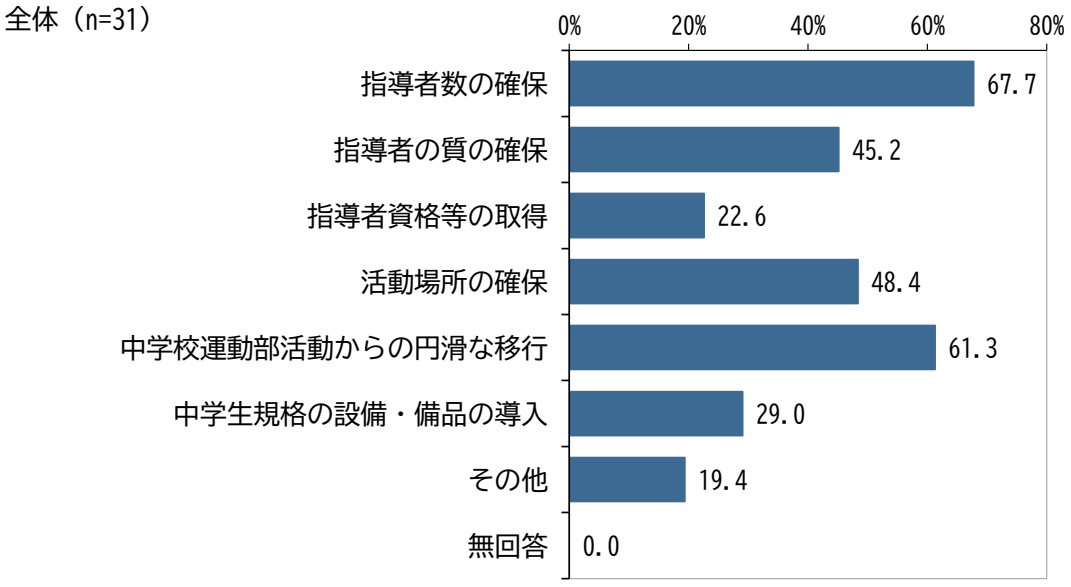


(3)部活動の地域移行へ協力する際の課題

問13－1	**問 13 で「2. 課題が解決できるようであれば協力したい」を回答された方にお聞きします。** 課題だと思うものはどれですか。(○はいくつでも)

部活動の地域移行へ協力する際の課題については、「指導者数の確保」が 67.7%で最も高く、次いで「中学校運動部活動からの円滑な移行」が 61.3%、「活動場所の確保」が 48.4%と続いています。

図表 4-5-5 部活動の地域移行へ協力する際の課題



団体対象者別でみると、小・中学生を対象とする団体では、「中学校運動部活動からの円滑な移行」が 100.0%で最も高くなっています。

図表 4-5-6 部活動の地域移行へ協力する際の課題 団体対象者別

単位：実数（団体）、構成比（%）

		合計	指導者数の確保	指導者の質の確保	指導者資格等の取得	活動場所の確保	中学校運動部活動からの円滑な移行	中学生規格の設備・備品の導入	その他	無回答
全体		31	67.7	45.2	22.6	48.4	61.3	29.0	19.4	0.0
団体対象者別	小・中学生	12	75.0	25.0	33.3	16.7	100.0	25.0	8.3	0.0
	高校生・大学生	2	100.0	50.0	0.0	100.0	100.0	50.0	0.0	0.0
	一般社会人（18～64歳）	7	57.1	42.9	14.3	85.7	28.6	28.6	42.9	0.0
	高齢者（65歳以上）	4	75.0	75.0	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0
	特に限定していない	4	50.0	75.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	その他	2	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0

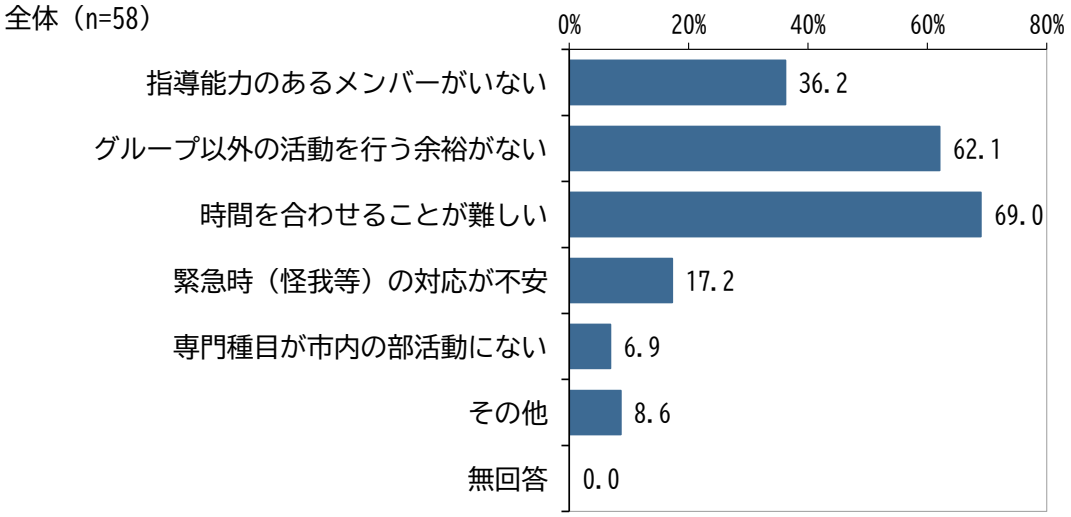
※網掛け■は最も割合が高いもの

(4)部活動の地域移行への協力ができない理由

問13－2	**問 13 で「3」「4」を回答された方にお聞きします。** 協力が厳しい、またはできない理由はなんですか。(○はいくつでも)

部活動の地域移行への協力ができない理由については、「時間を合わせることが難しい」が 69.0%で最も高く、次いで「グループ以外の活動を行う余裕がない」が 62.1%、「指導能力のあるメンバーがいない」が 36.2%と続いています。

図表 4-5-7 部活動の地域移行への協力ができない理由



団体対象者別でみると、多くの団体で「時間を合わせることが難しい」の割合が最も高くなっています。

図表 4-5-8 部活動の地域移行への協力ができない理由 団体対象者別

単位：実数（団体）、構成比（%）

		合計	指導能力のあるメンバーがいない	グループ以外の活動を行う余裕がない	時間を合わせることが難しい	緊急時（怪我等）の対応が不安	専門種目が市内の部活動にない	その他	無回答
全体		58	36.2	62.1	69.0	17.2	6.9	8.6	0.0
団体対象者別	小・中学生	14	28.6	78.6	78.6	0.0	7.1	0.0	0.0
	高校生・大学生	3	33.3	33.3	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	一般社会人（18～64歳）	21	38.1	57.1	71.4	19.0	4.8	4.8	0.0
	高齢者（65歳以上）	8	37.5	50.0	37.5	12.5	0.0	37.5	0.0
	主婦	4	50.0	100.0	75.0	75.0	25.0	0.0	0.0
	特に限定していない	6	33.3	50.0	66.7	16.7	16.7	16.7	0.0
	その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※網掛け■は最も割合が高いもの

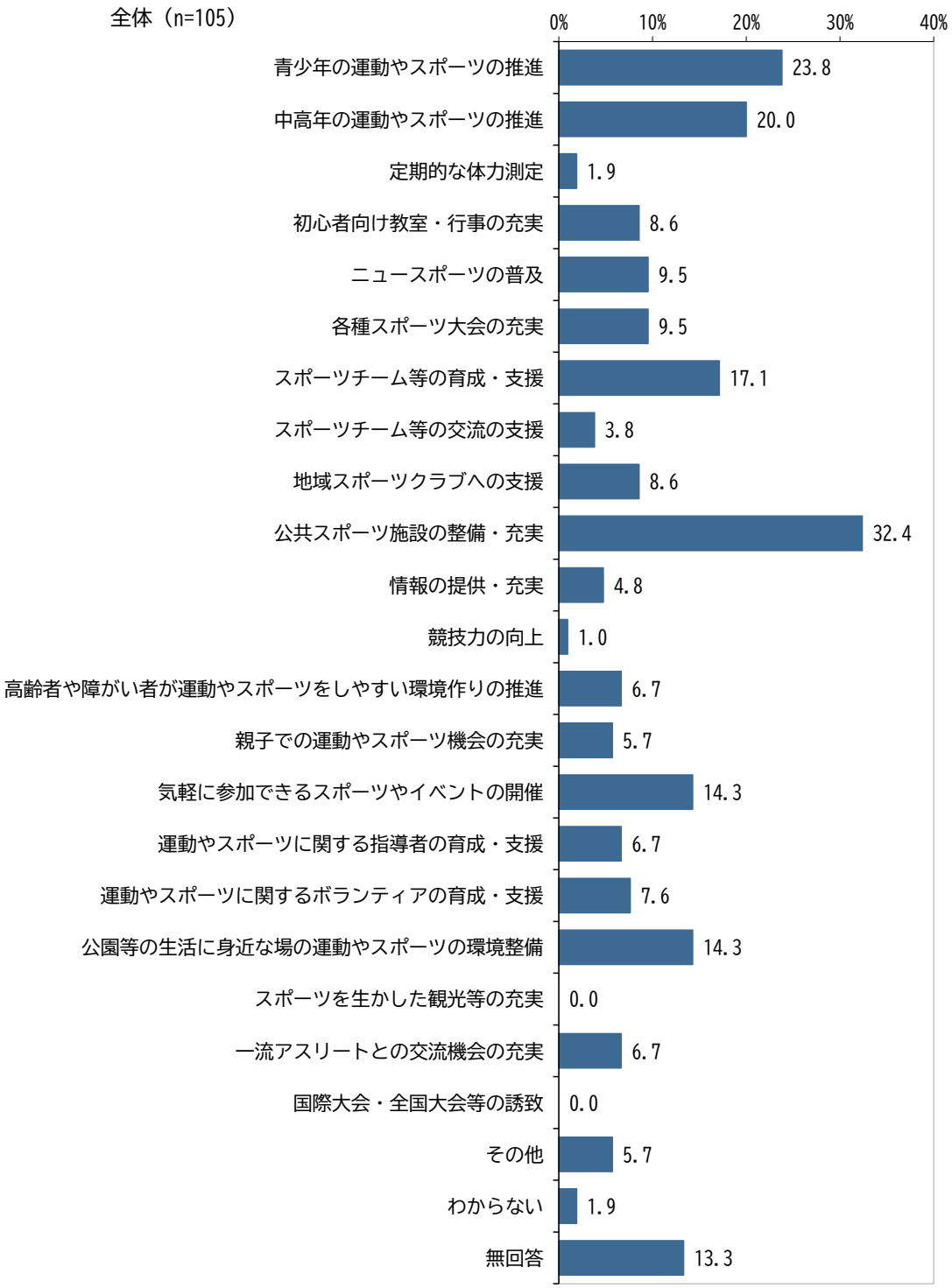
6 富田林市が推進すべきと思う施策について

(1)富田林市が推進すべき施策

問14	市民の運動やスポーツ活動について、今後富田林市が推進すべきと思う施策はなんですか。(○はあてはまるもの3つまで)

富田林市が推進すべき施策については、「公共スポーツ施設の整備・充実」が 32.4%で最も高く、次いで「青少年の運動やスポーツの推進」が23.8%、「中高年の運動やスポーツの推進」が20.0%と続いています。

図表 4-6-1 富田林市が推進すべき施策



団体対象者別でみると、多くの団体で「公共スポーツ施設の整備・充実」の割合が最も高くなっています。

図表 4-6-2 富田林市が推進すべき施策 団体対象者別

単位：実数（団体）、構成比（%）

		合計	青少年の運動やスポーツの推進	中高年の運動やスポーツの推進	定期的な体力測定	初心者向け教室・行事の充実	ニュースポーツの普及	各種スポーツ大会の充実	スポーツチーム等の育成・支援	スポーツチーム等の交流の支援	地域スポーツクラブへの支援	公共スポーツ施設の整備・充実	情報の提供・充実	競技力の向上
全体		105	23.8	20.0	1.9	8.6	9.5	9.5	17.1	3.8	8.6	32.4	4.8	1.0
団体対象者別	小・中学生	34	41.2	14.7	0.0	8.8	11.8	5.9	29.4	2.9	14.7	35.3	5.9	0.0
	高校生・大学生	6	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	一般社会人（18～64歳）	30	10.0	16.7	3.3	13.3	0.0	20.0	23.3	6.7	6.7	30.0	6.7	3.3
	高齢者（65歳以上）	12	16.7	25.0	8.3	8.3	33.3	0.0	0.0	0.0	8.3	41.7	0.0	0.0
	主婦	7	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0
	特に限定していない	10	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0
	その他	4	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0

		合計	高齢者や障がい者が運動やスポーツをしやすい環境作りの推進	親子での運動やスポーツ機会の充実	気軽に参加できるスポーツやイベントの開催	運動やスポーツに関する指導者の育成・支援	運動やスポーツに関するボランティアの育成・支援	公園等の生活に身近な場の運動やスポーツの環境整備	スポーツを生かした観光等の充実	一流アスリートとの交流機会の充実	国際大会・全国大会等の誘致	その他	わからない	無回答
全体		105	6.7	5.7	14.3	6.7	7.6	14.3	0.0	6.7	0.0	5.7	1.9	13.3
団体対象者別	小・中学生	34	0.0	5.9	2.9	14.7	8.8	5.9	0.0	11.8	0.0	2.9	2.9	11.8
	高校生・大学生	6	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	一般社会人（18～64歳）	30	0.0	3.3	26.7	3.3	10.0	26.7	0.0	6.7	0.0	6.7	3.3	3.3
	高齢者（65歳以上）	12	25.0	0.0	25.0	0.0	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	主婦	7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
	特に限定していない	10	20.0	10.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	10.0
	その他	4	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0

※網掛け■は最も割合が高いもの

（2）自由回答

問15	最後に、富田林市におけるスポーツ振興に関して、ご意見やご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

富田林市におけるスポーツ振興についての自由記述は、以下の通りです。（一部編集のうえ掲載）

図表 4-6-3 自由回答

スポーツ振興について
・高齢化が進む中、医療保険財政の確保が急務です。その役割にスポーツ振興は重要な位置づけにあると考えます。努力下さい
・行政が主要団体にまかせるのではなく、積極的にスポーツの重要性をアピールしていく必要があると考える
・子どもたちがスポーツを通じて、交流、学習する事を支援してもらいたい
・学校教育の中で、スポーツをする（心身ともに成長）ことの重要性を、生徒と特に保護者への発信が必要
・小さい頃からスポーツに親しむと、大人になっても気軽に始めることが出来るので幼児、親子、高齢者と多世代がやってみたいという種目を継続的にすることで定着していく
・競技スポーツだけでなくニュースポーツの普及も大事、またスポーツクラブ（子どもたちの）用具やウェアーなどのリサイクルシステムをととのえてあげれば出費もおさえられると思う
・幼少時からいろいろなスポーツにふれあえる場所の提供。サッカー野球等のサークルとの交流で色々なスポーツを体験させる
・テニスにおいてです。小学生のときから体育館（インドア）でおこなうスポンジテニスをおこなうことで、中学生でも取り組みが簡単にできると思います。富田林市をテニスの町、スポーツの町として充実することと思います。一考のほどをよろしくお願いします
部活動について
・富田林市の中学校で剣道部が無いので、クラブを作ってほしい
・個人的な意見ではありますが、硬式テニス部がない中学校が多いので、硬式テニスをしている中学生の、中体連への登録が出来にくい現状をなんとかしてもらいたい。もちろん、保護者のサポートは必須であると思いますが
情報発信について
・どこで何をしているのかというまとめた（スポーツクラブ）ものがあると参加しやすいかも
・体育館にポスター、ネット等に書くスポーツの情報の提供を
・市民への周知方法
スポーツ施設について
・継続するためには身近な施設が必要。特に車に乗らなくなった高齢者には小学校施設はありがたいと思う。体育施設（アリーナ）とグランドがそばにある今の青少年スポーツホールのような場所があるとニュースポーツの普及に役立つ、またキャンプ（オートキャンプをふくむ）の閉設は残念である。だけ山を使った森の子どものあそび場がほしい
・喜志河川敷グランドの定期的な草刈りをお願いしたいのと、道路の整備、水たまり、凸凹があり運転しにくいです
・総合体育館の予約、キャンセルの期間を一ヶ月くらいにしては
・活動できる場所がほしい。スポーツホールがなくなったので
・ソフトボールに関しては、川西グランドを使用するにあたりグランド整備、草刈りネット補修等を、連盟、選手協力のもとなんとか維持しているが、市の協力の頻度を増やしてほしいそうです
・現在放置されている児童遊園、公園等において年間利用者のない園をすべてとは言わないまでも淘汰を行い、クラブチームのストレッチやその他、準備運動用に何とか利用できないものか。土地の

有効利用も含めて考えていただきたい。大きなものにお金をかけるよりも今あるものの有効利用を先に考えていただきたい。税金の無駄使いにならぬようにお願いしたい
・総合体育館の倉庫が汚すぎる。ほこりも多く整理整頓もできていない。近隣の市は、とても整備されていていつも決まった場所に戻すようになっています。とにかく倉庫がぐちゃぐちゃ。何かを出そうにもスムーズにいきません。他の競技はわかりませんが、バレーボールネットも古いです。ポールの保護するカバーも修理をこちらからお願いしました。すべての備品の管理を徹底していただきたいです。冷房のないところでスポーツ推進は厳しいです。早急にお願いします。トイレの和式を洋式にしてください。教育施設使用許可申請書を無くすようにしてほしい。書く手間、印鑑をもらうため学校まで行く、郵便代削減、今どきスマホで許可を申請方法があるのではないでしょうか
・スポーツ公園の施設内(特にトイレ)の整備をしてもらいたい
・空調設備を整えてほしいです
・富田林市民総合体育館にエアコンをつけてほしい。(夏場が暑すぎる)
・公営の体育施設の老朽化が進んでいます。なんとか改善してほしい
・いつもきれいにしていただいて気持ちよく使用させてもらってます。ありがとうございます。(富田林スポーツ公園テニスコート)
・川西グラウンドのトイレ(汚染)の整備(ネットに穴が空いてる)・設置
・体育館事業計画申請時、一団体が複数日押さえに入ってるところがあるが、1回目の申請は1団体1日分とし、全団体が重なること少なく公平にとれるようにするべきと考える。また、市民大会優先とよく耳にするがその言葉は廃止すべき。使用料減免制度も廃止がいいです。料金を貰って館内設備(マイク、椅子、長机、両サイド等観覧席)など充実してもらいたい
・体育館、グランド等の充実
・学校体育館にも冷暖房の設置をお願いしたい
・総合体育館の机・椅子について、大会時にシートを引かなくても良いようにゴム製の保護備品を装着してほしい
・今後、金剛中央グラウンドが別の施設に代わるため、使用できなくなるのに伴い、安価でグラウンドの外にボールが出ないように、ネットで囲まれた大人の野球ができるグラウンドがほしい。総合スポーツ公園球場は素晴らしい球場であるため、ある程度お金が高いのも分かるが、金剛中央グラウンドの代替として、大人の野球が気軽にできる安価なグラウンドがほしい
・金剛中央グラウンドをいつも利用しています。今回の開発において野球場がなくなると聞きましたが、是非野球場の存続を切にお願いしたい
・富田林市は体育館施設が本当に少ないです。総合体育館しか基本無いので、もう一つ使える体育館があれば円滑に練習も、大会も出来ると思います。他市は体育館が予約もまだ取りやすいです。青少年スポーツホールが使用出来なくなってから、体育館の確保が大変で、他市の体育館を他の団体も確保しにいっています。他市に流れてるので、他市も以前より体育館が取りにくくなっています。ちなみにレインボーホールの体育館は、料金が高くて赤字になるし設備も良くないので、なかなか使えないです。東公民館の体育館も、制限があったり、コートも狭いので使えないです
・施設を増やして、出来る場を増やしてほしい
・施設の充実がなくては、スポーツが盛んにならない
・スマートフォンの普及や公園でのボール使用禁止などでスポーツが出来る場所やする機会が無くなっている気がします。私のチームでは大学生、社会人が多く、施設の利用が夜になる為ナイターや22時ごろまで利用可能にしていただけると助かります。また、土のグラウンドだと雨天時に利用できなくなるので人工芝の球技場などがあると利用や大会などやりやすくなると思います
・河内長野市や松原市など近隣の市には、人工芝や天然芝のグランドの施設が充実しているが、富田林市には全く無い。小学校のグランドも、土が流れ出て痩せて来ている上に、水捌けが悪くなっている。夜間も小学校校庭で練習したいが、照明が暗く思うような活動ができない。子どもたちのためにも、小学校設備の改善、素晴らしい外部施設の充実を、進めていただききたい
・改築修繕等を行う場合は、他市町村の市民体育館の作り方や運営方法を参考に改善して頂けると有難い。市内の体育館が 1 つしか使用出来ない状況での、長期使用出来ない改修工事や設備設置は

出来るだけ回避して頂きたい。同程度人口を抱えている他市同様、複数の市民体育館を使用出来るよう建設して頂きたい
・青少年スポーツホールがなくなり、体育館が減ったので、小学校等利用出来ない期間に使える施設が増えると有難いです
・総合体育館、お便所、洋式が少ない。使用不要が多い。空調関係は今年予定で一安心。富田林市はスポーツする場所が総合体育館に集中するしかないのに、この状態では。他市の施設【河内長野・ぷくぷく等】は行く度に素晴らしいと感じる。富田林市、恥ずかしい。招待試合も出来ない。体協登録連盟での大会、1日貸し切り状態。小会議室も使用するが会場で使う椅子、無料にしてほしい。小会議室の椅子を持ち出すと座れない。考慮していただきたいです。よろしくお願いします
・バドミントン連盟に所属して、市のスポーツ行事等の運営をしています。練習場所を確保できません。連盟登録していない人(団体)が練習場所を確保していて、連盟登録しているチームが場所の確保が出来ません。連盟登録をしている人(チーム)は優先的に場所の確保を出来る様にして下さい
・オーパスの抽選申し込みを行っていますが、今の所、日曜日は片面、半日(9～13)しか取れません。それも月2回です。モルックがほとんど押さえているのでしょうか。チラシ等で見たら 9:30～11:00 の日曜日活動しているようですが、他の団体も利用しているのでしょうか。片面だけでもあけていただいたら助かります。月 2 回程も確実なら活動しやすいのですが、不規則ですので活動が出来ない状態です。衰退しております
移動手段について
・総合体育館への交通が不便で大会を開催しても参加できない人が年々多くなっている。(高齢になって自動車運転免許を返納する人が増えているため)金剛連絡所前から体育館までのバスの運行があれば利用できる
・スポーツ実施場所への交通手段の確保
大会等について
・富田林市内の公園で parkrun を開催してはいかがですか
・年間の大会で使用する会場を確保しやすくしてほしい。(大会数等、他地域との交流を拡げたい) 大会参加費や運営費の補助を検討してほしい
関係団体等との連携について
・各スポーツ関係団体の高齢化が進んできていますが、20 年くらい前のように団体関係者と行政とがもっと親密に協力していかなければ、ますます高齢化が進み、スポーツ振興や部活動の地域移行も出来ないと思います。最近のスポーツ振興係の職員さんは熱心な方が多いので良いと思います。行政が上で団体関係者は外注扱いのような職員の方は、今後は不適格だと思います。団体頼みではなく、一緒に協力して活動できるように共に頑張りましょう
・以前は河川敷大清掃等いろいろ地域とスポーツ団体など連携した機会などが大々的に行われてたような気がするのですが、最近はないように感じて寂しいような気がします。市民的な行事をもっと大々的にしてほしいです
自身の団体の活動について
・ソフトボールを通し、地域社会奉仕のために活動をして行きたい
・男子の試合が優先され女子が後回しになる。連盟の方に何度か訴えているが改善されない。日程がズレ、いろんな面で確保が難しい。改善してほしいです
その他
・いつもありがとうございます。今後共よろしくお願いします(2件)
・サイクルロードを走る自転車がとても危険(猛スピード)
・いつもお世話になっております。いろいろなお心使いに感謝しています。ありがとうございます。会員一同老人なのでご迷惑をおかけしますが今後共よろしくお願い致します
・軟式野球連盟の運営が良くない。高圧的な態度、規程・ルールを改定しない。(古いすぎる)審判の高齢化と連盟の出場数が悪い、出場チームのマナーの悪さ
・富田林軟式野球連盟の人員不足による対応が非協力で困っています。仕事の都合上により当チームからは役員になることは厳しいと伝えると、それは理由にならないと一方的に否定され明らかに待

遇が悪くなりました。このままでは、富田林市以外の施設利用や他市の連盟へ活動拠点を移籍することもやむを得ないと考えています。是非、役員対応の改善、増員のご検討よろしくお願いします
・非営利団体への補助金の拡充を検討して頂きたい。例えば総合体育館等の利用料の減額拡充など

富田林市運動とスポーツに関するアンケート調査

報 告 書

発 行 日 令和7(2025)年3月
編集・発行 富田林市教育委員会 生涯学習部 生涯学習課

〒584-0032
大阪府富田林市常盤町 16 番 11 号
TEL 0721-26-8062
FAX 0721-26-8064